宜 議 第 ５ ８ ７ 号
令 和 ６ 年 ３ 月 ２ ５ 日

議 長
呉 屋 等　殿

総務常任委員会
委員長　石 川　慶

委員会審査結果について（報告）

閉会中において、本委員会で案件の審査をいたしましたので、案件の報告書及び会議録の写しを添えて、委員会条例第２９条の規定により、その結果を報告いたします。

１．委員会活動

期　間 期　日	会　議 月　日	備考
令 和 ５ 年 １０月１０日	令 和 ５ 年 １０月１０日	認定第１号
令 和 ５ 年 １０月１１日	令 和 ５ 年 １０月１１日	認定第１号
令 和 ５ 年 １０月１２日	令 和 ５ 年 １０月１２日	認定第１号
令 和 ５ 年 １０月１３日	令 和 ５ 年 １０月１３日	認定第１号
会議日数 ４日間		

２．審査結果

議案番号	件名	付託月日	議決月日	結果
認定第１号	令和4年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について	令和５年９月１２日	令和５年１０月１３日	原案可決（賛成多数）

※結果欄について、賛否が分かれた場合のみ、（賛成多数）等の表記を行い、“ 全会一致 ”の場合は特に表記をしない。

総務常任委員会会議録

○開催年月日　　令和５年１０月１０日（火）　１日目

午前１０時０２分　開会
午後　３時０７分　散会

○場　　所　　第３常任委員会室

○出席委員（１０名）

委員長	石　川　　慶		副委員長	知　念　　秀　明	
委　員	宮　城　　克		委　員	平安座　　武志	
委　員	桃　原　　功		委　員	伊　波　　一　男	
委　員	プリティ宮城ちえ		委　員	我如古　　盛英	
委　員	上　里　　広　幸		委　員	上　地　　安　之	

○欠席委員（０名）

○説明員（１５名）

総務部次長	多和田　　眞満		企画部次長	伊　佐　　真	
こども政策担当次長	浜　里　　郁　子		福祉担当次長	島袋　　喜美恵	
建設部次長	城　間　　勝　也		健康推進部次長	米　須　　之　訓	
基地政策部次長	津波古　　良　幸		建設部参事	嶺　井　　辰　也	
教育部次長	真鳥　　かおり		消防次長	又　吉　　清	
指導部次長	松　本　　勝　利		財政課長	比嘉　　隼　也	
産業政策課長	宮　城　　恵　美		観光スポーツ課長	外　間　　理　子	
環境対策課長	當　間　　大　和				

○議会事務局職員出席者　大城　拓也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

閉会中（総務常任委員会）

令和５年１０月１０日（火）第１日目

○石川慶 委員長　ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

これより議事に入ります。

（開会時刻　午前１０時０２分）

【議題】

認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

○石川慶 委員長　継続審査となっております認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

本件に対する質疑を許します。

まず、当局より説明をお願いいたします。企画部次長。

（執行部説明省略）

○石川慶 委員長　それでは、委員の皆様、質疑がありましたら挙手にてお願いをいたします。

○桃原功 委員　質疑でもいいの。

○石川慶 委員長　基本的には質疑もよろしいのですけれども、まずは皆さんの資料請求から。桃原功委員。

○桃原功 委員　おはようございます。委員長から強く言われているから、資料請求からお願いしたいと思います。

本決算書の歳入からいきます。３ページのたばこ税、対前年比で、たばこ文化も変わっていると思うのですけれども、令和３年度決算は予算現額との、収入済額との比較で3,300万円増額になっているのですけれども、令和４年度決算は2,600万円減額になっているのですね。電子たばこというのも入ってきていて、その税収の入り方というのが、よく分かっていないので、その辺も関連するのかどうか。この減額理由を含めた資料の提出ってお願いできるのでしょうか。私の請求は分かりますか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。たばこ税の減の理由ですけれども、これはたばこ税は本数によるのですけれども、今回は大分減になっておりまして、先ほど加熱式たばこという話もありましたけれども、それの恐らくですけれども、税制優遇措置がなくなったことや、あとは増額されていっているのですけれども、それがたばこ価格に上乗せもあって買い控えとなったのが大幅減の理由になっているのではないかというふうに担当課では見ております。それで、その減額となった理由の資料が欲しいということでよろしいのでしょうか。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　要は、令和３年度決算は予算現額と収入済額の対比で3,300万円増なのですけれども、極端に令和４年度決算で2,600万円減額になっているので、この理由は、原因は何ですかということをちょっと知りたいのですけれども、今、次長がおっしゃったのは、禁煙者、要は売上げ減による減であれば、そういうお答えでもいいのですけれども、今、本数による税収のこともおっしゃっていたので、その辺まで分かりますか、この減額理由というのは。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　たばこ税については、実質本数でもって税がかけられて、小売店に卸す卸の業者さんがいるので、そこが申告をして、それから税がかかることですので、実際の市場での動きというよりは、税的にはたばこ税の申告する会社が幾ら宜野湾市の小売業者に卸しましたよというところから入ってきていますので、それが令和３年度と比べると減っているというところの先ほどの説明になります。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると、この傾向というのは、他市町村も同様な傾向ということで理解していいのですか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　お答えいたします。他市町村において、これはまだ全自治体の研究をしているわけではないようなので、具体に今、ほかの自治体も同じような状況になっているというふうには明確には、ちょっと答えられないのですけれども、今、税務課のほうで、その他市の状況が把握できているかというのは、ちょっと確認をしてみないと分かりません。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　前、陸上競技場の東側にたばこ卸業者が入ってきたではないですか。要は、その卸業者が市内に在住があると、その分だけ卸業者が小売店に配布していって、販売していって、卸業者がある件数分だけたばこ税収が多いという印象があるのです。だから、誘致合戦にも二昔前ぐらいには、そういう動きもあったと思うのです、卸業者の誘致合戦。要は野嵩から浦添に移ってしまったとか、そうすると、たばこ税が若干減ってくるような記憶もあるのですけれども、そういうことは、あまりこの減額には該当しないのですか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　今、卸売業者の話がありましたけれども、卸売業者が宜野湾にあっても、実際先ほどお話ししたたばこをどこの自治体に卸したか、いわゆる小売業者というところでの申告が来て、そこで自治体には税が入ってくるので、卸売業者が宜野湾市の市内の小売業者にたくさん卸せば、その分申告がこちらのほうに来ますので、そうすると税は上がる。なので、卸売業者さんが他市町村に卸していれば、そこの自治体は当然その分の税がかかるということでございますので、今、桃原委員がおっしゃっている、卸売業者さんが宜野湾市にあるというところで税がアップするということではございません。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　では、ちょっと資料提出は難しいかな。難しいなら難しいでいいです。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　調整しないと何とも言えないところです。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　以前のたばこというのは、以前というか、今でもそうだけれども、例えばＪＴさんのたばこは本数で、洋モクは何だったのかな、個数だったのかな。覚えていないのですけれども、要は洋モクと国産のたばこしかなかったので、最近加熱式が台頭してきていて、実際火をつけるたばこにおいては、吸った分、吸った分というか、売り上げた分の税というのが入ってきていたと思うのですけれども、その自治体に。この加熱式たばこというのは、どのようにたばこ税に反映されているのですか。さっき加熱式たばこのことも

おっしゃっていたのですけれども、そこまで分かりますか。要は、加熱式たばこも本数で入ってくるのか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　お答えいたします。加熱式たばこについての税のかけ方、今ちょっと手元に資料がなくて説明ができないので、それについては少し資料で提出したいと思っています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。では、資料はいいです。私も勉強します。

　では、使用料、本決算書の５ページの14款使用料及び手数料があるのですけれども、使用料の収入未済額が1,800万円余、回収できていないということなのですけれども、令和３年度決算と比較して200万円ぐらい増えてしまっているのです。要は収入未済額は増えているのです。行革の一環の中で、しっかり使用料等も回収していくということだったと思うのですけれども、なかなかこれが改善されていないという、数字を見る限りでは。その辺使用料についての資料の提出をお願いできますでしょうか、何が使用料として未済なのか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、桃原功委員の御質疑にお答えいたします。決算書５ページの14款使用料の収入未済額についての御質疑だと思います。

　この金額について、金額一覧という形、この使用料の収入未済が分かる資料ということでよろしいでしょうか。

○桃原功 委員　はい。

○財政課長　こちらについては、収入未済額、こちらのほうが金額についても、全てだと、どのぐらいの資料があるのか、ちょっと分からなくて、たくさんのものになると資料提出が難しくなりますので、金額のほう1,000万円以上とか、そういった形でいただいてもよろしいでしょうか、1,000万円以上。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　いいですよ。つくりやすいようにつくってください。

○財政課長　分かりました。収入未済額1,000万円以上ということで、資料のほうは提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　お願いいたします。あと、歳入の国庫補助金についてお尋ねします。国庫補助金で対前年比で非常に増額されているのです。５ページです。15款２項国庫補助金、ごめんなさい。増額ではなくて収入未済額がちょっと増え過ぎているという指摘です。

　令和３年度決算が15億3,000万円に対して令和４年度決算が21億3,000万円、収入未済額なのです。これが未済になった理由も資料として提出できるのでしょうか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、桃原功委員の御質疑にお答えいたします。５ページの歳入、15款国庫支出金の収入未済額の資料のことなのですが、これにつきまして国庫支出金の未済額については、基本的には、もう大部分というものが繰越しによる収入未済額になっていると思います。こちらについても資料のほうを、一覧表という形……

○桃原功 委員　防衛予算もありますよね。

○財政課長　はい。

○桃原功 委員　防衛予算の、できれば何条予算というふうに分けていただければありがたいなと。

○財政課長　これについても金額のほうを1,000万円以上という形で絞らせていただいてよろしいでしょうか。

○桃原功 委員　何かちょっと最後のほうが聞こえづらかった。

○財政課長　すみません。1,000万円以上という形で絞らせていただいて……

○桃原功 委員　1,000万円以上で大丈夫か。待ってよ。国庫補助金21億3,000万円、そうですね。1,000万円、はい。大丈夫ですか。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

○財政課長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　あと、次の６ページの21款諸収入の雑入の２億1,400万円が収入未済額として上がっているのですけれども、この雑入の未済額の内訳もお願いできますか。ごめんなさい。２億1,400万円だ、収入未済額。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　雑入について、収入未済額の資料を……

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これは２億1,400万円だから、これも1,000万円刻みなの。つくりやすいようにやってください。

○財政課長　はい。量をちょっと見させていただいて、ちょっと多いと思ったときには1,000万円以上で作成したいのですけれども。

○桃原功 委員　そうだね。細かく分かれるかもしれないね。分かりました。委員長。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　続いて、８ページをお願いします。土木費なのですけれども、土木費は翌年度繰越額と不用額をちょっと比較しているのですけれども、８ページの８款土木費の道路橋梁費10億5,200万円が翌年度繰越になっています。10億5,200万円は非常に金額が太いので、これの内訳が分かる資料の提出をお願いできますか。

あわせて、その下の都計費９億7,300万円もありますので、繰越額、理由の提出をお願いできますでしょうか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、桃原委員の御質疑にお答えいたします。８ページ、８款土木費の第２項道路橋梁費及び都市計画費についての翌年度繰越額が分かる資料を提出ということでございますが、こちら資料のほうを提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　期待しています。続いて、この決算に係る主要施策の成果説明書からお願いします。

52ページなのですけれども、公園整備事業、てぃーちが一公園整備事業、52ページの左側の表ですけれども、ここはＰＦＯＳ除去装置がついているところでしたかね、てぃーちが一公園。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　そのとおりです。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ここの中に、一般質問する前に今議会でてぃーちが一公園に行ったら、まだポンプが使用できない状況があったのですけれども、これというのは、全部全て工事請負費に入っているのですか、ポンプも含めて。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　ポンプ施設も公園整備事業として工事費の中に含まれています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この事業内容を見ると、例えばあのてぃーちが一公園の公園内にある大きな建物、ＰＦＯＳ除去装置が入っている大きな建物は、ここでは分かりませんよね、この表を見る限りでは。いわばＰＦＯＳ除去装置とか、あの除去装置が入っている箱、こういう書き方でいいのですか。こういう成果説明書というのは、例えば第三者が見ても、市民が見ても分かりやすい書き方が私は丁寧ではないかなと思うのです。これから見る限りでは、ＰＦＯＳ除去装置、あれは面積的にも大きいし、金額的にも太いだろうし、やはりしっかり書いておかないと、後年に、ではあの建物は何だったの、何なのと、この資料から見ると分からないけれども、それをちゃんと書いたほうが、私は丁寧ではないかなと思うのですけれども、その辺いかがですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　その御質疑は公園整備とＰＦＯＳ除去装置に係る設備の建築、機械、電気とあるのですが、それを分けるということでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分けるべきというか、この令和３年度繰越事業、委託１件で、令和４年度事業ってありますよね。例えば備考欄を見ると、民生安定施設整備事業、これは事業名しかないので、例えばここの売りというのは変だけれども、ここの特徴というのは、やはりあの周辺からＰＦＡＳが出てきたから、これをちゃんと防衛予算を使った、やはりあの周辺からＰＦＡＳが出てきたから、これをちゃんと防衛予算を使って除去するのだということで、皆さん、私と議論したではないですか。

　だから、これもちゃんと除去装置が設置されているということは書いておかないと、全然これから見ると分からないので、こういう書き方はいいのですかということで、皆さんの見解を確認しているわけです。何で公園なのに防衛予算を出すのって、またなってしまうよ。それを書かないと。

○建設部次長　次年度から検討して。

○桃原功 委員　ぜひ検討されてください。お願いします。委員長。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　次、56ページ、教育委員会をお願いします。

（「資料要求は」という者あり）

○桃原功 委員　資料要求。

（「する気はないの、ここ」という者あり）

○桃原功 委員　こっちの資料要求はいいです。56ページの右側の10・１・３の中学校部活動指導員配置事業

なのですけれども、金額は180万円なのですけれども、事業内容を見ると、各中学校へ１名ずつ配置したということは、４名配置済みということでいいのでしょうか。各中学校に１名ずつということは、４名配置できたということで。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　成果説明書の56ページ、中学校部活動指導員配置事業におきましては、予算措置として各中学校のほうに１名ずつの部活動指導員のほうを配置してございます。ただ、学校の希望と指導員の配置が、少しできない部分がございまして、ミスマッチはございましたが、基本各校１名に配置しております。

○桃原功 委員　４名ね、では。

○指導部次長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　例えば一学校、いろいろな部活があるではないですか。大きく分けて運動系、文系があって、運動系の中にも野球もあればバスケット、バレーボール、陸上、ソフトボール、いろいろなものがあるのですけれども、これは各学校に投げて、各学校が決めて、個々の部にというふうな要望になるのか。それとも適切な指導者がいらっしゃって、その方がたまたま卓球が専門だから、では卓球に生かそうという、この辺どうやって決めているのですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原委員の御質疑にお答えいたします。各部活動は、各学校によって異なる部活動がございますので、基本配置されている先生、顧問の先生とか、そういった状況で、また配置員の専門性とか、そういったところを踏まえまして、学校と調整しながら競技種目に関しては配置してございます。

○桃原功 委員　資料要求になっていないね。取りあえず資料要求できるか、もうちょっと調べます。以上です。

○石川慶 委員長　１度交換してもよろしいですか。

○桃原功 委員　はい。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方、上地安之委員。

○上地安之 委員　まず初めに、市税の推移、過去の推移をお願いしたい。類似団体等の比較をした資料つくられていますか。もしつくられているのだったら、類似団体の市税の比較・推移をお願いいたします。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　では、市税に関する過去３年の比較ができるように資料を準備したいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　類似団体をお願いします。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　類似団体、県内、県外も。

○上地安之 委員　県内でいいです。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　はい。県内の自治体で、分かる範囲でですけれども、資料を出したいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、企画部にお伺いしますけれども、財政の資料、それはもちろん策定されている

と思うのだけれども、それも類似団体等の比較されるような資料を提出することはできますか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上地安之委員の御質疑にお答えいたします。財政指標ということになりますが、こちらについては類似団体のもの提出してまいります。

○上地安之 委員　これも３年ぐらい。

○財政課長　３年ですね、はい。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、先ほどもありましたけれども、どの課においても収入未済額が発生しておりますよね。その収入未済額の、全て出すとなると膨大な資料になりますから、金額を決めて、その未済額の資料を出してもらいたいのと、それから同じく不納欠損額、それと予備費充用の。それから、皆さん方、一時借入金60億円設定しておりますよね。それを公債費から、公債費の利子として現れてきますよね、その一時借入金の利息、それと臨時財政対策債の利息、それを分けた資料を出してください。お願いします。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、上地安之委員の御質疑にお答えいたします。収入未済額についての資料なのですが、こちらの金額のほう1,000万円という形で設定させていただいてよろしいでしょうか、1,000万円以上。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　1,000万円以上になると、100万円ぐらいでは出せないですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　こちら100万円以上のほう、ちょっと量も確認させていただきながら、提出していきたいと思います。収入未済については、全ての項目ということで。

　続きまして、不納欠損については、こちらは金額の設定は特にございません。こちら全て提出してまいります。

　続きまして、予備費の充用については、こちら令和４年度予備費充用の一覧という形で、どの事業にどういう形で充用しているかということの金額でよろしいでしょうか。

　続きまして、一時借入金の利息、臨時財政対策債の借入れの利息についてということでございますが、こちらも提出をしてまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、この一時借入金の実績額というのは、今把握されていますか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、上地委員の御質疑にお答えいたします。実績は令和４年度の実績で、借入額ということでよろしいでしょうか。令和４年度の臨時財政対策債借入額は４億2,468万5,000円となっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　一時借入金の設定額は幾らですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　一時借入金の設定額については、無上限という形になっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　60億円という話していますよね。実績額は幾らですか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　実績額については、借入金の累計としては、令和４年度41億円となっております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　それで、皆さん方、これは市中銀行から借り入れをして、年度末に予定している歳入が予定内に歳入として入らなくて、市中銀行と出し入れをして、それ以外に基金も運用されていますよね、その基金の運用をされている状況を資料として出していただけますか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　上地安之委員の御質疑にお答えします。基金の繰替え運用の実績、令和４年度の実績について、こちらも提出をしてまいりたいと思います。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　それから、決算書を見ると、まず還付未済額が非常に目立つのです。徴収をしたものの、後ほど徴収額の増、市民にまた返還するような内容なのです。これがちょっと目立ってしまうのだけれども、これは制度改正に伴って、そういうものになっているのですか。

　それが１つと、それからその理由というのをちょっと知りたいのです。もしよければ資料として出していただけませんか。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　質疑している内容が分かりませんか。これは、その場で答えるのが難しければ、それは改めて、どういった具合で還付未済額が発生しているのかというのを知りたいのです。還付未済額というのは、今回認定を受けて、それから支出をしていく内容ですか。恐らくそうでしょうね。認定をして初めて、それは支出行為になると思うのだけれども、それとも令和４年度決算ですから、常に還付未済額が発生する中では、その年度で処理をされたということですか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　御質疑にお答えいたします。還付未済となっておりますので、未済ですので、処理は令和４年度ではされていないという形になります。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　そのとおりですよね。認定されて初めて支出行為ができるわけですよね。その中身、なぜここまで徴収したものが、また戻さないといけないのかというのが非常に目につくものだから、その辺ちょっとまた説明資料としていただきたい。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　上地委員の御質疑にお答えいたします。各未済額に関する資料については提出してまいりたいと思います。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　それから、決算書の327ページ、財産に関する調書。行政財産と普通財産記載していますよね、皆さん方。

　まず初めに、行政財産に対する目的外使用料というのがございますね。それは皆さん方、徴収はしていますけれども、それは徴収できるような規定というのは、もちろん持っていると思うのだけれども、その規定

をひとつ出してもらいたいのです。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　目的外使用の規定、確認をして提出していきたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、普通財産の調書というのかな、一覧というのかな、それに載っていると思いますよね。それを資料として出していただけませんか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　普通財産、結構ボリュームがあると思いますけれども、それを一覧でとなると、結構な枚数になるので、調整させていただければなと思っておりますが。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それでは、件数だとか、貸付額だとかというものは出せますか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　普通財産、例えば何件あるかとか、そういったもので提出していきたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、有価証券の活用と管理の在り方をひとつ確認させてもらいたいのですが、それは決算書にもあるように株券は３つですか。運用益が1,200万円余り出ておりますよね。それを運用するに当たって、その有価証券の運用をする検討委員会というのがあると思うのです。その検討委員会の開催状況というのを知りたいのです。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　有価証券活用の検討委員会というのは、ちょっと確認をした上で答弁したいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　というのは、有価証券を購入するに当たっては、では誰が決めているのという話になる。これは検討委員会というのがあるはずですから、その証券、３つでもいいのか、あるいはまた期間が切れる前に新たな場で証券の購入をして運用益をつくっていくのか、その管理の在り方というものを資料として出していただけませんか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　確認をして提出したいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　ちょっとまた、戻りますけれども、基金の残高調書、過去３年のものを出していただけませんか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　基金の残高調書、３年分提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、この主要施策の成果説明書の中で、まず初めに９ページ、仮設避難港地区地区計画関連資料作成業務委託、それは仮設避難港地区地区計画の策定業務のその成果書、これが仮に分厚ければ概要版をお願いできませんか。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○**企画部次長**　上地委員の御質疑の成果説明書９ページの宜野湾市西海岸地域開発事業の仮設避難港の地区計画関連資料作成業務委託の成果物につきましては確認して提出していきたいと思います。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　資料が分厚ければ、それの概要版で結構ですのでよろしくお願いします。。

それから、それに伴う整備計画の年次計画を皆さん持っておりましたよね。それも出していただけませんか。

○**石川慶 委員長**　企画部次長。

○**企画部次長**　年次計画のほうを提出していきたいと思います。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　47ページをお願いします。47ページの宜野湾市用途地域等変更支援業務委託、それも恐らくコンサルに作成依頼をしている内容だと思います。それが600万円余りね。これの成果物、同じく分厚いようであれば、それも概要版でよろしいで、お願いできますか。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　お答えします。成果説明書47ページ、宜野湾市用途地域等検討作業事業の概要版を提出してまいります。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　ごめんなさい。また少し戻りますけれども、扶助費が、かなり右肩上がり、しかも、コロナ禍が落ち着いた、非常に申請件数が増加をいたしております。令和５年までの３年ぐらいでよろしいですから、生活保護の扶助費にかかる推移というのを出していただきたい。

○**石川慶 委員長**　福祉担当次長。

○**福祉担当次長**　生活保護費の３年間の推移を提出してまいります。

○**石川慶 委員長**　よろしいですか。

○**上地安之 委員**　はい。

○**石川慶 委員長**　ほかに質疑のある方。我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　それでは、資料のほうをお願いしましょうね。令和４年度の不動産売払収入が、特に財産収入ということで出ているのですけれども、それを１年ぶりに……

○**石川慶 委員長**　我如古委員、何ページか教えてもらっていいですか。

○**我如古盛英 委員**　172ページ、売払収入……

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　50ページ、17款２項１目。

○**我如古盛英 委員**　17款２項１目だね。すみません。ページが書いてない。

（「50ページ」という者あり）

○**我如古盛英 委員**　50ページ、途中からになるものですから、その前のほうのが分からなくて、資料として、場所とそれから金額を入れてもらったらありがたいなと思います。よろしいでしょうか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　予算書50ページの17款２項１目不動産売払収入の売払いの一覧、概要を整理して資料として提出したいと思います。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　よろしくお願いします。それから、326ページなのですけれども、調書のほうになるのですけれども、この中で翌年へ繰り越すべき財源の中で、繰越明許費繰越額、これは２億6,000万円があるわけですけれども、これはさっき説明にもありましたけれども、翌年へ繰り越すという事業が６月議会で22事業でしたっけ、その中のできなかったものが繰越明許の費用になるのかなということですので、その繰越しになった事業名とその理由を出していただけないでしょうか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　御質疑にお答えいたします。繰越しに関する、それぞれの理由と金額ということでよろしいでしょうか。確認して提出してまいります。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　それと同時に、翌年度繰越になった金額の、翌年度の６月に繰り越しになりましたので、ほとんどの事業がもう完了しているということでよろしいのかな、それ以外は。６月議会の補正で22事業でしたっけ、皆さん繰越明許を出して。その中の残りが、この繰越明許費にあるのかなと私自身の考えではあるのですけれども、そのほかの事業は、もう現時点では完了しているということで、理解していいですか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　御質疑にお答えいたします。ただいまの御質疑については、326ページの繰越明許費の金額、これが繰越明許費のどう関係しているかというところだと思うのですが、繰越明許費で出させていただいて、昨年度の３月ですね、６月に繰越計算書ということで、報告をさせていただいておりまして、こちらが令和５年度に繰り越しした事業でございますが、そちらの金額との関係ですが、繰越計算書のほうで、翌年度繰り越ししますということで、報告させていただいた金額については、事業費としては28億4,549万8,797円なのですが、その中で決算書326ページ、実質収支に関する調書に書かれている繰越明許費繰越額の金額というのは、繰越事業に係る一般財源の金額でございます。一般財源を生み出してきて、こちらに記載している金額となります。６月定例会でご説明いたしました繰越明許費繰越計算書の中では、その繰越額28億円余りの中で、一般財源と、残りは国庫支出金、地方債となります。326ページの調書となります。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　資料としてお願いします。

○**財政課長**　資料というのは。

○**我如古盛英 委員**　一般財源ですから……

○**財政課長**　一覧のほうに金額を。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　入れてください。それから、これは監査意見書の中にあるやつなのですけれども、ラスパイレス指数に関してなのですけれども、決算カードというのでしょうか、これは監査のほうに請求すべきなのかなと思うのですけれども、監査は皆さんの資料を見て監査するわけですから、ここ数年ですか、95％台が続いているような気がして、去年から出ているのですけれども、このラスパイレス指数の５年間の……

○**石川慶 委員長**　我如古委員、すみませんが、何ページか教えてもらえますか。

○**我如古盛英 委員**　監査意見書の一番最後です。決算カードの中の決算意見書の72ページの、これを調べるというのが、やはりこれは職員の給与水準が、どういった状況になっているかというのを調べたいわけです

ので、これは多分指数ですから、国家公務員との比較だったというふうな気がしますけれども、そうですよね。決算のカードを、これから調べる上で４年分ぐらい出してもらえればありがたいのですけれども。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　ラスパイレス指数の４年分の推移、提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　95％台というのは、どちらか認識なさっていますか、何にもない。理想的というのですか、普通の全国、あるいは沖縄県全体としては、どれぐらいになるか、そういうものも、もし分かれば。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　他市のものだと思いますので、その辺を入れて、まとめて資料を出したいと思います。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　よろしくお願いいたします。それから、242ページです、決算書の。歳出の公園費の８款３項５目の公園費なのですけれども、02のところ、公園施設管理運営なのですけれども、02です。今年度で５年が経過して、その１年目にはなると思うのですけれども、この決算は、その前のときの決算書ですから、その公園の委託費の中の委託費全部ではなくて、その中で委託がされている皆さんが、その施設の中で、いろいろな収入が出てきたり、収支決算書があると思うのです。それを出していただけないかなと。例えばビーチを借り入れした件数が分かるとか、それに対する、コロナ禍で、この事業が、本当に委託者がちゃんと納得できる事業ができたかなというのを知りたいものですから、収支報告書。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　決算書242ページ、02公園施設等管理運営事業の使用料等の資料を準備して提出したいと思います。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　では、まず出してもらってから、そのときにまた質疑をさせていただきます。できたら４年分ぐらい欲しいのですけれども。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　過去４年ですか。

○我如古盛英 委員　はい。過去４年です。

○石川慶 委員長　建設部参事。

○建設部参事　今、公園の維持管理については、指定管理でお任せしていて、利用料でしたかね、指定管理であれば、使用料ではなくて利用料としてビーチの利用されている方ということなのですけれども、この指定管理の資料ということになるのですけれども、これは今回の決算の中に、今この中では公園の委託費として払っている内容の中で運営されているということなのですけれども、ではちょっと指定管理とも調整しないといけない面があるので。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　指定管理者が、そのビーチ、あるいは施設をしっかり運用して営利が出た場合は、やはりその利益、黒字の場合は、利益の幾らかは、やはり市の予算として還付というのでしょうか、するという取決めがあったような気がするのですけれども、それはないですか。

○石川慶 委員長　建設部参事。

○建設部参事　それは契約書の中にあったと記憶しております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　ですから、その指定管理者が１年間の収支決算を分からないと、赤字なのか、黒字なのかも分からないわけですから、それが分かる資料をよろしくお願いします。

○石川慶 委員長　建設部参事。

○建設部参事　施設管理課と少し、その資料が出せるかということで、出せるようであれば、ちょっと時間がかかるかもしれないです。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　ぜひ出していただきたいと思います。

次、328ページ、先ほどから上地委員も財産に関する調書のほうで質疑をやっていましたけれども、私は普通財産のほうの本年度増加が多いのですよね、土地のほうが。増減で、これは２万401.83平米なのでしょうか。多分これは基地内の軍用地を取得する事業が補正予算でも増額してもらったものだと思いますけれども、私の場合、特に普通財産の土地の何筆で、どれぐらいの金額で増加分が増えたかというのを知りたい資料が欲しいのですけれども、それだけでも出せますか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　我如古委員の、こちらにある増になった部分、基地に特化したもの、それとも基地は基地、それ以外の部分、民有地もあります。それも一緒ですか。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　できたら一緒に。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　総務の部分と基地の部分、一式にして資料をまとめて出したいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　それから、これも監査意見書の中にあるものなのですけれども、監査意見書の26ページです。土木費の中で２項２目、上から７番目ぐらい、新設道路改良、補償、補填及び賠償金が２億4,237万円を支出したということになっているのですけれども、この賠償金というのが、決算書の中にも入っているのかどうか、お伺いしたいのですけれども、いかがでしょうか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　すみません。今の賠償金の件なのですけれども、資料がなくてお答えできませんので。

○我如古盛英 委員　後で、では資料として出していただければ。

○建設部次長　はい。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　取りあえず、私はこれで。

○石川慶 委員長　皆様、もう１時間以上たっていますので、一旦休憩に入りたいと思います。10分後から再開しますので、よろしくお願いいたします。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午前１１時０３分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午前１１時１３分）

○**石川慶 委員長**　それでは、休憩前に引き続き認定第１号について質疑を行ってまいります。

質疑のある委員は挙手でお願いいたします。宮城克委員。

○**宮城克 委員**　では、お願いします。決算書の18ページ、重複していたらごめんなさい。18の１款１項の市民税の法人、それぞれの内容が分かる、３年分ぐらいの資料でいただきたいのですけれども、いかがでしょうか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　決算書18ページの１款１項２目法人税の過去３年分の推移、資料として提出してまいります。

○**石川慶 委員長**　宮城克委員。

○**宮城克 委員**　すみません。決算に関わる主要施策成果説明書からピックアップして、９ページの２款１項６目特定駐留軍用地の基金の積立てなのですけれども、その前に、すみません。基金の基金別資料をいただきたいのですけれども、これもいただけますか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　宮城克委員の御質疑にお答えいたします。基金残高ということでよろしいでしょうか。

○**宮城克 委員**　はい。

○**財政課長**　さきほど上地委員より要求がありましたが…。

○**宮城克 委員**　すいません。集中していたので、重複したら、お願いします。

○**石川慶 委員長**　宮城克委員。

○**宮城克 委員**　では、すみません。そのままで、今の特定駐留軍用地のものなのですけれども、延長されて、その後やはり今の最新としての成果が知りたいのですけれども、かぶっていますか。これをいただきたいのですけれども、資料いただけますか。

○**石川慶 委員長**　基地政策部次長。

○**基地政策部次長**　宜野湾市特定駐留軍用地等内土地取得事業基金積立事業の実績ですけれども、さきほど上地委員からも資料要求があり、そちらのほうで実績のほう提出させていただきます。

○**石川慶 委員長**　宮城克委員。

○**宮城克 委員**　委員長、一旦いいです。また、整理します。

○**石川慶 委員長**　ほかに質疑のある方。伊波一男委員。

○**伊波一男 委員**　よろしくお願いします。まず、決算に関わる主要施策成果説明書の23ページの３款１項１目沖縄子どもの貧困緊急対策事業であります。1,800万円の決算が載っていますが、これの資料として５年分出してもらいたい。事業内容も書いてもらいたいと思います。中を見ますと、補助金とか出てくるのですが、トータル1,800万円余りのうちの補助金は300万円余りしかないのです。ということは、予算はたくさんつけていただいてはいますが、現場サイドまでに大きな補助金が落ちていないのではないか。皆さん運営にひーひーしているという、よく情報を聞くものですので、その点も併せて資料をお願いします。よろしいでしょうか。

○**石川慶 委員長**　福祉担当次長。

○**福祉担当次長**　伊佐委員の御質疑でございますが、決算に関わる主要施策成果説明書の23ページ、左側の沖縄子どもの貧困緊急対策事業、５年分の事業内容ということでよろしいでしょうか。

○伊波一男 委員　はい。

○福祉担当次長　作成して提出いたします。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　次は57ページ、同じく成果説明書の57ページ、右手のほう、10款１項４目、この学校敷地保全対策事業、特に通学路のブロック塀の取替え工事だと思いますけれども、これに対する資料を、５年分ぐらい。これは見たら、平成30年度から事業が入っていますよと書いてあるので、ほぼ完了になっているのか。安全対策が、もう通学路は学校周りは大丈夫なのかということを確認したいので、その点も併せて。もし令和５年度も計画が入っているのであれば、そこまで教えてください。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　伊佐委員の資料要求なのですけれども、これまでの工事箇所ということででよろしいですか。これまでのブロック塀の工事箇所という形で。まだ今現在事業は進んでいるところでございますので、そういったものでしょうか。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　まずは５年間、どういうところを直してきたのかというのが、なかなか分かりにくい。近くの学校であれば分かるのですけれども、また市内全域が分かりたいので、これも資料として。そしてまた令和５年度、今年もあるのであれば、今年はこういう計画がありますよということを資料としてお願いします。以上です。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　資料として提出いたします。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　39ページ、右手のほう、７款１項２目空き店舗対策事業、宜野湾市も空き店舗がなくなってはきているとお聞きをしております。大変この事業を活用して、事業を継続されていると聞いておりますが、ここのほうも５年分、資料として実績をお願いします。そして、継続、もしくは廃業とか分かると思います。それも併せてどこか備考欄に書いていただければありがたいなと思います。以上です。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。空き店舗対策事業の過去５年分の資料、定着率というもの、追跡調査してございますので、そういった数字を入れた資料を提出してまいりたいと思います。

○伊波一男 委員　以上にしますので。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　では、決算に関わる主要施策成果説明書の、まず６ページをお願いします。６ページに平和学習資料等に活用できる教材などをつくる効果というふうに事業の効果として書かれていますけれども、どのような予算をかけて、どのようなものをつくってきたかというものを、５年間の、継続事業なので、出していただけるでしょうか。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員、６ページの普天間飛行場返還促進対策事業でよろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○石川慶 委員長　この事業内容が分かる資料ということですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい、そうです。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　成果説明書６ページの左側、普天間飛行場返還促進対策事業の事業の取組ですけれども、主にパンフレット等を作成して、国会議員とか、視察に来る方々に対して宜野湾市の状況などについてＰＲをしている主な事業となりますけれども、これまでの取組状況の資料。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　すみません。ちょっと説明が、補足します。この事業の効果の中に平和学習資料とか、授業で活用できる教材など有効活用するとあるのですが、その辺の映像資料などを含めて、そういうものも、どのようなものをつくったかという、それが知りたいのですけれども、５年間あたりの。それを出していただけますか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　担当課のほうに確認しまして、どういった成果物であるかを確認して、どういった成果物がありますよというようなものを資料として提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　いろいろ騒音の資料とか、いろいろなデータ、多分いろいろ生かしながらやっていらっしゃる、その辺のものが欲しいです。

それから、11ページです。11ページの右側です。２款１項６目のふるさと応援寄附推進事業のほうですけれども、これも継続事業になっておりますので、５年間、どのように寄附額が推移しているかということや、それからどのような特産品が使われてきたかということの資料を出していただけたらありがたいです。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　プリティ宮城委員御質疑の成果説明書の11ページ、宜野湾市ふるさと応援寄附推進事業の５年間の給付額の推移と、あと返礼品が何百かあるのですが、主な返礼品という形でよろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○企画部次長　提出していきたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　13ページです。２款１項６目の新規事業となっています、第７回世界のウチナーンチュ大会歓迎事業のほうですが、そこで目的が持続的なネットワークを構築することを目的とするとありますが、その持続的なネットワークを構築するというところで、いろいろな事業が出ているのですけれども、その目的を遂行するためにどのような事業がつくられ、費用がどこにかかっているのか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　担当課がおりませんので、代わりにお答えします。令和４年度に実施した世界のウチナーンチュ大会事業の内容ということでしょうか。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　内容は、ここに書かれていて、いろいろ分かったのですけれども、これを今回新規なのですけれども、持続的なネットワークを構築することを目的とするとあるのですけれども、それに向けての、それでどのような事業をつくって、どうつなげていくのかです。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　この事業につきましては、事業期間が令和４年度の単年度事業で予算化した事業ではござ

いますが、この中で実施した中でネットワークの構築などやっていくものが含まれてきた可能性がありますので、そちらのほうは担当課に確認して、今後のものまで含めて資料をつくって確認をして提出したいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　よろしくお願いいたします。15ページです。15ページの、ごめんなさい。14ページです。14ページの行政サービスデジタル化整備事業、第２款１項９目のほうです。ここに内容、実績が書かれていますが、コンビニエンスストア等で証明書を取得したという、その運用について出ていますけれども、市役所でそういう証明書を取ったりする中で、どのぐらいのパーセントがコンビニエンスストアで使用されているかということの資料というか、数字は出せますか。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　行政サービスデジタル化整備事業のコンビニでの証明書の交付の割合、窓口とか、コンビニとか、全体の中のコンビニでの交付割合ということでよろしいでしょうか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○企画部次長　ちょっと確認して……

○プリティ宮城ちえ 委員　できましたら、２～３年の推移。

○企画部次長　確認して提出いたします。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　同じところなのですけれども、その中で実績のFit&Gapの実施とか、ぴったりサービスと基幹系システムとの連携を目的とした申請管理システム環境の整備について、資料がもしいただけたらお願いします。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　昨年度実施しております、システム標準化に伴う現在のシステムとの調査の実施の状況等、オンラインサービスの概要が分かる資料を提出していきたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　よろしくお願いします。22ページになります。３款１項１目子どもの学習・生活支援事業になります。ここで事業内容ですばらしい実績が、合格率100％というのを達成しているのですけれども、その後の、高校へ進学した後の中退防止も尽力なさっているようですが、その数字ってつかんでいますか。高校中退防止をなさっていますけれども、ここ５年間の中退率というか、中退が減ってきているという。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　プリティ宮城ちえ委員の御質問ですけれども、子どもの学習・生活支援事業の中の中退防止に係る事業の内容の部分でございますけれども、事業で支援した生徒に関して、その後のアンケート調査で取っている部分があります。ただし、アンケートの中で回答をいただけなかったり、完全な形ではないのですけれども、把握した件数、そういったところは報告できますので、それを提出してまいります。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　お願いいたします。同じ22ページの３款１項１目の一時生活支援事業者に対する支援のほうですが、17世帯を対象に早期の自立支援を実施したということですけれども、令和２年、３年、

４年と、そういう家庭の数の推移と、そして自立を目指し支援した結果のデータでいただけるでしょうか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　成果説明書の同じく22ページの一時生活支援事業、左側の事業なのですけれども、各年度ごとに支援した世帯数ですね、その結果どうなったかというようなことの資料でよろしいでしょうか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○福祉担当次長　分かりました。それは３年ごとでよろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○福祉担当次長　提出していきます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　25ページの右側、３款２項１目のＤＶ・女性保護対策事業なのですけれども、ここで女性の相談件数とか、いろいろありますが、実際に窓口で受け付けて、そしてどのような支援をしたのか、それの２～３年の推移を教えていただけますか。

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　25ページの３款２項１目ＤＶ・女性保護対策事業なのですが、窓口のほうでどのような支援をしているのか、女性相談員のほうがどのような支援をしたのかという、記載できる範囲が限られてくるかもしれないので、内容を確認しながら提供したいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　あと、財政的な支援もあったなら、財政支援額も教えていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　財政的な支援というのは、一時避難が必要な時に避難できなかったときは、また違う費用がかかる場合があります。費用がかかるケースとかからないケースがあるのですが、それもちょっと確認しながら提供してまいります。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　すみません。30ページです。30ページの右側になります。３款２項３目児童健全育成巡回事業ですけれども、この事業内容、たくさんの子供たちが関わってきていると思いますが、この数を見たときに、例えば真志喜地区が462名で大謝名区56とか、嘉数ハイツ19とか、数のばらつきがすごく大きいです。その辺の、なぜそうなっているかの資料がありましたらお願いします。

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　30ページ、３款２項３目児童健全育成巡回事業でございます。この事業は、児童センターのない地区のほうに巡回する形で訪問している事業ですが、区によって巡回する時間が変更してくるかと思いますので、それも含めて提供していきたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　お願いします。次は、40ページの左側、７款１項２目、継続事業となっております、がんばる商店街活動支援なのですけれども、ここにあるのは、ＣＯＣＯふてぃーま商店街、いすのき通り会、Ｒｏｕｔｅ58通り会の３つの会のほうが出ているのですが、ここ５年間ぐらいの、どういう支援事業を受けて、どういうふうな成果が出ているのかという資料をいただけるでしょうか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。この事業につきまして、過去５年分の補助を支出した通り会が行ってまいりました内容など含めて資料を提出してまいります。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ありがとうございます。同じく40ページの７款１項２目宜野湾市特産品等販路拡大支援事業なのですが、特産品の開発、意欲の向上というのが大きな効果となっていますけれども、どのような特産品が、その事業の中で生まれてきたかを、やはり５年間の中で資料を出していただけたらありがたいです。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。宜野湾市特産品等販路拡大支援事業の中身につきまして、特産品として認定された商品の一覧を提出していきたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　お願いします。42ページです。42ページの７款１項３目のぎのわん美ら海クリーン活動支援事業です。この事業内容の実績のところで、サンゴの苗株植樹というのがあるのですが、これも継続事業になっているので、ここ何年か、サンゴの苗を植樹をして、これまで何株やって、そしてどのぐらい元気に育っているか、そのパーセント、数と、それとあと、もし写真とかがございましたら、一緒に資料として出していただきたいです。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　42ページ、７款１項３目ぎのわん美ら海クリーン活動支援事業の中のサンゴの苗100株植樹とありますが、それの過去行った実績と、また植樹の写真提出させていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ありがとうございます。すみません。ちょっと抜かしたので戻ります。38ページの６款３項２目漁業再生支援事業のところです。ここの事業内容と実績として２番です。養殖業の可能性について検討しているというところがあるのですけれども、どのような養殖業を検討してきて、その可能性が見出せたのかどうかという資料をいただけたらと思います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。漁業再生支援事業、こちら令和２年度から行っている事業になりますが、現在養殖の実験については、シラヒゲウニの養殖実験を行っているところでございます。この養殖の実験の状況という形でよろしいでしょうか。資料を提出してまいります。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　では、55ページです。55ページの右側になります。第10款１項３目の事業内容、実績、学習の定着が十分でない児童生徒に対して支援を行うという形であるのですけれども、いろいろなことを聞いて、その数が増えていないのかなと思うのですけれども、その学習困難児童の数の推移が、３年くらいの推移がありましたら。それと、支援員の数を、推移しているのかどうか、その辺りを知りたいです。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。こちらのほうは事業目的に記載のあるとおり、学習の定着に遅れがある児童生徒に対して小中学校、各１名の配置をしておりまして、ちょっとプリティ宮城ちえ委員は誤解があり、特別支援対象者の増加ではなくて、あくまでも学習の定着の遅れのある

児童生徒に対しての学習支援員を配置する、各校１名配置する事業となっておりますので、その対象者を把握してはございませんので、あくまでも遅れがある児童生徒に対して学習支援をサポートするような形で、事業内容のほうに書いてあるとおり、市内小中学校へ各１名の派遣をしているところでございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　では、その支援員というのは、各学校に１人は配置されているということですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。近年は、市内小中学校に各１名の配置をしてございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。最後です。すみません。57ページ、10款１項３目、ここにＡＬＴを配置しているというところですが、そこの市内小学校９校に、これも各学校に１人という体制で派遣されているのでしょうか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。英語教育推進事業のＡＬＴに関しては、市内小中学校にそれぞれ１名ずつ、またＪＴＥとして市内小学校に各１名の９名、合計22名を配置している事業でございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。ありがとうございます。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。すみません。ちょっと確認しましょうね。もう12時前になっているのですが、あと何名質疑するか、確認をしておこうかなと。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　では、上里広幸委員。

○上里広幸 委員　決算書の３ページ、収入について先ほどあったのですけれども、市税についてなのですけれども、収入未済額について資料いただきたいのですけれども、令和３年度の決算書と突き合わせて見ているのですけれども、令和３年度のものの収入未済額２億13万8,242円あるのです。令和４年度決算書にどのように反映されているのかというのをもう少し確認させていただきたくて資料請求をお願いいたします。令和３年度から過年度収入として調定を目指していると思うのですけれども、令和４年度決算、収入済額になったものと不納欠損になった額でいいですので、これは市税の中の市民税、固定資産税、計上してあるのですけれども、それについて資料を出していただきたいと思います。

もう一点、令和４年度において前年度から引き継いで、さらに令和４年度に引き続いて収入未済額についても資料で確認させていただきたいので、提出をお願いいたします。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　決算書３ページの市税の収入未済が発生している市民税、固定資産税、軽自動車税に係る収入済額、不納欠損額の関係ですね、分かるように資料、ちょっと原課と調整をして作成してまいりたいと思っております。

それとあとは、令和５年度にどのように未済とか、不納欠損が反映されているか……

○上里広幸 委員　反映されているかではなくて……

○総務部次長　移行されている金額……

○上里広幸 委員　未済額は調整して令和5年度に引き継がれていると思うのですけれども、これは継続して回収できないのかどうかというのが分かる額ですよね。中身をちょっと確認したい。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　調整して作成して提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　もう一点、同じ内容なのですけれども、収入の雑収入の中の、諸収入の中の６ページです。雑入のほうも同じように、６ページの諸収入の中の雑入があるのですけれども、こちらも本年度の収入未済額がありますので、先ほど同様、同じような資料をいただきたいのですけれども。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、上里委員の御質疑にお答えいたします。決算書６ページの21款諸収入、４項雑入についてですが、こちらも収入未済額についての資料を提出していきたいと思います。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　もう一点お願いします。監査委員からの審査意見書のほう、その中の25ページ、土木費について資料をお願いしたいと思います。監査意見書のほうを拝見しますと、執行率のほうが前年度74％で、今年度67％に。その数字については、監査意見書の中で説明されてはいるのですけれども、執行率の理由については載っていないので、数字しか載っていないので、その理由については集中審議のときにお伺いいたします。その中で不用額について資料をもらいたいのですけれども、決算書の232ページの８款２項２目の道路新設改良費の工事請負費が不用額になっています。監査意見書の中でもあるのですけれども、その内容が、どの事業で不用額が出ているのか分かる資料。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　お答えします。監査委員からの意見書25ページ、土木費ですね、資料を提出いたします。

決算書の232ページの02、03……

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　不用額の件なのですけれども、２項２目道路新設改良費の工事請負費、2,033万7,390円が不用額になっている。その事業で、不用となった事業はどの事業なのか分かる、この資料を見ても分かりませんから、それが分かる資料の提出をお願いします。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　道路新設改良費の事業ごとの資料を作成して提出いたします。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　資料で確認させてもらいたいのですけれども、監査意見書の26ページ、不用額の下です。翌年度繰越というふうにあるのですけれども、これは繰越明許ではなくて翌年度繰越、なぜかというと、決算書の区分の中に翌年度繰越という文字がないものですから、その辺ちょっと確認させてもらいたいのですけれども。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　令和５年度に繰越しでいくものなのですか。翌年度に、今年度事業を実施していないのですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　翌年度に繰り越した事業の内容について資料を提出いたします。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　決算書324ページ、予備費なのですけれども、令和４年度充当した事業、予備費から。が分かる、一覧でいただきたい。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上里委員の御質疑にお答えいたします。決算書324ページの予備費の資料についてなのですが、こちらはどの事業に予備費を充当したかというような形の資料ということで、どの事業に幾らをということでよろしいでしょうか。分かりました、この資料を提出していきたいと思います。

○上里広幸 委員　以上です。

○石川慶 委員長　午前も12時を回っていますので、残りは午後に回したいと思いますので、よろしくお願いいたします。

それでは、午前の会議はこれで終わり、午後は２時から会議を開きます。その間休憩いたします。（午前０時０６分）

◆午後の会議◆

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後２時００分）

これより午後の会議を進めてまいります。

午前に引き続き、認定第１号に対する質疑を許します。

その前に午前の答弁に修正がありますので、答弁修正からお願いしたいと思います。財政課長。

○財政課長　午前中、上地安之委員からございました、一時借入金の限度額についてなのですが、私のほうから60億円と答弁させていただいたところですが、誤りでございまして、正しくは70億円ということになります。70億円に訂正させていただきます。以上です。

○石川慶 委員長　よろしいですね。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　では、続きまして、午前のプリティ宮城ちえ委員の質問に対しまして、40ページ、特産品について、こちらのほうも修正の確認があるということですので、よろしくお願いいたします。産業政策課長。

○産業政策課長　成果説明書の40ページをお願いいたします。プリティ宮城ちえ委員から御質疑ありました宜野湾市特産品等販路拡大支援事業の件につきまして、確認させていただきたいと思います。

私のほうで特産品の一覧を提出いたしますとお答えしたのですけれども、この事業において特産品を認定しているものではございませんで、この事業に関しましては、県内外における出店する際の、出店料の補助を行っている事業となっておりますので、この事業によって補助を行った実績の一覧がよろしいのか。また、別ではありますが、特産品の一覧が要求されているのかというところで確認させていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　補助の一覧をお願いします。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　それでは、特産品等販路拡大支援事業で行いました実績の一覧という形で提出させていただきます。

○プリティ宮城ちえ 委員　お願いします。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　資料の確認について何点かございます。午前中、桃原委員より要求いただきました決算書８ページ、土木費、都市計画費の翌年度繰越額に関する資料でございますが、こちら我如古委員より繰越金一覧の資料要求がございましたので、この中に包含される形になりますので、我如古委員の資料をもって提出してよろしいでしょうか。

（「いいよ」という者あり）

○財政課長　もう一点でございます。上里委員より要求いただきました予備費の資料になりますけれども、こちらも上地委員より予備費の充用一覧の要求がございましたので、その予備費の充用一覧の中にそれぞれの予備費の充用先の事業を記載させていただくという形で提出してよろしいでしょうか。

（「よろしくお願いします」という者あり）

○財政課長　ありがとうございます。以上です。

○石川慶 委員長　それでは、質疑のある方は挙手にてお願いいたします。桃原功委員。

○桃原功 委員　お願いいたします。成果説明書のほうから資料の請求をお願いしたいと思います。最後の73ページ、特定健康診査受診率向上事業、鳴り物入りというか、キャンペーンでいろいろ特典をつけるよという事業ですけれども、これから見ると、この資料だけでは受診率の推移というのが分からないので、この事業が令和４年度事業で、令和３年度、令和２年度を含めた３年分ぐらいの受診率の推移が分かる資料の提供をお願いできますか。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　これは特会の事業になっておりますが、この委員会の中で資料提出したほうがいいのかどうか…。

○桃原功 委員　特会事業はわかるけれども、ここに資料として出てきたので、請求できるのかなと思ったのですけれども、これは予算に係ることで請求はできませんか。

○石川慶 委員長　日程に関わる内容だったら請求できるのですけれども、特会でやっているのだったら、別になるのではないかなと思います。

○桃原功 委員　もう福祉、保健、決算は終わったのですよね。

（「はい、終わりました」という者あり）

○桃原功 委員　ぜひこの受診率の推移というのを知りたいのですけれども、できないの。

○石川慶 委員長　個人的に担当課へ質問してもらえればと思います。よろしくお願いいたします。

○桃原功 委員　個人的に後で行きます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これは大事なことなので、70ページ、学校給食なのですけれども、今議会で沖縄県へ学校給

食費の助成の意見書を提出したのですけれども、事業として、ずっと継続事業で給食費の助成事業をしていますけれども、これは半額助成だったのかな、今、宜野湾市は。

それで、半額助成はしていて、給食費の納付率というのをぜひ知りたいのですけれども、その辺の数字って提出をお願いできますか。半額助成は半額助成で、それに伴って保護者の、保護者というか、給食費の支払いも生じていますけれども、この納付率はどうなっているのかというのをぜひ提出をお願いできますでしょうか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原委員の御質疑にお答えいたします。成果説明書70ページ、小学校給食費助成事業に係る徴収率、収納率というところで、私会計になっているものですから、ちょっと手元のほうにはないものですから、過去３年分の収納状況の資料ということでよろしいでしょうか。

○桃原功 委員　はい。

○指導部次長　その部分を確認して提出したいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　あと、午前中に上里委員から請求があったと思うのですけれども、審査意見書の資料から、21ページの土木費の執行率の指摘がありました。

（何事かいう者あり）

○桃原功 委員　ごめんなさい。25ページです。25ページの８款土木費で執行率が非常に下回っている、下がっている、令和３年度が74％で令和４年度が67％、それで繰越しが非常に多い、20億2,600万円。これは後ろの説明文を読めば理解はできると思うのですけれども、このように執行率が悪い要因と20億円もの繰越しをした原因が分かる資料の提出をお願いできますか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　担当課と確認しながら資料を提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ぜひお願いいたします。26ページに、この説明文が書かれているのですけれども、下段のほうに（補助）というのがありますよね。要は補助事業、例えばこの26ページの土木費に関する説明文で下段の２行、下から２行目と３行目のほうに宜野湾市西海岸地域音楽活性化等推進事業（補助）３億8,000万円及び３項３目街路事業費の３・４・71号普天間線整備事業、これも補助とあるのですけれども、こういうふうに繰り越しした影響で補助額に影響はあるのかないのかということもちょっと確認したいのですけれども、要は補助事業が繰り越ししたために補助が受けられなくなってしまっていないかという点が懸念されるところで、これはなければないでいいのですけれども、こういう補助費が変動もあるのかどうか、その辺が分かる資料の提供をぜひお願いいたします。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　担当に確認しながら提出してまいりたいと思います。

○桃原功 委員　よろしくお願いいたします。以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。知念秀明委員。

○知念秀明 委員　事業総括の成果説明書の８ページ、市民協働推進事業、これは令和４年度当初では地域コーディネーター養成講座となっていたのですが、今の説明になると、ＩＣＴを活用した地域課題解決策を学

ぶ講座に変更されているのです。その変更された理由、当初の事業の講座と違っているのです。その理由と、あと予算639万4,000円の当初予算が319万円になっていると思うのですけれども、その予算減になった理由も、これは資料でいいです。よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　担当課おりませんので、私のほうでお答えいたします。御質疑につきましては、市民協働推進事業の当初の予定ということで、御説明させていただいていた地域コーディネーター養成講座が内容変更になっているので、その理由と、当初予算600万円から減になっておる、執行した金額が319万円なので、その理由ということで、資料の提出、担当課のほうに確認しながら提出させていただきたいと思います。

○知念秀明 委員　以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。平安座武志委員。

○平安座武志 委員　では、資料を請求させてもらいます。成果説明書のほう、２ページの大山地区学習等共用施設改修事業、令和４年度終了しておりますけれども、一般財源671万円というのがあるのですけれども、その内訳、多分これは自治会負担分のほうの寄附金として一般財源として出されているのかなと思うのですが、この一般財源の中の自治会負担分がどれくらいだったのかというのが分かる資料を出していただきたいと思います。

すみません。この自治会負担分の負担金は、どこに表示されているのか。今ちょっとお答えできるのであればお答えしていただきたいのですけれども、探せないので、寄附金として自治会負担金は入っているのか。それを一般財源として出して、この671万円になっているのかというのを確認したいです。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　担当課がおりませんので、代わりにお答えいたします。大山地区学習等供用施設改修事業につきまして、まずは１点目で、一般財源の中に自治会負担金がどのように含まれているかというところですね。この資料でよろしいですか。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　資料でいいのですけれども、改修内容と工事内容と、あと自治会負担金が幾らだったのかというのが、まずは知りたい。あとは、防衛補助に、自分の記憶では市負担が50％、自治会負担が50％だったのかなという記憶なのですが、この負担率の割合も資料で配布していただきたいと思います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。この事業の内容と、その事業費の財源の内訳ということで、資料を提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　もう一点ですけれども、これは決算書の80ページの２款１項１目、自治会育成補助事業の中の事務所改修補助金というのが195万円出されているのですが、この補助金でどういった補修等が行われたのかを資料提供していただきたいのと、この自治会育成補助金の負担の割合もちょっと一緒に、この資料に載せていただければなと思います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。自治会育成補助金の中で事務所改修補助金、この補助金を活用した内容ですね、こちらのほうを提出させていただきたいと思います。また、その中には負担割合を含めてという

ことで、担当課と確認しながら提出させていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　よろしくお願いいたします。次の資料請求ですけれども、これは出せるのであればでいいのですが、成果説明書の10ページの西普天間住宅地区跡地利用推進事業、コリドー地区調査で、事業内容の中で、令和４年度に跡地利用基本計画を策定したというのがあるのですけれども、跡地利用計画というのは、これは出せるのかどうなのか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　成果説明書の10ページの西普天間住宅地区跡地利用推進事業、令和４年度素案のほうを作成してございますので、そちらのほうを資料として提出してまいります。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　よろしくお願いします。73ページの４款１項１目の見守り自動販売機委託事業について、ちょっと確認したいのですけれども、650万円余りの委託料という形で出ているのですが、この財源内訳がその他となっているのですけれども、その他の財源内訳をちょっと説明していただきたいなと思います。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　では、資料で、財源内訳が、その他というのが何の財源なのかというのと、資料でいただきたいのですけれども、現在の販売機の設置場所、公共施設に28基とかといろいろ書かれているわけですけれども、この設置場所が分かる資料と、これは令和２年度からやっているのですが、まだ６名しか、11名ですか、全体で。少ないなと思っているのですが、その辺の、これまでの実績と効果も併せて資料でいただきたいなと思います。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　休憩をお願いします。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後２時１７分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後２時１８分）

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　最後に、ちょっと道路事業でいただきたいのが、公共投資交付金を活用した事業、私が心配なのは真栄原11号のほうなのですけれども、うちの会派からも提案がありまして、我如古21号、伊佐１号のほうまで入れてもらって、あと公共投資交付金を活用した道路整備課がやっている事業の一覧というか、表をもらいたいのですけれども、当初予算額と県支出金ベースで何％、令和４年度支出されたのかというのが、前にも出してもらっているのですけれども、それが分かる資料、減額率が、この事業はどれくらい当初予算より減額されたかというのが分かる一覧みたいな表で出していただきたいのですけれども、これも伊佐１号、我如古21号、真栄原11号、あと道路はなくなっていましたよね、３・４・71号は。あと、比屋良川公園のほうまで一緒に入れて、ちょっと資料としていただきたいなと思うのですが。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　沖縄振興公共投資交付金の市の予算と、あと交付決定額をまとめて提出します。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

○平安座武志 委員　以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。上地安之委員。

○上地安之 委員　決算書の18ページ、市税の個人、法人、固定資産税の不納欠損額が出ていますね。それぞれの不納欠損をされた理由の概要、できましたら、向こう３年間の資料出していただけませんか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　上地委員の御質疑にお答えいたします。決算書18ページの市税の個人、法人、固定資産税に関する不納欠損額の理由ですね、まとめて資料として提出したいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、成果説明書10ページ、コリドー地区の跡地利用計画の策定業務、それの成果物、これも同じように分厚い冊子であれば概要版で結構ですから、資料いただけますか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　成果説明書10ページ西普天間住宅地区跡地利用推進事業（コリドー地区調査）、跡地利用基本計画の成果品ですけれども、担当課のほうに確認して、どのような形で提出できるか確認して提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　同じく10ページ、その左なのだけれども、幼稚園の運営事業積立金というのがあるのですけれども、それは防衛の９条交付金を積み立てる事業なのだけれども、それは基金があるの。その幼稚園運営事業積立基金というのがあるのですか。その積立額の、これも同じく向こう何年間の推移と、それと歳出、向こう３年間の歳出内容を出していただけますか。

○石川慶 委員長　企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　上地委員の御質疑にお答えいたします。成果説明書10ページの宜野湾市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立事業において、幼稚園運営事業としての積立基金があるかという、まず御質疑でございますが、基金の名称としましては、特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金ということで、幼稚園運営事業への積立てや、また消防の救助工作車購入事業の積立てなど使われております。過去３年分の基金の残高、また積立て取崩しの推移、また宛先、充当先を含めて提出してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　よろしくお願いします。それから、19ページ、宜野湾市地域公共交通推進事業、何回も会議を開催して、いろいろな課題等が載っておりますものですから、その会議の課題等の取りまとめをされた内容を資料として出していただけますか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　令和４年度の内容をまとめて提出してまいります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それと、午前中、少し確認したのだけれども、普通財産の貸付けに伴う、宜野湾市は条例を制定していますか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　条例ではなくて要綱で定めております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　その要綱を出していただけますか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　提出してまいります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　最後になりますけれども、22ページ、一時生活支援事業について少し確認させてください。これは生活困窮者自立支援制度に基づく事業だというふうに認識をしておりますけれども、その中の一つ、住居確保等があると思うのだけれども、それも同じく３年間の実績等を出していただけますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　上地委員の御質疑なのですけれども、確認をさせていただきたいのですが、３年間の実績ということですけれども、ここには令和４年度の事業内容、実績として17世帯、20名ということで、記載させていただいていますけれども、この実績でよろしいですか。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　午前中にプリティ宮城ちえ委員から同じように３年の実績がありましたので、その資料で含めてよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それは生活困窮に伴う制度を活用してね、宜野湾市は住居の確保等の事業を推進していると思うのですけれども、その補助制度に伴う、あるいはまた国の支援による事業というのも幾つかあると思うのだけれども、それ以外の事業というのは何がありますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　こちらのほうに記載させていただいている一時生活支援事業については、住居を失った方について、例えばドミトリーであったり、簡易宿泊所を提供しながら就労支援などして自立を促進する形ですけれども、それ以外の住居に関する住居の確保を目的とするものについては、同じ生活困窮者自立支援法の中にある居住確保の事業がございまして、それについては、必須事業ですので、ここには載っておりませんが、例えば失業等で賃貸をしているアパートの家賃が払えないと。そういった場合に、ある一定期間、この世帯の状況によって変わりますけれども、それを一定期間支援するというような事業でございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それ以外見えてこないから、少し確認をさせていただきたい。また、見落としているのかなとも思うから、ある意味、生活困窮に伴う制度を活用した、補助事業を活用した事業というのが、自分はそれしか見えなかったわけ。見えないわけ。それ以外にも幾つもあるのですよね、実は。それで、それ以外の事業があれば資料としてそれも出していただけませんか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　先ほど説明いたしましたが、成果説明書には載っておりませんけれども、決算書の136ページに、備考欄17番に住居確保給付金事業というのがございます。これについての説明ということでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　ほかにもこれしかないということなのかな。

○**石川慶 委員長**　福祉担当次長。

○**福祉担当次長**　今、直接住居の確保に関する支援、個人的な住宅に関する支援の事業については、これしかございません。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　後でまた後日、明日でも詳細に伺います。

○**石川慶 委員長**　福祉担当次長。

○**福祉担当次長**　提出いたします。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　先ほどは有価証券の資料お願いしましたけど、債権について総務部の説明があるのだけれども、全般に債権として、今市が保有しているものを出してもらいたいのですよ。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　上地委員の御質問にお答えいたします。債権についてですが、決算書330ページ、３番に債権の表がございまして、市民税特別徴収、市小口融資預託金、水洗便所改造等資金貸付金ということで、令和３年度末現在額、決算年度中増減額、令和４年度の決算年度末現在額ということで記載しております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　これの徴収の実績はあるのですか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　徴収の実績については、担当課へ確認させてください。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　資料として債権について、不納欠損処理されたのか、また、追いかけられたものについての徴収実績等が知りたいのですよ。それを資料としてお願いできますか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　それでは、決算書の330ページに記載しております債権についての徴収状況についての資料を提出してまいりたいと思います。

○**上地安之 委員**　以上です。

○**石川慶 委員長**　ほかに質疑のある方。知念秀明委員。

○**知念秀明 委員**　上地委員も質疑したと思うのですけれども、成果説明書の19ページ、決算書113ページなのですけれども、宜野湾市地域公共交通推進事業、これは当初の予算が309万3,000円、今回は637万8,000円になっております。当初の予算案では、令和４年度も309万円、令和５年度も同じ305万円、今回の成果説明書の中で637万円補正になっている。その理由と、あと今年度からなのですけれども、当初予算では、令和６年度は予定額がなかったのです。しかし、令和６年度に試験運行していくのかというイメージはしたのですけれども、令和６年度から令和７年度にまた1,000万円予算を予定しているので、今後のスケジュールを資料でいただけますか。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　成果説明書19ページの宜野湾市地域公共交通推進事業、今後のスケジュールについて提出してまいります。

○石川慶 委員長　知念秀明委員。

○知念秀明 委員　お願いします。もう一点なのですけれども、成果説明書の９ページ、予算書100ページなのですけれども、これも上地委員が質問したのですけれども、重複したらすみません。この中に必要となる地域計画の素案を策定してとあります。この素案は策定しているのか。それと、この素案を提出することは可能なのかどうか、お聞きします。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　知念委員御質疑の西海岸地域開発事業につきまして、地区計画の素案につきましては、平成31年度に素案を策定してございます。今回は基本構想図の作成をメインとしてやっているのですが、その平成31年度のものの資料ということでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　知念秀明委員。

○知念秀明 委員　この成果説明書の中にある、必要となる地区計画の素案を策定しと、ここに書いてあるのですけれども、これは平成31年につくられたのですか、素案は。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　ちょっと勘違いするような書き方で申し訳ございません。これは以前に素案は策定されております。ちょっと表現が誤解を与えるような書き方で申し訳ございません。

○石川慶 委員長　知念秀明委員。

○知念秀明 委員　今回の事業で、予算で、もう一度、何をしたか。そういったものも資料として下さい。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　資料のほうを提出させていただきます。

○知念秀明 委員　以上です。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　重複すると思うのですが、せっかくなので、成果説明書の22ページ、先ほど上地委員のほうから一時生活支援事業の内容がありましたが、決算書136ページの説明、備考欄17の住居確保給付金、たしかこれは３か月の支援で最大６か月までの支援だったと思うのですけれども、この住居確保と、一時のちょっと内容が、何が違うのかなというのが知りたいので、この22ページの説明、一時生活支援事業と改めて予算書136ページの17の住居確保給付事業の、その事業の要綱ですか、対象者がどのような人で、幾らぐらい、それを例えば最大どのくらいの期間支援するというのが分かるような資料をいただきたいです。いかがですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　成果説明書22ページ、左側の一時生活支援事業と、あとは決算書136ページの備考欄17の住居確保給付金の違いをお知りになりたいということですので、それを並べて、概要を並べての説明でよろしいかどうか。

○宮城克 委員　はい、いいです。

○福祉担当次長　分かりました。提出いたします。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　では続いて、説明書24、25ページでいきます。24ページの医療的ケア児等支援事業、事業の内容、実績というところで、担当相談支援員を配置した。医療的ケア児等の実態調査業務委託を行った。予算が617万円に対して委託265万円をかけて実態調査を行った。どのような実態調査を行ったのか、その成果

をいただきたいと思います。いかがでしょうか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　成果説明書24ページ、右側の医療的ケア児等支援事業の医療的ケア児等実態調査業務の成果品について提供してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　では、次の25ページのＤＶ・女性保護対策事業の中で、これも事業内容と実績の中で、自立支援関係機関等で連絡調整を行った。動きなどを把握、何かあまりざっくりこないなと。どのような、委託して、いろいろ連携を取ったとかあるのですけれども、その実績というのですか、この内容が把握できるようなものをちょっといただきたいのですけれども、これは提出できますか。

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　25ページの３款２項１目ＤＶ・女性保護対策事業なのですが、午前中のプリティ宮城ちえ委員から窓口でどのような支援をしたかということで資料要求がございましたが、そういった形のもので大丈夫でしょうか。

○宮城克 委員　はい。

○こども政策担当次長　提出いたします。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　すみません。ちょっと再確認なのですけれども、今どのような支援をしたかという成果報告なのですけれども、例えばこの説明の、説明内容の、例えば１行目に助言とか、指導とかあります。２行目に相談件数、多分これに該当すると思うのです。ただ、１行目と３行目、自立支援に向けた関係機関との連絡調整とあるのですけれども、関係機関というのは、どこのことを指しているのか。そして、どのような連絡調整をしたのかというのを知りたいのです。それもお願いします。

　そして、３行目の全国婦人相談員連絡協議会へ加入、全国の動きなどを把握とあるのですけれども、どのような動きを把握しているのか、それも含めて提出いただけますか。こんなことをしただけではなくて、その内容までです。

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　分かりました。資料のほうを提出いたします。

○宮城克 委員　あと１点、お願いします。成果説明書の56ページ、10款１項３目、左上です。特別支援教育支援員派遣事業、これも医療的ケア児などに該当する内容にはなるのですけれども、この事業の内容、実績の中で、看護師を配置し、適切な支援を行ったというふうにあるのですが、要するに事業継続というのが、実際に次年度も続けられていくのかなと。

　というのは、医療的ケア児という存在が、看護師の配置がなければ、いわゆる通常の公立の学校に通えないということになりますので、その辺を含めて、例えば配置した事業内容、実績、そういったものの成果というのはあるのかなと。去年からなので、実際まだ年度を終えていないので、どうなのかと思うのですけれども、無理だったらいいです。ただ、この事業に対して、また多分次年度の新規の申込みとか、今実際にあるのかなと。決算なので、果たして該当するか分からないのですけれども、その辺いかがでしょうか。質問がちょっと分かりづらかったら返してください。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　宮城克委員の質疑にお答えさせていただきます。成果説明書の56ページ、左側、特別支援教育支援員派遣事業における事業内容について、下段から２つ目、医療的ケア児が市立幼小中学校の幼児、児童生徒とともに教育を受けられるよう看護師を配置し、適正な支援を行ったことに対する状況が分かる資料を提出して、また内容等どのような内容だったかというのを記載して提出したいと思います。

○宮城克 委員　ありがとうございます。それでよろしくお願いします。以上です。

○石川慶 委員長　ほかの質疑のある方。桃原功委員。

○桃原功 委員　成果説明書から資料の請求をお願いします。６ページ、２款１項６目普天間飛行場周辺放送受信障害対策事業、これは今年度までの継続事業なのですけれども、令和３年度の実績として囲み書きの事業内容の中なのですけれども、文言の中に、記述の中に令和３年度繰越しの実績としては、対策工事その２、160件、対策工事その３、607件ってあるのですけれども、こういったものが分かる資料の提供ってお願いできますか。これは対策工事その２というのは、私も、コンターは、例えば北側と南側にあるけれども、この受信対策事業というのは、コンター外の、例えば東側の方々とか、西側の方々もテレビが見られないというのは出ていると聞いているので、この区分けその２というのはどういうことですか、その３とかというのは。ということは、その１もあるわけですよね、ここには書いてないけれども。どういう区分けされているのか、ちょっとお答えできますか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　成果説明書の６ページの右の普天間飛行場周辺放送受信障害対策事業でございますが、令和２年からの事業ですが、その２とか、その３については、その業務を行った期間の違いでございます。ただいま委員が申されました資料の要求ということで、それぞれの工事の内容であったり、件数であったりというものの資料ということでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、その２の中にも北側の野嵩、普天間とか、南側の真栄原、嘉数とかも、その２に入ってくる、その３にもまた北側、南側も入っているということですか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　この対策事業につきましては、騒音のコンターとは、ちょっと別でございまして、市内一円から、そういった飛行機が飛ぶと受信障害があるのだという苦情がありまして、なので、まずはそのお宅の、申告をされた方のお宅の家屋調査……

○桃原功 委員　何調査。

○基地政策部次長　家屋調査です。この受信設備が正常なのかどうなのかという、まずは調査をさせていただきまして、受信設備に特に問題がない場合は、申告を受け止めて対策工事に入っていくような流れでございます。なので、その２とか、その３は、地区で分けられているかというと、そうではなくて、その期間中に申告があった方々のものということで、御理解いただきたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、この事業は、この事業のことを知っている市民のみが、例えば基地政策部に連絡して、ちょっと画像が悪くてテレビが見られないという苦情をして、初めて受け付けをして、そこを調査されて、今おっしゃった環境とか見て工事するわけですよね。画像は見られないけれども、この事業を知らないと、では要求もできないですよね。この事業のことを知らないと。多分前にも私聞いたと思うのですけ

れども、市報とか、ホームページには載っているけれども、やはり高齢者などホームページを見られない環境の人は、市報だより、市報も見逃してしまったら、毎月載っていたらいいけれども、毎月載っていないかもしれないし、そうすると、これを知らないという市民もいらっしゃるかもしれないし、それは推測でしかないけれども、これは令和５年度までという事業で、ある程度見られない方々に対しての施策というのは、事業完遂というのは、もうこれで令和５年度で終わっていくの。それとも時宜を見て、また令和５年度過ぎても見られないということであれば防衛と調整もしていくのですか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　国の補助金を活用しての事業となっておりまして、ただいまの令和５年度分までは予算の活用がされております。令和６年度以降については、またそのような苦情の状況を見ながら、また防衛のほうとも調整してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、この事業のその２、160件、その３、607件、その１というのもあるわけですよね。要は、これは対策工事をした件数だと思うのですけれども、書いてあるから。これの資料っていただけませんか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　その２とその３の工事の内訳とか、時期とか、そういったものの資料提出してまいります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　お願いいたします。次は、36ページをお願いします。西普天間住宅地区内の公営墓地整備事業なのですけれども、これは平成28年から令和７年度までの長期にわたる継続事業なのですけれども、事業の目的の文面の中に令和４年度までに934基が、もうできているのかな。令和14年度までに1,926基という宜野湾市墓地基本計画に基づいて墓地需要量に応えていくことを目的とするということは、できてはいないのか。この数字を目標に令和４年までにということは、令和４年度事業として、これは934基移転というか、お墓はできているのですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　桃原委員の御質疑にお答えします。事業の目的中に令和４年度までに934基、令和14年までに1,926基というふうに数字を打たせていただいているのですが、これはあくまでも宜野湾市墓地基本計画、これは以前策定をさせていただいた計画がございます。その中で記載させていただいている計画中の目標基数になっておりますので、御存じのとおり、まだ西普天間地内に整備中ですので、実際の基数としては、まだ達成できておりません。

○桃原功 委員　ゼロ。

○環境対策課長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　今は令和５年10月、令和４年までに934基、目標、計画の中では、こうやって唱えてはいるけれども、できていないということは、しっかり審査は私たちも必要だとは思っているのですけれども、事業内容という四角い枠の表の中の文面に、発掘調査報告書の刊行を実施したとあるのですけれども、刊行ということは、これは調査報告書は出来上がっているのですか。出来上がっていたら、これって見せていただ

くこと、資料として請求もできるのでしょうか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　桃原委員の御質疑にお答えいたします。事業内容中の埋蔵文化財発掘調査報告書の刊行ということで、その調査報告書ということですが、公営墓地の予定地内の発掘調査というものも、この事業の中で進めております。昨年度、令和４年度については、過去に実施した文化財発掘調査の内容を基礎的にまとめるという作業を昨年度行っておりまして、文化課さんの協力をいただいているところもありますので、概要版として提供できる資料がある場合については、ちょっと確認をさせていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、報告書の概要版があるかもしれない。これは委託先のほうが作成したのですか。委託料1,000万円のところがあるけれども、皆さんが作成したというよりも、委託先が、これは作ったのですか、この報告書は。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　文化財の発掘調査の内容については、発掘自体は委託なのですが、その書籍をまとめる作業については、文化課の職員等を中心に整理をした上で、印刷製本という形で書籍にはまとめさせていただいておりますので、文化課のほうで作成しています報告書でよければ、提供は可能と考えていますが、ちょっとそこは一旦確認をさせていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。では、もし概要版でも見せていただけるのでしたらお願いします。

　この事業目的のほうにある、計画として令和４年までに934基、令和14年までに1,926基とあるので、これはそういう計画書の資料っていただけますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　説明資料中に記載させていただいている、宜野湾市墓地基本計画の資料ということでよければ提供可能です。その934基、あるいは1,926基という計画に関しての基となっている資料のほうは提出させていただきます。

○桃原功 委員　お願いいたします。以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。平安座武志委員。

○平安座武志 委員　すみません。さっき確認するのを忘れたので、成果説明書の11ページ、プリティ宮城委員がふるさと応援の資料を請求しておりましたけれども、返礼品の種類と、あと寄附額の推移の２点だったのかなと、それで間違いないですか。それであれば、この寄附額の推移と一緒に返礼品でお金使うではないですか、その金額の推移というのも一緒に出せるかなということで。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　平安座委員の御質疑のふるさと応援寄附の返礼品の種類にプラスして調達費用も含めて資料提供していきたいと思います。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　ありがとうございます。ちょっとこの見方を教えてほしいのですけれども、この事業の委託料で3,000万円余りの決算額が出ているのですけれども、この委託料が返礼品の金額と認識していいのですか。寄附額が5,587万3,000円となっているのですけれども、この委託料が、この返戻品の金額とするなら

ば、その差し引いた部分が実際のプラスになったというのですか、ものと考えていいのかどうか、ちょっと教えていただきたいなと思います。

○石川慶 委員長　企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　ただいまの平安座委員の御質疑に対してお答えいたします。成果説明書11ページの宜野湾市ふるさと応援寄附推進事業の委託料の件でございますけれども、この委託料については、平安座委員から御質疑がありましたとおり、返礼品の調達費用もこの中に含まれております。また、この委託業者のほうにも新たな返礼品の開発であるとか、あと寄附者への対応、それから返礼品の送付、そういった業務もまとめて委託させていただいておりますので、返礼品の調達も含む委託料ということで、御理解お願いしたいと思います。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　分かりました。先ほどの委託料の推移というのも一緒につけて資料の提供をいただければなと思います。よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　２点だけです。成果説明書の２ページですけれども、新城地区学習等供用施設建設事業についてさっぱり概要が分からないものですから、例えば面積とか、建物内の区域割りとか分かる資料をいただけないでしょうか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　すみません。ちょっと確認させてください。２ページ目の新城地区学習等供用施設建設事業の中で工事内容でしたよね。

○我如古盛英 委員　そうです。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　工事内容と図面等ですね、分かるのがあればお願いします。

それともう一つ、先ほど自治会の負担金額も恐らくあったと思うのですけれども、そういったものも分かればありがたいのですけれども。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　工事内容と図面とおっしゃいますのは、見取り図といいますか、そういったものかなと思っておりますので、担当課のほうにそちらのほうの確認と事業費の内訳でよろしいでしょうか。

○我如古盛英 委員　はい。

○産業政策課長　負担金なども含めた事業費の内訳、それも含めて資料が提出できるものを確認して提出させていただきます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　あと１点は35ページ、宜野湾市の地球温暖化対策実行計画推進事業というのがあって、継続事業ということで、令和４年度は受講生が285名ということなのですけれども、これは継続事業ですから、恐らく令和２年、令和３年もやったと思うのですけれども、遡っての人数と、それから温暖化防止のための普及啓発ですから、どういった事業、あるいは後援内容とかあれば、わかりやすい資料をいただきたいと思います。

それから、これから2050年に向けてカーボンニュートラルということで、本当に真剣に取り組んでいかな

いと、その目標が達成できるかどうか分からないですから、これからの計画等もあれば、それも含めて資料として提出していただきたいです。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　我如古委員の御質疑にお答えします。１点目、どういった普及啓発活動をやったかという内容と環境学習講座、これの内容と実績、あと今後の計画をいただきたいということで、これは過去３年ということで、２、３、４という形で提出させていただいてよろしいでしょうか。

○我如古盛英 委員　はい。

○環境対策課長　資料を提出します。

○我如古盛英 委員　以上です。

○石川慶 委員長　皆さん、どうですか。ほかに質疑ありますか。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　プリティ宮城委員、その前にちょっと。ほかに質疑のある方いますか、最後になるかな。では、そのまま進めていきましょうね。プリティ宮城委員、最後みたいですので。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　１つです。決算に関わる主要施策成果説明書の47ページ、８款３項４目、右側の継続事業の大山地区土地区画整理事業なのですが、事業の内容、実績で、地権者意向調査、まちづくり勉強会及び基礎資料の整理・とりまとめを実施し、事業進捗に向けた課題を整理したとあるのですけれども、その資料を、最新のものを提供できるでしょうか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　成果説明書47ページ、大山地区土地区画整理事業の資料を提出いたします。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　皆さん、よろしいですよね、資料請求のほうは。大丈夫ですね。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　それでは、審査中の認定第１号については質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○石川慶 委員長　御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後３時０１分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後３時０７分）

○石川慶 委員長　本日の会議はこの程度にとどめ、次の委員会は明日の午前10時から会議を開きます。本日はこれにて散会いたします。皆様、御苦労さまでした。

（散会時刻　午後３時０７分）

総務常任委員会会議録

○開催年月日　　令和５年１０月１１日（水）　２日目

午前１０時００分　開議
午後　４時２５分　閉会

○場　　所　　第３常任委員会室

○出席委員（10 名）

委員長	石川　慶		副委員長	知念　秀明
委員	宮城　克		委員	平安座　武志
委員	桃原　功		委員	伊波　一男
委員	プリティ宮城ちえ		委員	我如古　盛英
委員	上里　広幸		委員	上地　安之

○欠席委員（０名）

○説明員（36 名）

総務部次長	多和田　眞満	税務課長	普天間　朝彦
納税課長	津島　美智子	人事課長	上地　章弘
防災危機管理室長	本永　貴也	企画部次長	伊佐　真
企画政策担当主幹	小橋川　陽介	企画政策担当技幹	玉元　智
企画政策担当技査	平良　乾	財政課長	比嘉　隼也
秘書広報課長	吉村　純	行政経営室長	金城　美千代
デジタル推進課長	金城　広郁	市民経済部次長	新垣　育子
市民協働課長	喜友名　和佳子	市民課長	宮良　弘美
建築課長	普天間　朝信	基地政策部次長	津波古良幸
基地渉外課長	宮城　竜次	基地跡地推進課長	仲泊　嗣典
福祉担当次長	島袋　喜美恵	こども政策担当次長	浜里　郁子
障がい福祉課長	島袋　尚	保護課長	比嘉　洋
児童家庭課長	玉代勢　桂	児童家庭担当主幹	棚原　佳乃
子育て支援課長	山城　隼人	認定こども園担当主幹	又吉　時生
健康推進部次長	米須　之訓	介護長寿担当主幹	志良堂　孝
国民健康保険課長	香月　直子	健康増進課長	山口　久美子
コロナ対策担当主幹	池原　史真子	環境対策課長	當間　大和
清掃指導係長	宮平　真碁	環境指導係長	赤嶺　雄斗

○議会事務局職員出席者　大城　拓也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

認定第１号　令和５年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

閉会中（総務常任委員会）

令和５年１０月１１日（水）第２日目

○石川慶 委員長　それでは、ただいまから総務常任委員会の第２日目の会議を開きます。

これより議事に入ります。

（開議時刻　午前１０時００分）

【議題】

認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

○石川慶 委員長　継続審査となっております認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

款ごとの審査になりますので、まずは２款総務費から審査を行ってまいります。

税関係等の歳入、財産に関する調書についても、この時間で質疑をお願いいたします。

それでは、本件に対する質疑を許します。桃原功委員。

○桃原功 委員　おはようございます。資料の提出、ありがとうございました。資料番号が６、（１）、（２）、（３）って書いてある収入未済額についてお尋ねしたいのですけれども、これは委員長、資料の款が15款なのですけれども、歳入であれば、これはできますか。

○石川慶 委員長　資料番号は。

○桃原功 委員　資料番号の６番の３番の都計費。

（「てぃーちがーの」という者あり）

○桃原功 委員　はい。

○石川慶 委員長　これは、てぃーちがーだったら都計ではないですかね。

○桃原功 委員　都計課は、今はいないのか。

○石川慶 委員長　はい。

（「明日です」という者あり）

○石川慶 委員長　明日でお願いしましょうね。

○桃原功 委員　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。では、昨日お尋ねした、成果説明書の６ページの地デジ事業なのですけれども、これは資料は出ていますか。資料番号、何番でしょうか。ごめんなさい。

（「56番になります」という者あり）

○桃原功 委員　56、ちょっと待ってください。55、57となっているけれども、56は出ていますか。

○石川慶 委員長　56が、何かちょっと見当たらないのですけれども、ありますか、皆さん。

（「地デジあるよ」という者あり）

○桃原功 委員　55、57となっている。

（「私もない」という者あり）

○桃原功 委員　では、ごめんなさい。あるものからしましょうね。

○**石川慶 委員長**　よろしくお願いします。

○**桃原功 委員**　成果説明書の８ページのまちづくり事業、普天間飛行場周辺まちづくり事業、これは特に資料請求していなかったのですけれども、資料は出ていませんよね。

（「何ページ」という者あり）

○**桃原功 委員**　８ページ、普天間飛行場周辺まちづくり事業なのですけれども、この中で用地買収、令和４年度分の事業で、真栄原地区と普天間地区の用地買収が記載されていますけれども、用地買収の進捗率が、ちょっと記載されていないので、それをお尋ねします。担当はいらっしゃいますか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。契約ベースでございますが、普天間地区において用地買収の進捗率は77.4%、真栄原地区において33.6%、合わせて50.6%となっております。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　令和８年度までの事業計画ですけれども、真栄原地区で33%ということは、計画では、やはりまだ遅いという状態なのか。それとも計画どおりなのか、その辺はいかがですか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。現在真栄原地区におきましては、若干遅れぎみになっております。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　真栄原地区が遅れている原因は何ですか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。やはり相手があることでございまして、用地買収に、相続関係ですね、そういったもので、若干遅れているということでございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　普天間地区は、国道と県道に面しているので、誰もが目について、進捗というのは見えるのですけれども、あそこの陸橋の問題というのはどのような進捗なのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。ただいま国道と調整を図っている段階ではありますが、やはり国土交通省のほうからは、普天間高校、あるいは地元自治会の御意見をちゃんと確認しなさいということで、近々普天間三区、あるいは普天間一区の自治会と面談をして、さらに普天間高校のほうと面談をして最終的にやっていきたいと考えております。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　もうこれは大分前からその状態というのは市民というか、私たち議員も認識しているのですけれども、何回か協議はされたのですか、自治会、普天間高校を含めて。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　昨年、自治会のほうと協議をしています。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　地域住民の声というのは、どういう声が多いのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。やはり買物等に不便を来す可能性があるということをお聞きして

おります。陸橋を外すことによってですね。ただ、陸橋が、まだバリアフリーではないので、そういったところも含めて、ちょっと調整をしているという段階でございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。用地買収が普天間地区で77.4％ということで、これは当初の計画どおり中央通りの普天間高校側も大分建物も用地買収されてなくなってきていますけれども、その部分というのは、当初の計画どおり進んでいますか。

○石川慶 委員長　企画政策担当技幹。

○企画政策担当技幹　お答えいたします。やはり相続とか、そういったもので、相続がちゃんとできていなかったりとかというところもありましたので、若干遅れぎみにはなっています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　技幹も普天間の状況は、よく認識していると思うのですけれども、国道330号のあの通りが、建物がなくなって、建物がなくなってくると、ほかの店舗も、前からシャッターが下りている店が多いのですけれども、その通りが非常に暗くなってきていて、要は建物もないので、明るくないですよね。

もう一方、本町通りと県道81号線を結ぶ市道の用地買収で、そこも非常に今暗いのです。だから、普天間全体が非常に暗くなっているので、用地買収という部分で非常に時間がかかる面はあるのは理解していますけれども、早めに復活できるように進めていってほしいなと思っていますけれども、計画だと、令和８年ということを考えると、それまでずっと暗い状態というふうに考えると、どうにか早く進めてほしいなと思うのですけれども、その辺は一緒ですよね、意識は。

○石川慶 委員長　企画政策担当技幹。

○企画政策担当技幹　なるべく早めに事業が進捗できるように努力していきたいと考えております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　よろしくお願いいたします。続いて、成果説明書の10ページ、コリドー地区の進捗なのですけれども、西普天間住宅地区内のコリドー地区の調査、これは予算は国からの1,400万円、歳入があって、歳出はほぼ委託料なのですけれども、このコリドー地区の進捗状況、これは事業計画は平成28年からということで、後ろが記されていないのですけれども、いつまでの予定でしたか。そして、進捗状況をお尋ねします。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　成果説明書10ページの右側、コリドー地区の調査の件ですけれども、平成28年度からの事業となっておりまして、当初平成25年４月に示された統合計画においてキャンプ瑞慶覧の返還時期は令和６年度、またはその後というものが示されてございましたので、そのスケジュール感で跡地利用計画の策定に向けて取り組んできたものです。

令和４年度は、計画の素案のほうを策定して、これからまた策定に向けて進めていく計画となっております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　記載されている委託料1,700万円は、これは跡地利用基本計画素案の代金ということですか。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　これは素案の状況となっておりまして、これから計画の策定に向けて取り組んでいくところでございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると、資料要求しても、素案の段階だと、まだ皆さんのほうは提出できる段階ではないのですか。それとも提出できますか。

○**石川慶 委員長**　基地政策部次長。

○**基地政策部次長**　昨日、平安座委員と上地委員のほうからも成果物とか、素案の資料請求ございましたので、資料のほうを提出してございます。資料番号が60番と61番のほうにインダストリアルコリドー地区に係る跡地利用計画検討調査業務委託の報告書の抜粋を提出してございます。その中にございます。

○**桃原功 委員**　付箋紙が貼ってあるやつ。

○**基地政策部次長**　そうです。付箋紙が貼られているところが素案のほうになってございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　ちょっとまだ精査できていないので、精査してから、またお尋ねします。ありがとうございます。以上です。

○**石川慶 委員長**　ほかに質疑のある方。我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　決算のときのラスパイレス指数について資料をいただきましたけれども、資料番号43番です。平成30年から出ているのですけれども、他市との比較ということで、宜野湾市は11市の中で、なかなか上のほうに行っていないのですけれども、これについて……

（「決算とちょっと違う」という者あり）

○**石川慶 委員長**　休憩いたします。（午前１０時２５分）

○**石川慶 委員長**　再開いたします。（午前１０時２６分）

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　表について、なかなか載っていないということで、これは市の職員のやる気を持たせるか、あるいはどういった見方で進めるのかということが出てくると思うのですけれども、できたら常時ラスパイレス指数というのが、ある程度目標があると思うのですけれども、それについては、何か考え方というのはないですか。そのままの状態でいいということですか。

○**石川慶 委員長**　人事課長。

○**人事課長**　ラスパイレス指数は、国家公務員の職員構成と地方自治体の職員構成を同一とみなして、学歴とあと職務経験年数とかと比較して、月額給料と比較して、国家公務員の給与を100とした場合、数字を指数で表したというのがラスパイレス指数です。

基本的に国家公務員と地方自治体も給料表は同一ですので、一概にちょっと何が要因というのは、ちょっと把握していないというか、確認できていないのですけれども、国のほうは役職がやはり多くて、ポストが、そういったポストに昇格といいますか、昇任するとか、そういったタイミングも、ちょっと一つの要因にはなったりするのかなと考えておりまして、委員おっしゃるように特段目標値をどのポイントにするとかというのは、特に定めてはいないのですけれども、他市の状況とかも、ちょっと細かく分析もできていない状況ではあるのですけれども、資料にあるとおり５年間載せてありますけれども、下位のほうにはあると思います。

担当とも、ちょっと今日の朝も話したのですけれども、これといった要因がつかめていなくて、初任給計算するときのスタート時点のときにも学校卒業、職務経験年数とか、そういったところもカウントするのですけれども、そこの差だったり、先ほども申し上げました、昇任、昇格のタイミングとか違ったりするのも一つの要因なのかなと考えております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　そういったラスパイレス指数の算出に関して､そういったものが出てきてはいるということなのですけれども、もしかして、この数字から見ると、やはり他市に比べて、中から下に宜野湾市の職員の給与水準というのがあるということは、これはやはり例えば宜野湾市の職員を目指して、職員採用試験に応募しようという人とか、あるいは魅力を感じて公務員になろうというのに何か意をそぐようなことではないのかなと。やはり昨年から資料等を見ているのですけれども、途中の退職者も出ているわけですし、これは全体的な給与の水準を上げるということは、今ここに至って、国全体で給与を押し上げていこうという考え方の基にやっていくと、なかなか95.2%、そのときに少しやっていますけれども、このラスパイレス指数というのが、おおむねどこら辺が良好な職員の給与水準だということを当局は御存じですか、知らない、目標にも置いていないですか。良好な水準というのでしょうか、平均的な水準、目標というのでしょうか。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員、決算に対する質疑をお願いします。

○我如古盛英 委員　はい、これだけ。

○石川慶 委員長　人事課長。

○人事課長　良好な水準がどの位置にあるのか、100に対して100がいいのか。国としては、国家公務員よりも上昇することがないようにというような指導がありまして、毎年こういったラスの指数がどのくらいあるのかという調査はあります。なので、基本的には、これを超えることがないようにというところが一定の基準なのかなというふうには見ております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　この件に関して資料として令和４年度の職員の退職者数とか、採用数とか、細かい資料は、手元にはないのですけれども、やはり97か、98ですか、国の給与水準に対して。そういうのが理想的な水準で、職員の職場での働く意欲も出てくるのではないかなということが言われていると思うのですけれども、それでいったら近づけるような方策というのでしょうか、これはすぐにはできないかもしれないですけれども、しかしこういった11市の中で……

○石川慶 委員長　我如古盛英委員、質疑をお願いします。

○我如古盛英 委員　私は、あれだと思いますので、以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。上地安之委員。

○上地安之 委員　非常に重要な質疑内容だと思います。歳出の２款から４款、そして関連する歳入が質疑できるということですけれども、昨日資料要求しましたね。未済額、不用額、もうこれで質疑していきたいと思っているのだけれども、なかなか歳出から、事業に対して入ることは可能なのだけれども、例えば今のような決算カードの一部、ラスパイレス指数の、例えば歳出の２款から４款と言われたら、入り口がないわけよ。だから、非常に重要なのですよ。後ほど要求した資料の不納欠損、未済額等に入ろうとしてもなかなか歳出２款から４款の事業からして入るのが困難なところがあるわけ。だから、その進め方、非常に重要な話だと思うわけ。

○**石川慶 委員長**　休憩いたします。（午前１０時３２分）

○**石川慶 委員長**　再開いたします。（午前１０時３３分）

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　我如古盛英委員からありましたラスパイレスに少し触れさせてもらいましょうね。よろしいですか。国の給与を基準とした地方公共団体の給与の、それが一つのラスパイレス指数となっておりますね。そうですよね。95.2%、それはかなり努力されていますよ。努力されている。

というのは、100を超える地方公共団体も多々あるのですよ、多々ある。その中でも公務員の給与が下回っている。これは努力されている。しかも、類似団体と比較しても、かなり努力されている。要するに95%のラスパイレス指数というのは、類似団体と比較しても全く驚かない。それからすると、何が必要かというと、それは皆さんの時間外勤務の縮減、そして定員適正化計画に大きく関係してくるわけ。それを頭に入れて、まだまだ職員の処遇を改善してもいいのではないかなと思う。それはいかがですか。

類似団体と比較しても、かなりいい数字なのですよ。つまり、負担しているわけ。それは答弁はいいですけれども、決して標準の類似団体と比較しても、よく頑張っている、この数字でよく頑張っている。少ない職員数、少ない給料で頑張っているというのは如実に現れているわけ。それは我如古委員もそれを言いたかったのではないかと思いますが、ぜひともそれを参考にして、今後の処遇についても検討してください。よろしくお願いします。

追加説明資料の２ページ、すみません。９ページです。資料番号の何番になりますか。ごめんなさい。西海岸地域開発事業の業務委託費。

（「25番」という者あり）

○**上地安之 委員**　その事業の内容をもう一度説明いただきたい。今後の整備事業計画に生かす基本計画づくりをやられたと思うのだけれども、その内容を少し説明いただけませんか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。今回の令和４年度の西海岸地域開発事業でございますが、内容につきましては、平成31年度に作成した地区計画の素案でございますが、この素案を見直しするに当たりまして、仮設避難港地区計画関連資料作成業務を行っております。資料のほうに報告書の抜粋と、あと今回西海岸で本市の事業を行っている内容をまず一覧で、一目で分かるように資料を作成しているところでございます。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　計画に基づいて今後どうしていくのですか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　まず、宜野湾市の西海岸地域におきましては、県の21世紀ビジョンの中でも世界水準の都市型オーシャンフロントリゾートの形成を目指すということで記載されておりまして、仮設避難港についても、それに合った施設等の誘致を考えております。観光リゾート拠点の創出ということを念頭に考えております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　仮設避難港の利用計画というお話なのだけれども、無地番がありますね、無地番の扱いはどのように進めていったらよろしいですか。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　それは仮設避難港の整備計画ですか。それともここに国有地が存在して、今県のほうで管理をされていますよね。その無地番と言われている、その土地の部分も一体的な整備計画で進める予定なのですか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。基本的には、この国有地の処分を今検討しておりまして、地区計画を策定して、２段階競争入札、指名競争入札ということで、今処分をしようということで考えております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　処分ではなくて、それを取得していこうというようなことでしょう。国に払下げ等の依頼をしていくというお話なのですか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　本市が購入するということではなくて、民間のほうに土地の買取りをしていただくというところで事業を進めております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　ということは、仮設避難港と陸地部分を一体的な整備計画を進めていこうという計画ですね。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　おっしゃるとおりでございます。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　これは民間に払下げをするとなると、それはそれなりの価格になると思うのだけれども、当時は開発計画に伴って無償譲渡の国は了解をいただいた過去があるのですよ。そのような進め方はできませんか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。まず、国のほうは、市に売買をしたときに、市が民間のほうに売買してしまうと、土地転がしみたいな形になってしまうので、それは国としては認められないというところになっております。なので、国のほうで、今回市の意見を酌んでもらうというか、そういった形の入札の方式に変更しておりますので、そちらのほうで国が民間に直接売買しているところでございます。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　計画に基づいて土地の処分、これは宜野湾市が民間に対して公募をかけるというような、その公募時期はいつなのですか。

○**石川慶 委員長**　企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。宜野湾市が公募をかけるということではなくて、国のほうで公募をかけていきます。国は宜野湾市の、要は２段階指名競争入札という、まず１段階目で市の地区計画の意見を酌んでもらって、その内容で公募をかけていくと。その公募でプレゼン等を行って、そのプレゼンで優秀

点を取った事業者が入札に進んでいくという方式になっておりますので、宜野湾市の意見は酌んでもらえるというところでございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりました。いずれにしましても、西海岸にあれだけの空間があると、これは非常に可能性を秘めた事業ですから、ぜひとも陸地部分も一体となった開発を進めてもらいたい。オーシャンフロント構想になると、それは世界水準になるけれども、それは広域的に行うのですか。

○石川慶 委員長　企画政策担当技幹。

○企画政策担当技幹　お答えいたします。21世紀ビジョンの中には、浦添市から北谷町までの西海岸というところでうたわれておりますので、その中に宜野湾市も入っているところでございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　となりますと、浦添市、北谷町と具体的な協議をしながら進めていくということですか。

○石川慶 委員長　企画政策担当技幹。

○企画政策担当技幹　お答えいたします。仮設避難港につきましては、浦添市、北谷町のほうと協議しているということではございません。宜野湾市として21世紀ビジョンに記載されているとおり、ふさわしくなるような構想というところで、検討しているという状況です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりました。ありがとうございます。国が公募をかけていくということですが、宜野湾市にその土地は存在をする中で、宜野湾市の意向というのは非常に重要だと思いますので、それがやはり反映できるような進め方をしないと、全く違ったような、連携も取れないような、例えば野外劇場、例えばトロピカルビーチ、あるいは体育館、公共施設、あるいは大山地区土地区画整理事業と関連するようなものにならないことには、これら厳しくなりますので、それはぜひとも宜野湾市の考え方が反映できるような進め方で進めてください。

成果説明書の10ページです。昨日も資料をお願いしましたけれども、幼稚園の運営事業積立金、令和４年度積立額１億2,000万円ありますよね。これは毎年積み立てられている。この１億2,000万円というのは、令和４年度に積み立てられた額ですか。

○石川慶 委員長　企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　上地委員の御質疑にお答えいたします。成果説明書の10ページでございますが、左側の宜野湾市特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立事業の幼稚園運営事業の積立金、これに関しては令和４年度積立額として１億2,000万円積んでおります。また、このほかに今後の消防における救助工作車の購入としまして3,000万円、計１億5,000万円を令和４年度に積み立ててございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　その積立ての累計額は。

○石川慶 委員長　企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　令和４年度末の現在高でよろしいでしょうか。

○上地安之 委員　はい。

○企画政策担当主幹　令和４年度末の現在高でございますが、6,100万円となっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　積み立てまして、また支出もされているのですね。その支出先というのは何ですか。

○石川慶 委員長　企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　この基金に関しましては、積立てをした上で基金の取崩しを行って、繰入れを行っております。その繰入れ先でございますけれども、繰入れ先につきましては、幼稚園運営事業の人件費のほうに繰入れを行っております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　これもよく頑張っていると思いますよ。これまでは人件費は単費で充てていた。これは９条の調整交付金の一部ですよ。そうすることによって別の事業に押し出し事業で、かなり効果的に出てきたと思います。ぜひとも消防も幼稚園も特別職の人件費に充てられるという、９条調整交付金の運用を活用して、立派に積立てをして人件費に充てられたということは、これは非常にいい話だと思います。

ですから、今後の９条調整交付金の活用方については、それ以外にも、これは幼稚園教諭の特別職というような一つの定義があると思うのです。それ以外のものに単費で使われているようなものが、人件費があれば、特別職の、それもやはり視野に入れて、その事業も十分上等ですよ。立派ですよ。財政運営も含めて、それもまた検討して、できるだけ単費で充当していたやつを、これら補助金を活用できるということは非常にいい話ですから、ぜひとも今後は、それ以外の特別職が該当するものがないのか、それを含めて、どうぞ検討していただきたいと思います。

昨日資料の要求をしました、まず４ページ、市税の推移を見ると、増額となっていますよね。市民税、入湯税が若干伸び悩みはあるものの、それ以外の税収というのは、順調に、しかも125億円ですか、当時は100億円をどう突破していこうかと言われたのが125億円、その収入があてられていることは順調に伸びていると思うのだけれども、それは戦略的なものも何か増に伴うものがあるのか、あるいは自然増なのかというものをお答えできれば、あるいはまた収納体制に新たなものが、特に功を奏しているものがあるのか、それを含めて説明いただければと思います。

○石川慶 委員長　税務課長。

○税務課長　お答えいたします。まず、調定側からのお話ということで、市民税につきましては、おっしゃっているような令和４年度から、令和３年、令和４年を比較すると、４億円程度上がっています。基本的には、令和２年、令和３年というのは、コロナ禍の影響があった中だったのですけれども、令和４年度については、一時的な所得の増がありまして、昨年の12月議会でも４億円近く増額した経緯があります。

ただ、納税人口等も年々コロナ禍の中ではある程度増えてきておりましたので、市民税についても右肩、微増ではあるのですが、上がってきていると。固定資産につきましては、令和３年が３年に１度の評価替えの年でありまして、本来であれば評価替え、今年というのは、当然評価が上がって、それが税に反映されていると。ただ、令和３年については、コロナの影響があって、課税標準額を前年度、令和２年度のままになっていると。沖縄の土地の評価がどんどん今右肩上がりですので、その影響が令和３年には、すぐには反映できなかったという事情がございました。令和４年度はコロナ対策がありました。その後、令和５年以降は、令和３年度調査がしっかりと入った影響のものが示されてくるというふうに思っております。

軽自動車税についても、軽自動車の台数の年々増加している。それに伴って税額も上がっております。たばこ税については、本来たばこの売り渡した、小売のある市町村に対する納税ということで、売り渡し本数は毎年減額にはなっております。ただ、この数年間の間で紙巻きたばこの税率が改正されて、本数が減る以

上に税は上がったというところでいうと、ほぼ横ばいの状況があったということになっております。入湯税につきましては、令和２年、令和３年は、やはりコロナ禍の影響での客の減ということで、それはまた令和４年度以降、少しずつ上向きになるであろうということで、全体は上向きかと思います。

○石川慶 委員長　納税課長。

○納税課長　収納の分でお答えいたします。徴収率が上がっているということがありまして、10年ほど前は滞納繰越額があり、滞納繰越分に集中して滞納整理を図っていっているところでございました。去年は１億7,000万円の滞納繰越の状況になっておりますので、今度は現年分に力を入れてですね、早めの調査、差押え等、滞納処分を早めに取りかかっていくということで、現年度分に力を入れていく、その部分が徴収率が上がっている状況となっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それでは、あれですか、滞納分についても、徴収率の推移はどうなっていますか。

○石川慶 委員長　納税課長。

○納税課長　滞納繰越分については、やはり今１億7,000万円、徐々に徴収率が下がってきている状況です。現員としては、やはり困難事例、徴収困難なケースが残っている、毎年、毎年調査して、どうにか処分できないかという、課題はございますけれども、なかなか難しいケースが残っている。

○石川慶 委員長　すみません。マイクを使っていただきますようにお願いしましょうね。上地安之委員。

○上地安之 委員　この不納欠損の処理はどんなですか。これは時効が５年、５年経過したものについては、全て地方自治法に基づいて処理をされているのかというのをちょっと伺いたい。

○石川慶 委員長　納税課長。

○納税課長　市税の不納欠損についてですけれども、まず地方税法上、５年を経過すると不納欠損ということになるのですけれども、まず何もせずに５年を迎えるのではなくて、やはり毎年財産調査を行って、どうしてもやはり今納められないというような状況を確認した上で、執行停止というのを決定します。これについては、地方税法で規定がありまして、資料を提出しているのですけれども……

○石川慶 委員長　48ですね。

○納税課長　48です。不納欠損については、この１から10の項目が、不納欠損の事由としては、１から10が定められております。この内容については、時効３年の部分と５年の部分、両方交じっております。歳入につきましては、先ほど言いました執行停止、納税者の状況を見てですね、どうしても納められる状況でない場合には執行停止という形になるのですけれども、その段階で３年を迎えたら、この不納欠損に入ってくる状況になっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　徴収には、公債権、それと私債権のものをされていますよね。さらに、強制徴収と非強制徴収、それも徴収されていますか。それは公債権と言われている、皆様方がこうして追いかけているのだけれども、もう一方の私債権、これは非強制徴収になるわけね。それは援用手続からなければ、裁判に訴えるしかないという手法なのですよ。それは徴収されているのか。そこに入っている、それとも全くそれは入っていなければ入っていないで構いません。それの分類がどうなっているのか。

○石川慶 委員長　納税課長。

○納税課長　資料48番のものについては、公債権のものになります。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　これは公債権についてのものですが、ところが、債権というのは、これだけではない。そういうのはどこへ配分されているのか。これは徴収できなければ、それはそれで構いません。構わない。というのは、また次の段階として取扱いはどうあるべきかというのは、それはまた別の話だから。しかし、放置はできないわけ。これは総務ではないですか。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　また、納税課にお尋ねしますが、公債費について、48ページの中で、滞納、徴収の中で一定の効果、やはり実績も出ているわけ。納税課のほうで債権は徴収をされておられるのか。それとも、これはそれぞれの課でやられているものなのですか。

○**石川慶 委員長**　納税課長。

○**納税課長**　今現在は納税課で徴収しているのは市税のみになります。私債権は徴収しておりません。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　では、企画部次長、同じ税金ですから、公債権についても、一応徴収の内容については、いろいろな種類がある。しかし滞納が存在しているので、債権というのは、まだまだたくさんある。それはどこに出ているのかなというのを知りたかったのですよ。それは今説明が厳しければ、しかし放置はできないのですよ。方針を決めないといけない。今の説明が厳しければ、しかし放置はできないのですよ。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　以上で終わります。これは明日にでも、またちょっと整理をして、後日で構いませんから、その動向だとか、あるいは徴収実績だとか、それは徴収されているのであれば、どこに記載されているのかというのを説明いただければと思います。放置はできないわけよ。

○**石川慶 委員長**　企画部次長。

○**企画部次長**　上地委員御質疑の件につきましては確認して、また後ほど答弁させていただきたいと思います。

○**石川慶 委員長**　よろしいですね。

○**上地安之 委員**　はい。

○**石川慶 委員長**　では皆さん、ちょうど１時間たちましたので、休憩にしたいと思います。また、10分後再開いたします。

○**石川慶 委員長**　休憩いたします。（午前１１時００分）

○**石川慶 委員長**　再開いたします。（午前１１時１０分）

○**上地安之 委員**　休憩前に引き続き、認定第１号、２款に関する質疑を許します。

質疑のある方は挙手にてお願いいたします。企画部次長。

○**企画部次長**　すみません。先ほど上地委員から御質疑がありました、私債権について説明させていただきます。私債権につきましては、決算書のほうでも、各課が持っているものについては、各課で徴収業務等を

行いながら、徴収できなかったものにつきましては、各課の決算のほうに、収入未済で上がってきているところではございます。私債権ですので、不納欠損処理や時効の援用とかない場合、できないというところもございまして、未収額が毎年続いていくというような状況にはなってございます。

各課にまたがっている私債権につきましては、行政経営室のほうが事務局になって、その辺の処理をどうしていこうかということで、債権管理条例とかの必要性とかも議論しているところでございます。この状況について、ちょっと行政経営室長から説明させていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　行政経営室長。

○行政経営室長　市の債権の中に委員おっしゃっておりました、公債権と私債権という大きく分けて２つありますけれども、今、債権徴収一元化等に関する専門部会を本年度開催しておりまして、そこまた下部組織として作業部会も発足しておりまして、これまで債権管理条例の制定に向けて取組を行っているところでございます。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　成果説明書から少しお尋ねをします。市民課の窓口業務委託事業なのですけれども、20ページ。20ページの市民課窓口業務外部委託事業、この事業内容の説明の中に、委託先は、これまでは国和システム、国場組系の事業所だと思うのですけれども、頭に富士フイルムシステムサービスが入っているのですけれども、これは富士フイルムさんの、例えばシステムを運用するために２社でのプロポーザルによる契約になっているのですか。

○石川慶 委員長　市民課長。

○市民課長　委託先のほうが富士フイルムシステムサービス株式会社さんと株式会社国和システム共同企業体ということで、契約をしております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これは富士フイルムのシステムが導入されたために、この２社でのＪＶになっているのですか。

○石川慶 委員長　市民課長。

○市民課長　戸籍システムのほうが富士フイルムのほうです。

○桃原功 委員　何システムが。

○市民課長　戸籍のほうです。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　金額は委託料で9,081万6,000円なのですけれども、この金額というのは、例えば令和３年度、令和２年度、同額を維持している、それとも増額していったのですか。金額は同額なのですか、それとも増額されているのですか。令和２年度、令和３年度と比較して。

○石川慶 委員長　市民課長。

○市民課長　今、第３期になっているのですが、令和２年10月１日より令和７年９月30日の同額で。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　私がちょっと知りたいのは、お隣の宜野湾市異動受付支援システム導入事業があるではない

ですか。これは事業効果の中に市民の異動届出記入作業を支援し、できるだけ市民に書かせないと、記入させないと。要はオートメーション化ですよね。例えばこの20ページの右側の支援システムにしてもそうですけれども、あと３ページをちょっと開いていただけますか。

３ページのＲＰＡ等導入事業、これもロボティック・プロセス・オートメーションですよね。これも文言を見ると、２行目、各種申請に伴う書類処理やデータ転記作業などをＲＰＡやＡＩ、ＯＣＲなどを活用して簡略化を図るということだと思うのですけれども、また14ページを開いてもらえますか。

14ページにも同様な左側の行政サービスデジタル化整備事業、これも例えば表の中の右端に証明書コンビニ交付端末事業ってありますよね。要は、こういったことをやることで、市民課窓口の業務というのは、軽減されていくべきだと思うのですけれども、軽減されると、委託金額も減額されるのではないのかなと思っているのです。その理屈でいくと、またこれは私の理屈だけれども、要はほかのいろいろな市民がなるべく書かせないとか、オートメーション化することによって窓口業務自体の業務も減るし、軽減されるし、委託金額も減るのではないかなと思うのです。その辺の見解はどうですか。要は同額と言っていたから、さっき。減っていくべきではないのかなと思うのですけれども。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　お答えいたします。市民課の窓口業務の外部委託なのですけれども、令和２年10月１日から令和７年度まで同額ということなのですが、この中には、この５年間の中で制度改正等いろいろ新たな業務が発生しますので、そういったものの……

○桃原功 委員　新たな業務が追加された。

○市民経済部次長　はい。追加されることが予想されますので、そういったものも含めて５年間一律の同額ということで計上させていただいております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　何かしっくりこないのだけれども、だって、ほかのところで、市民に対しては書かせないとか、オートメーション化をやっているのに、今私が指摘をした３ページのＲＰＡ等導入事業でも、14ページの行政サービスデジタル化整備事業でも、証明書コンビニ、要はコンビニで取る市民の方もたくさんいるわけですよね、市民課に来なくても。そしたら市民課の窓口というのは軽減されてしかるべきではないのかなと思うのだけれども、私の見解は間違っていますか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　委員おっしゃるとおり事務の効率化が図られますので、今後そういったものも軽減はできると思います。ただ、今は、まだ導入時期、初期の段階ですので、この効果を見ながら、しっかり精査してまいりたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　何かぬるいような感じがするのだけれども、行革室長、今の答弁、もっと行革であれば、いろいろな部課のところをチェックされて、どうやったら軽減できるのか、どうやったら削減できるのか、どうやって効率化できるのかということを日々考えていると思うのですけれども、例えばＲＰＡ事業にしても、行政サービスデジタル推進事業にしても令和２年からやっていますよね。ＲＰＡについては令和３年度からですけれども、少しずつ効果が出てきて、もう令和５年ですから、効果が出てくるものではないのかなと思うのだけれども、何か今の答弁からしたら、少し市民からしたら、緩くないって、ぬるくないって思うのだ

けれども。

○石川慶 委員長　デジタル推進課長。

○デジタル推進課長　今の桃原委員の……

○桃原功 委員　ごもっともでしょう。

○デジタル推進課長　本当は、劇的に窓口が変わって……

○桃原功 委員　僕、劇的にとは言っていない、徐々にでも出てくるのではないのかなと。

○デジタル推進課長　徐々になのですけれども、まだまだそこまではという部分が本音です。ＲＰＡも各職場に入れている部分がありますけれども、残業時間はかなり減りましたとか、こういう手続は書かなくてもいいぐらい変わりましたとか、役所にいらっしゃった市民の方が、待ち時間が10分かかったのが２分に削減されましたとか、そこまではまだなかなかたどり着いていない部分がありますので、継続した取組の中で、いずれそういった取組が実現されていくものだと思っています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　たどり着いていない理由がありますよ、原因が。何だと思いますか。

○石川慶 委員長　デジタル推進課長。

○デジタル推進課長　デジタル化という形で、例えば書かせない窓口ひとつとっても、書類の様式とか、印鑑を押させない、ハンコレスの問題もありますけれども、単なるデジタル化で機械化すればいいという話ではなくて、やっている仕事をシステム化するまでにアナログレベルで見直さないといけないような業務がたくさんあります。

例えば手で書かせているもの、印鑑を押させない、様式２枚だったのが１枚にまとめるとか、申請書を今まで２枚でした、例えば委任状と申請書で２枚を１枚にくっつけたら、その分効果がありますよね、一々２枚書かなくていいとか、そういったアナログレベルで見直さないといけない業務が役所の中でたくさんあるのです。そういったものをやっていかないと、単なるシステムを入れたから劇的に何か変わるという問題ではないので、確かにシステムを入れて効率的に変えていくというのも大切なことであるというふうに、それ以前に見直さないといけないものがたくさんあります。

ペーパーレスの問題もあるのですけれども、いろいろな書類を書かせています。なかなか紙をなくして直接システムに入力して、入力したものがデータで飛んで処理されてというところまでは、なかなかいかない部分がありますので、紙レベルの業務の見直しをかなり改善していかないと、なかなかデジタルのレベルには追いつかない部分があるのが実情だと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　おっしゃっていることは、よく理解できます。理解できるのだけれども、令和５年で用意ドンで始めた事業ではなくて、もう令和２年度から始めている事業もあれば、令和３年度からやっているものもあるのだったら、もう令和５年度であれば、１年、２年経過しているわけですから、少しずつでも、そういう削減の効果というのは出てきていないのが、僕はちょっと不思議なのです。今やるべきことはたくさんあるとおっしゃったけれども、それはやっているわけですよね、徐々にでも。

○石川慶 委員長　デジタル推進課長。

○デジタル推進課長　徐々にですけれども、少しずつやっております。もう一つ例を申し上げますと、今まではできなかったオンライン申請ができるようになりました。これは市民にとって便利なのですけれども、

オンライン申請しても役所の中の処理は、オンライン申請したものを、また紙に打ち出して入力作業を目で見ているのです。では、紙で申請しても一緒ではないかと言われると一緒なのです。オンライン申請しても結局紙で出力するのです。紙で申請しても申請書に基づいて、また入力作業するという形なので、本当はオンライン申請でやったものは打ち出しせずにダイレクトにシステムに入ればいいのですけれども、まだまだそこまではシステム改修も追いついていませんし、私たち役所が処理する事務処理も、まだまだ見直さないといけない部分がありますので、そこまではなかなかいっていません。おっしゃるように書かせない窓口とか、来させない窓口とか、今全国的にも広がってできている、まだ100％ではないけれども、できている職場というか、できている自治体も少しずつ出てきていますけれども、まだまだ飛躍的に、こういったシステムが横展開されて、時間も短縮されて、事務も効率化されて、物すごく便利になりましたと言えるまでは、まだもう少し時間がかかるのかなと思っているのが実情です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　いろいろなオートメーション化に向けての事業というのはあると思うのですけれども、やはり私たちが期待するのは、そういう削減効果、市民は。でも、頑張れって、僕は激励する以外ないから、その効果が今、これだけ削減できているよというのをお聞きしたかったのですけれども、全然ないのですか。金額ベースでもいいし、あるいは人が、ここは何名も、１人軽減で済んでいるとか、そういったこともないのですか。

○石川慶 委員長　市民課長。

○市民課長　システムでいいますと、年金係のほうで、年金のシステムをマイナンバーカードの情報連携をしまして、事務の軽減を図っておりますので、会計年度任用職員と職員の減を図ってまいりました。

○桃原功 委員　減になっている。

○市民課長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　なっているではないですか。削減できているではないですか。

○石川慶 委員長　デジタル推進課長。

○デジタル推進課長　桃原委員が言うぐらいの、何か目覚ましい、何かそういうふうにすみません。私が、捉え方がちょっと誤ったかもしれませんけれども、これをやることによって何かすごく削減されたとか、物すごく費用が浮いたという話までは、なかなか追いついていないという私はまだ認識ですので、今、年金のほうでは、確かに事務は軽減されて、正規職員と会計年度任用職員が削減することができたという部分は確かにあるとは思っていますけれども、まだまだほかにもやらないといけないことはたくさんあると思っていますので、継続して取り組んでいきたいと思っています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　こういうオートメーション化事業というのは、なかなか市民は見えにくいのですよ。横文字が多かったり、あるいはシステム改修でほとんど委託されているのだけれども、どういう事業をしているののだろうって、私自身も全て掌握はしていないので、ただやはり金額ベースで、あるいは人件費、人の配置で削減していくということ、やはりこれが見える化だと思うので、あまり難しい顔をしないで、朗らかに仕事に頑張ってください。私、激励してやめます。以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。知念秀明委員。

○知念秀明 委員　資料番号25、58の仮設避難港の資料、ありがとうございました。これは見直した後の資料だと思うのですけれども、平成31年作成した素案、それも資料のほうで提出のほうお願いできますか。

○石川慶 委員長　企画政策担当技幹。

○企画政策担当技幹　お答えいたします。平成31年度の素案についても提出したいと思います。

○知念秀明 委員　以上です。

○石川慶 委員長　質疑のある方。伊波一男委員。

○伊波一男 委員　よろしくお願いします。資料、ありがとうございます。まず、資料番号31番、３款１項１目沖縄子供の貧困緊急対策事業費、５年分の資料をいただきまして、ありがとうございました。主要施策の成果説明書の23ページ……

（「３款」という者あり）

○石川慶 委員長　伊波一男委員、３款になっていますので。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　成果説明書の２ページ、新城地区学習等供用施設建設事業に関してなのですけれども、あちらこちらの自治会の公民館が新しく建築されて、学習等共用施設としてなっていますけれども、新城もなって、これからの予定は野嵩三区が予定されているということなのですけれども、新城のことについてお聞きしたいと思います。

現時点での、これは土地に関しては何もないですので、現状の改築になったということで、理解していいのでしょうか。すみません。内容がちょっと分かりにくくてですね。これからお聞きしたいと思います。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　新城地区学習等供用施設建設事業につきましては、老朽化した自治会事務所は建て替えをして新築した事業となってございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　これも見取り図というのか、設計図の一部を資料としていただいたのですが、平家でできているのですか。すみません。早めに現場を見て質疑をすればよかったのですけれども。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　少し坂道になっている地形がありまして、地下のほうを倉庫、２階を事務所、ホールというような造りとなっております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　建物自体としては２階というような。費用が出ていますけれども、工事費用が１億675万円ですか、国の防衛庁資金を活用されているのですけれども、その一般財源と、それからこの建築費だけで賄っていくのでしょうか。あるいは新城区民のほうからいろいろな寄附金等を出さなければいけないような状況があったのかどうか、ちょっとお伺いします。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　財源といたしましては、市の負担金と、あとは国庫補助です。防衛施設周辺整備統合事業、補助率75％の補助、歳入については。あと、市の負担、また地方債。自治会負担額として指定寄附金をいただいて、この総事業費３億3,162万7,471円執行してございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　指定寄附は、1,167万円の金額でよろしいですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　資料を提出してございまして、資料番号54番になっております。この中で総事業費、令和２年から令和４年にかけて実施した事業になります。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。もう一つだけ。その新城の学習等供用施設の敷地の件なのですけれども、敷地は当自治会の敷地なのか、それも借地なのか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　資料が手元になくてお答えできないのですけれども、たしか一部自治会が購入して、この建物を……

（「市が」という者あり）

○市民経済部次長　すみません。市が購入して建物を建てたということになります。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　順次自治会の公民館が老朽化していますので、こういった形で公民館と同時に学習等共用施設でもよろしいですから、進んで集会所というのができてくれば、また自治会の加入率も増えてきて、自治会に対する活動が理解されるような状況が来るのではないかなと思いますので、以上、資料の中で指定寄附というのは、ちょっと先ほどの答弁とは違いますけれども、2,043万8,000円の資料のとおりでよろしいですね。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　自治会負担額として2,043万8,355円でございます。

○我如古盛英 委員　以上です。

○石川慶 委員長　質疑のある方。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　２款１項は大丈夫ですか。

○石川慶 委員長　２款、大丈夫です。

○プリティ宮城ちえ 委員　たくさんの資料、ありがとうございます。２款１項６目……

（「資料番号、何番ですか」という者あり）

○プリティ宮城ちえ 委員　資料番号27番です。世界のウチナーンチュ大会歓迎事業における持続的なネットワーク構築の取組について質問ですけれども、事業の成果として、何か国、何人の方が参加していたのでしょうか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　世界のジノーンチュ歓迎の夕べでございますが、トータルで83名の海外の方が参加しておりまして、アメリカ、ハワイ、アルゼンチン、韓国、合計で83名でございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　今２世、３世の時代なのですけれども、３番目のネットワークの確保ということで、今そういう83人で、オンラインを入れると、どのくらいの数でつながっているのですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　これは世界のジノーンチュ歓迎の夕べに来れなかった方々にオンラインで発信するとい

う事業だったのですけれども、カウントがちょっと取れていなくて、数については申し上げることはできません。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　今、実質的に83名のつながりということですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　実際に沖縄県にお越しいただいた宜野湾市の方が、もっといたかもしれないのですけれども、そのジノーンチュ歓迎の夕べに参加した方が83名ということで、交流を図ってございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　持続的なネットワークを続けていくという体制は取れているのですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　83名全員というわけにはいかないと思うのですけれども、特にハワイ連合の方ですね、沖縄県にもよくいらっしゃって、担当課と話をしたり、あとはハワイから宜野湾市にルーツを持つ学生さんが研修のために来たりとか、そういったことがコロナが明けて図られているような状況でございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　とてもすばらしいと思うので、持続して行っていってほしいと思います。ありがとうございます。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。平安座武志委員。

○平安座武志 委員　資料からちょっと質疑させてもらいます。資料番号49番、自治会育成補助事業事務所改修補助金について、今年度３件の自治会の補修等が行われているのですけれども、まずはこの補助金はどのようにして補助していただけるのか、まず先にお伺いしたいなと思います。

○石川慶 委員長　市民協働課長。

○市民協働課長　平安座委員の御質疑にお答えいたします。自治会育成補助事業事務所改修補助金についてなのですけれども、そちらは公民館のほうで改修するべき箇所が見つかった場合は、公民館から補助交付申請を上げてもらいまして、その中身を見て、その補助割合というのは決まっていますけれども、市の負担額３分の２、自治会負担が３分の１ということで、中身の内訳を割り振りして支出しております。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　ありがとうございます。であれば、自治会側から公民館等の補修等の依頼があれば、補助をしていっているという認識でよろしいわけですか。断る部分もあるのですか。

○石川慶 委員長　市民協働課長。

○市民協働課長　お答えいたします。こちら予算要求時期、10月ごろ市のほうに改修したい箇所があれば申し出ていただいて、それに合わせて私ども予算を要求して、新年度に行うという形になっております。年度途中、もし急に修繕等をしたいということがありましたら、そういった場合は、ちょっと緊急性などを鑑みまして、財政とも打合せをしまして、修繕をする場合もございます。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　ありがとうございます。当初予算では、これはあまり金額は大きく含まれていない事業というか、ものになっていまして、今回も補正増をどこかでしたのだろうなと思います。190万円になっていますので、緊急性があったものを補修したというふうに捉えていますけれども、これは３分の２は市が補助

して、残り３分の１を自治会負担額としてもらっている。この自治会負担額は、この決算書ではどこに入っていますか、これは寄附金として賄われているのですか、それとも負担金として賄われているのですか。どこを見れば、この負担額が入っているのか、ちょっとお答えできますか。

○石川慶 委員長　市民協働課長。

○市民協働課長　御質疑にお答えいたします。こちら自治会分の改修ということで、市が３分の２を負担して支払うということですので、市の予算の補助金として計上されておりまして、自治会分は、予算には歳入として入ってくるわけでは……

○平安座武志 委員　自治会に直接払われるというふうに。

○市民協働課長　そうです。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　分かりました。ありがとうございます。この自治会負担分の97万円というのは、この決算書には入っていないという認識でいいわけですね。分かりました。

　次、もう一点、資料番号55なのですけれども、こちらの大山区の学供の件なのですけれども、ここで出ている自治体負担額というのは、（寄附金）となっていますけれども、これも入っていないという認識でいいのですか。それともこれは決算書に入っていますか。

○石川慶 委員長　市民協働課長。

○市民協働課長　御質疑にお答えいたします。大山地区学習等供用施設でございますが、令和３年度から令和４年度にかけての改修工事になります。こちらにつきましては、大規模改修が終わりましたら国庫補助金が確定するので、国庫補助金が確定した後に、また実際に市の歳入として入ってくるものでございますので、令和４年度には予算がなくて、令和５年度に歳入として寄附金として入ってございます。大山自治会寄附金につきましては、令和５年度予算、令和５年５月23日に歳入済みとなっております。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　では、こちらの自治会の負担分は、寄附金として令和５年度に入っていく、決算書に出てくるわけですね、要するに金額として。そういうことですよね。

○石川慶 委員長　市民協働課長。

○市民協働課長　そうです。令和５年度の決算書に数字として現れてきます。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　よく分からないのは、さっき最初の質疑のものと、大山区の改修工事、何が違うのかが、私はちょっとよく分からないので、その違いをちょっと教えていただけないかなと思います。

　なぜかというと、この自治会育成補助事業は、市が３分の２を負担して、残りの３分の１を自治会という負担の割合なのですけれども、私は同じだと思っているのですけれども、大山区の今回改修したもの、380万円、自治会負担が出ているのですが、こちらは自治会育成補助事業を使った負担より大きな負担になるのですよ。これは補助を抜いて市が５割、自治会負担５割となっているのですけれども、こっちがだから負担が大きいのですよね、この大山区で使っている内容のもの。だから、この違いがよく分からない。一方で、向こうは３分の２を市が負担して、３分の１が自治会負担という、この自治会育成補助の改修というのがあるのに、なぜ負担の大きいほうでやらすのか。

○石川慶 委員長　市民協働課長。

○**市民協働課長**　御質疑にお答えいたします。今回大山地区学習等共用施設改修工事についてなのですが、こちらにもありますように令和３年度から令和４年度にかけて大規模改修になります。総事業費も補助対象、対象外全て含みますと、3,300万円余りとなっておりますので、この数字の３分の２と３分の１をそれぞれ自治会負担分とすると、どうしても自治会負担分のほうが大きくなってしまいますので、規模が大きい工事の場合は防衛省の補助を使いまして改修を行うということになってございます。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　では、さっきのほうに戻ります。自治会育成補助事業は、事業費の５分の３以内の額として4,000万円を限度とするとあるのですけれども、4,000万円を限度と書かれているのですけれども、今回大山区の学供の3,300万円、これは向こうで該当すれば大山区の負担はもっと少なくなったのではないかなと私は思っているのですよ。ならないですか。いただいた資料では、事業費の５分の３以内の額として4,000万円を限度とするというふうに自治会育成補助の中でやればできたのではないかなと思っていて、4,000万円限度になっているので、であれば、この大山区の自治会負担額は、向こうで使えば、もっと安くなったのではないかなと思って。

○**石川慶 委員長**　市民経済部次長。

○**市民経済部次長**　お答えいたします。新築、改築についての事業、５分の３という額、そして補助率、そして4,000万円の限度額につきましては、昨年度要綱改正をしてアッパーが上がっております。それまでは2,500万円ということで、大山のときは、その時点では4,000万円ではなかったので、こういった高率の補助、防衛の補助を活用させていただいております。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　では、これは要綱を改正するというのは、前の一般質問で聞いてはいたのですけれども、それでは4,000万円というのは、上がった額、要綱改正した後の額ということで、では大山区のときは2,500万円だったので、そこは該当しなかったと。

　では、今は4,000万円に上がりました。これから私たち真栄原区のクーラー等も故障が始まっているのですけれども、やる場合であれば、この補助率のいい、自治会育成補助事業で対応できるという認識でいいのですか。こっちのほうが補助率がいいので、この学供の改修要綱よりは。そこで対応できるという認識でよろしいのですか。

○**石川慶 委員長**　市民協働課長。

○**市民協働課長**　御質疑にお答えいたします。自治会のほうから改修費の見積書が上がってきましたら、その内容を見まして、補助金、どこを使ったほうが、よりいいかというところを積算いたしますので、まず見積書を上げていただいて、防衛省の補助を使うか、それともこちらの自治会育成補助を使ったほうがいいのか、それから判断してまいりたいと思います。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　分かりました。取りあえずだから4,000万円までのアッパーを持ったのであれば、4,000万円以下のものであれば、この自治会育成補助を使ったほうが自治会負担は、やはり少なくなるわけですよね、３分の２は市が負担してくれるわけですから。この学共の、これでやってしまうと、５と５になって、市負担と自治会負担、だから4,000万円以下であれば向こうを使ったほうが、市の負担を減らす今話をしているのではないですよ。自治会側の負担が減るわけですよね。そこで、これからやってくださいよという

話なのです。

何が言いたいかというと、なぜこんな難しいやり方をするのですかと。前から言っていますけれども、市は公民館と学供というやり方をしたり、だけれども、大体一緒の感覚でみんなやっているのですよ。あと、負担金と言ったり、指定寄附金と言ったり、指定して負担としてもらっているはずなのに指定寄附金と言ったり、これは地方自治法とか、財政法の問題があるから、そういう言葉を使っていると思いますけれども、これは早く改善をしてください。私、前から言っています。この決算から外れますけれども、これはちょっとやっていただきたいなと。

もう一点、行革のほうで、今年度から個別施設計画をつくりましたよね、公共施設等の。そこで、今年度から各自治会、これは大規模な調査が入って、計画を立てているはずなのです、年度、年度で。例えばどこの公民館の外壁が危ないので、今年度はそこの改築をするという計画を立てましたよね。だから、それをやるにしても、今負担が出てくるのはどうしていくのですかと。前も言いましたけれども、計画はつくりましたけれども、毎回、毎回自治会の負担が出てくるものを自治会とも調整せずに計画をつくってしまっているわけですから、これをどうやって計画どおり進めていくのかというのも疑問のところがあるので、今回の決算から外れているので、答えなくていいのですけれども、その辺をしっかり調整してください。私は、前の市民経済部長にもずっと言っています、この意味の分からないやり方をやめて、もっと分かりやすくしてくださいと。この学供と公民館、あと補修のものに関しても。今回、大山地区の場合は、アッパーを上げる前にやったから、ちょっと負担が大きかったというふうな答弁なのですけれども、だからもうちょっと分かりやすくまとめていただければなと思います。以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　時間内に終わらせます。成果説明書の13ページをお願いします。市民会館の整備事業なのですけれども、市民の素朴な疑問として、例えば令和２年から令和３年、令和４年、令和５年とかけていろいろな工事、あるいは設計をしているではないですか。どうしてこんなに時間がかかるのですかという問いなのですけれども、お答えできますか。

（「２款１項８目は教育なので、これは明日です」という者あり）

○桃原功 委員　２款とあるから、今日できるかなと思うではないですか。

○石川慶 委員長　教育ですから、明日よろしくお願いします。ほかに。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　資料番号26です。18款１項２目宜野湾市ふるさと応援寄附金についてです。寄附金と委託料を見ていると、委託料が半分ぐらい出ているのですけれども、その委託料にはどういうものが含まれているのか。

○石川慶 委員長　歳入の18款ですね。企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。資料番号26、62と書かれている資料、宜野湾市ふるさと応援寄附金についての１番、ふるさと応援寄附金事業における委託料の中にどういったものが含まれているかということでよろしいでしょうか。

この委託料につきましては、昨日も平安座委員の御質疑にもお答えいたしましたが、この委託料には返礼品の調達費用が含まれております。また、その返礼品の調達費用のほか、ポータルサイトへの掲載費用でありますとか、あとこちらの委託事業者には返礼品の開発や、また寄附者への対応業務、こういったことの施策をさせていただいておりますので、こういったもろもろの委託料が含まれております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。業者のほう、ふるさと納税の…。

○石川慶 委員長　もう一度よろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　時間ないですよね。

（「大きい声で」という者あり）

○プリティ宮城ちえ 委員　私が聞いたのは、入っていた方が、業者さんの中で…。

○石川慶 委員長　企画政策担当主幹。

○企画政策担当主幹　すみません。返礼品事業者の方が、業務が煩雑だというクレームとか、そういったのがないかどうかということでよろしいでしょうか。この委託をしていることによって煩雑になっているというクレームは受けたことは、私になってからありません。

ただ、あまりにも注文が多過ぎて対応が大変だというようなお声はいただいたことはございますが、委託事業者を仲介しているから手続が煩雑というクレームは受けたことがありませんので、この委託事業者の方にはコールセンター業務など寄附者の対応の業務の委託をしておりますので、直接返礼品事業者の方に寄附者の方からクレームが行かないように、そういう委託の内容でお願いしておりますので、そういった情報は、すみません。私は受けたことはございません。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ありがとうございます。では、最後１つです。これは資料番号24です。２款１項６目普天間飛行場返還促進対策事業におけるパンフレット及び映像のところです。この成果の６ページのほうにも書かれているのですけれども、事業の効果としてＤＶＤ等、平和学習資料、授業で活用できる教材としてというところです。これは小中高とか、平和学習資料として使われているという、そういう実績とかあるのでしょうか。

○石川慶 委員長　基地渉外課長。

○基地渉外課長　プリティ宮城委員の２款１項６目、主要施策の成果説明書の６ページ、普天間飛行場返還促進対策事業のパンフレットや映像資料が学校での平和学習に活用されていますかという御質疑でよろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○基地渉外課長　平成29年度作成した当時は、市内の小学校、中学校に提供して、使ってくださいというような趣旨もあったというふうに引継ぎを受けているのですが、この当時からやはり小学生、中学生というのは、それぞれ学習の学び具合、またはその年齢の学習内容もあるものですから、なかなか使っていない、使いづらいということもあって、先生方からは、教育委員会より伺った話であるのですが、それぞれ学校独自の平和学習資料を使用して、いわゆる普天間飛行場の返還の資料であったり、基地被害の状況などを入れている資料であるため、なかなか平和学習では使いづらいというようなことのを話を聞いております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　平成29年度作成したということですけれども、いろいろ状況は変わってくるので、また作ることも求められるのではないかということと、自分たちのふるさとのことを学ぶことは必要なので、教育委員会として使いやすいような形でできたらいいなと希望して終わります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　確認だけ。２款１項１目学習等供用施設建設事業の件で、事業内容については、やりとりの中で触れられておりましたが、防衛の防衛施設周辺整備統合事業を活用した事業なのですよ。しかも定率補助で、10分の7.5、効率のいい、しかも複数の事業を進めているというような事業内容なのだけれども、その学供ともう一つ、事業というのは新城、そして中原、もう一つの事業を教えていただけますか。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　事業そのものというのは、補助事業であるわけ。そして、複数の事業を同時に進めていける10分の7.5の事業なのですよ。その中の一つが公民館、学習等供用施設なのですよ。もう一つの事業というのが、どこにあるのかと。そしてまたそれがあれば、そこからまた確認作業もさせてもらいたかったのですよ。委員長、この事業であれば、後日出てくるというふうに理解していいですよね。

○**石川慶 委員長**　明日です。そのとおりです。企画政策担当技幹。

○**企画政策担当技幹**　お答えいたします。かにくばる公園とてぃーちがーの公園事業になりますので、公園事業で活用しております。

○**上地安之 委員**　それでは、後でも構いませんから、その防衛施設周辺整備統合事業というのは、補助要綱ももらっています。それはたしか終期の期間が設定されていたと思うのです。いつまでに終わらせんといけないというのがあったと思うのです。そして、その後の整備統合事業の計画がどうなっているかというのを出していただけませんか。

○**石川慶 委員長**　市民経済部次長。

○**市民経済部次長**　この終期、または今後のスケジュール等について、少し確認をして提供してまいりたいと思います。

○**石川慶 委員長**　よろしいですか。

○**上地安之 委員**　ありがとうございます。

○**石川慶 委員長**　では、皆さん、よろしいですか。

（「はい」「委員長」という者あり）

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　１点、答弁漏れがございましたので、答弁させていただきます。先ほど上地委員から私債権の件で収入未済の資料の中に、どこに入っているのかということでございましたけれども、こちら答弁漏れがありました。資料の６番、令和４年度一般会計補正予算収入未済額についての主なものとしまして、２ページ目の15番、1,700万円、こちら市営住宅の資料で……

（何事かいう者あり）

○**財政課長**　15番です。こういったものが私債権として。

○**上地安之 委員**　分かりました。住宅使用料であれば、また後ほど市営住宅で質疑をさせていただきます。以上です。

○**石川慶 委員長**　それでは、午前の会議はこれで終わり、午後は１時30分から会議を開きます。その間休憩いたします。（午後０時０５分）

◆午後の会議◆

○石川慶 委員長　それでは、再開いたします。（午後１時３０分）

これより午後の会議を進めてまいります。

午前に引き続き、認定第１号、３款民生費、４款衛生費の一部、10款教育費の一部について審査を行ってまいります。

ちょっと事務局より補足説明がございます。

○議会事務局議事係長　ただいま委員長から説明がございました４款の一部でございますが、こちら決算書のほうを御覧いただいてよろしいでしょうか。決算書197ページを御覧ください。197ページの06こども医療費助成事業のほうが、この時間帯で、もし質疑があれば、この時間帯でお願いいたします。

続きまして、10款ですけれども、293ページをお願いいたします。293ページの14番、地域子ども・子育て支援事業、続きまして294ページの15番、子ども・子育て施設型給付事業、こちらにつきましても、ただいまの時間で質疑がありましたら、今の時間でお願いいたします。以上です。

○石川慶 委員長　よろしいですね。それでは、これより質疑を許します。

質疑のある方は……

（「委員長」という者あり）

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　先ほどの説明の10款４項のほうなのですけれども、あと１つ、294ページの16番の子育てのための施設等利用給付事業（幼稚園）、こちらのほう子育て支援課のほうで担当しておりますのでこの時間で御質疑をお願いいたします。

○石川慶 委員長　294ページの16番ですね。こちらもこの時間で質疑をお願いいたします。

それでは、質疑のある方、挙手にてお願いいたします。伊波一男委員。

○伊波一男 委員　先ほど間違えて手を挙げてしまいました。３款１項１目子どもの貧困緊急対策事業、資料番号32番です。資料でお願いしたいと思います。あと、主要施策の成果説明書の23ページの左側になります。

今回資料をいただきまして、ありがとうございます。事業内容、23ページのほうで見ますと、今回見ますと、国の予算が1,408万1,000円と、かなり一般会計からも出ていますという形でありますが、特にこの中で、子どもの居場所運営支援事業というのがあります。これに関して直営で３か所とか、補助が４か所とかあります。これについて説明をもらえますか。

まず、令和３年度までは直営が２か所、もしくは３か所あって、補助が３か所でしたよとあります。令和４年度を見ますと、直営というのが見えないので、もうないのかなと思いますが、補助が７か所ありますと。その点、ちょっと違いを教えてもらえますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　伊波一男委員の御質疑にお答えいたします。沖縄子どもの貧困緊急対策事業の事業内容でございますが、御質疑がありました、直営と補助の違いということでございます。令和３年度を例に挙げてご説明いたしますと、直営２か所というのは、我如古の公民館、あと普天間三区の公民館、そちらのほうの居場所として、うちのこども支援員、あと生活支援係が関わりながら、その居場所は公民館を使いながら、市の事業として行っておりました。

補助に関しましては、ボランティア団体が実施する子どもの居場所ということで、実施団体として設定い

たしまして、それで60万円を上限に食料費であったり、消耗品代であったり、そういった経費についてを対象として補助している団体が３か所あったということでございます。

令和４年度につきましては、直営がなくなって、ボランティア団体の行うところの居場所が７か所ということになっております。居場所としては、我如古、普天間三区を直営の場所としてやっていたわけでございますけれども、それに関しては、我如古も普天間三区もボランティア団体に補助という形で、形を移して、このまま継続してやっているかたちとなっております。居場所については、補助先は徐々にふやしていって、本年度については数か所やっておりますけれども、そういった状況でございます。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　ありがとうございます。直営がボランティアのほうに切り替わったということで、理解したいと思います。令和３年度は直営補助で５か所しかなかったのが、令和４年度は補助で７か所になっていますよと。増えておりますということだと思います。

これは再度確認しますが、補助金、一律60万円で見ていいのでしょうか。もう一度確認します。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　補助の仕組みとしまして、令和４年度まで１か月当たりの補助上限を５万円として設けて、結果的には１年積み上げたら60万円が上限になるという形になっております。令和４年度までは、そのようにやっておりましたが、子どもの居場所のボランティア団体が徐々に市民の皆さんの御協力で増えてきまして、居場所に関しては、それぞれの地域ができる範囲でやっておりますので、やり方が、かなり異なってきたのです。最初は市がやっているように週２回程度という形で考えておりましたけれども、１月に１回開けるところもございますし、週に３回開けるところもあるということで、令和４年度までに頻度が変わってきたところが見えましたので、令和５年度から少し補助の上限を開催頻度に応じて増減するという形で行っているところでございます。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　ありがとうございます。開催日に応じて本年度から見直しも出てくるでしょう、補助の金額的なもの。よくお話を聞くと、子どもの貧困緊急対策事業の中にあるのかなと思っているのですが、もしくは子ども食堂とか、もしくは学習支援があるのですが、こういうものの食堂との関係はあるのですか、子ども食堂との。これは別にあるのですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　子どもの居場所運営支援事業については、この対象となる活動内容が食の支援であったり、あるいは学習支援、日常生活についての指導とか、そういったことになっておりますけれども、食についても入っております。その居場所の中では、食を取り扱っているところが、かなりございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　食を扱っているところであれば、またそれなりの食材費とか、動きがあるのでしょうねと思います。

もう一つ、確認させてください。これを見たら、支出の部で見ますと、補助金が352万6,761円、こういう団体に補助されていると思います。あと、そのほかは、この支援員というのでしょうか、報酬と共済費と職員手当等にまわっていてですね、大きな金額については、宜野湾市には多く子供たちに応援していただいているのだなと思ったのですが、子どもの居場所運営支援事業でしょうかね、支援員配置事業があるのですが、

これはどういった資格を持った方がついているのか、お聞きしたいと思います。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　伊波委員の御質疑にお答えいたします。

子どもの貧困対策支援員については、基本的に教員免状を持っている方を会計年度任用職員として任用いたしまして、４人配置してございます。中学校区で４人配置、それぞれの中学校に１名ずつ４人配置しておりますが、子どもの居場所、あとは学校、児童センター等、そういったところを周りながら、困りごとのあるお子さんがいらっしゃらないかと、そういったことを見つけて子どもの居場所へつなぐ形で、アウトリーチ的な支援をしている職員でございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　大変動きとしては、いろいろなところを回って情報を収集しながら、アドバイスして取り組んでいるのだなと思います。これに対する効果はどうなのですか。この事業の効果について、ここにも書いてはあるのですが、ちょっと分かりにくい。具体的にこういうのがありますというのがあったほうが、私、今補助金が、現場に落ちているのが少ないのかなと、そのように思っているのです。逆に言えば補助金でたくさんあげても週に３回か４回開けるところの補助金と月に１回しか開けないところの補助金は、もちろん差があってもいいと思います。

また、子ども食堂をやっているところも、一つ一つ、また週に何回、何食出ているのかというのを統計を取れば分かってくるわけですから、その辺に対する支援策も、より充実させていくべきだろうなと思うのですが、いわゆる人件費に重きを置いた支援策になってはいないかなというのがあるので、現場サイドで、現場にいる、こういう各ボランティア団体の方々が今頑張っているところ、しっかり金銭的にも支援することができないのかなと思っているものですから、その点お聞きしたいと思います。まず、効果をお願いします。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　子どもの居場所運営支援事業については、ボランティア団体に補助する事業は、かなり以前から取り組んでおりますけれども、この事業の補助金を受けながら、その事業ができるという認識が高まっておりまして、地域の方も地域の子供たちをどうにかしないといけないという思いが非常に強いところがあって、補助金を受けずに子どもの居場所の展開をしているところもございます。あとは地域の大人、また居場所をつなぐということができていることからすると、子どもの貧困緊急対策事業をやっていることが、ある程度地域に効果を及ぼしているのではないかなということは感じているところでございます。

人件費に関しましては、地域のことは地域でやろうということの考えの下、この事業は進めてきておりますが、その件に関して食品、あとは消耗品費、役務費等、そういったところにはボランティア団体の補助の対象としていますよということで行っておりますけれども、やはり人件費、ちょっとしたボランティア的な謝礼金がないと、お手伝いが頼みにくいなとか、そういった声もございますので、それについては、長くこの事業をやっていくためには、できるだけ私たちは経費を抑えながらやっていきたいとは考えているのですけれども、そのバランスを見ながら、いろいろ検討していきたいなというふうに考えております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　まず、このボランティア団体、市内各地域にあるわけではなくて、23行政区がある中でも、今７事業所が補助対象として、この事業を行っているというのがあると。それは23行政区、もしくは最低でも半分の11、12行政区ぐらいまでは増やしていく、小学校区ごとに最低１つはつくっていきたいと。そうい

う何か計画はありますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　子どもの貧困緊急対策事業のほうでは、小学校区に１以上は居場所をつくりたいというようなことで考えておりますので、実際令和５年度は９か所の補助団体があるのですけれども、それでももうちょっと広げていきたいなと。あと、ボランティアでやりたいという方については、経済的な支援はしながらでも展開していっていただきたいなというような思いはございますので、今後もまた増やしていけるように地域の方といろいろと話合いをしながらやっていきたいと思っております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　ちょっと最後に確認させてもらいたいのですが、あるスーパーは、子供のためのチケットを購入してもらえれば、子供たちに食事が与えられますよみたいなことをやっていますよね。そういうものに対する市の動きとかもあるのですか。これは市から補助金が出ているというのもありますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　これについては、市から補助金というのは出ておりません。ただ、市の社協のほうが、そちらの開催団体と提携して、宜野湾市の食提供をできるスーパーや食堂を増やしていこうという動きで、本年度から動きが出てきておりますので、今後も見守っていきたいなというふうに思っております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　いい事業なので、しっかり育てていくというのも大事だと思います。各小学校区に９つというので、小学校区１つになるのだろうなと思っているのですが、ぜひ広げてもらって、予算というか、この補助の内容をしっかり見極めていただいて、取組をしていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　このまま続けましょうね。間違いました。以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　３款だよね。

（「３款です」という者あり）

○桃原功 委員　上地委員が請求した扶助費に関する資料なのですけれども、資料番号14番、保護費の扶助費についてということで、５年分のデータが提出されているのですけれども、令和２年から令和３年、令和４年にかけて、コロナ禍ということもあって、いろいろな影響が職員の皆さんも大変だったとは思うのですけれども、例えば保護費の中の生活区分の中の12億円とか、医療費の20億円とか、合計で40億円、これは令和３年度も令和２年度も40億円になっているのですね。令和元年度、あるいは平成30年度は40億円を上回っているのですけれども、この扶助費について、これだけの金額になっている、令和４年度でいいのですけれども、説明をまず最初にお願いできますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　桃原委員の御質疑にお答えいたします。この補助費の推移について資料を提出いたしましたが、生活保護に係る扶助費の推移ということで、５年分を示してございます。合計欄を見ていただくと、平成30年度から令和４年度までの金額が分かると思うのですが、実は生活保護に関しましては、コロナの影

響があったことで、令和２年度、令和３年度では一旦扶助費が低くなっているのです。それは何かといいますと、コロナ禍による医療控え等、病院で受入れができなかったことによる医療扶助の減額でございます。それによって令和２年度、令和３年度については、ちょっと令和元年度よりも低くなっている状況がございます。令和４年度に関しましては、コロナが落ち着いてきたというか、そういうところがございますので、医療扶助費がまた上がってきていると。さらに、令和３年度と令和４年度の比較を一番右側の列のほうでなっておりますけれども、増額になったのは、やはり医療扶助費と介護扶助費、そこのところが大きくなっております。

これの要因につきましては、下のほうに被保護者世帯と被保護人員の推移というふうに記載させていただいてございますけれども、被保護世帯数は毎年、毎年伸びてきている。被保護者数は、実は人としての数は減ってきているのです。何が言いたいかというと、単身の高齢者が増えてきている。そういった状況もございますので、状況としては、まだ医療扶助、介護扶助あたりは、今後も増えていくのではないかなということが言えるかなと思います。

また、さらに付け加えますと、令和２年度、令和３年度は、コロナの影響で、制度の対策として生活資金の貸付けであったり、そういったものが社協のほうからありましたが、その施策が投入されて、その貸付けであったり、あとコロナ関係の支援金であったり、そういったものが策が打たれましたので、一旦向こうのほうにいって、生活保護のほうまでは届かなかったというようなのが、あるのではないかなということをちょっと推測しているのですけれども、それが今、令和４年度でなくなった、その制度自体がなくなったところでございます。

○桃原功 委員　制度がなくなったの。

○福祉担当次長　制度が終了したということです。コロナ関係の制度が終了した。なので、今後については、またその影響もあって伸びていくかなという部分があることも考えてはおりますが、決算で見ると、令和２年度、令和３年度は低く、令和４年度は少し多くなっているというようなことが、この資料で見られてくるのではないかと思っております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　単身世帯が増えてきているというお答えなのですけれども、年度ごとの死亡者数というのか、数も捉えているのですか。２の１。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　失礼いたしました。福祉保健の概要２の５に保護廃止の理由別状況というのがございますので、こちらのほうに理由としての死亡が確認できると思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この２の５のほうに、例えば令和３年度は死亡の方が世帯で103人、人員で103名、令和４年度は99名、99名とありますよね、福祉の概要。100名前後の方が令和３年度も令和４年度も亡くなっているというのを考えると、ここで世帯が減らない理由というのは何ですか。やはり新たに保護世帯も同数程度入ってきているということなのですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　桃原委員のおっしゃるとおり、そういうことだと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これというのは、他市から移ってきて、新たに増えているのか。それともそういうコロナの影響等で離職などして困窮になったので、同市民だけれども、コロナに申請して増えているのかという数字も持っていますか。そこまでは持っていないですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　コロナに起因しての統計というのは取られていないと思いますけれども、市民が経済的に困窮して失業とか、あと高齢による収入の減とか、そういうところでの開始もございますし、確かに他市からの転入による開始というのもございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　宜野湾市は、例えばそういう困窮の方々が、コロナ等で保護を申請するときに比較的保護申請がしやすい地域というか、そういったものもあるのですか、そういったのはない。よくニュースで聞いたりするのですけれども、門前払いされたとか、申請さえもできなかったとか、見聞きするのですけれども、そういう状況も把握されていますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　そういったことはございませんで、生活保護に関しましては、相談の段階で生活保護の仕組み等について丁寧に審査しますし、門前払いしているということは全くございません。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。ありがとうございます。令和４年度のケースワーカー１人当たりの持ち分件数というのは何件で、令和３年度が何件、令和２年度が何件、直近３年ぐらいの１人当たりの持ち分件数ってわかりますか。

○石川慶 委員長　保護課長。

○保護課長　ちょっと手元のほうに資料はないのですけれども、およそ90件から95件の間で推移しております。以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　法律というか、法定の人数というのは何名でしたっけ、80名でしたか。

○石川慶 委員長　保護課長。

○保護課長　80名、そのとおりでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、10件から15件ぐらいオーバーに抱えているという状況を考えると、職員の心労というのは大変なものがあると思うのですけれども、これをずっとマンネリで持ち続けていることに対しての皆さんの上層部の対応というのは、要は人の要求はされていますか。やはりこれは法律で定められた80人というのは、やはりキープしていくべきではないのかなと。そうすると、悪循環で、職員が潰れてしまわないのかなという懸念があるわけです。もう次長で答弁できる範囲を超えているかもしれないけれども、人員の要求というのはされているのですか、ずっと90から95を推移していますけれども。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　お答えいたします。社会福祉法において目安としてケースワーカー１人当たり80人が持ちケースが適当とするというような規約があるわけですけれども、私たちは、その80人、ケースワーカー１人当たり80人になるように、もちろん正職員を雇用していくということもございますけれども、会計年度任用

職員で資格を持っている者を任用しながら、その定数を達成していこうということで、毎年度努力をしてございます。

ただし、ケースワーカーにつきましては、いろいろ決定とか、廃止とか……

（何事かいう者あり）

○福祉担当次長　保護の決定、保護の廃止という重要な決定を行いますので、できるだけ正職員が望ましいだろうということで、福祉推進部は考えておりまして、正職員の増に関しても毎年組織要求のときには、それが必要ですというようなことの要求はさせていただいております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　要求はしているけれども、なかなか改善されない、人員が増えない理由というのは、上は何て説明しているのですか。そこまでは答え切れないか。

（「これはちょっと厳しい」という者あり）

○桃原功 委員　どこかでやはり改善していかないと、いつどこかで、また皆さんが潰れてしまわないのかなという心配があるのです。その辺は、しっかり上層部、私ちゃんと言いますから、質問の中でも。分かりました。

あと、宜野湾市は、１人ケースワーカー90から95でしたけれども、ほかの10市も、こういった傾向が沖縄県には見られるのですか。そこまで分かりますか。

○石川慶 委員長　保護課長。

○保護課長　市町村で状況変わりますが、宜野湾市と同じように90件を超えているようなケースもございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この扶助費の合計40億円というのは、これは処理はどうしているのでしたっけ。繰越しでしたか、それとも返金でしたか、執行できなかった部分というのは。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　資料に出させていただいていますのは、これは扶助費の決算額でございまして、既に給付した額ということになっております。

○桃原功 委員　何した。

○福祉担当次長　給付した。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　扶助費の執行できなかった額というのは、どこに資料として出ていますか。誰が要求したのだっけ。要求していないのかな。この概要にも載っていますか、それは。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　返還金に関しましては、国庫補助をいただきながら、国、県の負担金ですね、生活保護に関しては負担金ですので、国の負担金が４分の３入ってございます。当初予算を獲得するときには、ある程度この年度で執行するであろうということの見込みが立っていまして、国の補助金を要求してまいりますので、それに関しては、この決算が終わって、多かった分に関しては、翌年度に返還していきますし、また少なかった場合には、翌年度に追加交付があるというふうな、そういったものは補助金に関してはございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　分かりました。この福祉の概要の２の５のところに生活保護の方々が受給していたけれども、これを返納して、返納する理由として、働きによる収入の増、取得というのは、令和４年度で19世帯、人数で27名あるのですけれども、こういう復職できる、仕事に就ける施策というのは、どこが担当でしたか。皆さんのほうでもあっせんしているのでしたっけ。

○**石川慶 委員長**　保護課長。

○**保護課長**　就労に関しましては、被保護者就労支援事業というのがございまして……

○**桃原功 委員**　ごめんなさい。ページ数を教えてください。

○**保護課長**　決算書でいいますと、193ページです。３款３項１目、備考欄05の被保護者就労支援事業というのがございまして、こちらのほうで就労支援の専門員、職員を２名配置しております。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　この193ページにある05番の被保護者就労支援事業539万6,000円というのは、これは就労支援員への報酬で、この方々が雇用に関する、バックアップに関する施策を講じているということでよろしいのですか。

○**石川慶 委員長**　保護課長。

○**保護課長**　取組内容としましては、まず会計年度任用職員、就労支援員がハローワークへ対象者と同行して面談等を行っております。また、障害福祉サービスによる福祉就労や障害者雇用での就労、それが適当と判断された者には、関係機関と連携しながら就職あっせんや、実習等を行うなど就労支援に取り組んでいる内容となっております。以上です。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　よく分かりました。仕事に就きたくても自分が就きたい仕事がない、仕事を選んでいる状況ではないかもしれませんけれども、それでもやはり就きたい仕事に就けるような手だてというのは、また引き続き御尽力ください。以上です。

○**石川慶 委員長**　質疑のある方。宮城克委員。

○**宮城克 委員**　よろしくお願いします。資料もいただいているので、まず成果資料の25ページ、ＤＶ女性保護対策事業ということで、資料をいただいておりますが、成果資料の３、事業の内容、実績という欄があると思います。見てもらえますか、成果資料25ページの。

それで、その３の事業内容、実績の中で、要保護女子及びＤＶ被害の自立支援に向けた関係者との連携、その上の令和４年度の女性相談件数実数が291件、うちＤＶ相談が195件というような数字を見たから資料請求したのです。こんなにいるのだと。

いただいた資料番号33番、66番を見ると、令和４年度、沖縄県女性相談所への入所、宜野湾市を経由して入所及び市の負担はなしというところの令和４年度４件なのです。ここを見ると195件、相談があって、そこで４件の実績、その資料の下のシェルターの利用費用というものも、一時避難も合わせて令和４年度ゼロ件とあるのですけれども、まずこの成果資料の195件、どのような内容で、宜野湾市を経由して相談所へ入所の４件というのが、どういう内容だったのか。また、約200件近く相談があって、ここで４件という数字は、あまりにも少ないのかなと思ったので、そこが少し疑問に思ったので、その説明をいただけますか。

○**石川慶 委員長**　児童家庭担当主幹。

○**児童家庭担当主幹**　御質問にお答えいたします。私のほうで作成して提出いたしました資料の沖縄県女性

相談所への入所、これは宜野湾市で相談を受けまして、その後私たちのほうで相談所のほうへ連絡、調整してお連れした方が令和４年度は４件でございました。

先ほどおっしゃっていたＤＶ相談が195件もあるのに、なぜ入所が４件なのだというところなのですけれども、この195件の中には新規での相談が85件、再来といいますか、２回以上の相談の方が114件、合計で195件、これは福祉の概要の４の６のほうに女性の福祉ということで、様々な相談による件数を含めてお知らせしておりますが、内容といたしましては、もちろん委員おっしゃるようなＤＶも激しい暴力による、今すぐ避難を要するようなＤＶの相談もありますが、またほかには、今すぐ避難ではないけれども、今後どのような対応をすべきかというふうな相談もありますし、また住基ロック、いわゆる住民基本台帳を見せないようにする住基ロックというのがございますけれども、こういったものの措置を受ける場合にも、こういうＤＶ被害の相談というふうにカウントされますので、このような件数になっております。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　今の説明で内容が分かりました。新規の方がいたり、取りあえず相談の段階で、いずれという可能性も含めて。ちなみにその方々の中には、いろいろもしかしたら窓口に来た人もいるかもしれない。電話の対応だったかもしれない。だけれども、やはりこれだけの相談があると心配ですよね。その後の追跡というか、見守り的なものはされているのですか。

○石川慶 委員長　児童家庭担当主幹。

○児童家庭担当主幹　お答えいたします。女性相談ですけれども、令和元年度から１名体制から２名体制に相談員を増員しております。それはもちろん相談件数が増えているというところもありますけれども、より丁寧に、より御本人に寄り添った相談支援をするために増員をしております。電話だったり、来所だったり、相談を日々受けますけれども、その中で、この方はどうしても後追いをしてきちんと確認をしなければならないという場合には、電話だったり、また関係機関を通じてのいろいろな情報収集をしたり、そういったことは日々行っております。

また、相談員同士が、きちんと情報共有をして、そういうシステムを導入しておりますので、きちんと情報共有して、また私たち職員のほうにも適宜報告をしてもらいながら、この段階ではすぐに相談、もうちょっと突っ込んだほうがいいよとか、今は声だけで見ていこうかとか、そういうようなところは、職員も含めて、きちんと網羅をして支援しております。以上です。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　そのようにつながりをしっかりと持って確認はされているということなので、そこは安心したのかなと思います。

ここで、また幾つか改めて聞きたいのですけれども、皆さんも分かっているとは思うのですけれども、言おうとしているのは、改めて聞きますけれども、幾つかの事例を含めて、この方々というのは、間違いなく宜野湾市在住の、宜野湾市に籍を持った人たちだと思うのですけれども、その方々、いろいろな状況があるではないですか。いわゆるＤＶであれば、もしかしたら彼氏や旦那さん、身内に殴られたり、暴力を受けて、もしかしたらどこかに避難をしているかもしれない。

そのときに、この事業というのは、宜野湾市在住でないといけないという縛りはありますか。例えば籍は、住所は宜野湾市にあるけれども、相談をする段階で宜野湾市外にいたとしましょう。その際にも、これというのは適用されるのか。これを再確認させてください。これはちょっと２年前ぐらいに確認したことがあっ

て、現段階でもどうなっているのかな。僕、改善は訴えたつもりだったのですけれども、これを確認させてください。これは答弁できますか。

○石川慶 委員長　児童家庭担当主幹。

○児童家庭担当主幹　お答えいたします。福祉に関する様々な相談は、基本的には住所があるところに相談をというのが基本的なところではあるので、もちろん住所があれば、どのような方でもお受けしますし、事情があって市外に今行っていますよと。でも、住所は宜野湾市ですよという場合は、もちろん私たちのほうに相談に来てくださるのであれば、きちんとお受けいたします。

ただ、一時避難されている場所で、何かしらの支援が必要、支援を要する場合には、私たちのほうは避難している市町村と私たちのほうで、御本人さんの了解を得てからですけれども、情報共有をして、避難先でどのような支援が受けられるかというところは、御本人さんに、随時そういった情報提供はしております。支援を断るということはありません。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　確認させてください。細かい内容は一般質問だと思うので、ここでは適さないので控えさせてもらいますけれども、例えば今の答弁でも、必要があれば相談を受けるし、緊急事態があれば相談を受けるということになのですけれども、例えばその場面が夕方、週末の金曜日の５時になるような時間帯であれば、例えば仮にですが、今、南風原の友達の家にいるのです。宮城さんと言われたときに、南風原の友達の家に逃げていますといったら、やはり皆さん、その段階でも保護というか、緊急性を感じて、では南風原に行かないといけないですねという話になるのか、その場で必要に応じて確保してくれるのかという場面になった場合、どうなりますか、ちょっと苦しいと思うのですけれども。

○石川慶 委員長　児童家庭担当主幹。

○児童家庭担当主幹　お答えいたします。一旦は、相談を受けた者の責任として、御本人さんが安心できる場所を見つけるまでは支援をする必要があるかと思います。それは私たち宜野湾市だけではなくて、南風原であれば南風原のほうと相談をしながらやっていくものだと考えます。

○石川慶 委員長　宮城克委員、決算と外れているので、よろしくお願いします。

○宮城克 委員　予算の使い方、どのように使われているかというところで。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　では、いいです。であれば、資料の51番、住居確保と一時生活支援事業ということで、その違いは何なのかなというふうに資料提出いただいたのですけれども、さっきの話は、これを見たときに、すごい思ったのです。ここと少しリンクするような感じでもあるのですけれども、すみません。改めてですけれども、せっかくなので、今資料をいただいていますけれども、住居確保給付金事業と一時生活支援事業の違いの資料を基に説明いただけないでしょうか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　宮城委員の御質疑にお答えしたいと思います。資料番号51で住居確保給付金事業及び一時生活支援事業の違いについてということで、資料を提出させていただいております。

まず、両方の事業とも生活困窮者自立支援法に基づく事業ではございますが、住居確保給付金事業に関しては必須事業でございます。一時生活支援事業については、略することができるという任意事業になってございます。一番の違いは、対象者が異なります。

まず、住居確保給付金事業については、対象者が離職、廃業、またはやむを得ない急病等により経済的に困窮し、住居を喪失するおそれがある者というふうに記載させてもらっています。この場合は、住居を喪失するおそれがあるというのは、例えば経済的に困窮して賃貸しているアパートに家賃が払えなくなっている、滞納している、もしくは今後なくなりそう、そういった方が対象です。一時生活支援事業に関しては、既にその段階を超えていて、一定の住居を持たない生活困窮者で、緊急に衣食住の確保が必要な者という形になっていて、要するに家を追われて、住むところがなくて車で移動しているとか、あとは公園で寝泊まりしているとか、そういった形の方が対象になっているところです。

あと、支給の方法なのですけれども、先ほど言った住居確保給付金事業については、賃貸住宅を失うおそれがあるというような形になりますので、給付に関しては、１か月当たりの家賃を給付するという形になっています。また、単身世帯でしたら上限が３万2,000円、２人世帯だったら上限が３万8,000円、５人までは４万1,000円というような形で、これは生活保護の生活扶助に基づく上限なのですけれども、それを世帯の人数に応じて家賃額の給付をしていく、支給期間が、まず３か月しますけれども、最大９か月まではできますよというような形の制度でございます。給付の仕方については、不動産に直接支払う、代理納付という形を取らせていただいて、この事業をやっているものでございます。

一時生活支援事業に関しては、一番下から２番目の支給額のほうに衣食住に係る実費分というふうに支給をされていますけれども、居住地を失っておりますので、こちらのほうで案内できる簡易宿泊所ですね、そういったところと調整して、そちらのほうに短期的に住んでいただいて、原則３か月を超えない期間でということで、３か月、事情があったら６か月まで延長できるというような制度でございます。住まいに関する、居住に関する部分の費用については、現物給付ということで、市のほうから簡易宿泊所に支払っていくという形になります。

あと、衣食住と書いてありますけれども、緊急的に必要な食事の支援、スーパーに行って１週間分の食料の支援をして、それをしながらこの方の就労の支援等を行っていくというような形の事業になっております。以上でございます。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　丁寧な説明で、より中身がわかったのかなと思いますが、幾つかだけ、ちょっと少し分からないというか、知りたいなというところがあるのですけれども、例えば住居を急に突然失ってしまったとか、いろいろなケースがあると思うのです。災害であったり、いろいろとお財布事情とか、就労の関係とか、いろいろあると思うのですけれども、例えば急に、どのような感じで相談に駆け込んでくるか、ちょっと分かりませんけれども、例えばなのですけれども、この事業に対して、急に家が、例えば火事になりましたとかで家を、事情があって追い出されましたとなって、皆さんのところに相談に来られたときというのは、例えばすぐに窓口で、例えば不動産屋さんと連携しているとか、何かしら宜野湾市が契約しているような物件があるとか、それとも支援はしますから、自分で探してくださいとなるのか、説明いただけますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　お答えいたします。今の質疑については、一時生活支援事業の、住まいを失った方についてということだと思いますけれども、例としては、例えば家賃を滞納して明日にでも退去しないといけない。または住み込みで働いていたけれども、そこが閉めてしまって、住まいもなくなった。そういった方がお越しになることもあります。もちろん、頼るところがあればいいですので、頼るところはないですかとか、い

ろいろなお話を聞きながら、本人の力で、資力とか、力でできるのでしたら、それについてのアドバイスをしていきますけれども、それがない場合については、こちらのほうで幾つか簡易宿泊所等調整をするところがございますので、こちら調整して入居していただくような、そういったやり方をしております。以上です。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　この説明資料22の、例えば主な歳出項目で使用料及び賃借料とあるのは、家賃とか、そういったものに充てている予算ということになるのですか。ちなみに何件ぐらいの実績があったのかなという資料はあるのですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　すみません。今、手元に何件というのは持っていませんけれども、昨年度にも５件程度の簡易宿泊所と調整をさせていただいています。以上です。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　了解です。今この違いが、まず分かったので、改めて自分でも少し勉強して、また窓口に聞きに行きたいなと思うのですけれども、１個だけ、すみません。さっきちょっと止められたので、戻っていいですか。

25ページのＤＶのやつなのですけれども、これは予算内訳のところで、報酬、職員手当、委託料、その他とあるのですけれども、その辺の予算の……

（何事かいう者あり）

○宮城克 委員　成果資料25ページの右下の主な歳出項目という中で、報酬480万円、職員手当とか、あといろいろここにある、内訳、この予算の内訳の内容だけちょっと確認させてもらっていいですか。

○石川慶 委員長　児童家庭担当主幹。

○児童家庭担当主幹　では、お答えいたします。女性相談に係る事業の費用の内訳でございますけれども、女性相談員２人、任用職員で採用しておりますので、その報酬だったり、手当だったりが主な内容ではございますが、委託料に関しましては、女性相談業務用の支援システムがございまして、その保守管理料が委託料で入ってございます。また、その他には緊急一時避難の宿泊費、扶助費として持っていたりという内容が主な内容でございます。以上です。

○宮城克 委員　了解です。オーケーです。

○石川慶 委員長　次に質疑のある方。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　宮城克委員と同じ、資料番号31、３款１項１目一時生活支援事業、成果説明書の22ページになりますが、資料、ありがとうございます。この中で令和２年から令和４年にかけて利用世帯数と利用者数というのは増えているのですが、事業費決算というのは減っているのです。これは何か理由がありますか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えします。一時生活支援事業の支援家庭の推移及び支援後の状況についてという資料を提出させていただきました。その中で令和２年度から令和４年度までの実績について書かせていただきましたが、令和２年度よりも令和４年度のほうが利用世帯数、また利用者数が多いのに事業費決算額は減っているというような決算になってございます。

これはなぜかと申しますと、この支援の利用期間というのは、原則３か月以内、もしくは何か事情がある

場合、６か月までという形になっているのですけれども、この利用世帯が、支援することによって、こちらのほうに利用者の状況というのも書かせていただきましたが、そのまま自力での自立が困難だった場合は生活保護に移行したり、またはその他親類のところに戻ったりとか、そういったいろいろなことがあるわけですけれども、それまでの期間が短ければ、住宅料としてお支払いする額も低いですので、そういったことによって人数は多いけれども、決算額が低いという形になってございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。その表の中で、資料番号31ですけれども、４番目の期限の到来ってあります。これは６か月の期限がきたということですか。また、生活保護の適用とか、就職による終了だとか、福祉の措置であれば問題ないのですけれども、期限が来て、そういうことは適用しないのに終わってしまうということでしょうか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　お答えいたします。この一時生活支援事業については、住居を提供するというようなサービスがありますけれども、それとともに就労支援を行って、自立を目指していくというような活動をしております。生活相談支援員のほうが、週に１回食料支援をしながら、この方の就労に関する活動状況を確認したり、もしくは一緒にハローワークに行ったりとか、就労支援活動をしております。１週間に１回、もしくは２週間に１回尋ねていって、食事支援、居場所提供とかしているわけですけれども、支援しても、自立に向けた活動がされない場合、そういった場合については、その方が何かしら定職に就いたとか、そういったことがなくても期限の到来という形で支援を終了する場合がございます。

その場合は本人さんと相談しておりますので、この事業を受けるための要件としてのことをしていなければ､終了がございますよというようなことはお話ししながら支援をしていって､本人さんが実家に帰るとか、日雇いで何かしらの仕事を決めて、私たちは簡易宿泊所のようなところを提供しますけれども、そちらにせずに自分で日雇いで続けていくとか、そういった形でやる場合もございます。それを期限の到来というようにしております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　そういう丁寧なサポートをしていることが分かりました｡ありがとうございます。

続きまして、資料番号30で、３款１項１目子どもの学習・生活支援事業というところですが、通塾を利用した中学３年生を対象にということで、通塾するのを選ばなかった場合は支援が行き届かないという形になるのでしょうか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　子どもの学習・生活支援事業における高校中退防止の状況についてという資料を提出させていただきました。これに関しては、通塾事業を使った生徒について、卒業後のアンケートを実施して、その中から休学とか、退学とか、そういった状況を聞き取りながら、何か必要な支援がないかというようなことで、学習支援員が生徒といろいろやり取りをするということの内容を書かせていただきました。

通塾を利用していない青少年に関しては、子供の貧困緊急対策事業のほうで、こども支援員が４名おりますけれども、この４名のこども支援員は、青少年世代の進路が決まっていない方に対して、いろいろな体験事業とか、あとは職場体験事業であったり、あとは生活をしていくための調理実習だったり、そういったことを行いながら、関係をつくりながら、自立的なところに進めるような支援をしていく場合もございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。４名とおっしゃったのですけれども、不登校の生徒に対しても家庭訪問等を行っているのですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　こども支援員は家庭訪問も行います。家庭訪問を行って、子供をできるだけ連れ出して、居場所のほうにつないで、地域との関わりを持たそうとか、そういったことをいろいろやっていきますけれども、無理やりするのではなくて、本人との関係性を築きながらやっていくというようなこともやっております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。地域とつなぎながら、民生委員とか。ありがとうございます。

もう一つお願いいたします。資料番号34です。３款２項３目児童健全育成巡回事業における取組なのですけれども、資料番号34です。それで資料提供ありがとうございます。これを見たときに巡回の、週２回の場合でも、かなりばらつきがあって、例えば一番多いところは真栄原区の490人の利用人数に対して一番少ないのは伊佐区が15なのですけれども、あと伊佐区、大謝名区、嘉数ハイツは月１回、大謝名は月３回とばらつきがあるのですが、これはなぜこういうふうになっているか、教えていただけますか。なぜ全部週２回ではないのかというのと、なぜこのような大きな同じ回数の巡回でもばらつきができるか、教えてください。

○石川慶 委員長　こども政策担当次長。

○こども政策担当次長　資料番号34番の児童健全育成巡回事業における利用実績の地区ごとのばらつきについてについて資料作成いたしました。移動巡回なのですけれども、子どもの居場所というのは、児童センターがない自治会のほうに業務提携という形なのですが、自治会と私たちのほうで調整をしまして、巡回日、例えば野嵩一区のほうは第２、第４木曜日というふうに決定をしておりますが、その中でも第３にやることもございますし、ちょっとこの日は公民館の行事がありますので、ちょっと巡回はできませんというような形の調整もございますし、こういったものもありますので、ちょっと巡回数には、この巡回日のほうから逆算しまして、ちょっと合わない形のところもあります。

また、児童数の利用人数なのですけれども、こちらのほうのばらつきなのですが、やはりその日、その日によって子供たちが多い場合もありますし、子供たちとお母さんとか、親御さんが一緒に参加される、この方たちの人数も入ってございます。それで、例えば人数のほうでばらつきが出てくるような感じなのですけれども、あと自治会とは連携を密にして実施しております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　大謝名区の場合、大謝名団地もあって、子供の数もすごく多いので、できればたくさんの人が利用できるような形に持っていけたらと思います。ありがとうございます。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　大変恐縮ですけれども、同じような質疑になりますがよろしいですか。事業内容についてはいろいろやり取りする中で十分理解しているのですが、１つ気になっているのは、国庫返納金が、それぞれ学習支援、住居に伴う給付金、一時生活支援、いずれも国庫返納金が発生しているのですよ。これは毎回

国庫返納金が発生している。

返納金が発生していることが、全て否定していることではないのです。それは需要と供給のバランス、そして国庫返納といえども裏負担分、３分の１とか、４分の１ですか、それは一般財源が、また今年度使用できるような効果もないわけではないわけ。ただ、皆さん方が毎回出ている予算の見込み違いにも、その資料の中身からすると、成果説明書の一時生活支援事業については、17世帯、20名、あるいはまた家賃給付金事業、あるいはまた先ほど言った学習支援、これも同じく、どうやって組み立ててるのかなと。それとも見込んだけれども、対象者をここに誘導する手法に問題があるのかなとも思ったわけ。

せっかくの機会だから、その予算の計上と国庫返納を安易にやっては駄目だよ。だから、そこに人件費が、会計年度任用職員を配置していますよね。専門職を配置していますよね。その専門職が、その対象者とどのように関わりを持っていて、どのような情報を持って、存在しているかもしれない。恐らく存在しているからこそ、当初予算と決算が乖離があるわけ。当初予算がそう見込んでいるのですよ。だから、そこにも注意すべきではないかなと思ったのですよ。どんなですか。これは毎回同じように出していたら、それはちょっと当初予算を組むときの考え方に、単なる踏襲しているような計上ではだめだよ、もしそうであれば。存在しているにかかわらず、拾い上げ切れていないというのは一体どうなのだろうかというのも検証すべき。いかがですか。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　上地委員の御質疑にお答えいたします。上地委員から御質疑いただいた本事業につきましては、生活困窮者自立支援法の事業になってございます。国庫負担金、もしくは国庫補助金を受けながら行っている事業でございますが、御指摘いただいたように、その事業の見込みというのは、ある程度正確に立てないといけないものかなというふうに私ども考えております。

ただし、その中で住居確保給付金については、ちょっとお話をさせていただきたいのですけれども、コロナの影響を受けて、令和２年度、非常に住居確保給付金の伸びがございました。令和２年度、令和３年度と非常に高い伸びで事業をやっていて、それに応えるために私たちはある程度の歳出予算も持っておかないといけないというような考えの下、予算を組みまして、それで今回住居確保給付金については、600万円余の返還金を出してしまっているところですけれども、そういったところもございますが、毎年度の推移とか、そういったことも考えつつ、また子どもの学習・生活支援事業については、この事業を受けたいというお子さん、また保護者をできるだけこの事業に利用させるように今後努力していきたいと思って、通塾事業に関しては、その定数というか、ある程度予算に見込んで、これぐらいは利用させることが可能だということをぎりぎりまで追ってはいきますけれども、途中で、その子供の希望とかによって退塾される方もいらっしゃって、その場合、その後にうめられなかったりとか、そういったこともございますので、いろいろな事情はございますけれども、できるだけ返還金を出さないように予算の立て方、また事業の実施の仕方についても考えていきたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　対象者と言われておりますが、これは誰が接触を持つのですか。それとも対象者の方、市民、問合せを受けたものを拾い上げていくような仕組みなのですか。いろいろな形から、その対象者というのは情報の収集ができると思う。しかも、皆さんが、この事業というのは非常に国庫補助を活用した、いい事業だというのも、さらに何がどうなるかというと、それは保護費を抑止するような大きな効果があるわけ

よ。自立を促すというのは、自立が促進できなければ、また保護の受給が拡充していくのですよ。

ですから、その前の手段の自立支援後に、しかもこの事業というのは、生活困窮者自立支援法に基づく、しかも３款、目は１目ですよ。１目なりの予算の流用も、これは可能でしょう。款をまたぐものについては流用禁止ですよ。しかし、１つの目であれば、それは流用ができるわけ。ですから、学習支援事業にも、これがかなり予算をオーバーしたら、１目内での流用が可能なのですよ。これはどうなのですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　流用としては可能ではございますが、基本的には、必要があれば補正を考えますが、流用は制度的には可能と考えます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それぞれの事業の性格があるから、それは事業計画を立てて、しかし出先機関は一緒で、１目の中で事業を組んで、一方が予算不足になったら流用が可能なわけ。もっと思い切ってやってもらいたいわけ。対象者がどうなっておるかという、ぜひともそこに視点を広げながら、その事業をさらに進めてもらいたいなと思います。それから、これは必須事業ですか、３つとも。

○石川慶 委員長　福祉担当次長。

○福祉担当次長　住居確保給付金支給事業については必須事業で、そのほかの２事業、一時生活支援事業及び子どもの学習・生活支援事業に関しては任意事業となっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　ほかにも任意事業があるではないですか。その任意事業を２事業採択していますけれども、就労支援に伴う準備支援事業、認定就労訓練事業、そのほかにもまだ任意事業があるわけ。それも視野に入れて、予算も確かにそれは２分の１、３分の１の裏負担分は発生するかもしれないけれども、それだけ返納するぐらいだったら、もっと広げて、もっと幅広く、そこに支援事業をすることで、大きく保護費との抑制にもつながって自立促進にならないかなと思ったのですよ。ぜひともその事業そのものが悪いというわけではなくて、しかも毎回同じように国庫返納金が、これは資料要求はしていないから分からないけれども、同じように出ていたとしたら、これまたおかしい。ですから、そこら辺も、せっかくの事業ですから、自立した、さらに自立に向けての支援事業となるように期待します。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　お答え申し上げます。今の御質疑についてですが、当初予算段階での査定の在り方、財政課のほうでしっかりとしていきたいと思います。年度中でも委員の御指摘の補正、もしくは流用が必要なものかどうかも、具体的なものが可能かどうかも、補助元とも調整をしながら、財政課のほうでも原課と確認をしていきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　財政課長、せっかく答弁してもらったから、少し苦言に聞こえるかもしれないけれども、本来だったら、皆さん方も、やはり目をつけるべきだよ、目をつけるべき。しかし、それはまた今後補正も含めて流用も含めてという話がありましたから安心しましたけれども、もっと充実させてください、もっと充実。できますよ。そして、余らないような大きな事業としての効果を果たすことを期待して質疑を終わります。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　ほかになければ１つ。成果説明書の24ページの赤道老人福祉センターの改修事業に関してなのですけれども、きちんと説明されているのですけれども、お聞きしたいのは、今回委託料として計上されているのですけれども、その改修設計・アスベスト分析調査という事業内容なのですけれども、これはアスベストの分析の、ここに書かれているとおり、それだけの調査になるのですか。その中で空調の改善とか、そういうことではなくして、アスベストの分析調査だけの費用が800万円余になっているのでしょうか、お伺いいたします。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　ただいまの質疑にお答えいたします。委員おっしゃるとおり、委託費の中にはアスベストの調査も含まれているのですが、それ以外に設計のほうの業務委託料が含まれてございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　設計というと、どういった設計なのでしょうか。

○石川慶 委員長　健康推推部次長。

○健康推進部次長　今回空調を主に改修工事を行うのですが、改修に伴って、また設計のほうの部分も必要になってございますので、令和４年度で設計の業務委託をして、令和５年度に本格的に改修を実施していくという流れになってございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　それをお聞きしたかったのですけれども、築45年ですか、昭和63年に建設されたということですから、大分老朽化が進んでいると思うのですけれども、設計をして新年度のまた事業に入っているわけですか、工事が。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　ただいまの質疑にお答えいたします。令和５年度においては工事請負費に含めて予算計上してございます。総額では２億700万円余りの事業費を計上してございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　そういった工事を行う場合に、以前、健康に被害があるアスベストですから、がんを発症するというふうな、大分悪質な物質なのですけれども、アスベストの分析を行ったということは、そのアスベストが使われている箇所を調べて、それを専門家の皆さんが改修して、それを処理するというふうな最終段階までの調査委託なのでしょうか。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　質疑にお答えいたします。分析調査の結果、問題なかったということで聞いてございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　そうですか。以前、うちも住宅を壊しまして、そのときアスベストが含まれているということで、検査したのですけれども、この調査結果によると、特別な専門家の処理をする方に処理させる必要のないという分析結果、アスベストが、石綿は入っていないということで、結果が出ているわけですか。普通の廃材として処分してもいいということですか。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　ただいまの質疑にお答えいたします。先ほど申し上げたとおり、特段問題ないというこ

とで、別途またアスベストに係る費用とか、そういったものは発生していません。

○我如古盛英 委員　それはよかったと思います。以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑ありますか。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　今のところです。24ページです。３款１項３目赤道老人福祉センターですが、この事業の効果で、台風等災害時の避難所として非常時の地域住民の安心安全を確保するとあるのですけれども、今回も台風第６号だと思うのですけれども、住民からシャワーがないのが困るというのがあったと思うのですけれども、それもこの改築の中で検討されていらっしゃるのでしょうか。

○石川慶 委員長　健康推進部次長。

○健康推進部次長　赤道の老人福祉センター自体は、避難所として指定はされているのですけれども、お風呂場もあって、シャワーの設置は、機能としてはございます。赤道老人福祉センターとしての運営上は、お風呂場もあって、その中にシャワーもあって、住民の方に利用していただいている状況がございます。

　今、委員おっしゃるのは、避難所の中に断水もしている状況の中でシャワーを使いたいというような御要望に対して避難所として対応できたかというところだとは思うのですが、今回に関しては、ここについては、あくまでも避難所ですので、台風の状況に応じて避難してきた方の対応ということで、それに伴って導入もしているような状況でございますので、シャワーの貸出しというところまでは、今回運営の中では対応し切れないということで、シャワーの貸出し等は行っていません。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　要望としてですけれども、住民の声としてありますので考慮お願いします。終わります。

○石川慶 委員長　ほかに質疑のある方。桃原功委員。

○桃原功 委員　質疑ではないのだけれども……

（「質疑をお願いします」という者あり）

○桃原功 委員　質疑ね。昨日、成果説明書の６款の中で特定健康診査受診率の件でお尋ねして、これは専門外だよということで、注意されたのだけれども、肝煎りで始めた3,000円のプレゼントでしたっけ、資料請求したら、福祉保健の概要に載っていたので、この福祉の概要で、令和３年度は28.9％の受診率、令和４年度、このプレゼントが直接的な影響になったかどうか分かりませんけれども、それでも数字的には８％向上して36％になっていたので、資料請求は、これで十分理解できたので、受診率向上、ありがとうございます。お礼を言っておきます。以上です。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

（「はい」「委員長」という者あり）

○石川慶 委員長　健康増進課長。

○健康増進課長　すみません。特定健診の受診率の件なのですけれども、今、福祉保健の概要８の９に載っている令和４年度の受診率36.6％につきましては、概算の数値になっておりまして、確定については10月中旬に予定しております。こちらのほうは受診率の計算方法が民間に加入している要件とかあって、こちらから人数を絞っていって、最終時点、10月中旬になる予定で、今９月の末時点では、福祉保健の概要に載っているものは、５月末現在の数字を載せておるのですが、今９月末時点では36.0％とちょっと減ってきている状況がございます。

○**桃原功 委員**　減っているの。

○**健康増進課長**　はい。ですけれども、委員おっしゃるように令和３年度と比較しまして約７％ほど上昇して、効果はあったと思っております。

○**石川慶 委員長**　特会ですからね。上里広幸委員。

○**上里広幸 委員**　決算書の146ページ、３款１項７目の精神保健福祉費についてお伺いしたいのですけれども、令和３年度のものと決算をつきあわせてみると、委託料のほうが592万円計上されているのですけれども、中身を少し拝見させてもらと、地域自殺対策緊急強化事業というのがあるのですけれども、これは令和４年度から実施していると思うのですけれども、令和３年度からですか。

（「令和４年度からです」という者あり）

○**上里広幸 委員**　令和４年度からですよね。この事業の内容を確認させてください。

○**石川慶 委員長**　福祉担当次長。

○**福祉担当次長**　上里委員の御質疑にお答えいたします。決算書の146ページの３款１項７目の備考欄では02です。地域自殺対策緊急強化事業でございます。沖縄県の自殺対策補助金を活用して、地域によって自殺対策を強化するために実施する事業として実施しております。人材育成事業、あと普及啓発事業、計画策定実態調査事業を令和４年度として実施してございます。

○**石川慶 委員長**　上里広幸委員。

○**上里広幸 委員**　ありがとうございます。県補助金を活用して行う事業ということで確認できたのですが、御答弁の中で、計画を策定していくということがあるのですけれども、今現在令和３年度、令和４年度、本市の自殺者の数は何名いるのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　障がい福祉課長。

○**障がい福祉課長**　上里広幸委員の御質疑にお答えします。自殺者の数なのですけれども、これは様々な統計がある中で、公表されている部分でお答えしたいと思いますが、警察庁が毎年公表している数字、計画をたてるに当たってはプロファイルといって、国が示しているデータがあります。その中でですけれども、宜野湾市の自殺者数なのですが、公表されている数字で言えば、平成29年から令和３年の間で、宜野湾市内で自殺で死亡された方が65名、１年間平均が12.4人というふうに公表されています。これは沖縄県全体の平均数よりは、平均数は16.6人なので、少し少ないというふうに統計上は出ております。以上です。

○**石川慶 委員長**　上里広幸委員。

○**上里広幸 委員**　ありがとうございます。この事業の内容について、もう少しお尋ねしたいのですけれども、実際宜野湾市で平均して年間12名の方が自殺されているということですが、この計画を策定する内容、どういったものを計画して、何を策定していくのかというのが少し見えないのですが、なぜかというと、592万円の予算を支出しているものですから、その内容を少し把握したいので、答弁をお願いします。

○**石川慶 委員長**　障がい福祉課長。

○**障がい福祉課長**　御質疑にお答えします。この自殺対策計画というものが、自殺対策基本法というものがございまして、それに市町村は自殺対策計画、そういうものを策定しないといけないということが示されています。

国のほうで自殺対策大綱というものをつくっていまして、目標数値というものが設定されております。現在の年間平均の自殺者数から今後の目標としては30％以下の減少をしていこうと。そういった細かい数値目

標が立てられているのですけれども、何をするかというところで、基本的には自殺に係る、至ってしまった要因としては、その地域での生きづらさ、生活のしづらさ、孤立していたり、相談する人がいなかったり、また経済的にも困っていたりとかというところで、それぞれいろいろな悩みを抱えていたのではないかというところが、国のほうとしては分析で挙がっています。ですので、私たち特に福祉もそうなのですけれども、日頃市民と接しながらいろいろな相談をしていく中で、通常の業務に加えて、自殺予防の観点も入れて取り組むことが大事ではないかというところが、国が示している大綱にうたわれているものですから、そういう形で、特別な何かをするというものではなくて、日頃の相談の中で、この方が生きづらさをなくすような、生きやすいような生活をしていく、そういった環境を地域としてつくっていくことを目標とした計画になっています。

ただ、自殺者が多いという現状、コロナの辺りから過去最高値というのは出ていますので、そういったものを含めてゲートキーパーとか、自殺予防に対する啓発事業というものは、各市町村で積極的にやりなさいよというのが、この計画にもうたわれているものですから、その部分については、年に何回、何名ぐらいの受講者を目標とするというような地域目標を掲げながら、全庁挙げて取り組む必要があるのかなというふうに考えております。そういった計画になっております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。この自殺の問題というのは、日本全国の大きな問題、重要課題として国も大綱を作っていると思うのです。日々ニュースでも取り上げられています。コロナ禍だけではなくて、福祉においても後期高齢社会の中で、老老介護に疲れて、こういった行動を取るということも報道等で取り上げられています。実際令和４年度に支出した委託料の内容というのは、計画の策定だけなのですか。この委託料の内容について少し教えてください。

○石川慶 委員長　障がい福祉課長。

○障がい福祉課長　委託料につきましては、市民アンケートとか、そういった実際の計画を策定するに当たって必要な部分も委託になっておりまして、そういった自殺対策に関わる施策、何か啓発事業をしたというところではないのですが、計画策定のための委託料になっています。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。この計画というのは、いつ頃、市民の皆さんに公表される予定ですか。

○石川慶 委員長　障がい福祉課長。

○障がい福祉課長　もう既に障がい福祉課のホームページのほうで公表はしてございます。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　冊子とかではなくて、あくまでホームページ上での公表ということでよろしいですか。

○石川慶 委員長　障がい福祉課長。

○障がい福祉課長　冊子も準備はしているのですけれども、数に限りがあるものですから、ホームページを活用しながらということで、今公表しているところでございます。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。１人でも自殺者を減らせるよう取り組んでください。以上です。

○石川慶 委員長　よろしいですか、皆さん。プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　今の自殺のところですけれども、委託料の591万9,000円、この委託料はアンケートだけですか、ほかにもありますか。市民アンケートに関しての事業でしょうか。

○**石川慶 委員長**　障がい福祉課長。

○**障がい福祉課長**　策定に関わる全ての事務といいますか、アンケートもそうなのですけれども、基礎調査といいますか、そういったものを全て委託してございまして、製本とか、そういったものが全て入っています。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　アンケートとか、調査ももちろん大切なのですけれども、今、電話だけなくてＬＩＮＥとか、24時間対応の電話とか、そういう緊急対策の、そういうのは、まだやっていないのですか。

○**石川慶 委員長**　障がい福祉課長。

○**障がい福祉課長**　今の御質疑は、悩み相談をどのような形で受け付けていますかという。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　対策強化事業、どのような対策をしているか。今のお話だと、アンケートの調査とかですか。

○**障がい福祉課長**　計画策定に関する部分です。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　すみません。そういういつでも受けられるような悩み相談もできたら、これからやっていただきたい。ありがとうございました。

○**石川慶 委員長**　どうですか、皆さん。もう１時間半以上たっているのですが、この辺でちょっと休憩してもよろしいですかね。

（「はい」という者あり）

○**石川慶 委員長**　３款、ほかに皆さん質問ありますか。予定では３時10分までとなっているのですけれども、休憩して職員の入替えをしても大丈夫ですか。よろしいですか。

（「はい」という者あり）

○**石川慶 委員長**　では、10分間休憩に入りましょうね。

○**石川慶 委員長**　休憩いたします。（午後３時１０分）

○**石川慶 委員長**　再開いたします。（午後３時２０分）

○**石川慶 委員長**　続きまして、４款衛生費について審査を行ってまいります。

質疑を許します。質疑のある方。桃原功委員。

○**桃原功 委員**　成果説明書の36ページをお願いします。36ページの西普天間住宅地区公営墓地整備事業、初日に資料要求したのですけれども、資料番号68番が届いています。ありがとうございました。

それで、この成果説明書の中に埋蔵文化財の報告書の刊行というのもあったので、これをお尋ねしたら、教育委員会だよということで、一応資料は出せないけれどもということで、このような立派な資料、調査報告書、安仁屋・新城イシジャー流域古墳群という、これはちょっと見させてもらったのですけれども、とても貴重な、この西普天間住宅地区内にある墓だけではなくて、多分そこが中心だと思うのですけれども、このような調査報告書になっているのだと思ったら、大変貴重な報告書だったので、これはこれで高く評価し

たいなと思っています。課長はいらっしゃる、環境対策課長、教育委員会ではないのだね。ありがとうございます、ちゃんと閲覧しましたので。

それで、質疑に入りますけれども、資料のほうで墓需要の件も記述があるのですけれども……

（「資料番号68」という者あり）

○桃原功 委員　68番。資料番号68番の中で、ちょっと読み上げると、平成34年までに、平成34年というと令和４年ということかな。こういうのは西暦で書いてほしいよね。これは資料の中に平成34年までに市全体で1,755基の墓地需要があって、平成44年までには3,620基の墓地需要が見込まれていますということであるのですけれども、この西普天間住宅地区内でのお墓の計画というのは、ここに書いてあるように1,926基ということでの計画なのでしょうか。それとも私の今の数字で違っていたら訂正も含めて回答をお願いしたいのですけれども。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　桃原委員の御質疑にお答えします。資料番号68で出させていただいています、平成34年に墓地需要として934、平成44年、令和に換算すると令和14年ということになるのですが、に1,926基というのは、あくまでもこの時点での墓地基本計画での需要予測になっております。今回の公園墓地整備事業で整備をする墓地の数とは異なっておりますので、御了承ください。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　あの西普天間住宅地区内にある、安仁屋・新城、要は西普天間もそうかな、西普天間も一部ありますけれども、そこで見つかった墓というのは何基ぐらいあったのですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質疑にお答えします。あくまで予定地として公営墓地整備の予定地として敷地を確保させていただいている場所での今回の文化財の数になるのですが、空墓、何も入っていなかったものもあるのですが、空墓としては、９か所というのですか、公営墓地の敷地内では調査が行われております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　９か所というのは、エリアで９か所なのか、それとも墓自体数えて１個、２個、３個の９個なのか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　お墓自体の数で９基という言い方が適切だと思います。９基になります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　少ないね。そうすると、計画であるように令和14年までには1,926基計画をしていくということは、西普天間地区内にある墓プラス外部からもここに移転、あるいは販売ということになるということでよろしいのでしょうか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　今回の西普天間住宅地区公営墓地整備事業で整備を進めている墓地の数というのは、この西普天間地域内のみの需要数ではなくて、あくまでも地域全体の需要数ということで、全てはもちろん満たしてはいない状態なのですが、確保できた敷地で整備ができる数ということで、まず整備を進めているところです。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　ニュースで見聞きするのは、これは沖縄の例ではなくて、ヤマトのニュースで見聞きするのは、墓じまい、要はお墓を継ぐ人がいなくなってきていると。どんどん自分の身内が亡くなったりなどして、親族が亡くなって、お墓を見る人がいないから、墓じまいをするという風潮もあるらしいのです。沖縄に限ってはどうか分からないのですけれども、その辺の見込み、あるいは予想というのは、皆さん持っているのですか。

○**石川慶 委員長**　環境対策課長。

○**環境対策課長**　すみません。今現時点で市民の墓じまいの意向調査というのは行っておりませんので、データとしては持っていない状況です。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　分かりました。この36ページの報告でいうと、委託料が1,000万円、報酬が200万円、職員手当96万円、需用費162万円、多額ではないのですけれども、この委託料1,000万円というのは、お墓整備事業に関しての調査なのか。それともこの報告書で1,000万円を委託して作成したという、どちらなのでしょうか。用途ね、この金額の。

○**石川慶 委員長**　環境対策課長。

○**環境対策課長**　今、成果説明書36ページで表記させていただいています委託料1,005万1,800円の内訳としましては、これは今回の報告書をまとめる額ではなくて、今後の建設に向けての建築の基本設計、あと土木、外構ですね、土木造成工事の実施設計に係る費用となっています。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　分かりました。この公営墓地整備事業としては、金額的には全然整備できる金額でもないので、これは計画として、今後また議会等に墓整備事業として提案もしていくのですかね。いかがでしょうか、計画は。

○**石川慶 委員長**　環境対策課長。

○**環境対策課長**　御質疑にお答えします。今後の西普天間住宅地区内の公営墓地整備事業につきましては、今年度までは設計業務等は入っております。ちょっと他事業との兼ね合いで、令和６年度、来年度少し具体的な建設に向けての取組というのは事業量としては少なくなるのですが、令和７年度以降から、今の予定では造成工事等に着手はしていければというふうに計画していますので、今後の予算等も、その計画に沿って計上させていただく予定としております。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　分かりました。いただいた資料は、墓地需要への対応ということで、年間の需要数とか、あるいは墓地の面積等が記載されてはいるのですけれども、場所的に西普天間のどの辺にというのが分からないのですよ。何となく奥まったところになるのかなと。要は県道側、見えるところではなくて、奥まったところなのかなと思ってはいるのですけれども、これはイメージパースみたいなものって、図面ってあるのですか。この辺に第１期、例えばこの辺に第２期、西普天間住宅地区エリア内の52ヘクタールの、この辺に造るのですよという計画図面はあるのですか。

○**石川慶 委員長**　環境対策課長。

○**環境対策課長**　場所ということで理解……

○**桃原功 委員**　そうです。

○環境対策課長　西普天間住宅地区内のどの位置に今整備予定なのかという場所が分かる資料、地図ということでよろしいでしょうか。

○桃原功 委員　そうです。

○環境対策課長　ちょっと資料等、手元に持ち合わせていないので、ちょっと地図が分かりやすいかなと思いますので、これは場所を示した……

○桃原功 委員　もし提出できるのであれば、お願いしたいなと。

○環境対策課長　はい。では、位置図のほうを提出させていただきます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

　では、次の質疑はいいですか。

○石川慶 委員長　はい、どうぞ。

○桃原功 委員　35ページのＰＣＲ検査会場運営事業なのですけれども、これは事業名はＰＣＲ検査会場運営事業という事業名なのですか。これは消防裏の駐車場を活用して民間事業者がＰＣＲ検査をやっていた事業のことなのですか。

○石川慶 委員長　国民健康保険課長。

○国民健康保険課長　お答えいたします。おっしゃるとおり消防の裏の駐車場の市民会館専用駐車場の敷地を利用しまして行っていたＰＣＲ検査のことになります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　私も大変お世話になりました。ありがとうございました。何回も利用させていただきました。

　これはたしか社交飲食業組合なのかな、そこが受託してやった事業ですよね。結局コロナで、飲食業も開店ができない、お店を開くことができない。そういった中で、従業員の方々を含めた人たちが、ここでしっかりＰＣＲのチェックをするというので、非常にウイン・ウインの関係で、とてもいいなと思ったのですけれども、成果としては２万9,000人、受検者というのか、陽性患者が5,400人、陽性率18.6％とあるのですけれども、これは多分終了していると思うのですけれども、まだ令和５年度ということは、終了はしていないのですか。もうやっていないですよね。まだあるのですか。

○石川慶 委員長　国民健康保険課長。

○国民健康保険課長　お答えいたします。令和５年５月８日に新型コロナウイルス感染症の位置づけが５類に移行していますので、５月７日までは実施しておりましたが、それ以降は事業は終了しております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これは令和４年度の決算書ですけれども、令和３年度も令和２年度も社交飲食業組合さんが受託して、ずっと継続してやっていたのですか。

○石川慶 委員長　国民健康保険課長。

○国民健康保険課長　令和３年度からこの事業を実施しておりますが、終了するまでの期間、宜野湾市社交飲食業組合のほうに受託していただいて、事業を実施しておりました。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ドライブスルー方式で、とてもいいなと思っていて、これは受託した社交飲食業組合と当局と、あるいは市民の声というのも含めた総括的な会合って持ったのですか、相手方と一緒に。

○石川慶 委員長　国民健康保険課長。

○国民健康保険課長　今おっしゃるような市民、事業者、市、３者による総括のようなことは行っておりません。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　社交飲食業組合の方々も大変ありがたかったのではないのかなと想像はするのですけれども、ぜひ持っていったほうが今後のためにも、次コロナがあるということではなくて、今後のためにもよかったのかなと思うのですけれども、他市もこのような仕組みでやっていたのですか、分かりますか、他市の状況は。

○石川慶 委員長　国民健康保険課長。

○国民健康保険課長　お答えいたします。うるま市、沖縄市などが宜野湾市と同じように事業を実施していたと聞いております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。以上です。

○石川慶 委員長　次に質疑のある方。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　すみません。令和４年度決算書の４款……

（「ページ」という者あり）

○プリティ宮城ちえ 委員　211ページの４款２項１目、教えていただきたいのですけれども、ここにいろいろな区分が､節があります｡10の需用費というところの不用額というところが187万円､とても多いのですが､その理由を教えていただけますか。

（何事かいう者あり）

○プリティ宮城ちえ 委員　211ページの４款２項１目の節区分の10の需用費の不用額のところです。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　御質疑にお答えいたします。各事業の合算になっておりますので、主にごみ減量対策事業、次のページの05番です。05番のごみ減量対策事業の中の需用費といたしまして、印刷製本費がございます。これは入札による執行残になっておりまして、不用額というふうに計上されております。

（何事かいう者あり）

○市民経済部次長　すみません。印刷製本費の入札執行残となっておりまして、内容といたしましては、指定ごみ袋の印刷製本費になります。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　需用費の05のごみ減量対策事業から。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　委員がおっしゃっておりました、187万1,324円のうち165万2,000円余りが入札執行残、ごみ袋の入札執行残として不用額として残っております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　その05のところのごみ減量対策事業の中の印刷製本費、市民向けに、理解してもらうためにパンフレット等を作成していますか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○**市民経済部次長**　4,200万円余りありますけれども、指定ごみ袋の印刷費になります。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　もう一つ聞いていいですか。小学校、中学校の子供向けのごみ減量対策って、この中のどこかに出ていますか。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　倉浜のほうに視察に行ったときに、ごみ減量対策で一番いい、向こうの方が言うには、生徒たちがここに見に来て勉強したら、家庭で親に伝えるから、一番効果が高いとおっしゃっていたので、それがどこかに予算として組まれているのかなと思って質問しました。

○**石川慶 委員長**　そういった事業を行ったかということですか。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　はい。

○**石川慶 委員長**　環境対策課長。

○**環境対策課長**　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えします。今、小学生向けの教材、これはちょっと段ボールコンポストとかの講習会の事例になるのですが、実はこちらのごみ減量対策事業というのがございます。こちら決算書の212ページ、備考欄05番、こちらごみ減量対策事業ということで、こちら内訳のほうには見えていないのですが、実は報償費という形で、毎年計上させていただいている予算であります。

ただ、こちらはコロナの影響で、この３年、４年にかけて、少し開催を自粛させていただいている状況がありまして、決算上はゼロという形になっておりますが、それが今御指摘のコンポスト等の講習に関しては、こういったごみ減量対策事業の中で例年計上させていただいております。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　分かりました。ここには出ていないけれども、この中にそういう報償費が入っているという、分かりました。ぜひ子供たちへ企画してもらえるといいと思います。ありがとうございました。

○**石川慶 委員長**　休憩いたします。（午後３時４５分）

○**石川慶 委員長**　再開いたします。（午後３時４５分）

○**石川慶 委員長**　会議時間の延長についてお諮りいたします。本日の会議は、議事の都合により、この際、あらかじめこれを延長したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○**石川慶 委員長**　御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

それでは、質疑をよろしくお願いいたします。上里広幸委員。

○**上里広幸 委員**　よろしくお願いします。決算書の210ページ、監査意見書のほうにもある程度は書かれていたのですけれども、４款２項１目の清掃総務費なのですけれども、当初予算額８億6,700万円余あるのですけれども、補正で1,199万3,000円減額になっているのですけれども、主な理由について。

○**石川慶 委員長**　環境対策課長。

○**環境対策課長**　御質疑にお答えします。４款２項１目清掃総務費の補正予算額の1,199万3,000円の、まず主なものなのですが、こちら次の212ページの04番、倉浜衛生施設組合の処理負担金、すみません。失礼しま

す。少し資料の整備ができておりませんで、後ほど確認の上、回答させていただく形でよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　上里委員、それでよろしいですか。

○上里広幸 委員　はい。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　大まかなものから確認したかったのですけれども、211ページの説明欄02、清掃事務組合費とあるのですけれども、これは令和３年度決算時には1,885万8,540円だったものから大幅に減額になっているのですけれども、これでは中身が分からないので、御説明をお願いいたします。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質疑にお答えします。清掃事務運営費、決算書の211ページ、備考欄02の清掃事務運営費1,098万7,829円の前年比ですが、前年度決算比で780万円ほど減になっている状況です。それの主な内容になりますが、１つ目は、前年度、令和３年度に一般廃棄物処理基本計画というものの策定がございました。その中に委託として、外部の委託という形で480万円ほど支出をさせていただいております。その差によるものが１点と、もう一つ、会計年度任用職員、こちらが令和３年度については、粗大ごみの回収業務の集中的な対応がございまして、２名ほど会計年度任用職員を配置しておりました。その分が令和４年度は減になっておりますので、大きくこの２点の内容の差異による決算額の差になっております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　通常は１人の配置で、会計年度任用職員は、令和３年度が集中的な粗大ごみの回収があってということで、理解してよろしいですね。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質疑にお答えします。通常期の会計年度任用職員の数でいいますと、電話受付業務、あるいは清掃指導員とかの業務で、プラス通常の事務の会計年度任用職員ということで、清掃面の会計年度任用職員は５名配置しております。令和３年度に限っては、それにさらにプラス２名という配置になっておりましたので、その分の差となっております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございました。理解しました。

次です。もう一点お聞きしたいのですけれども、212ページ、決算書の。説明05のごみ減量対策事業なのですけれども、前年度と比べて1,000万円近く決算額が増加しているのですけれども、先ほど印刷製本費の説明がされていたのですけれども、この印刷製本費が1,500万円程度増額している、決算額で。これは当初の予算の中でありましたかね。この増額した理由について。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質疑にお答えいたします。212ページの備考欄05番のごみ減量対策事業中の印刷製本費4,200万円余りの額になりますが、こちら主にごみ袋の印刷製本費になっております。前年度比で、御指摘のとおり1,500万円ほど決算額が増になっている理由としましては、今回コロナ禍の影響とか、また事業者側の燃料費の高騰であったり、あと原材料コストの上昇ということで、令和３年度の印刷製本単価よりも、かなり単価が増加したということが要因になっております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　説明ありがとうございました。少し分かりにくかったので、もう一度確認しますけれども、

印刷製本費が上がったからなのか、油が上がったからなのか、説明があったのですけれども、印刷の量が増えているのかなという感じで質問したら、物価が上がっていることで、上がっている。この説明の中で印刷と燃料費が上がっているという説明があったのですが、どのように試算されているのか。当初予算からこれは計画していると思うのですけれども、そのとおり執行がなされていますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　ちょっと説明が、少し分かりづらい説明をしてしまいました。申し訳ありません。

印刷製本費ということで、具体的には粗大ごみではなくて、指定ごみ袋の印刷製本費、指定ごみ袋の製造ということになります。従前、令和３年度の単価よりも製造単価が令和４年度のほうが、かなり上がっている状況がありまして、その差による令和３年度と令和４年度の決算の増になっております。数量については、大きく変動はない状況です。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。物価高の影響がものすごく出ているなと、もう一点確認させてもらいたいのですけれども、その通信運搬の下のほうに配布作業委託料というのがあるのですけれども、令和３年度まで見かけないのですが、どういった作業か分からないので、これについて説明を。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質疑にお答えします。こちらの212ページの05番のごみ減量対策事業費中の配布作業委託料52万812円なのですが、昨年度は、この項目はございませんでした。失礼しました。令和３年度については、この項目はなくて、令和４年度にこの項目が新しくできておりますが、こちらは手数料改定が令和４年度からございましたので、それを周知するためのチラシを配布するための作業手数料として計上させていただいたものです。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　手数料改定、もう少し説明を。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　お答えします。手数料改定、この４月から粗大ごみの手数料を改定させていただいていますので、そのための事前周知のための配布、すみません。説明がちょっと足らずに失礼しました。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。物価の高騰とか影響されて、令和５年度にも踏まえて予算が組まれているので、この試算についても慎重に行っていただきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　令和４年度決算書と令和３年度決算書を比較して、ちょっと質疑したいのですけれども、決算書の212ページ、ごみ処理委託事業が２億1,600万円、これが多分燃えるごみの委託業者費だと思うのですけれども、令和４年度決算は２億1,600万円なのですよ。令和３年度決算は１億9,600万円なのですよ。令和４年度決算が約2,000万円増額になっているのです。増えてしまっているのです。これは要因は何ですか、増えてしまった要因というのは。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質疑にお答えします。決算書212ページの２目塵芥処理費のごみ処理委託事業中のごみ処理委託費２億1,600万円の増額決算、昨年度からの増額理由ですが、この事業については、市内の一般家庭ご

みの中から委託事業者に回収を委託する予算になっております。

この中で、その作業に係る収集の実績の変動にはなるのですが、具体的には、こちら２者委託をさせていただいているのですが、その２者について、令和４年度より粗大ごみの収集車両が増強ということで、２台相当分の額を追加させていただいておりまして、その差による差が2,000万円弱、決算額として出ております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　増強というのは、ごみ回収車両を増やしたということですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　ごみの収集作業、主に粗大ごみの収集になるのですが、その車両を具体的には２台相当分ということで、それに伴う人件費等も発生しますので、車両プラスそれに伴う人件費等を含めた額ということで、２台相当分ということで説明させていただきました。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、令和４年度決算で粗大ごみが増えたということですか。粗大ごみ相当の分の増額というのは、粗大ごみも並行して、比例して増えたということですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　説明させていただきます。粗大ごみの収集量自体は、極端に増えたということではなくて、違いとしましては、前年度、令和３年度、先ほどのちょっと説明からいきますが、会計年度任用職員が２名多かったというお話をさせていただきました。その分、自前で粗大ごみの収集というのを運用していたという実例があります。さらに、翌年度以降は委託業者さんの収集能力をちょっと増強していただいた中で、委託のほうに切り替えていったという流れになります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そしたらごみの量が増えたということではないわけですね。それが原因による金額の増額ということではないわけですね。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　そのとおりです。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ぜひ資料として、どなたが請求したか分からないのですけれども、３年ぐらいの一般家庭ごみの搬入量の推移というのを資料としていただけますでしょうか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　一般家庭ごみの搬入量ということで、市から搬出される、倉浜に搬入されている一般家庭ごみの推移ということで、３年分でよろしいですか。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　せっかくなので、燃えないごみと粗大ごみ、含めて３種類の搬入量の推移をお願いできますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　家庭ごみの中で、燃えないごみ、粗大ごみ、それとまた通常の家庭ごみということで、３種類の３年分の搬入量ということで、資料のほうを提出させていただきます。

○桃原功 委員　お願いします。以上です。

○石川慶 委員長　次に質疑のある方。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　関連してお願いしたいのですけれども、今回委託料が増えているということで、今、桃原委員より質疑があったのですけれども、ごみ収集ですね、この増えた分は粗大ごみ収集のための分だけになるのですか、再度お聞きしますけれども。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　同じページのごみ処理委託事業の増の理由ということでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　はい。関連してなのですけれども、宜野湾市の今２組合ですか、業者ですか、宜野湾クリーンサービスと宜野湾市清掃事業協同組合、２つあるのですけれども、この２つの加入している業者の皆さんが、市内全域を燃えるごみを収集しているわけですけれども、その収集する区域のローテーションというのが最近変わりましたか。それとも何か年か、同じ業者が同じところをごみ収集していますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　我如古委員の質疑にお答えします。まず、今のエリアの件です。委託業者２者ございまして、今出ました、宜野湾クリーンサービスさん、それと宜野湾市清掃事業協同組合さん、この２者のほうで、委託という形で収集を主に出しているところです。

エリアについては、従前から変動はございませんので、この２者の担当するエリアというのは、ローテーションとか、そういったことではなくて、一定のエリアをお願いしております。

もう一つ、先ほどの桃原委員質問の粗大ごみが主な要因かということですので、この決算の差については、主に粗大ごみ回収に伴う車両の増強分のものが理由となっています。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　月曜日から土曜日まで毎週燃えるごみ、粗大ごみ、それから草木とか、収集しているのですけれども、その収集は、これまで変更はないということでいいのですよね、それに関しては。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　収集日の変更というのはございません。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　後で、私は長田の４丁目というところに住んでいるのですけれども、いつも新聞紙を行っていますので、配達。その中にごみの収集という日にちがあるのですけれども、全市が同じような収集日ではないですよね。何か火曜日が１日中休みのところもあれば、うちのところは火曜日と金曜日が休み、金曜日が資源ごみとそれから有害ごみとかあるのですけれども、宜野湾市全部一円、全く同じかなと思っていたら、違うような感じがしますけれども、違いますね。

○桃原功 委員　火、金と月、木で分かれている、燃えるごみ。

○我如古盛英 委員　２つに分けている。

○桃原功 委員　火、金と月、木でエリアが。

○石川慶 委員長　我如古委員、決算の審査で、よろしくお願いします。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　この資料ですね、ちゃんとした資料があれば、よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　市内の収集の曜日の一覧……

○我如古盛英 委員　変更があったように……

○環境対策課長　提出いたします。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　今度は202ページなのですけれども、これもいいのですよね。４款１項ですから。

○石川慶 委員長　大丈夫です。202ページですね。

○我如古盛英 委員　はい。202ページの保健衛生費の予防費のところですけれども、その中で支出済額が、予算が８億円余で、補正が9,000万円を組んだということでありますけれども、その後ろのほうを見ると、支出が18億円で、それから不用額が１億2,400万円が不用額になっていて、その中の内訳を見ると、12節の委託料が１億円余りの不用額として出ているのですけれども、まだまだ新型コロナウイルス感染症が完全に収まっているわけではないので、いろいろな理由はあるのかなと思うのですけれども、この12節の１億円の不用額というのは大きいのではないかなと思うのですけれども、少し説明していただけないでしょうか。

○石川慶 委員長　コロナ対策担当主幹。

○コロナ対策担当主幹　お答えいたします。委託料の部分での不用額についてですけれども、新型コロナウイルスワクチンの接種の部分が、かなり金額が大きいということで、私のほうから説明させていただきます。

　集団接種のほうが、当初こちらのほうで準備していた回数の部分が、回数が減ったためというところです。これは３回目接種のほうを、接種する方が、希望者が少なくなってしまいまして、それで開設する集団接種会場の委託の部分が回数が減ったというところも要因であったり、あとはまた医療機関で行う、個別医療機関での接種委託料の部分も３回目接種以降、希望する方が少なくなったというところ、あと先ほども申し上げましたが、集団接種会場等の接種件数についても、こちらが準備していた部分よりは希望者が少なくなったというところでの補正減が、かなり金額が大きくなってございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　ありがとうございます。ただいまの説明では、コロナ接種のワクチンが減ってきたということで、これは今回は令和４年ですけれども、令和３年度もそういう傾向があったかなと思うのですけれども、どんなでしょうか。前よりやはり接種し始めは接種のほうが多くて、随時減ってきたという感覚でよろしいのですか。

○石川慶 委員長　コロナ対策担当主幹。

○コロナ対策担当主幹　御質疑にお答えします。令和３年度からコロナの接種がスタートしておりますが、初回接種と言われている１回目接種、２回目接種については、市民を対象としておりますが、約６万8,000件ほど１回目、２回目は６万7,000件ほど接種しておりますが、３回目以降から４万6,000名、４回目が２万6,000件、５回目が１万2,000件という形で、希望者がどんどん少なくなっている状況がうかがえます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　このコロナ接種というのは、今集団接種も行っているし、各指定された病院でも行っていますけれども、市内全体の総数ということで、理解していいですか。

○石川慶 委員長　コロナ対策担当主幹。

○コロナ対策担当主幹　こちらの件数は、集団接種会場、あと市内の医療機関、県が実施しておりました広域ワクチン接種センターと市外の医療機関に通院されている方々は、市外であっても、そちらで接種ができますので、宜野湾市に住民票がある方全ての接種回数がこちらに網羅されております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。以上です。ありがとうございました。

○石川慶 委員長　次にありますか。上里広幸委員。

○上里広幸 委員　すみません。、今のＰＣＲ検査会場の運営事業なのですけれども、成果説明書35ページなのですけれども、財源内訳として2,964万4,000円、国補助としてあるのですけれども、資料を請求したのですけれども、予備費の内訳、資料番号８番、提出してもらったのですけれども、その予備費から充当されているという認識でよろしいですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上里委員の御質疑にお答えいたします。こちら歳出については、御指摘のように定期的に予備費を充当して、延長、延長となりましたので、予備費を充当して歳出の予算を措置しております。ただし、財源については、新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金、成果説明書35ページの表にも書いてありますとおり、こちらの報告書は、国の交付金のほうを活用できるということでございましたので、こちらの財源として、歳入で、財源として充当させていただいてございます。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　この充当もなのですけれども、予備費として、見込みとして、当初予算にはなくて、臨時で行っているから、予備費を支出している、充当方法について、これが妥当かどうか確認したいのですけれども、予備費から支出して、見ていくと、日付は打たれていないのですけれども、延長、延長するたびに予備費から支出していっているのか。当初予算で分からなかったものですから、この予備費として充当して、合計額が、もうこの額になっているということですよね。この成果説明書を見ていくと、関係法令、条例等もないわけですよね、法定根拠は。そういう中で予備費から充当していくから、その運用方法というのですか、その辺根拠等あればお伺いします。

○石川慶 委員長　国民健康保険課長。

○国民健康保険課長　お答えいたします。この事業は、市の事業としましては、検査会場提供と検体の回収を行うもので、検査費用自体は沖縄県の補助を活用しての実施となっておりました。県の事業は、感染状況を伺いながら、毎月末において翌月の事業を継続するかどうか判断しておりましたので、市も同様に検査費用の補助を受けるために県の事業決定に沿って事業の継続を決めていてですね、そのために毎月予備費の充用について検討して事業を継続しておりました。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　もう一つ確認したいのですけれども、補助事業に対して予備費を充当していくということ、これは何か根拠はあるのですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　こちらについてなのですが、おっしゃるとおり年間を通しての予備費としての計画としては組んでおりませんでした。県のほうの検査の補助に対して、我々のほうでは会場の運営を行うということで、県の動向を見ながら、ずっと延長してきているところではございましたが、こちらについては、そういった形でも新型コロナウイルスの補助金の充当といいますか、活用は可能ということで、要綱がございましたので、活用させていただく形になります。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　もう一つ教えてもらいたいのですけれども、この予備費いうのは一般財源ではないのですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　一般財源です。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　そうですよね。補助事業に支出して大丈夫なのですか。その根拠とかあって支出していると思うのですけれども、その辺妥当だということを説明していただけませんか。なぜかというと、これは決算ですので、この成果説明書と提出していただいた資料と見比べて、ちょっと疑問があるものですから、その辺ちょっとすっきりさせたい。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　当初の計画と国の資料とちょっと整理させていただいて、回答させていただいてもよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　私、この運用方法について確認したいわけですよ。予備費から支出していっているので、事業に対して、一般財源から、予備費から出していくのかなと少し気になったものですから、よろしくお願いいたします。以上です。

○石川慶 委員長　すみません。ちょっと休憩しましょうね。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後４時２２分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後４時２２分）

○上里広幸 委員　減額だけの説明になってくると思うので、直接担当課にお伺いします。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　明日でも大丈夫かなとは思うのですけれども、来ていただいて、答弁だけはしてもらうことはできると思うので、大丈夫ですかね。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　はい。では、明日の冒頭で説明させていただきます。内容について、事業と、あとは人件費に係るものも少し絡むかもしれませんので、人事課のほうとも確認して答弁させていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　上里委員、よろしいですか。

○上里広幸 委員　はい。

○石川慶 委員長　ほかに質疑ありますか。よろしいでしょうか。

（「進行」という者あり）

○石川慶 委員長　それでは、審査中の認定第１号については質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○石川慶 委員長　御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

本日の会議はこの程度にとどめ、次の委員会は明日の午前10時から会議を開きます。本日はこれにて散会いたします。皆様、御苦労さまでありました。

（散会時刻　午後４時２５分）

総務常任委員会会議録

○開催年月日　　令和５年１０月１２日（木）　３日目

午前１０時００分　開議
午後　５時３２分　散会

○場　　所　　第３常任委員会室

○出席委員（１０名）

委員長	石川　慶		副委員長	知念　秀明	
委員	宮城　克		委員	平安座　武志	
委員	桃原　功		委員	伊波　一男	
委員	プリティ宮城ちえ		委員	我如古　盛英	
委員	上里　広幸		委員	上地　安之	

○欠席委員（０名）

○説明員（４２名）

総務部次長	多和田　眞満		企画部次長	伊佐　真	
財政課長	比嘉　隼也		企画政策担当主幹	小橋川　陽介	
市民経済部次長	新垣　育子		産業政策課長	宮城　恵美	
企業誘致担当主幹	饒平名　文治		観光スポーツ課長	外間　理子	
スポーツ振興係長	宮城　真也		農林水産係長	勝連　邦明	
商工振興係長	内間　穂高		雇用企業係長	松田　学	
雇用企業担当主査	塩川　浩志		健康推進部次長	米須　之訓	
建設部次長	城間　勝也		建設部参事	嶺井　辰也	
都市計画担当技幹	新﨑　雅也		建築課長	普天間　朝信	
道路整備課長	高江洲　強		用地課長	比嘉　徹	
市街地整備課長	嶺井　実克		施設管理課長	與那嶺　諭	
消防次長	又吉　清		総務課長	島袋　保	
予防課長	早川　淳		警防課長	伊佐　隆之	
教育部次長	真鳥　かおり		施設課長	仲村　等	
施設担当技幹	我那覇　宗康		生涯学習課長	佐久原　昇	
文化課長	浜里　吉彦		市立博物館長	平敷　兼哉	
市民図書館長	與那原　類		指導部次長	松本　勝利	
指導担当主幹	比嘉　祐一		はごろも学習センター所長	當山　全盛	
GIGA スクール担当主幹	比嘉　広和		支援係長	當山　ゆかり	
学校給食ｾﾝﾀｰ所長	伊佐　英人		指導課長	新川　健次	
税務課長	普天間　朝彦		納税課長	津島　美智子	

○議会事務局職員出席者　大城　拓也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

認定第　１号　令和５年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

閉会中（総務常任委員会）

令和５年１０月１２日（木）第３日目

○石川慶 委員長　皆さん､おはようございます｡ただいまから総務常任委員会の第３日目の会議を開きます｡

これより議事に入ります。

（開議時刻　午前１０時００分）

【議題】

認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

○石川慶 委員長　継続審査となっております認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

質疑に入る前に、昨日の答弁修正があるということですので、最初に健康推進部次長。

○健康推進部次長　おはようございます。３款の決算審議の中で、ちょっと答弁の修正がございますので、お時間をいただきたいと思います。

昨日、我如古委員のほうから成果説明書の24ページ、左側の赤道老人福祉センター改修事業に係る質疑がありましたが、その中でアスベストの分析調査についての質問があったのですが、特に問題ないということで答弁させていただきましたが、改めて建築課のほうにも確認させていただいたところ、赤道老人福祉センターについては、一部の建材においてアスベストの含有が確認されたということでございました。

今回の令和５年度の改修工事に当たりましては、特に問題はないのですが、外壁等ではなくて、機械室内の配管の部分のパッキンにアスベストが含まれたということでしたので、撤去処分を令和５年度の工事に合わせて行うということでした。利用者の使用する部分については、特に問題はないということで変わりございませんが、一部アスベストが確認されたということで、答弁のほうを修正させていただきます。以上でございます。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　昨日の４款のほうで、上里委員のほうから歳入歳出決算書210ページ、４款２項１目清掃総務費における補正予算額のマイナス1,199万3,000円について答弁保留させていただいておりましたので、その内容について説明申し上げたいと思います。

まず、決算書210ページ、４款２項１目清掃総務費、補正予算額がマイナス1,199万3,000円となってございます。この内容につきましては……

（何事かいう者あり）

○市民経済部次長　210ページ、マイナス1,199万3,000円の補正ですが、まず１つ目に右側、①の職員給与のところです。職員給与において給料、職員手当、共済費等で職員１名分の異動に伴いまして、720万円のマイナス補正となっております。そして、答弁ございました、ごみ減量対策事業、次のページの④になりますが、印刷製本費において480万円の減になって、足すと1,200万円、1,199万3,000円の補正減となっております。以上です。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　昨日上里委員より御質疑がありました件で、答弁保留となっておりましたので、答弁させてい

ただきます。

決算書の209ページ、４款１項２目、備考の15、ＰＣＲ検査会場運営事業についてなのですが、こちらのほう予備費を充当しての事業執行となっておりましたが、これに対する補助金の充当、補助金を充てることについての妥当性について質疑がありました。これについて答弁させていただきます。

まず、このＰＣＲ検査事業につきましては、新型コロナウイルス感染症の拡大による社会への影響を鑑みて、迅速に事業を行う必要があると判断されました。また、沖縄県のＰＣＲ検査事業のほうに合わせて事業の延長の判断をせざるを得ない状況でございましたので、予備費を充当しての事業執行となっております。予備費をＰＣＲ検査事業に充当して歳出の枠を設けたという形になります。

一方で、後々財源とさせていただいております新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金については、交付要綱で予備費充当事業についても対象となっていることが明記されております。また、事業内容についても内閣府作成の資料においても記載があり、交付金対象となると判断しましたので、内閣府へ提出する計画書において事業申請しまして、国から交付決定を受けた事業でございます。

当該事業については、年度内における県の動向をみながら延長判断していたもので、延長を見込んだ事業計画の変更を行っておりまして、最終的な事業計画の決定に所要の時間要していたことから、歳入の充当ということで令和４年３月定例会における補正予算第７号において当該事業への交付金の充当を計上させていただいたところでございます。以上です。

○石川慶 委員長　よろしいですね。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　では、昨日に引き続き、款ごとの審査になりますので、よろしくお願いいたします。

５款労働費、６款農林水産業費、７款商工費及び10款教育費の一部について審査を行ってまいります。

本件に対する質疑を許します。その前に事務局から少し説明がございます。

○議会事務局議事係長　おはようございます。今、委員長からございましたように、今回５款、６款、７款とあと10款の一部ということで、審査のほうを行っていただくのですけれども、10款の一部について、ちょっと説明のほうをさせていただきたいと思います。

決算書の317ページをお願いいたします。317ページの備考欄の03体育振興運営費、あと続きまして、318ページの04スポーツ少年団派遣補助事業、こちらのほう、市民経済部担当となっておりますので、この時間で質疑をほうをお願いいたしたいと思います。よろしくお願いいたします。

○石川慶 委員長　皆さん、よろしくお願いします。では、質疑のある方、挙手にてお願いいたします。桃原功委員。

○桃原功 委員　おはようございます。成果説明書から１件お尋ねします。

37ページをお願いします。肥料飼料価格高騰対策緊急支援事業についてですけれども、事業内容の説明で、トン当たり4,000円の飼料の、購入した飼料のうち補助を行うと。実績として８名の畜産農家へ補助金交付とあるのですけれども、これは養鶏ですか、何ですか、養殖なのか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。こちらの飼料補助の対象となります畜産に対しては、牛と豚になります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　市内に養豚農家、あるいは酪農というか、牛を飼っている農家があるわけですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　市内には牛農家さんが１軒ございまして……

○桃原功 委員　１軒。

○産業政策課長　はい。豚のほうは、市外のほうで養豚業を行っております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、牛農家が１軒、これは実績に８名とあるのは、豚農家さんが７軒、７名でいいのですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　牛の農家さんが市内で養っている方が１軒、市外で養っている方が５軒……

○桃原功 委員　牛が市外で５軒。

○産業政策課長　市外で５軒、豚が市外で２軒の８農家さんになります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これは市外というお答えもありましたけれども、市外の農家に支出できる根拠というのは何ですか。要は宜野湾市の皆さんですよね。それが市外の方に支出できる根拠というのを伺います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　今回、この事業につきましては、肥料飼料の高騰による経済的な影響を受けている市内生産農家さんを対象にした補助金として補助要綱を作成いたしましたので、市内に住所がある方を対象として実施しました。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　市内に住所がある人に対して対象だけれども、さっき最初の答えでは市外っておっしゃったので、その整合性を私確認したいのです。もう少し説明をお願いします。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　市内に住所のある生産農家さんであって、養豚場の場所において、例えば中城村であったり、うるま市であったりというところで、事業をなさっている方。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、私が宜野湾市民で、例えばうるま市で養豚していたら、私にその補助が下りる。現場はうるま市であると、そういう理解でいいのですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　はい、そのとおりでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。次行きます。次は、決算書の214ページ、シルバー人材センター事業5,200万円、この件は新聞紙面でちょっと混沌というか、トラブルというか、報道があったのですけれども、金銭的な部分では、しっかり運営はされていたのか。要は変なことは起こっていないということで理解していいのでしょうか。運営についてです。金銭的な運営について。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。本市のほうからは、シルバー人材センターのほうには、大きなものと

しては補助金と委託料を支出しているところでございます。この補助金や委託料の支出に当たっては、実績確認等を行った上で額の確定を行って精算しておりますので、金銭的な市からの委託料や補助金に係るものに関しては、きちんと履行されているということで、実績として確認しているところです。

新聞報道につきましては、法人としての役員の運営の面であったと思っておりますので、そこは補助金に対しては影響はないと考えております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ちょっと今、新聞記事を持ち合わせていないのですけれども、事務局長であったり、理事の方がいろいろあったということで、結局総会で抜けたのですね。今の確認では、金銭的な運営に関してはトラブルというか、ちゃんと運営されていたという認識でよろしいですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　市から支出している補助金や委託料に関しては実績の確認を行った上で確定しております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。ありがとうございました。

続いて、成果説明書の38ページ、軽石被害の件でお尋ねします。当時は大変な状況で、宜野湾市内だけではなくて、日本中が、沖縄県も多大な被害を被ったのですけれども、これを見ると、委託料175万4,000円、負担金622万円、職員手当４万9,000円、記述の説明を見ると、令和３年度は置いておいて、令和４年度だけ見ると、漁業者37名、マリン事業者４名に補助金を交付ということは41名、上にある上限10万円の漁船等の改修費補助とあるのですけれども、そのとおりだとは思うのですけれども、もう少し説明をお願いできますか。単純に上限10万円ということは、どうやって金額的な差を見出せるのかというのがよく分からないのですよ。軽石被害があって、漁業者の方々が一律幾らという方式ではない、上限を設けた理由、分かりにくいですか。この詳細を少し説明いただけますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　今回令和４年度執行した分につきましては、軽石被害を受けた本市の漁業者及びマリン事業者に対して、漁船等のこし器などの設置……

○桃原功 委員　こすやつ。

○産業政策課長　そうです。軽石が入ってこないように対策を取れるような改修を行った方に10万円、一律補助金を交付しております。これに関しては、参考としては、恐らくコロナ対策で行った事業者に一律10万円などを参考にしたのではないかなというふうに考えておるのですけれども、上限を設けて、交付金の範囲内で対策が取れるようにということで行っています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この漁業事業者の方の直接的な被害というのは、皆さん数字として持っていると思うのですけれども、被害実績というのを教えてください。掌握されていますか。本来だったら、漁に出て、これだけ漁獲を上げていたのに、それができなかったと、漁業被害で。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　先ほどのちょっと訂正で、上限が10万円以内ということで、改修の内容によって補助の金額が違っていたということで、訂正させていただきます。一律に10万円を支給したのではなくて、改修した内容によって。

○桃原功 委員　その軽石の量とか。

○産業政策課長　回収量ではないです。漁船の大小に応じてということで、改修の上限を10万円として、補助の金額は差があったというところです。

　すみません。先ほど御質疑の被害状況を確認したところ、１か月間、漁が不良で、出ることができなかったなど影響はあったということです。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この軽石除去作業に関しては、県などから補助金は出ていますけれども、漁業者の漁獲に対する被害補償というのはどこかから出たのですか。これには入っていないわけですよね、漁業補償というのは。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　この事業につきましては、漁船の改修に充てる補助金が１点、燃料費補助も行っておりまして、県の方から燃料費に対する補助金が出ております。併せて本市のほうからも燃料費補助を行い、県のほうからも漁獲高に応じての補償という形は取れなかったものと考えております。燃料費補助という形の支給はされております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　そうすると、燃料費の補助のみで、仕事に関する、魚などを取ることに関しての被害補償はなかったのですか、県も国も。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　そういった直接的な補助はございませんでした。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　これは軽石が滞留している期間というのはどのぐらい生じていたのですか、おおよそでいいのですけれども。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　被害が出て、速やかに対策を取ったところではあるのですが、やはり１か月間ぐらいは大きく漂着されていたということです。ただ、その後も北風などによって流れ着いたりとか、今回台風のときよりも、堆積していたものが、また潮の流れによって漁港へ入り込んできたという最近の状況になりました。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この記述では、漁業者、マリン事業者とあるのですけれども、対象は、この２つの事業者のみですか。マリン事業者というのは、ダイビング業者だったり、もっとあるのですか。この２つの業者のみですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　２つになります。マリン事業者と漁業者を対象としております。

○桃原功 委員　以上です。

○石川慶 委員長　質疑のある方、挙手にてよろしくお願いいたします。伊波一男委員。

○伊波一男 委員　よろしくお願いします。資料番号が36番、成果説明書の39ページの右の欄のほうになります。空き店舗対策事業というのがあります。資料も細かくつくっていただき、ありがとうございました。家賃補助半額、上限は５万円ですよ、最長半年間ということで、御苦労さまでございます。手続き率も80％を

超えているのかなと思いますが、現状この家賃補助に関して確認をしたいのですが、１階、２階、３階、４階、５階、６階、こういうビルもあるかもしれませんけれども、もしくは集合商業施設みたいなものであるかもしれませんが、基本的には何階までの店舗に家賃補助をやっているのか、お聞きしたいと思います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。この事業は、にぎわいを創出させるということを目的で、店舗への出入りということを目的にしておりますので、２階までの店舗を対象としております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　家賃補助は通らなかったという、令和３年度を基準にして見るのですが、令和４年度にしますかね、令和４年度の決算審査ですから。令和４年度の申込み件数が23件あって、交付件数が21件というのは、その２件が交付に至らなかったということは何があったのかなと。もともと申請ができない人らが申請したのか。ちょっと説明をもらいたい。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。令和４年度実績で見ますと、23件の申請で21件の交付ということで、交付を行っていない２件のうち１件は途中で辞退されています。１件につきましては、こちら空き店舗対策委員会というのがございまして、そこで交付の対象になるかどうかというのを決定してまいります。その審査の段階で１件が交付不可という結論が出ました。こちらについては不動産業者ということでございましたので、対象外といいますか、審査の中で対象としなかったということです。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　若い方々が事業を起こしていきたい、また挑戦していきたいという方々がたくさんいると思うのですけれども、今にぎわいのまちづくりの中で、１階、２階が満杯状態になっているのではないかなと思って、宜野湾市で探しても、なかなか見つからない。また、見つけたとしても老朽化していて、家主さんも貸したがらないし、改修費が大きいということで、そのままの状態が多いので、これは今後もまたしっかり若い人を呼ぶようなまちづくりにしていくためにも、ちょっと階を上げていくとか、工夫されてもいいのではないかなと思うのですけれども、本当に１階、２階が空いているのですよ、まだまだというのならいいのですけれども、離れ過ぎていて、ここに人を呼ぶときに集客力よりは駐車場の問題とか、当たり前に通っている人をさらに呼ぶために３階とか、まちへ行くと分かるように、まちにいろいろな店舗が入っていて、本当に面白いなと思うところがたくさんあるので、それについては、しっかり検討していただいてやるべきではないかなと。若い人にチャンスをあげる、事業をしたい人にチャンスをあげるということで、内容を審査されたらどうかなと思うのですけれども、その点検討に値するのではないかと思いますが、よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　御提言ありがとうございます。この事業につきましては、平成15年から開始をしておりまして、20年たっております。また、平成28年度からは商工会でさらに充実して事業を執行してまいりました。商工会の事務局の皆さんとの話合いや、また空き店舗の委員会の中でも議論しているところなのですが、市内一円に、結構この事業でもって店舗に入居された店舗さんが充実してきている状況がございます。伊波委員からもございましたように大分時間、実施してきた事業でございますので、次のステップとして事務局としても考えておりまして、例えばスタートアップなどで使えるようなメニューに変えていけないか県外の事

例も参考に検討しているところでございます。そうなりますと、１階の店舗に限らず、２階、３階、４階と、そういったところの一室に入居される際にも使える可能性も出てまいりますので、そういった形で事業内容の検討を行ってまいります。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　あと、リフォームも工事費用で２分の１の上限、60万円とありますが、これは他の市町村と比べてどうなのですか。他市町村も参考にこの金額を設定されたと思いますけれども、特にリフォームに関しては、議会からもしっかり空き店舗対策の中で、借りてもリフォーム代を出すのが大変だということで、費用負担になる。なかなか定着につながらないというのがありましたから、議会からもたくさんの要望もあって、リフォーム代を出していると思いますが、そのときの上限は60万円とされていますが、これは今物価高の中で、ちょっと見直しも必要でしょう。物価高騰はしていても60万円だから、あのとき60万円でできたのが、今は80万円、90万円してしまうというのがあるので、これもしっかり部内で検討していただいて、宜野湾市は、こういう物価高高騰に合わせたリフォーム対策もやっていますよみたいな工夫されることも必要ではないかと思います。

今回の決算の中でも、これはどうのこうのはないのですけれども、これは実績主義なので、これは実績なので、問題は今後宜野湾市のまちづくりの一つとして、外からのたくさんの若い力を借りる必要があるのではないかと思いますので、特に普天間のところに琉球大学病院が来る、あの通りが、とてもいい通りになると皆さん期待しております。それも併せて御検討していくことも大事ではないかなということで、一応提言とさせていただきます。以上です。

○石川慶 委員長　質疑のある方。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　資料番号35、成果説明書38ページになります。漁業再生支援事業について質問いたします。

令和２年度からシラヒゲウニの養殖に取り組んだようですが、２、３、４、４年目となりますが、写真ありがとうございます。商品化の可能性として出ているのでしょうか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。こちらのシラヒゲウニの試験養殖でございますが、令和２年度より開始して順調に進んでいるところでございます。この間、餌を変えたりしながら、挑戦しているところなのですけれども、今流通に向けては、養殖されたウニをサンプルとして出していきながら、反応は結構いい、大手のところから声がかかったりというような状況はあると聞いておりますが、まだ販売まで直接結びついているところではございませんが、順調に進んでいるところでございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。早く商品化されることを望みます。ありがとうございます。

次に、資料番号37、宜野湾市がんばる商店街活動支援事業、７款１項２目ですけれども、成果説明書40ページの左側になります。資料、ありがとうございます。その中で地元なのですが、真栄原のほうで、おおしろストアー、みんなに愛されていたところが閉まってしまって、本当に悲しいのですけれども、これを見ると、たくさんの事業所応援されていますけれども、大謝名、嘉数にも、そういう高齢の方がやっているところがあるのですけれども、そういう人たちへのがんばる商店街活動支援事業の対象にはされないのですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。こちらのがんばる商店街活動支援事業につきましては、これまで活動していたところが休眠中の状態であったり、休眠中のところが再開しようとする組織であったり、新たに組織を立ち上げてやっていこうという組織がございましたら、そこに対する活動支援の事業となっております。これまでぎのわんヒルズ通り会やＣＯＣＯふてぃーま商店街、いすのき通り会といったところで、活動が盛り上がってきているところに対して持続的に通り会が継続して取組を進めていけるように支援を行っている事業でございまして、今後新たな通り会としてのめどとしましては、県道34号線、我如古から大謝名までの県道がございますが、そういったところでの通り会の立ち上げができないか模索はしているところでございます。今おっしゃった大謝名や真栄原や嘉数ですと、そういう通り会のエリアも入ってくると思いますので、可能であれば、そちらの活動もできて、盛り上がっていければなというふうに考えているところでございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　通り会が普天間のように活発でないところでも、そういう通り会が活発でないところでも支援いただきたいなと思います。

続きまして、資料番号39、７款１項３目ぎのわん美ら海クリーン支援事業、決算書226ページ、成果説明書では42ページの右側ですが、写真、ありがとうございます。ここで質問ですけれども、サンゴ植樹の実績が出ていますけれども、植樹後どのぐらい生きているのでしょうか、数は分かりますか。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　株数は、今カウントはできないのですけれども、植樹、実際されている方にお伺いしたところ、40パーセント程度残っていると報告を受けております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　植樹が難しいということを聞いていて、ほとんど育たないと聞いています。40％残っているというのは頑張っていると思います。宜野湾のサンゴが沖縄一のものがもともとあるということなのですけれども、その辺の現存しているサンゴの調査とか、その辺の調査とかもやっているのでしょうか。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　この地域、謝名瀬地区保全活動ということで、県の指定受けておりますので、県に報告義務がありまして、定期的に令和２年からモニタリングを行っているところでございます。その前の調査は行っていないのですけれども、そういった白化現象等の報告は受けておりません。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　では、その調査の結果というのは県が持っているのですか。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　マリン協会のほうでモニタリング行っておりますので、こちらのほうでも保管しており県にも報告しております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　後で見せていただきたいと思います。私、大学の教授で移植の専門家の人の話を聞くと、とても難しいということで、40％もあるのはすごいと思います。今あるものを大切に育ててその辺力を入れてほしいと思います。

あと、質問ですが、もう一つ。成果説明書の42ページのところです。成果説明書42ページ、右側の事業内

容の実績の観光コンテンツのところで、親子シュノーケリング体験の開発とあるのですけれども、これは開発して実施までいっているのでしょうか。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　親子シュノーケリング体験のほうは実施しております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　順調に進んでいるということで、すばらしいと思います。

　では、次にもう一つです。いいですか。

○石川慶 委員長　はい、どうぞ。

○プリティ宮城ちえ 委員　成果説明書の43ページになります。43ページの７款１項３目です。ＦＩＢＡワールドカップについてです。600万円ほど支出して成功に向けて尽力なさったと思いますが、ちょっと気になることの質疑です。

　ホームページの作成とかも、この中で関わっているのでしょうか。宜野湾市からお金の流れとして、日本バスケットボール協会開催地支援協議会へのお金の流れがありますよね。ちょっとＦＩＢＡワールドカップのホームページ、間違いがあって指摘をしたかったのですけれども、関係者に連絡をしたら、ちょっとどこがつくっているか分からないと言われたので、何かわかりますでしょうか。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員、この予算の中にホームページと関わっているかという質問でよろしいですか、決算の認定になっていますので。

○プリティ宮城ちえ 委員　いろいろなところがお金を、負担金を出して、関係する市とか、国とか、みんなでお金を出して成功させたのです。だから、関係団体となっているのでそれがわかるかなと思って質問しました。

○石川慶 委員長　この決算の中に、どこかあるかということの質問、観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　ホームページでいろいろ広報等させていただいていますけれども、実際日本バスケットボール協会さんのほうも、開催地支援協議会のほうでもホームページの作成、広報等行っておりますので、今おっしゃっていたのがどちらかわからないのですが、市のほうとしてもサテライト会場のホームページを作っておりますので、それぞれがＰＲを、ＪＢＡはすべての大会において、開催地支援協議会は県内のすべての大会において、役割分担をしておりますので、いろいろな形で広報はホームページ等含めて行っております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ありがとうございます。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　成果説明書の38ページ、39ページをお願いします。まず初めに、39ページの浦添宜野湾漁協施設整備負担金事業について、資料の説明では、実施設計の委託料、負担金が計上されておりますが、それはどこに支出されていますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。浦添宜野湾漁協施設整備負担金事業におきましては、事業実施主体は浦添宜野湾漁業協同組合自体となっておりますけれども、浦添市のほうが補助事業者となっておりまして、本市の負担分については、浦添市のほうへ支出しております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　ということは、浦添市も整備負担金の負担をされているということですか。今、宜野湾市が123万5,000円ですよね。浦添市の負担額というのは把握されていますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　こちらにつきましては、防衛補助を受けて実施している事業でございまして、国庫補助金が事業費の３分の２充てられます。その残りにつきまして、残りの３分の１につきまして、漁協が10分の４、浦添市、宜野湾市ともに10分の３ずつ負担しておりますので、同額の負担となっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　成果説明書の中に令和５年度工事着工、令和６年度営業開始予定とありますよね。それは令和４年度の決算からすると、実施設計費用の決算内容が出ておりますよね。令和５年度の負担額というのは幾らですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　令和５年度予算計上額は276万3,000円でございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　実施設計の成果が出ていますよね。設計費用ですよね。設計業務に基づいて令和５年度は工事着手されたと思うのです。令和６年度で供用開始だと思うので、負担金だけでは整備事業というのは完成しませんでしょう。その負担金と整備事業に係る負担額というのが幾らなのかというのを知りたいのです。手元にありますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。本年度から委員おっしゃいますように工事に着手しております。建築工事であったり、機械工事、電気工事などがありまして、そちらの事業費に関して市として負担額を出しているのが、先ほどの270万円余、来年度は金額が大きくなりまして、1,100万円余りの令和６年度負担額を予定してございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　その負担金で事業は完成できるのですか。つまり、防衛の補助金ということですよね。防衛の補助金の残りのものについては、それぞれ浦添市と宜野湾市で負担をしていく、その負担金として支出をしていく。その裏負担分の費用だという認識をしていいのですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　総事業費に係る裏負担分の負担となります。国庫補助３分の２を受けまして、残りの３分の１は漁協のほうで10分の４、浦添市10分の３、宜野湾市10分の３という形の負担となります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりました。設計費用が計上されて、いよいよ整備が間もなく始まると。ありがとうございます。

それから、38ページの軽石被害対策補助金交付事業の話を少しさせてもらいたいのですが、先ほどちょっとやり取りの中で、直接補償がありましたでしょう。確かに直接補償というのは、宜野湾市もどこもやっていないのですよ。ただ、本来だったら、説明を追加してあるべきかなと思ったのだけれども、特別交付税の措置がされているのですよ。これが直接補償ではないのだけれども、単費を投入する中で、基準財政需要額、

基準財政収入額の中で特別交付税が適用されていたと思うのです。それは理解していますか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　ただいまの御質疑にお答えいたします。特別交付税措置についてですが、令和３年度事業として令和４年度、令和３年度の時点で確認しておりますが、予算額を持っていて、県のほうに特別交付税が、申請をしております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それは名前は書かれていないと思うのですが、どのぐらいあったのですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　特別交付税でもって、一般財源の0.5掛けだと思うのですが、特別交付税として算定されてということで理解をしております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　その金額というのもどのぐらいですか。

○財政課長　持ち合わせてございませんので、後ほどでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　よろしくお願いします。いずれにしても、単費投入先行する中で、交付税措置が適用されていて、本年度歳入として本市にも入っておりますのでそれは説明いただきたい。

それから、38ページの事業内容漁業再生支援事業、そこで本市水産物のＰＲあるいは販売促進の実施をされておりますけれども、販路拡大に伴ってふるさと納税との関わりはどのようになっておりますか。返礼品の実績はどうなのですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。ふるさと納税返礼品としてはソデイカ、こちら冷凍の状態でもって行ってございます。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　ふるさと納税の返礼品の本市の実績につきましては、手元に資料がございませんので、後ほどお答えさせていただきたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　地産地消ということで宜野湾市の水産物、もちろんそれだけではありませんけれども、販路拡大というのは、皆さんが進める中で、ＰＲ活動されておりますので、ぜひとも返礼品の位置づけとして、それを全国に発信するようになれば、非常にいい活動が、あるいはまた事業実施ができますので、それを念頭に置いて、ソデイカではなく、ウニ、陸上養殖ウニも位置づけられておりますので、それも含めて販路の拡大をぜひとも促進をお願いしたい。以上です。

○石川慶 委員長　この後もありますので、一旦休憩して、休憩後にまた同じ款をやりますので、そうしましょうね。10分間休憩にしたいと思います。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午前１０時５６分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午前１１時０６分）

○**石川慶 委員長**　休憩前に引き続き、５款労働費、６款農林水産業費、７款商工費及び10款教育費の一部について審査を行ってまいります。

質疑を許します。知念秀明委員。

○**知念秀明 委員**　すみません。成果説明書の38ページ、先ほどから質疑させていただいています、漁業再生支援事業、この371万2,000円の内訳を教えていただきたいのですけれども、例えばソデイカ、キンメダイ、シラヒゲウニとあるのですけれども、どういうふうにこの予算を支出していたのか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　お答えいたします。371万2,000円につきましては、補助金という形で支出してございますが、こちらの支出先が、補助先が宜野湾地区漁業集落という宜野湾市の漁民の方の団体として、そちらに補助金を支出しているものでございます。この集落の皆さんが活動する事業に対しての補助となっております。

○**石川慶 委員長**　知念秀明委員。

○**知念秀明 委員**　そこに対して宜野湾市が一緒になってやっているのか。それとも県も入って一緒にやっている事業なのか。県が支出100％なのか、その辺の回答をお願いします。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　取組自体は漁業者自体で行っております。財源としましては、県の補助金を受けて、こちらもその金額を補助しているという形になります。

○**石川慶 委員長**　知念秀明委員。

○**知念秀明 委員**　沖縄県では県産シラヒゲウニ復活プロジェクトというのを今やっているのですけれども、、そこの予算を、この中には入っていないのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　入ってございません。

○**石川慶 委員長**　知念秀明委員。

○**知念秀明 委員**　また、ちょっと調べてほしいのですけれども、そこの事業でシラヒゲウニの復活ができるのでしたら、また違う371万円の予算で漁業支援ができると思うので、この辺もちょっとまた調べていただければ。お願いします。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　シラヒゲウニ復活プロジェクト、調べておきたいと思います。

○**知念秀明 委員**　以上です。

○**石川慶 委員長**　質疑のある方。我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　お願いします。先ほども桃原委員から質疑があったのですけれども、37ページです。６款１項３目肥料飼料価格高騰対策緊急支援事業の件なのですけれども、これは繰越明許として事業が繰り越されたのですけれども、先ほどからありまして、宜野湾市民で、宜野湾市外で頑張られているような方を支援する支援事業だと思うのですけれども、前もお聞きしたのですけれども、いろいろな理由について、支出支払い基準とか、いろいろそういったものが、通知がなくて実施されていないということなのですけれども、今現在、実際高騰に対する、肥料、飼料の価格高騰に対する支払いというのは実際に行われているのですか、まだ調整段階ということで。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　我如古委員の御質疑にお答えいたします。令和４年度中には飼料の補助金を実施いたしました。令和５年度に繰り越しましたのは、肥料の補助金の分になります。この肥料飼料価格高騰対策緊急支援事業の中には２種類の補助金を設けまして、１種類目が令和４年度に実施しました飼料の補助金になります。そして、令和５年度に繰り越しましたのは肥料費分になります。それで、この令和５年度に繰り越しましたものに関しましても完了しております。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　もう既に精算が完了しているということで理解していいのですね。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　完了してございます。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　それはよかったと思います。やはり物価の高騰とか、いろいろな農薬等の高騰があって、生産活動が厳しい状況で、ましてや宜野湾市はどんどん、どんどん農地が減少して、漁業のほうは、まだ多いと思うのですけれども、全体としては、すごく衰退の域をやっていますので、西原とか、中城、あるいは他市に農地を求めて頑張っていらっしゃる農家の方もいますので、そういったものは、やはり小まめに、やはり地産地消ということで、県内の農林漁業というのは、農振地域、あるいは農地を保有している町村が頑張っていただければと思うのですけれども、しかし市内でも、そういった方が、いろいろな農業の技術とか、そこまでの蓄積をされたものを持って、しっかり頑張っていらっしゃるので、もっと支援して、農協と一緒にやっていただければと思います。以上でございます。

○**石川慶 委員長**　以上ですか。

○**我如古盛英 委員**　以上です。

○**石川慶 委員長**　質疑のある方。プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　決算書のほうの217ページの６款１項３目の05で、農業次世代人材投資事業というのが書かれていますが、何人ぐらいに対して、どのような形で補助給付金が渡ったのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　お答えいたします。令和４年度の実績としては、地域就農者４名の方へ交付をしてございます。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　どういった作物を作られているのですか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　お答えいたします。生産品目ということで、オクラやジャガイモ、ホウレンソウなどとなっております。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　田芋とか、そういうのも名産なのですけれども、そういうところの補助はされてはいないのですか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　お答えいたします。この農業次世代人材投資事業ですね、この補助を受ける、対象となる方は人・農地プランというものに登録をされた方が対象となるのですけれども、これは本市内では全域が市

街化区域となっておりますので、人・農地プランというものが策定できませんので、策定できないことになっていますので、他市町村で営農活動をされている方が実際は対象となっておりまして、宜野湾市民で他市町村の農地で営農なされる方、就農される方が対象となっております。ですので、市内で田芋を生産される方というのは対象になっておりません。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ちょっとびっくりしたのですけれども、宜野湾市に住んでいて、他市町村で営農しているのもすばらしいのですが、私も知っている若者も南城市で行っておりまして、そういう支援も大切ですけれども、宜野湾市では田芋とかやっている方はいっぱいいたのですよね。それに対しての市からの補助は、令和４年度、その前からやっていないのでしょうか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　この事業に対しては新規就農、新しく農業を始められる方への補助となっておりまして、国の制度を活用した事業となっております。大山田芋などで農家をされる方に対しての支援というのは、農薬の購入補助だったり、ＪＡを通して田芋部会の皆さんへの補助であったり、大山田芋生産組合、すみません。ＪＡの田芋部会であったり、別で組織される大山田芋生産組合であったりというところに補助をしてきてございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ハッピーモアとか行くと、ＪＡを通している人と個人でＪＡやっていない人もいて、ではＪＡの組織に入っていない方には補助はされていないということですね。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　ゆいマルシェへの商品を出している個人の方というところで、厳密には把握していないところではございますが、ＪＡに加入されていないで、田芋生産の組合に入っている方に対しては、その組合を通して補助をしていったというところでございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　項目をいろいろ見ているのですけれども、農薬購入補助というのを大きく捉えているのですけれども、ちっちゃいところ、農家さん、そういう中でオーガニックに取り組んでいるところがあるのですけれども、そういう農家さんへの補助みたいなものはその中にはないですか。ここには明記されていないけれども、ありますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　決算書217ページ、６款１項３目、備考欄03の農薬購入補助事業に関しましては、ＪＡ、農協さんのほうに登録をされた農家さんが農薬を購入する際に補助するものとなっておりまして、現在のところ、そういった減農薬に対しての限定した補助事業というものはございません。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　無農薬無肥料なのですけれども、そういうものを使わない農法に動いているので、そういうところにも補助の対象とできればと思います。以上です。

○石川慶 委員長　ほかに。宮城克委員。

○宮城克 委員　決算書の226ページの観光費、備考欄09、10いきますので、参考までに09グリーンコミュニティ事業、頭の中であれかなというのがあるのですけれども、171万5,000円、これは予算の支出内訳を教え

てください。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　７款１項３目観光費の09グリーンコミュニティ事業ですね、横浜ＤｅＮＡベイスターズグリーンコミュニティ補助金となっておりますが、こちらのほうは横浜ＤｅＮＡベイスターズ宜野湾友の会さんのほうに補助金を全額支出させていただいております。その中で１月に例年行っております、プロ野球キャンプを盛り上げるために南国の花で埋め尽くして美ら島沖縄を発信する、観光経済の発展に資するという事業になっております。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　これは全部苗の代金になるのですか、ほとんど。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　苗の代金のほかにもＰＲ用のチラシ、ボランティアさんへの茶菓、飲物代とかなっておりますが、ほぼほぼ苗の代金となっております。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　すみません。参考までになのですが、あくまでも参考までに、３年分ぐらいの決算の実績をいただきたいなと。例えば苗の数とか、３年ぐらいの推移、ああいうふうな全体って、すごいいいなと思っているのですけれども、携わっている割には内容が分かっていなかったので、それを資料でいただきたいと思いますけれども、いかがでしょうか。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　資料のほうを提出していきます。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　すみませんね。これは今日なのですけれども、資料をいただきたいのですけれども、差し支えなければ。その下の宜野湾市美ら海クリーン活動支援事業、説明の42ページにある、プリティ宮城委員が資料請求をしてはいるのですけれども、１点だけ、ちょっと分からないのがあって、成果説明書の42ページの右側に７款１項３目で、３の事業内容、実績というところで、サンゴの苗100株、宜野湾漁港内の海中の清掃を実施、観光コンテンツで親子シュノーケリング体験を開発と書かれているのですけれども、実績の資料としてサンゴの植樹しかないので、それ以外の２つというのは、ここに見えてこないので、それを資料としていただきたいのですけれども、提出できますか。

○石川慶 委員長　観光スポーツ課長。

○観光スポーツ課長　令和４年実績でよろしいですか。

○宮城克 委員　はい、いいです。

○観光スポーツ課長　準備させていただきます。

○宮城克 委員　了解です。オーケー、委員長、以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　成果説明書から質疑をしますけれども、成果説明書の41ページ、ぎのわん元気再生！クーポン＆キャッシュレス推進事業なのですけれども、これは８億円以上のお金が、お金がというか、クーポン券が流通されて、コロナ時でしたから、この事業で非常に気になるのは、どれだけ波及効果を地元は受けられるのかなというのが、いつも一番気になるところなのですけれども、これが結局実際は、国が８億2,700万円

余を支出されて、委託料が８億5,700万円で、一般財源からも1,300万円出ているわけですよね。その他という支出先はどちらですか。その他が1,750万円あるのですけれども、その他の支出先はどこですか。

（「委員長」という者あり）

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　調べておいて、後でまた教えてください。分かりましたか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　その他というのは、表の財源内訳のその他というところでよろしいでしょうか。財源としてのその他……

○**桃原功 委員**　その他はどこが出しているのということなのです。

○**財政課長**　こちら調べて回答いたします。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　もう一点お尋ねしたいのは、このクーポン＆キャッシュレス推進事業に関して、市がどれだけ仕事として生じたのか。市が仕事として、どれだけ、金銭的な支出は1,300万円だけれども、仕事量として、例えば国が８億2,000万円支出はしているけれども、例えばシステム運営費とか、結局市が各家庭に、世帯になのかな、個人になのかな、クーポンを送るではないですか。送付するではないですか。そういう事務作業もあったわけですよね、金銭では換算できないようなものが。これはどういった作業が生じていたのですかという質疑です。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　お答えいたします。今回この事業で、委託料で民間のほうに事務の大方のものは事務局となっていただきました。

○**桃原功 委員**　民間がやっているの。

○**産業政策課長**　はい。行っていただきました。その委託料の８億5,700万円の中には……

○**桃原功 委員**　1,750万円ではないの。

○**産業政策課長**　その他の財源のお話ですよね。

○**桃原功 委員**　うん。

○**産業政策課長**　そこではなくて、歳出の金額で８億5,700万円ございます。これが発送業務なども含めた事務局の民間への委託業務として支出した金額となっております。この中でクーポン券の発送やキャッシュレスの原資という全て含めて８億5,700万円となっております。事務局としては、民間へ委託したのですけれども、この事業を実施するに当たりましては、産業政策課の職員が２名ついて、この事業を実施しておりますので、そういった人件費もかかっております。時間外につきましては27万円程度支出はしているのですけれども、それ以外の調整であったり、企画政策課であったり、デジタル推進課であったりというところで、この事業を執行するために、市民課も含めて、マイナンバーカードもございますので、そういったところで、この事業を執行するための人件費がかなりかかっておるところです。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると、市民に配布するためには、委託したので、さほど２人程度の職員が関わっていたけれども、仕事量的には、そんなに負担は生じていなかったということでいいのですか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　直接的に実施した担当は２人でございましたので、その分人件費はかかったというふうに感じておりますが、この事業を行うに事務費として民間への委託で9,600万円かかっておりますので……

○**桃原功 委員**　事務費9,600万円。

○**産業政策課長**　クーポン券とキャッシュレスの事業、この２つを実施するためには民間のほうに事務費として9,600万円かかっておりますので、この事業執行に関しては、かなり大きな人件費……

○**桃原功 委員**　約１億円だよね。大きいよね。

○**産業政策課長**　こちらには郵送費のほうも入っております。

○**桃原功 委員**　郵送費も入っている。

○**産業政策課長**　はい、事務費の中に。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると事務費の9,600万円は、歳出の委託料の８億5,700万円に含まれているということですか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　含まれております。

○**桃原功 委員**　こういう国の支援事業のときにいつも感じるのは、繁盛するところは繁盛するけれども、どうしてもなかなか弱いお店にもしっかり回るようにどうにか工夫してほしいなと思うのですけれども、このクーポン事業に関しては、市内業者のみが対象ですよね。市内でしか買えないのですよね。買えなかったのですよね。

○**産業政策課長**　はい。

○**桃原功 委員**　そうすると、大手さん、例えばサンエーだったり、ユニオンだったり、どうしてもいつも買い慣れているところに行くという傾向がもちろんあると思うのですけれども、小さいお店からの要望とかという声もあったのですか、これをやるに当たって。いつもこういう傾向があるのだけれども、小さい店ももう少し助けてくれよということで、皆さんが何らかの手だてもあったのかな。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　本件に関しましては、クーポン券に関しましては、全店舗で使える共通券と中小企業のみで使えるクーポン券ということで、専用券ということで、小さい店舗で使えるものと全店、大きい店舗でも、スーパーでも使えるような共通券ということで、こちら分けて、大きなスーパーのみに使われないような対策といいますか、そういったものは取ってございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　一般というか、どこでも使えるクーポンと専門店のみが使えるようなクーポンがあったのを覚えているのですけれども、しかし専門店でしか使えないクーポン、結局は通常の店では使えるようになっていたのではないですか。

○**石川慶 委員長**　産業政策課長。

○**産業政策課長**　専用券と共通券というものがございましたけれども、共通券のものは全店舗で使えますので、小さい店舗でも大型店舗でも使えるもの。専用券につきましては、中小企業店舗を対象にしておりまして、スーパーや大型店舗では使えないようにして、コンビニ店とかで活用された事例が多かったものでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この成果説明書の中の記述にあるように市内業者への間接的な経済支援も期待できるとあるのです。まさにこれも期待して、国も発行したと思うのですけれども、こういうことはチェックできるのですか。どういった経済支援があったというようなチェックもできていますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　ぎのわん元気再生！クーポン&キャッシュレス推進事業の中では、２種類の取組を実施いたしました。その１つがクーポン券の全世帯への配布となっております。こちらについては、市内経済の活性化というよりは、生活支援という視点が大きかったものでございます。

もう一点のキャッシュレス推進事業につきましては、還元率も20%と設定をいたしまして、約２億円、２億3,700万円、こちらのキャッシュレス推進事業に充ててあるのですけれども、このキャッシュレスのポイントを２億3,000万円、実際ポイントとして市に還元された分になりますけれども、このポイント還元を市民が受けるためには決済金額としては12億8,700万円が、この買物された金額に実際なりますので、市内では、経済効果としては２億8,000万円のキャッシュレス事業に対して決済金額12億8,700円が市内に巡回された金額として捉えておりますので、こういったところから間接的に経済的な効果があったというふうに考えております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　再確認します。この８億円余りの予算で12億円の還元がされた、８億円で12億円還元される、金額は合っていますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　委託料８億5,745万4,611円ありますけれども、この中の内訳としまして、クーポン券の換金分については５億3,300万円余り、キャッシュレスの還元の原資分としては２億3,700万円余りとなっております。私が申し上げました分につきましては、キャッシュレスの２億3,700万円、ポイント還元分に充てた２億3,000万円に対して、この２億3,000万円を、還元を市民は受けているのですけれども、それを受けるためには12億8,700万円の金額が動いたということになります、20%の還元率ですので。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　お店側ではなくて、市民のほうが、そういった還元を受けたと。一応販売しているから、お店側もその還元は受けているということでよろしいですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　そうです。１人２万円のポイントを受ける時には、10万円分の買物をしないといけませんので。

○桃原功 委員　20%だからね。

○産業政策課長　そういったことで、ポイントで還元を受けたのも市民ではありますが、10万円分の買物をしていただいたという事業者の間接的な還元もあったと考えております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　今は数字的なことで今答弁されていますけれども、実際例えばお店からとか、あるいは商工会経由でもいいのですけれども、今回のクーポン&キャッシュレス推進事業に関しては、こういった恩恵があった、あるいは還元があった、あるいは波及効果があったという声の確認もできていますか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　こちらに関しては、キャッシュレス決済の推進にも寄与したものと考えておりまして、市内事業者さんが、コロナで非接触というところが、かなり進んだと考えていますけれども、キャッシュレス事業を２年続けて行いましたけれども、そこで大部分の市内の店舗さん、キャッシュレスを行っていなかったところも導入が大分進んだというふうに考えておりますので、そこもこの事業のメリットだと考えております。効果だったと考えております。

○桃原功 委員　以上です。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　先ほど桃原委員から御質疑がありましたぎのわん元気再生！クーポン＆キャッシュレス推進事業の財源内訳、その他につきましては、ふるさと応援寄附金の基金から1,750万円……

○桃原功 委員　市の支出では。

○企画部次長　市のふるさと応援……

○桃原功 委員　一般財源ではないけれども。

○企画部次長　を充てているということです。

○桃原功 委員　分かりました。

○石川慶 委員長　知念秀明委員。

○知念秀明 委員　課長、先ほど市民に２万円が還元されたという言い方をしたはずなのですけれども、市民でない方にも還元されてはいなかったですか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　キャッシュレス事業に関しましては、市内の店舗で買物をされた方への還元になります。市民限定ではございません。

○石川慶 委員長　知念秀明委員。

○知念秀明 委員　先ほど市民だけに還元されたような答弁だったので、浦添市の人も宜野湾市に買いに来たら、ＰａｙＰａｙで支払った20％還元があったはずなのですけれども、その辺は訂正したほうがいいと思います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　大変申し訳ございませんでした。キャッシュレス事業に関しましては、市内の事業所で買物をされた方へのポイント還元となっておりますので、市民限定ではなく、市外の方が宜野湾市内で買物をされた方への還元が受けられる事業となっております。申し訳ございませんでした。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　ただいまのに関連しまして、確認をさせてください。このぎのわん元気再生！クーポン＆キャッシュレス推進事業、大変いい事業をしたかなと思うのですが、取扱い店舗数というのがありますよね。これは基本的に中小でもいろいろな店舗がありました。どこでも使えますという形で、とにかく取扱い店を募集したと思います。最終的には、取扱い店舗は幾つになりましたか。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。クーポン券の登録店舗数としましては458店舗となっております。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　キャッシュレス事業につきましては918店舗の取扱いとなっております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　大変ありがとうございます。この取扱い店を公募する、声かけていくということは大変御苦労されたのかなと思います。大変よかったなと思います。大変御苦労さまでした。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　関連して、このキャッシュレスのお話をさせていただきたいのですけれども、大体内容は理解したのですけれども、事業としての。これは令和４年度にやった事業で、これだけの金額を市が、交付金等を活用してやった事業なので、今言った登録店舗等にアンケートを取って、どうだったのか確認してほしいなというのが、まず１点あります。

私のほうにも、このクーポンに対しては、このクーポン券、確かに配布されました。ただ、本当に売上げが上がったかどうか分からないよという声も聞こえてきます。例えばクーポン券500円であれば、私であればたばこを吸いますので、クーポン券がなくてもたばこ代に使って、経済効果があったかなかったか分からない状況が出てくると思いますので、本当にあったのかどうなのかも含めて、検証するためにも確認は取っておくべきだと思います。これだけ多額の予算を使った事業ですので、よろしくお願いします。

あと１点、クーポンに関して、キャッシュレスに関しても、同じようにちょっと確認を取ってほしいのですけれども、キャッシュレスの推進で扱う業者が増えたというのは、これからの時代にとってよいことだと思いますけれども、先ほど知念委員からもあったように他市町村にポイントが行っている事例等もあったということもありますし、あとお店側の意見を聞いていただきたいのですけれども、時代が進んでいるから、そうではあるかもしれないのですが、キャッシュレス決済することによって事業者側は、すぐに手元に現金が入ってこない。あとまた、クレジットカードとかだったら、手数料を払うことになることもありますので、本当にこの先、この事業をやっていく、先ほど数字的な評価はあったのですけれども、事業者側が本当に助かったかどうなのか。後追いして確認を取っていただいて、御報告いただければなと思います。よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。この事業が終了してアンケートも取っていたかと思いますので、こちらちょっと……

（何事かいう者あり）

○産業政策課長　はい。まとめたものを、どのような形で提出できるか、作成をしまして、今回間に合うようでしたら、提出させていただきます。また、それ以降にも報告をさせていただきたいなと思います。こちらに関しましては、クーポンの取扱い店とキャッシュレスの取扱い店と分けていたかの把握がちょっとできておりませんので、キャッシュレス効果の把握のためだったかなというふうに思うのですけれども、出させていただきます。

また、クーポン券に関しましては、経済の循環とかというよりは、先ほども若干説明いたしましたが、市民の生活支援という側面が、ちょっと大きくて、額面以上の買物があったかどうかというのは、ちょっと申し上げにくいのですけれども、もう一点のキャッシュレスのほうで、私たちのほうとしては、市内の経済活性化ということを目的として遂行した事業でございます。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　よろしくお願いします。あと１点だけいいですか。これは10款もできましたっけ。

○**石川慶 委員長**　10款の一部です。

○**平安座武志 委員**　決算書の318ページの10款６項１目スポーツ少年団派遣補助の決算額が195万7,000円、この内訳をちょっと確認できれば、今分かるのであれば……

（「申請件数」という者あり）

○**平安座武志 委員**　申請件数と受理件数、分かるのであればお伺いしたいなと思います。

○**石川慶 委員長**　観光スポーツ課長。

○**観光スポーツ課長**　10款６項１目、318ページ、04のスポーツ少年団派遣補助事業につきましてですが、令和４年度の派遣補助件数が18件となっております。18団体です。になっておりまして、補助金額のほうが195万7,891円となっております。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　18件申請があって、全て18件受理して、この金額を出したということでよろしいですか。

○**石川慶 委員長**　観光スポーツ課長。

○**観光スポーツ課長**　申し訳ありません。訂正いたします。19件申請がありまして、18件受理し、支出しておりますが、１件はコロナの影響で申請を取り下げています。辞退ということで、申請を取り下げていますので、大会派遣実績のあるところには全て支出を行っております。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　ありがとうございます。少ないのかなと思ったもので、なぜかと言えば、この間の議会でも800万円の補正増して、約1,000万円ぐらいのスポーツ少年団派遣補助事業の予算になったので、この額195万円、本当にこれだけだったのかなというあれがあったので、それが申請件数を今お伺いしたけれども、この18件のほとんどは、受理して補助していると考えていいわけですね。受理しなかったのが多かったというわけではないという理解でよろしいですね。

○**石川慶 委員長**　観光スポーツ課長。

○**観光スポーツ課長**　申請で受け付けていないという申請件数はございませんで、令和３年度も同じような17件受けているのですけれども、団体の派遣人数に応じて金額がちょっと変わってきておりまして、令和３年度実績でいきますと、申請件数17件なのですけれども、決算額が391万582円となっておりまして、個人競技なのか、団体競技なのかというところにも、ちょっと影響を受ける、子供たちの頑張りに影響を受けることになりますので、こちらで申請不受理というか、そういった形の申請はございません。

○**石川慶 委員長**　平安座武志委員。

○**平安座武志 委員**　分かりました。断った件数がないというのであればいいのですけれども、では今回補正増をして1,000万円ぐらいになっているというのは、宜野湾市のスポーツ少年団の子供たちが、今年度物すごく頑張っているという理解でいいのですか。それとも要綱改正もされたと思うので、二回目行く方々が増えて予算補正をかけて、これだけ大きく補正をしているのか、お答えできるのであれば、そこまでお願いします。

○**石川慶 委員長**　観光スポーツ課長。

○**観光スポーツ課長**　今の御質疑は令和５年度との比較かと思いますが、令和４年度から令和５年度にかけ

て、おっしゃったように要綱改正させていただいておりますので、１団体当たり令和４年度までは１回条件をさせていただいたのですけれども、この条件のほうを撤廃したことと、個人当たりの上限金額の撤廃もさせていただきました。令和５年に関しましては、子供たちの頑張りで、団体の派遣、優勝件数等もちょっと増えておりまして、そういった子供たちの頑張り等も要因の１つであります。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　大変いいことです。子供たちの頑張りで、これだけ今年度増えているということは、ただこの決算を見ると、令和４年度だから、これだけできていなかったのか、それとも蹴っていたケースがあったのかなという思いを確認させていただきました。今しっかり予算をつくって、この派遣に補助をしていただければなと思っております。

○石川慶 委員長　ちょっと進める前にちょっと一旦休憩させてください。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午前１１時５２分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午前１１時５２分）

○石川慶 委員長　質疑のある方、挙手にてお願いいたします。伊波一男委員。

○伊波一男 委員　よろしくお願いします。決算書221ページ、７款１項２目、備考03宜野湾市小口資金融資貸付事業とあります。これを見ますと、会計年度任用職員報酬、手数料とありますが、貸付を行ったということで理解していいですか。それとも貸付けはしなかった、もうなしとなっているのか、その点お聞きします。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。宜野湾市小口資金融資貸付事業ですけれども、この小口資金融資につきましては、令和２年度より一時休止してございます。金融機関への預託は今のところ休止してございます。ただ、これまで貸し付けしてきたものがございますので、そこの回収などをやっているところでございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　中小の事業者も大変厳しい中で事業運営されていると聞いております。これは休止されているということは、廃止ではないということで理解していいですか。それとも今後復活していくということも考えているのか。今、決算の中の確認をするのですが、決算の、これはちゃんと出した金額だと思うので、本来は、こういう宜野湾市小口資金融資貸付事業が、再開の声もあるのではないか。また、10月１日からは、事業所にはインボイスがスタートしています。それもあって、いろいろルール改正もしながらやっていくのかなとは思うのですが、こういうのはやはり商工会、さらには各種団体、意見交換をしながら、特にこれを利用する事業所は本当に小規模で頑張っている方々だと思います。これは休止ということは、今後はどうするのかというのをしっかりめどをつけていくことも大事ではないかなと思いますので、その点、決算ではどうのこうのはないのですけれども、この事業を今後しっかり復活させていくということも必要ではないかなと。この点、今後考えがあるのであれば、お聞きをしておきたいと思います。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。この事業につきまして、休止にした当時もそうなのですけれども、その後コロナということで、大きな影響を受けまして、情勢もいろいろ変わってきております。コロナの間で

はセーフティネットを優先して取り組んでまいりました。

この間、私も産業政策課に来ていろいろ調べてはいるのですけれども、県のほうが似たような小規模企業対策資金という貸付けを行っていましたり、ちょっとサンプルで持ってきましたけれども、かなり国、県が行っている貸付けなどの支援事業がたくさんございまして、窓口での感覚としましても、小口融資のほうの貸付け枠の小さいものというよりは、同率だったとしても枠が大きいものであったり、メニューがもっとたくさん多岐にわたるようなものということで、県のメニューや国のメニューが使われる方が大分増えていらっしゃるようでございます。今後またコロナが明けまして、動向も情勢も変わってまいりますので、その後の動きも見ながら、注視しながら、また休止している事業について、再開していくかどうか検討してまいりたいなと思います。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　しっかり精査されて、今景気が上がってはきている。しかし、物価というか、資材とか、いろいろな高騰がありますから、それを乗り切るための必要性が出てくるのではないかなと思いますので、またこれはしっかり精査していただきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　資料請求だけお願いします。決算書を見ると、先ほども質疑したのですけれども、横浜ＤｅＮＡベイスターズの関連の事業が結構あるなと。表に出ているものと表に出ていないものもあると思うのですけれども、前々からちょっと疑問が実はあって、知りたいなと思ったものがあって、いろいろ予算の支出もしていますけれども、その費用対効果、要はキャンプインするわけではないですか。それに対して歓迎の夕べだったり、さっきの花いっぱい運動だったり、いろいろなもので支出しますよね。球場の、要するにバックスクリーンをデジタル化にしたのもそうですし、芝生も替えましたし、屋内練習場とか、相当宜野湾市は年々横浜ＤｅＮＡベイスターズに対して多くの予算を支出してきていますが、それに対する費用対効果というものは、皆さん検証されているのかなと。その辺を資料としていただきたいのですけれども、いかがでしょうか。答えづらかったらいいですよ。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　波及効果という数字的のものは、予算ではなくて、例えば歓迎の夕べ等では県外からやはりファンの多くの皆様が宿泊するということもありますし、また子供たちがベイスターズの野球教室とか、こういったもので健全育成といいますか、スポーツを通しての教育というか、そういったスポーツ教室等の実施など、ちょっと数字では表せない、そういった副次効果もございますので、波及効果的な報告書があるかどうかは、ちょっと確認しながら……。

○石川慶 委員長　宮城克委員。

○宮城克 委員　波及効果もなのですけれども、要は僕ら税を使って、それをいろいろと向こうの要望に応えたり、気持ちよくキャンプができるように税金を投入して、いろいろと箱物も造っているし、いろいろなものをやるではないですか。それだけいわゆる宜野湾市に対する経済効果というものがしっかりと返ってきているのかなと。その辺の検証というものも皆さんされているのかなと。

というのは、そういう声も結構あるのです。来る割には、ワッターお店には来ないよとか、冗談抜きで。そういうものをしっかりと球団側にも促しているのか。教団側がしっかりと、あとそこについてくる、キャンプに来る県外からのファンの皆さんがしっかりと宜野湾市内に経済効果をもたらしているのか、その辺の

検証というのは絶対必要だと思うのです。その辺を含めて、今はいいです。後で、持ち帰って出してくれたらいいと思うので、それはお願いできませんか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　少し前年度あたりの内容をもう一度精査しまして、費用対効果、またお土産とか、販路拡大につながるような、陣中見舞いとかで使う商品とかの宣伝とか、そういったものも含めまして、少し確認をして提供したいと思います。

○宮城克 委員　そうですね。野球関係者とすれば、すごくうれしいのですけれども、やはり違う一面もあって、やはり線引きしないといけないところもあるものだから、それでお願いします。

○市民経済部次長　分かりました。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　決算書の219ページです。宜野湾市のいろいろな主だったところを通ると、緑が少なくなったなということがあるのですけれども、６款２項２目の花いっぱい運動に関してなのですけれども、これは例年同じ額ぐらいでしょうかね、見ると。いつも実施しているのですけれども、どうでしょうか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　219ページ、６款２項２目の花いっぱい運動事業の内容に関しましては、都市計画課の内容となっておりまして、次の……

○石川慶 委員長　午後質疑できるそうですので、午後にお願いしましょうね。

○我如古盛英 委員　すみません。その上の緑化推進協議会の報酬関係も。

○石川慶 委員長　これも午後できますので、御理解よろしくお願いします。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　すみません。先ほどたくさんの委員からあった、成果説明書41ページの右側のぎのわん元気再生！クーポン&キャッシュレス推進事業、委託料が民間業者に支払われているようですが、民間は市内業者ですか、この委託料は。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。今回落札先は市外の事業所となっております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　市内は１件もない、全部市外。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。今回この委託を行う際には、公募を行いました。提案は２者ございましたが、２者とも、どちらも市外の事業所でございました。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。

○石川慶 委員長　以上ですか。

○プリティ宮城ちえ 委員　はい。

○石川慶 委員長　では、皆さん、よろしいでしょうか。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　午前の会議はこれで終わり、午後は１時30分から会議を開きます。その間休憩いたします。

（午後０時０６分）

◆午後の会議◆

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後１時３０分）

これより午後の会議を進めてまいります。

午前に引き続き、認定第１号、８款土木費、９款消防費、２款総務費の一部及び６款農林水産業費の一部について審査を行ってまいります。

質疑を許します。すみません。その前に事務局より説明がありますので、よろしくお願いいたします。

○議会事務局議事係長　ただいま委員長から説明がございましたが、２款の一部と申しますのが、２款１項11目の総合運動場管理費、こちら建設部が管理してございますので、この時間でお願いいたします。

あと、残り２款１項12目の地域公共交通対策費、決算書の113ページをお開きいただいてよろしいでしょうか。113ページの02番、宜野湾市地域公共交通推進事業に関しても、こちら建設部担当となってございますので、今の時間で質疑をお願いいたします。

あと、先ほど我如古委員から御質疑ありました、６款２項２目の林業緑化振興費、こちらも建設部担当でございますので、この時間でお願いいたします。以上でございます。

○石川慶 委員長　よろしくお願いいたします。では、企画部次長。

○企画部次長　すみません。午前中、上地委員より質疑がありました、６款漁業再生支援事業に関連しての返礼品ですね、海産物の返礼品なのですが、ソデイカともう一つありましてウミブドウ、２種類ございまして、令和４年度の実績が、ソデイカが13、ウミブドウが幾つかパックセットがあるのですが、トータルでは38個の実績がありました。以上です。

○石川慶 委員長　よろしいですね。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　午前中、答弁を保留しておりました宜野湾市軽石被害対策補助金交付事業に係る特別交付税の金額ということでございまして、こちら答弁いたします。事業費、予算ベースで交付してございまして、一般財源が953万2,000円を県を通じて交付してございます。

○石川慶 委員長　よろしいですね。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　では、質疑を許します。質疑のある方。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　午前の委員会で款違いでありました、決算書の219ページの６款２項２目と、それに関連するのでしょうか、緑化推進のことについてお聞きしたいと思います。

まず、02の花いっぱい運動事業を行っておりますけれども、これについて例年どおりの考え方でやっているのか、ちょっと説明をいただきたいと思います。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　御質疑にお答えいたします。花いっぱい運動事業につきましては、例年どおり自治会とか、愛護会といったところに花の苗を配布してございます。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　例年どおりの金額になっているのですけれども、今年台風６号で、ほとんどの花、公園の、そういうものが大分被害を受けているのですけれども、特に宜野湾市の場合、人口も10万人を超えてきて、ほとんどが市街化区域ということでありますので、大山などには田んぼは残っているのですけれども、雑草がいっぱい生えているのですけれども、もう少しこれに力を入れて、公園、あるいは公共の関係の地域とか、あるいは市役所の周辺でもよろしいですけれども、もう少し力を入れてやればいいのではないかなと思うのですけれども、この消耗品費の中に草花に関係するものが入っているのですか。資材費に入っているのかな、消耗品費に入っているのかな。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　消耗品費につきましては、例年、花の苗購入として11月と３月、材料費として肥料を11月に購入しております。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　この花いっぱい運動に関する事業というのは、今回の土木費、土木関係の事業としてあるのでしょうか。例えばほかの教育関係とか、そういった関係はありましたか、あれば教えていただきたいのですけれども、なければないで。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　土木費以外での花に関する事業というのは、ちょっと把握してございません。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　多分分からないと思います。ですから、やはりもっと力を入れて、これはやるべきですよ。これだけ人口も増えているし、あるいは高齢化も進んで、花を見ながら楽しんでやっていこうという、そんなにたくさんはないのですけれども、ある施設だけ力を入れてやっていただきたいと思います。いろいろな市民の皆さんから、宜野湾市はそういったものがないよということで聞こえてきます。

　もう一つ、218ページの同じ２目です。緑化推進協議会の委員、協議会があるわけですから、それで委員もいらっしゃいますので、この推進協議会の委員は、年に何回ぐらい会合を開いていますか。

○**石川慶 委員長**　都市計画担当技幹。

○**都市計画担当技幹**　御質疑にお答えいたします。宜野湾市緑化推進協議会につきましては、年に１回の開催を行っております。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　年１回の会合ですけれども、どういった内容のものを審議しているのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　都市計画担当技幹。

○**都市計画担当技幹**　御質疑にお答えいたします。緑化推進協議会につきましては、年間１回開催しているのですが、主に緑の募金運動に関することとか、緑化推進の啓発、緑の愛護に関すること、そういったことなどを事業として行っており、その事業目的のために協議を行っているところでございます。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　お答えがありましたけれども、花いっぱいのことは緑化推進協議会も同じ気持ちでいると思います。道路沿いのプランターの草花とか、あるいは市街化区域ですから、いろいろな花木を植えるということは無理なところもあるとは思うのですけれども、やはりそういったところも、2050年にカーボンニ

ュートラルということで、二酸化炭素を出さないでおこうということを国自体で、そういう方向に進んでいるわけですから、一番に二酸化炭素を減らすということになれば、やはり植物を、緑を、宜野湾市のコンクリートジャングルみたいな形で、ほとんど住宅開発しかできていないところにもできれば、緑化を進めていかなければいけないと思いますので、10万人の人口を抱えている市としては、少し心もとないのではないかと思うのですけれども、その辺に対する御意見はありますか。もうちょっと規模を広げてやっていただきたい。公園の緑化などもですね。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　御質疑にお答えいたします。本市におきましては、令和３年度に宜野湾市みどりの基本計画を策定しておりますので、みどりの基本計画に基づきまして、今後検討してまいりたいと考えております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　よろしくお願いしますね。それから、それに関連して、その上に森林環境譲与税というのが入ってきますね。新設された……

○議会事務局議事係長　森林環境譲与税は、これは……

○我如古盛英 委員　関係あるのではないの。

○議会事務局議事係長　市民経済部。

○石川慶 委員長　市民経済部になりますので。

○議会事務局議事係長　さっきの。

○我如古盛英 委員　だって、これは繰入基金だから、それを使ってやる事業だから、これも関連……

○桃原功 委員　この事業の繰入れだから、関連して、企画部次長もいるから、聞けるのではないの。この事業からの繰入金だもの。

（「担当がいない」という者あり）

○石川慶 委員長　担当がいないのですよね。

○議会事務局議事係長　市民経済部なのです。

○石川慶 委員長　回答がちょっとできないという。

○桃原功 委員　答弁できなかったら仕方ない。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員、もしどうしても確認したかったら、また明日もできますので。

○我如古盛英 委員　分かりました。

○石川慶 委員長　担当を呼びますので、お願いします。

○我如古盛英 委員　以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　よろしくお願いいたします。てぃーちが一公園の件でお尋ねしたいのですけれども、成果説明書の52ページ、先月の９月議会のときに、出勤する前にてぃーちが一公園を、例のＰＦＡＳ除去装置から来るポンプを確認しに行ったのですけれども、まだ作動できなかったのですね、９月中旬時点で。そのことも含めて、現在の現況、報告をお願いできますか。どういう状況にあるか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　前回も台風時とか、大雨時には、水量を増してきますと、泥水が混じって吸い上げられたも

のですから、一時停止して、これも作業をするために停止しておりました。現在も大雨時には、泥水を吸い上げたりするものですから、そういった対策も検討しながら、どういった方法があるかということで、まだ停止中であります。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　私が見たのは、あの旧式の、昔のポンプがあるではないですか。それが作動しなかったのですよ。作動しなくて水が出なかったのですよね。それ以外に、あの東側にある建物の取水、給水というのかな、吸い上げるときに濁るから、それ自体が今作動していないのか、作動しているのだけれども……。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　停止中はポンプ内で循環させております。外に流していないです。ポンプからは出ない状況です。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　では、今、濁ってしまうという状況は、想定されての、あの施設の建築ではないのですか。それは想定していなかったのですか、濁ってしまうというのは、取水したときに濁ってしまうというのは。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　これは大量の泥水を吸い上げるというのは想定外でした。

○**桃原功 委員**　想定外。

○**建設部次長**　はい。

○**桃原功 委員**　だって、雨降ったって濁るし。

○**建設部次長**　濁るのですけれども、結構な量が、泥水を吸い上げたものですから、そこで緊急停止した状況です。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　では、そのままでやるとポンプからも濁った水が出てくるから、それを……

○**建設部次長**　施設内で循環させて、今ストップしている状況です。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると、この造った施設以外に、またこの濁りを取るための装置費用というのはかかってしまうのですか。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　それも含めて、どういうふうに泥水を吸い上げないようにするかという対策を今検討しております。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　では、ＰＦＡＳ云々ではなくて、ＰＦＡＳ除去云々ではなくて、その濁り水を対策が先で、それを済んだ後に手押しポンプから出すという計画ですか。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　そういうことになります。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　普通に大雨が降れば濁るでしょうし、あれは湧き水から引いているのかな、分からないけれども、多分宜野湾市の隣の湧き水から引いていると思うのですけれども、大雨が降ったら濁ると。その濁り

の水をきれいにするための装置のことも含めて、私はあの建物、私はＰＦＡＳは出すな、押さえ込めということで、去年予算には反対しましたけれども、計画では、これはどうなっていくのですか。いつ頃をめどに、これが完成品としてできるのですか。計画はどうなのですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　供用開始を４月に行いまして、１年間は、設置したのは私どものほうで点検しながら、そういったものが解決できるように努めておりまして、次年度からは施設管理課のほうで管理できるように考えたわけです。自分らで対策できるように進めています。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。それはそれで、また注視していきますので、この成果説明書の中に、表の中に歳出で報酬168万円というのがあるのです。職員手当というのは、皆さんの残業手当とかというふうに思うのですけれども、この報酬というのは何ですか、168万2,042円。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　これは会計年度任用職員の報酬になります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、会計年度任用職員と書いたほうが分かりやすいけれども、報酬って書いてあるから、何らかの委員会みたいなものへの支出なのかなと勘違いした。では、会計年度任用職員ね。分かりました。

次に行きます。次は、その前の50ページ、公園遊具についてお尋ねします。事業名が８款３項５目の都市公園遊具施設等整備事業、補助事業ですけれども、さきの９月議会の一般質問で、伊佐哲雄議員からの指摘で、嘉数高台公園について質疑があって、そのときには公園の遊具は完成しているというお答えだったのですけれども、ちょっと記憶では、子供たちが遊ぶための遊具だったのかなと思うのですけれども、事業目的として、市内40の都市公園のうち15の公園が設置してから30年以上が経過しているということがあるのですけれども、公園の中の遊具の設置計画というのはあるのでしょうか。

例えば今ユニバーサル遊具とか、インクルーシブ遊具ってあるではないですか。誰でも使える、子供たちだけではなくて。県内、県外含めて高齢化で、どうやって健康を維持しようか、健康を促進しようかという点では、私はインクルーシブ遊具、誰でも使える遊具が今の時代に合っていると思っているのです。そういう計画も遊具設置の中であるのですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　今、都市公園遊具施設等整備事業につきましては、今既存の遊具、老朽化に伴って長寿命化計画に基づいて更新しております。ただ、そこの中には、あくまで同等品の更新ということで、インクルーシブ遊具となると、やはり更新には当たらないということで、新規の公園には設置してきているのですけれども、既存公園にはなかなか設置できないというのがあります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　新規の公園で、誰でも使える遊具というのは、どこの公園に設置されているのですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　予定なのですけれども、宇地泊のかにくばる公園にインクルーシブ遊具の設置を予定しています。

○桃原功 委員　かにくばる公園の１か所ですか。

○建設部次長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　経過して、30年以上たっているので、40のうちの15公園が、15公園が設置して30年以上なので、30年以上経過していたら補助金等の件は、もう時効というか、既にたっていると思うのですけれども、それでも同等の遊具をつけないといけないのですか。例えば月日が浅かったら、同等の遊具をつけないと、例えば補助金返還に引っかかるとか、そういうのは分かるのですけれども、15の公園がもう30年以上経過しているので、新たなこの時代に合った遊具の設置というのは、私は国は寛容だと思うのですけれども、駄目なの。

○石川慶 委員長　施設管理課長。

○施設管理課長　お答えいたします。委員おっしゃるようにインクルーシブとか、そういった公園遊具がだんだん世の中普及してきていますので、補助元のほうも考え方が変わってくるかなと思います。

先ほど次長が話をしたように同等製品ということでありますが、私たち既設の公園の改修という中でも、例えば同じブランコでもインクルーシブに近いようなとか、そういったものができないかとか、その辺は調整していって、この遊具の取替えを行っていきたいなと思っております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　この資料にあるように40のうち15の公園が30年以上経過していますと。そうすると、この15の公園の遊具の入替えというのは、全て既存の遊具に沿ったものしか設置できないのですか。

○石川慶 委員長　施設管理課長。

○施設管理課長　この補助を使ってやる場合は、どうしても基本的には同等という形になっていますが、先ほど言ったように世の中の流れでインクルーシブとか、そういった誰でも使えるような遊具となってきていますので、国交省のほうもこの辺は緩和してくると思いますので、それに沿った形で、うちのほうもやっていきたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　さっき言った嘉数高台公園の遊具で、新しいですよね、令和４年の事業なので。そこで、ユニバーサル、あるいはインクルーシブ遊具にという議論はなかったのですか。

○石川慶 委員長　施設管理課長。

○施設管理課長　嘉数高台公園は、再編整備計画ということで、多年にわたって整備計画していく中で、その中でインクルーシブとかというものは、ちょっと考えていなかったようであります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　考えていないようだったということは、やり方ではインクルーシブ遊具に設置もできたのですか。

○石川慶 委員長　施設管理課長。

○施設管理課長　平成３年から平成４年にかけての設置だと思うのですけれども……

○桃原功 委員　平成３年、令和３年ではなくて。

○施設管理課長　すみません。令和３年から令和４年にかけての設置だと思うのですけれども、その頃には、まだインクルーシブというものが、今年度みたいに聞かれなかったと思うのです。

○桃原功 委員　いや、前からあるよ、ユニバーサル遊具もあるし。

○施設管理課長　ユニバーサル遊具というのもありますけれども、その中でも地域の自治会とか、アンケートを取ったりして遊具は設置させてもらっているところです。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　やはりもう少しアンテナを磨いてという言い方は大変失礼になるかもしれないけれども、やはり情報を取って、ユニバーサル遊具にしてもインクルーシブ遊具にしても大分前からありますよ。あることはあるのですよ。やはり議論の中で、こんなに高齢化になっていたら、子供たちだけではなくて、高齢者も外に出て、あそこにはあれがあるから、あの公園に行ってみようとか、足踏みみたいなものがあるではないですか、石がたくさん置かれて。私でも歩きたいと思う。だから、その辺は、ぜひ情報をいろいろ取ってください。これは皆さんの中で、公園の遊具計画というのはあるのですか、ないのですか。計画があれば、インクルーシブでもユニバーサル遊具でも、そういう議論になると思うのですけれども。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　先ほども申し上げた、新しく造る公園でしたら、インクルーシブが使える遊具というものは設置可能なのですけれども、既存の公園ですと、長寿命化計画に基づいて設置していくものですから、長寿命化計画の中では同等品というふうにあるものですから、なかなか既存公園では難しいかなと。

○桃原功 委員　頑張ってね。応援しています。

○石川慶 委員長　質疑のある方。上地安之委員。

○上地安之 委員　それでは、住宅費の中から幾つか質疑をさせていただきます。

歳出の後ほど住宅費の中に入っていきますけれども、歳入から少しよろしいですか。決算書の27ページ、土木使用料、市営住宅の決算を見てみますと、収入未済額が発生していて、備考欄の説明から見ますと、市営住宅使用料滞納分、現年度、そしてまた駐車場使用料、それも同じく繰越し等がありますよね。その内容について、まずお尋ねいたします。

○石川慶 委員長　建築課長。

○建築課長　上地安之委員の質問にお答えします。まず、住宅使用料のほうです。調定額のほうが現年度分、滞納分あわせまして、１億962万2,659円に対しまして収入済額が１億1,358万645円となりまして、収入未済額がご指摘のとおり1,738万2,014円となっております。

まず、この内訳なのですが、1,738万2,014円のうち、滞納分として1,329万4,650円、徴収率としまして滞納分は先16％の徴収率となっています。

続きまして、現年度分です。現年度分について収入未済額が408万7,364円となっていまして、徴収率については96％程度となっております。以上になります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　資料がないと分かりづらいね、今の説明だけでは。要するに市営住宅の現年度分滞納分、滞納ね、それと駐車場、同じく徴収が滞っているのですよ、それは。その現年度分というのが、何人ほどの滞納者が発生されているのか。それと、滞納分については、どの程度なのか。あるいはその滞納者の滞納累計額は幾らになっているのか。

○石川慶 委員長　建築課長。

○建築課長　人数につきましては、おおよその滞納者の数となりますが、住宅使用料については滞納分、現年度分とも約30名程度の滞納者がいる状況となっております。

続きまして、駐車場使用料についても現年度分で30名程度、滞納分についても10名程度滞納されている状況です。

続きまして、その滞納分の個人の滞納額、金額なのですが、一番多い方で200万円ぐらいの滞納累積のある方がいらっしゃる状況となっております。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　今後そのまま続けられるものかなと。毎回累積が増加をしていて、しかも今の説明からすると、現年度分で30名発生しているというのは、だから市営住宅というのは非常に需要が高いのですよ。そして、市民もそこを目指して、入居できないかという需要もかなり高い。その中で税の公平からすると、これはどうしてもあってはならないものだと思っているのです。

ちなみに滞納者の累積が200万円台の方もおられるというような説明があったのだけれども、それは地方自治法に基づく不納欠損の取扱いはどのようになっていますか。

○石川慶 委員長　建築課長。

○建築課長　住宅使用料につきましては、債権の種類でいいますと、私債権に分類されると認識しております。私債権につきましては、時効の援用等がない限り、債権放棄というのが、時効の成立ができませんので、どうしてもやはり債権放棄をするとなると、議会の議決が必要になると思われますので、市のほうで、昨日も２款のほうでお話がありましたけれども、市の内部で私債権、公債権を含めて債権管理条例の制定に向けて動いているところであります。

債権管理条例の制定に当たって、債権管理マニュアルというのを作成しまして、債権管理マニュアルの中で債権管理者の管理台帳の整備、そして管理台帳のデータに基づく徴収の進め方、これらを行って、どうしても債権回収が見込まれない事例、これは生活保護を受けている方だったり、あるいは障害を持っている人、極端に言えば亡くなられた方とか、そういった今後相当期間を置いても債権回収が見込まれないものについては、債権放棄の手続について進めていきたいというような形で、今年度係長級で作業部会を開催し、その後今月、先週ですか、課長級で専門部会を実施しております。その後、行革のほうで行革推進会議に諮ってですね、速やかに議会に条例案を上程できるような形で進めていきたいというふうに考えております。

建築課としましても、やはり毎年、毎年駐車場の更新だったり、収入申告であったり、そういう方は役所に来庁いただきますので、そのときに御本人の生活状況の確認、就労状況の確認をして滞納についての支払いにつなげるというような形で、個別で調整させていただいているところなのですけれども、やはり生活に困窮した方で職が安定しないとか、体を壊して定職に就けないとか、そういった諸事情等もございますので、それらを先ほど申し上げた、まず管理台帳を整備しまして、それぞれの入居者の情報をインプットした中でも本人に支払い能力があるのかどうかというのも、条例制定後にですね、債権管理マニュアルに沿った形で徴収、徴収できない場合については債権放棄に向けて議会に報告、あと議決等に基づき、そのような形で進めていきたいというふうに考えております。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　今後のお話もありましたけれども、それはちょっと置いておきましょうね。その前にやはり援用手続、これは当事者の意思で援用手続がないのか、それとも当局が、それを進めていないのか。現に今、分納されているわけでしょう。分納されるということは、援用手続をやっていないということだから、その状況についてはどうなのですか。

○石川慶 委員長　建築課長。

○建築課長　こちらから滞納者に対して援用についての手続はしていないところです。やはり債権がある以上、幾らかについては、本人が支払える範囲については、できる限り納入していただいたほうが、住宅使用料も本来支払うべきものを、幾らかでも払えないかという形で調整させていただいていますが、その形が今分納という形で対応いただけている方もいらっしゃいます。

先ほど話をした、どうしても200万円、先ほど申し上げた200万円ある方が、現在の収入状況が将来的にその金額を払えるものなのかどうかというのは、先ほど申し上げた債権管理条例の設定マニュアルに沿った形で今後判断してまいりたいというふうに考えております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分納制度で対応されていますけれども、分納額というのは幾らになるのですか。

○石川慶 委員長　建築課長。

○建築課長　それぞれその人の収入状況にもよりますが、一例でいきますと、一月5,000円、支払いされている方が数名いらっしゃいます。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　これは大きな課題ですよね。いつまでも、いつまでも、それが決算に出てくるわけよ。本来の基本的な考えとしては、公平、公正で、これはおかしい、市民からしたらおかしいですよ。需要が高い中で、それが放置をされているというのはおかしい。だからといって、なかなか徴収できない実態が、そこにある。

しかも、これは滞納分だけではなくて、現年度分まで、これだけ出てくると、これがちょっと心配ですよね。ですから、これは私債権のことで、皆さん方は手を出せない状況なのですよ。出すとしたら、裁判闘争なのですよ。しかも、道はないわけ。それを当局は、そこまで本気でないというのが現実なのですよね。

そこで、先ほどの管理条例の話もありましたけれども、しかし管理条例をつくったからといっても、それは全く見込みのないものが適用されるものであって、またそこで緩めたら駄目ですよ。ですから、今後の対応策としては、亡くなった方も存在する、あるいはまた保証人と言われた方々も存在しないわけ。どこに行っているか分からないように状態がずっと放置されてきているものだから、それは一つの方法として債権管理条例、そして財産の放棄を早急にしてもらって、その債権を整理していくというような形というのは、やはり取るべきだと思うし、だからといって、それにまた甘んじては駄目ですよ。そこら辺はしっかり条例をつくるに当たって、全てがそれに適用させるような話では、またおかしいですから、そこら辺はしっかり対応して、今後進めていただきたいと思います。この件は以上です。

資料をいただきましたので、資料番号64番、地域公共交通推進事業、それの追加説明資料もいただきましたので、それは分担金と補助金が事業資金の原資ですよね。もう一度確認しますけれども、この活動の原資は、分担金と補助金ですよね。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　御質疑にお答えいたします。地域公共交通推進事業につきましては、令和４年度に設置した宜野湾市地域公共交通推進協議会という協議会がございまして、この協議会に対して負担金を支出している状況でございます。

また、成果説明資料にある地域公共交通確保維持改善事業費補助金という補助金につきましては、国から

の補助金でございますが、この補助金の交付先が、この協議会に対して交付されるという形になってございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　もう一度確認しましょうね。この成果説明資料の財源内訳を見てみますと、一般財源、そして補助金と負担金が出ているけれども、その一般財源というのは、一般財源、補助金、負担金、その財源の説明をもう一度お願いできませんか。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　一般財源につきましては、まず職員手当等が263万905円で、宜野湾市地域公共交通推進協議会への負担金として611万5,000円となってございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　では、改めてなのですけれども、この交付の仕方というのは、一般財源で充てていると思うが、負担金というような表記になっていない。一般財源という表記にするのですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　私のほうから今の御質疑に対してお答えいたします。市のほうから推進協議会への負担金として611万5,000円を支出しているわけです。その財源は一般財源で支出をしております。国からの補助金というのは、備考欄に書かれておりますが、事務費補助金144万9,400円の推進事業の協議会に国が交付しているものになりますので、宜野湾市を通しているものではございません。こちらからは負担金611万5,000円を一般財源を財源にしているという形になっています。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりました。その協議会というのは、どのようなメンバーで構成されていますか。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　御質問にお答えいたします。この協議会につきましては、まずバス事業者の交通事業者をはじめ道路管理者、これは国、県の道路管理者ですね、あと警察署、また地域公共交通の利用者として老人クラブ連合会、自治会長会、あるいは学識経験者、また関係団体の職員として商工会長や観光振興協会長、また国や県の行政機関の職員、市の職員15名で構成されており、合計28名の構成となっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　要は、協議会が今発足をされて、協議会においていろいろと会議を開いておりますよね。３回開催をされておりますけれども、そこで事業の目的そのものというのは、交通弱者と言われている交通網が行き届かないところにどう対処していこうかというような議論をされていると思うのですが、そこでいろいろな課題等も抽出をしながら会議を開催していますけれども、公共交通計画策定支援業務とありますでしょう。何か成果物というのが、ここで策定されたのですか。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　御質疑にお答えいたします。昨年度の事業といたしまして、宜野湾市地域公共交通推進協議会の事業として地域公共交通計画策定支援業務委託を協議会により委託しておりまして、協議会におきまして、地域公共交通を取り巻く現況と課題の整理を行っておりまして、今回資料要求のありましたものにつきましては、支援業務委託の中でまとめた問題点と課題について資料として提出させていただいております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　そこまで分かりました。それから、いろいろな策定業務を委託の中で、いろいろな問題点を抽出をしながら策定にたどり着いた、その後の対応、計画というのかな、具体的にはどのようになっているのですか。

○**石川慶 委員長**　都市計画担当技幹。

○**都市計画担当技幹**　御質疑にお答えいたします。今年度は、地域公共交通計画という計画を策定する予定でございますが、この計画の中で、今後の地域公共交通の活性化に向けた施策等を整備していく予定でございます。その中で、やはり次年度以降の施策についても、今後の計画策定の中でしっかり整理していきたいと考えているところでございます。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　他市では、一般財源を投入して小型のバス等を通し、公共交通機関のバスが、なかなか行き届かないところをフォローして、市民ニーズに応えているような対応をされていますけれども、将来的には、ここまで検討しているということでよろしいですか。

○**石川慶 委員長**　都市計画担当技幹。

○**都市計画担当技幹**　御質問にお答えいたします。昨年度行いました支援業務の調査で、各種アンケート調査している中でも、やはり議員おっしゃるように高齢者の方とかから、どうしても公共交通の利用したくてもバス停まで遠い、また移動に不便を感じているとか、そういった御意見はいただいておりますので、そういった御意見も踏まえながら、今後どういった施策ができるのかというところを、この協議会の中でも議論させていただきたいと考えております。委員御指摘のようなことも含めて検討していきたいと考えております。

○**石川慶 委員長**　上地安之委員。

○**上地安之 委員**　ぜひともここまで立ち上がって、協議会の中でいろいろ検討されているみたいですから、市民ニーズに応えるような、交通弱者と言われているような、あるいはまた交通網の行き届かない空白地帯はどうあるべきかというのを具体的に需要に応え得るような交通機関を目指して取組をお願いしたいと思います。以上です。

○**石川慶 委員長**　次に質疑のある方。我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　お願いします。資料をいただきました。142ページの８款３項５目の公園費なのですけれども、公園整備施設管理運営費の中の委託料、指定管理に整備させて公園……

○**石川慶 委員長**　我如古委員、資料番号もお願いします。

○**我如古盛英 委員**　資料番号は今日来ているものですから、新しい番号……

（「15番」という者あり）

○**石川慶 委員長**　15番。

○**我如古盛英 委員**　15番かな、すみません。

○**石川慶 委員長**　ありがとうございます。

○**我如古盛英 委員**　これについてお伺いしておきたいと思います。まず、３年間の収支状況の資料が来ているのですが、やはり令和２年度はコロナ禍でトロピカルビーチとか、使用が控えられて、指定管理者の皆さんは、公園はしっかり管理してお客さんを待っているのだけれども、利用者が少ないということで、数字か

ら表れているのですけれども、いろいろな面があって、今回指定管理者選定もそういったものも加味されたのかなということで、１者に決まったのかなと思うのですけれども、まずその収支の状況をしっかりと出してありますから、その中から少し質疑していいでしょうか。

指定管理の契約の中に指定管理者が収支の中で利益が出た場合、やはり市のほうに幾らか、状況によってであるけれども、返還することが記されていると思うのだけれども、今年の利益の中から入ってくるものはありますか。

○石川慶 委員長　施設管理課長。

○施設管理課長　お答えいたします。指定管理なのですけれども、今回も３期目で、令和５年度から５年間ということで、今は１年目という形で、指定管理を５年間行うために基本協定というものを交わして、それとあと年度協定というのを交わすのですけれども、基本協定の中では、指定管理料は５年間で12億1,000万円以内とすることを定めています。

あと、指定管理料の変更というのはございますけれども、この辺は今言うように収支で収入が多い場合、飛び出て特に多い場合というときには、変更する可能性がございますけれども、現協定の中では、そういったものは直接利益が上がった分は市のほうに還付という協定はされていません。

ただ、宜野湾市の指定管理の運用指針の中で、指定管理料という項目があるのですけれども、その中で指定管理者にある程度利益が生じても経営努力による利益は原則として指定管理者に帰することが指定管理者の経営努力へのインセンティブになり、かつ指定管理者制度の趣旨にも合致するため、基本的には市への精算返還の義務は生じないものとするというふうに記されているのですけれども、しかし指定管理者が、その中で客観的に見て、あまりにも過大と認められる利益があった場合は、またお互い協議して支援を受けるとか、その辺を取り決めていくというふうにうたわれています、趣旨のほうでは。協定のほうでは、それはまだうたわれておりません。過大な利益は、まだ発生していないということもあって、そういうふうになっております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。協定の中には入っていないと。そういうことで、しかし入っていなくても利益が出た場合は、返還、還付というのでしょうか、やるべきだと私は思います。施設をしっかり利用して、工夫して収益を上げるわけですから。

しかし、今回の３つの資料から見ると、令和２年度は多分赤字が1,300万円余りも出ているような感じですから、そういったことに関しては、今回はあり得ない、それでも還付があったかなということで、お聞きしたのですけれども、ないということで、それから協定の中にも、その部分の項目がないということですから、これはぜひ入れておいて、締結したばかりですけれども、多分それを見ないで、新年度の予算に賛成したという形はあるのですけれども、これからも工夫して、還付ができるような、より以上の収入があればの話ですけれども、今回みたいにマイナスの要因もありますから、慎重になることは大事だと思います。

それから、ちょっと中身に関して、収入の中に関して質疑してもよろしいですよね。

○石川慶 委員長　はい。

○我如古盛英 委員　１点だけなのですけれども、令和２年、令和４年、収入があって、収入の変化があるわけですけれども、雑収入の中で大分変化があるのですよね。収入状況の中の一番下の段の雑収入なのですけれども、これについて少し、これは皆さんがつくっているわけではないから、答弁できるかできないかはわ

からないのですが、雑収入の額が大分変化があるということで、これについてちょっと答弁できますか。令和２年が1,241万円、受取利息、ごみ処理代、それから……

（「雑収入」という者あり）

○**我如古盛英 委員**　雑収入です。令和３年度が……

○**石川慶 委員長**　我如古委員、令和４年度の一般会計の歳入歳出決算、その流れでお願いします。

○**我如古盛英 委員**　令和４年もありますから、令和４年度は大分減っていますけれども、それについて。

○**石川慶 委員長**　施設管理課長。

○**施設管理課長**　指定管理者の決算書になるのですね。すみませんけれども、細かい中身までは把握しておりませんので、もしあれでしたら、後日。

○**石川慶 委員長**　我如古委員、理解をお願いします。

○**我如古盛英 委員**　はい。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　では、次にお願いいたします。繰越明許に関わる影響、理由というのがあります。資料番号18です。監査委員の意見書からなのですけれども、令和４年度の執行率が前年度に比べてだいぶ落ちている。さらに、その前の令和２年度が81％、令和元年が81％、80％台で進んでいる、執行率が令和４年度は67.75％ということで、大分予算額はどんどん増えているのですけれども、執行する率が少し下がってきている。いろいろ普天間返還の跡地利用とか、いろいろあるかもしれないですけれども、その中で、また繰越明許というのが出てきているのですけれども、まずお伺いしたいのは、この監査委員の意見書のページも言っていいのかな。

２項２目の道路新設改良費の補償、補填及び賠償金というのがあるのですけれども、補償は、これは皆さんの公共工事にはつきものですね。次の補填及び賠償金というのが、金額は２億4,000万円以上計上されたということが書かれているのですけれども、この事業というのは繰越明許の中でも入っているのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　今の御質疑の２項２目道路新設改良費の補償、補填及び賠償金２億4,237万348円につきましては、令和３年度の補償、補填及び賠償金と令和４年度の補償、補填及び賠償金の差額となっております。２億4,237万348円です。令和３年度のほうが1,495万800円となっておりまして、要求のありました資料番号44のほうに資料をつけてございます。

内訳としまして４事業ございまして、我如古21号道路新設整備事業の物件と用地、これは繰り越しです。２番目に、真栄原54号道路新設整備事業、これも物件と用地です。３番目に、真栄原11号道路新設整備事業の物件と用地、４番目に、繰り越しで真栄原11号道路新設整備事業、これも物件と用地、右のほうに令和３年度とありまして、トータルが1,495万800円、令和４年度が合計で２億5,732万1,148円、その右側に令和４年度と令和３年度の差額、２億4,237万348円というのが、この監査委員の意見書の数字になっております。

監査意見書の26ページの２項２目道路新設改良費の補償、補填及び賠償金の２億4,237万348円が差額となっております。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　分かりました。この中で２億4,237万円の中の、うちのほうの補償とかはあると思います。補填というのが、どういった形の補填なのか。特に賠償金が、その中に含まれているということですの

で、これはそのうちの、どういった内訳になるか、説明できますか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　21節の中には補償、補填及び賠償金とございますが、今回のは補償金になります。賠償金等はございません。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　そうですか。賠償金はない。

○建設部次長　はい。補償金のみです、物件と用地の。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　物件補償、補填金というのはありますか。

○建設部次長　ないです。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　賠償金、この２億2,300万円というのは、これについては。

（「分かりにくいね」という者あり）

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　そうですか。では、素人考えですけれども、補償というのは、用地を買収、買上げするとき、例えばそこに構築物、あるいは住宅とかがあれば、それは補償するということですから、補填というのも商売をなさっている方とか、いろいろなその土地を利用してなさっている方の補填にもなるのかなと思うのです。賠償金と言えば、その事業を執行するときに地権者、あるいは権利を持った方とのトラブルで賠償が生じたのかなというふうに感じてしまうのですけれども、そういったものではないということで、理解していいのですか、皆さんの答弁の中で。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　物件補償、用地補償のみです、補償金というのは。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。ないということで、後でまたこれに関して。

それと、先ほど言いましたけれども、執行率が67.75％ということで、大分予算を翌年度に回したのかな、あるいは過重な難しい工事とか、難しい建築関係等の物件とかあるのかなとも思うのですけれども、重要な返還地のキャンプ瑞慶覧の開発、区画整理事業とかもあるわけですけれども、それについては少しどういった要因で、そういう形になっているか。皆さんが一生懸命やっているということは分かるのですけれども、それでも67.75％の執行率というと、その工事をなさった関係者の建築の皆さんにも大分影響は来るのではないのかなと思うのです。予定どおりの建築が進行すれば、それなりの費用の支払いというのもあることで、公共工事というのは、そんなに心配することはないとは思うのですけれども、やはり業者の皆さんも大分影響してくるのではないかなと思うのですけれども、これに関して何か説明とかありますか。

○石川慶 委員長　道路整備課長。

○道路整備課長　道路整備課のほうでは、我如古21号であったり、真栄原54号ですね、そういったものを整備しており、主に補償関係、そういったものがメインになって、補償交渉で難航して繰越しをしていると、そういった状況でございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　補償交渉がなかなか相手側との交渉、妥協ができないというのは、やはり最近地価が高騰している、大分宜野湾市、沖縄県等もいろいろな商業地が。そのせいも一因としてあるのでしょうか。

○石川慶 委員長　用地課長。

○用地課長　用地課のほうから説明します。実際現状として、本来事業をする際に上物の補償から入ります。その後、補償が終わると、土地の買収という形になります。基本的に共同住宅とか、そういった場合には借家人がいます。その後、建物によって３名の借家人とか、９名の借家人とか、いろいろございます。その中でいくと、やはり借家人に補償を、まず交渉します。交渉していく中には、やはり次の移転先のアパートが、真栄原で言えば真栄原エリアで探したりという形のタイムスケジュール等もある中で、そういったもので期限、一応仮に期限はうたうのですけれども、その期限中に移転の手続ができないというのが、今現実となっております。

先ほど委員がおっしゃったように商業地に関しては、もちろんそのときの土地の上昇等を踏まえた価格で一応提示はしているところです。ただ、公共の事業の場合ですと、基準が定まっているものですから、その価格で提示はするのですが、いろいろな情報というか、周りからいろいろな話を聞き過ぎて、逆になかなか額に応じないというのも、また話はあります。そういった中で、どうしても相手ありきの交渉になりますので、どうしても予算は単年度主義ではあるのですけれども、交渉の中でそういったいろいろな問題等、また言い分等が出てきますので、そういった中で、一応交渉を進めているところでございます。以上です。

○我如古盛英 委員　分かりました。以上です。

○石川慶 委員長　すみません。今審査している内容は、あと何名質疑あるか確認してよろしいですか。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　そのままいきましょう。休憩は、その後に入れようと思いますので、では上里広幸委員。

○上里広幸 委員　よろしくお願いいたします。２款１項12目の地域公共交通対策についてお聞きしたいのですけれども、113ページです。先ほどのやり取りで、内容のほうは分かっているのですけれども、決算ですので、決算額について教えてもらいたいのですけれども、当初予算額309万3,000円、その中身というと、令和３年度から始まっている、説明書きにある路線バス支援助成金200万円があって、今回新規事業としている宜野湾市地域公共交通推進事業として当初予算はあるけれども、でも補正が195万円組まれている。そして、さらに予備費から支出もあるわけですね。その辺についてお伺いしたいのですけれども、２款１項12目の中で、予備費が支出されているのですけれども、その内容についてお伺いします。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　御質疑にお答えいたします。こちら予備費でございますが、当初こちら補助事業を使って委託事業を実施する予定で進めておりまして、この事業は、本来であれば交付率が50％でございますが、この補助につきましては、国のほうから全国的に応募が殺到しているということで、交付額の査定が結構入りました。なので、その査定分を予備費から充当させていただいているような状況でございます。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　査定額というのはどれくらいの額がありますか。当初予算からの差額です。

○石川慶 委員長　都市計画担当技幹。

○都市計画担当技幹　お答えいたします。当初は委託事業として約703万円の委託事業費を予定しています。これは協議会事業としてですが、その委託事業費703万円で交付申請を行っていますので、50％の交付率です

と、約350万円交付される予定でした。ところが、今回成果説明資料にも書いているのですが、実際の補助金が144万円、成果説明資料の19ページでございますが、地域公共交通確保維持改善事業費補助金が、実際に交付決定を受けた額が144万9,400円になっておりまして、大幅な査定を受けております。そういった形で、また事業を円滑に進めるためにも予備費を充当させていただいている状況でございます。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。直接国から協議会のほうに交付されるとあったのですけれども、これは成果説明書の歳出の項目を見てみると、611万5,000円が市が支出しているわけですよね。それに対して予備費が充てられている。先ほどの説明だと、交付額144万9,400円は、国から直接この協議会に交付されるわけですよね。この内容というのは、歳出の。一般財源ですよね。それに対して予備費を充てているという理解でよろしいですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上里委員の御質疑にお答えいたします。先ほど御質疑あったとおり、当初事業費、推進協議会の事業費として700万円程度ということで、国から直接協議会に交付されるのが50％の交付率だと350万円程度の予定だったのですが、それが144万9,400円に減ってしまったということは、事業費に対して協議会は、これだけの事業をやらないといけないということで、700万円程度の事業費があるわけなのですけれども、国から350万円予定していたのが、150万円程度しかないとなると財源がなくなってしまうので、宜野湾市から負担金を増額してあげたという形になります。宜野湾市からの負担金の増、国からの財源が少なくなってしまったので、この事業を執行するために宜野湾市からの負担金を増額するために予備費で歳出のほうはペイしたという形になります。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございました。その内容は分かるのですけれども、これを先ほど別の事業でも説明いただいたのですけれども、交付金と負担金、予備費を充てて支出していくのは、こういった状況であれば、いつでも支出していくことは妥当なのですか。これは新規事業で、当初予算が組まれていますよね。その中で予備費を交付金と負担金に支出していく理由が私は分からないので、その辺整合性を含め御説明いただきたい。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上里委員の御質疑にお答えいたします。予備費の判断については、基本的に不足したら、歳出が不足しましたら、予算が不足しましたら、補正予算を組むのが最優先だとの考えではあります。ただし、迅速性を考えたときに一番の理由として迅速性があるのかどうかということをまず考えさせていただくというところが１点。

２点目に、こういった形で、年度が経過する中で、どうしても事情の変更であったり、この件には当たらないのですけれども、物価の変動があって、どうしても当初の予算が不足してしまうところがあります。そういったときに補正なのか、予備費なのかという判断のときに、やはり歳出が市民に与える影響であったり、また金額の大きさ、こういったところを考えて、補正なのか、予備費なのかというところも考慮して、迅速性が一番です。この２つを考慮して予備費のほうを支出せざるを得ないのではないかという形で判断させていただいております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○**上里広幸 委員**　ありがとうございました。資料を作成してもらった、８番の資料の中で、宜野湾市地域公共交通推進事業の中の交付金の内示額が要望額より大幅な減額であったということですよね。その内容について協議会の設置、大規模会議のため会場使用料が必要ということで、この247万9,000円を支出しているということですか。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　御質疑にお答えいたします。どうしても資料の②、③の理由として、金額の執行が必要な状況で、国の交付金が大幅に減額している状況でありましたので、個々は迅速性が必要ということで、補正のいとまがないということで、宜野湾市のほうで予備費を充当させていただいております。

○**石川慶 委員長**　上里広幸委員。

○**上里広幸 委員**　説明ありがとうございました。以上です。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　決算書の９款１項１目の……

○**石川慶 委員長**　ページ数をお願いします。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　ＡＥＤのことで、ちょっとお尋ねしたいのですが。

（「ページ数」という者あり）

○**プリティ宮城ちえ 委員**　どこに入っているのか、消防用備品になるのですかね。この９款１項１目の07に入りますか、消防……

（「何ページですか」という者あり）

○**プリティ宮城ちえ 委員**　252ページです。

（何事かいう者あり）

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　どこに入るかが、ちょっと252なのか、253か迷ってしまう。ＡＥＤについてなのですけれども、大丈夫ですか。

○**石川慶 委員長**　消防次長。

○**消防次長**　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。消防署でＡＥＤを購入する際には、決算書の252ページの07消防署備品整備事業というのがございますけれども、令和４年度につきましては、ＡＥＤの購入はございませんで、救急資機材に関する機材といたしましては、骨盤固定器具であったり、レスキューシート、吸引機、酸素ボンベ、そういった資機材を購入させていただいております。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　では、ＡＥＤは各場所に設置はもう終わっているという状況ですね。今は講座をしたりして、ＡＥＤの使い方を普及しているところですか。

○**石川慶 委員長**　消防次長。

○**消防次長**　御質疑にお答えいたします。現在消防庁舎、救急車、それぞれにＡＥＤは備えております。一方、来年期限が切れるＡＥＤにつきましては、更新をさせていただいて、次年度に予算措置をさせていただこうというふうに今現在検討しているところでございます。以上です。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　すみません。質問が下手で。そのＡＥＤはコンビニからいろいろなところに設置

されて、宜野湾市の各地に置かれて……

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員、決算でない今質疑になっているので、ちょっとその辺配慮して、なぜこれを使っているのかとか、その辺の内容を。質疑なので、決算に関わる部分でお願いします。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ＡＥＤが設置されて、普及のための講座をしていると思いますが、それはどこに入っているのか……

○石川慶 委員長　この決算の中で、どこでＡＥＤの講座の費用が入っているかということで、答弁できますか。消防次長。

○消防次長　御質疑にお答えいたします。ただいまの質疑は、市内の小中学校であったり、市民からの要求、訪問の依頼があった際に、どの予算項目を使っているかという質疑ということでよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　ＡＥＤの講習ということですよね。消防次長。

○消防次長　失礼いたしました。ただいまの御質疑にお答えいたします。決算書251ページ、備考欄の04消防署事務運営費の、その下の時間外勤務手当2,308万3,434円、その費用に含まれております。以上です。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。この中にいつも入っていて、全小中学校があって、もう終わっているところですか、その講習は。

○石川慶 委員長　消防次長。

○消防次長　御質疑にお答えいたします。令和４年中、普通救命講習、それから防災教育、それぞれを踏まえまして、96回実施をしております。対象者が1,553人となっております。以上です。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ありがとうございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　成果説明書と監査意見書から質疑をしたいのですけれども、３・４・71号の道路事業についてですけれども、これは普天間のまちづくりの万年通りの整備事業だと思うのですけれども、この監査意見書で、次長、さっき我如古委員が指摘をした執行率の低さ、67.75％ということで指摘しているのですけれども、ほかの款は90％以上なのですけれども、総務だけが89％を割りましたけれども、土木費においては67.75％で、先ほど答弁があったように理解できたのですけれども、私が気になるのが、この監査意見書の26ページ、ちょっと開いていただけますか。

監査意見書の26ページ、これにちょうど中段辺りに改行して、なお、翌年度繰越しになった主なものは、２項２目道路新設改良費の喜友名23号道路整備事業、これキャンプ瑞慶覧内８億8,000万円余、３項５目の公園費の宜野湾市西海岸地域音楽活性化等推進事業、これも補助事業で、その次に３項３目の３・４・71号万年通りが出てきているのです。３億5,800万円繰り越しですよということで、補助事業というふうになって、補助ということが書かれているのですけれども、これは補助金だと思うのですけれども、これは繰越しになったために補助金の扱いというのはどうなるのですか。補助金を含めて、この３億5,800万円を繰り越しするということでいいのですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　この翌年度繰越額の３億5,800万7,419円繰り越しについては、内容としては用地購入費と補

償費を含めての額で、翌年の予算に影響があるかということで。

○桃原功 委員　これも補助とちゃんと書いてあるので、補助金ですよね、この３億円も。これが翌年度繰越しになりましたということで、翌年度、要は令和５年度もしっかり活用できる、引き続きできますかという確認を取りたいのです。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　繰越しによって、翌年度も予算を持っていますので、それは問題なく活用できます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　項の繰越しをする際に明繰もしていますよね。上の３項５目の宜野湾市西海岸地域音楽活性化等推進事業及び２項２目の喜友名23号においても同様に、これは括弧して補助金と書いてあるので、同様に令和５年度も継続して補助金も生きていますよね。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　喜友名23号につきましても、同様で予算もちゃんと確保されて執行できるような状況です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　全て明繰手続もされていますよね。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　前ページの25ページの執行率67.75％という低さというのは、主にやはり今、次長がおっしゃったように用買とか、そういった補償関連で執行率が低いということですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　繰越しの要因としましては、用地購入費と補償費、あとは喜友名23号の工事費とか、音楽活性化の工事費とかも含めております。

○桃原功 委員　以上です。

○石川慶 委員長　では、皆さん、よろしいでしょうか。

（「委員長、１点だけ」という者あり）

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　すみません。１点だけお尋ねいたします。決算書232ページ、資料番号42番、前回も確認させていただいたのですけれども、８款２項２目の道路新設改良費の区分の節の工事請負費が、不用額が2,033万7,390円上がっているのですけれども、この不用額が出ている内容を少しお伺いしたい。

なぜかというと、額が2,000万円余になっているので、事業がストップしたのか、どういった理由なのかということを少し確認したいので、お伺いいたします。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　主な要因としましては、資料でいいますと、２番目の喜友名23号整備事業が2,000万円以上不用額として出ております。内容としましては、コリドー地区内の工事がございまして、国道側に工事が入っているのですが、国道58号側。磁気探査する際に国道に埋設してある管が破損しまして、その復旧作業に時間が取られたものですから、本来ここの区域を工事する予定だったのですけれども、それができなかったことによる不用額が2,000万円余りとなっております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　この工事中に県の管を破損したということですか。

○建設部次長　はい。

○上里広幸 委員　破損して、復旧が何かするので、この事業がストップしたという理解でよろしいですか。

○石川慶 委員長　道路整備課長。

○道路整備課長　補足ですけれども、今、次長の答弁にあった、破損した部分、そこの部分までが令和５年３月末に完成した喜友名23区整備工事の１工区のほうになります。本来なら国道部分まで整備をする予定でございました。でも、破損をして、県との調整で時間を要しているため、その部分はカットして精算で打ち切った金額になります。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　打ち切って、これは令和５年度に実施するということですか。

○石川慶 委員長　道路整備課長。

○道路整備課長　令和４年の予算と令和５年の予算、また新たに発注のほうがございます。それを合わせて今発注に向けて調整等をしております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございます。この中で防衛施設の８条の10分の８の交付金、あれを活用した事業だと思うのですけれども、その辺の影響は出ないですか。事業を打ち切りして、令和５年度で改修していくということですよね。令和５年度までいくので、この交付金のまた手続等、そういったことの支障はないですか。

○道路整備課長　影響のほうはございません。ただ、手続とか、理由書のほうも必要になりますので、今準備をしております。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　最後に確認したいのですけれども、事業期間が令和５年までというふうに成果説明書にあるのですけれども、この遅れにより事業にさらに大幅に遅れが出たりとかはありませんか。

○石川慶 委員長　道路整備課長。

○道路整備課長　残り２工区ございます。１つ目が、来年度の１月末、もう一件が来年度の３月末でございます。その遅れによって、多少の遅れは生じる予定でございます。

○石川慶 委員長　上里広幸委員。

○上里広幸 委員　ありがとうございました。令和４年度の決算ですので、また手続等慎重に進めていただきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　それでは、皆さんよろしいですね。職員の移動もありますので、10分間休憩したいと思います。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後３時０７分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後３時１７分）

○石川慶 委員長　続きまして、10款教育費及び２款総務費の一部について審査を行ってまいります。

質疑を許します。質疑のある方は挙手にてお願いいたします。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　10款１項３目、成果説明書の55ページです。その左側の英語検定奨励事業についてお尋ねしたいのですが、合格率は50パーセントという感じですけれども、第１回、第２回、第３回で、かなり減っていませんでしょうか、受検者です。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。成果説明資料の55ページ、左側、英語検定奨励事業ということで、事業内容、実績のほうで、事業内容に関しまして、第２回、第３回の受検者の減の状況なのですけれども、各学校のほうに呼びかけ等をして実施しておりますが、連続して受検する形ではなくて、回が進むに当たって減少があったりとか、あるいは中体連の大会であったりとか、授業であったりとか、そういったところで試験日が重なると、どうしても減少傾向がございますので、通常は、年度初めのほうは多くて、だんだん減っていく。第１回のほうが、先ほど申し上げました、中体連、体育大会、授業とかち合ったりすると、少し人数が、増減というのは、年度ごとで現れてくる状況でございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　分かりました。ありがとうございます。

続いて、10款１項３目、成果説明書57ページです。57ページの前に質問したＡＬＴが22名、今、宜野湾市にはいらっしゃると聞いたのですけれども、これは各小中、複数のＡＬＴがいらっしゃるということですか。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　御質疑にお答えします。ＡＬＴについては、市内小中学校それぞれに１名ずつおります。さらに、市内小学校にそれぞれ１名ずつ、合計22名、小中学校に、実は令和４年度まではＡＬＴとＪＴＥといって日本人の英語指導員と外国人の指導助手ということで分けていたのですけれども、今私が言ったのはＡＬＴ、外国人の英語指導助手については、それぞれ小中学校13校ありますので、１名ずつです。日本人の英語指導員を市内小中学校それぞれ１名ずつ、合計22名の配置がございます。以上です。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　現場の先生方から、もっと増員の声がありますか、それとも予算内で満足している状況でしょうか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。成果説明書の57ページ、英語教育推進事業の配置状況ということで、こちらのほうは財政部署とも調整しながら、一括交付金等を活用して、他市町村にないような形で、充実した形の配置はしてございます。ですから、増員とか、そういったところではなくて、現行の人数でもって配置をしてございますので、そういったところで、ほかの市町村に比較すると、充実した配置になっているというふうに理解してございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　本当にＪＴＥもＡＬＴもいるということで、すごく充実していると思います。頑張ってください。

次のところです。成果説明書61ページの10款３項２目、左側です。中学生語学研修派遣事業ということで、これは本市の中学生10名を、外国語学習研修施設等に語学研修とあるのですが、どういう内容になったか、外国もしくは国内ですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。中学生語学研修派遣事業につきましては、事業の目的として語学研修の目的が、国際的視野の育成やコミュニケーション能力の向上を図るとともに、宜野湾市の中学校を代表して参加する機会として実施してございます。

令和２年度、令和３年度は、コロナ禍の中、海外研修のほうは海外へ派遣ができず、そういった状況を踏まえまして、それの代替事業として令和４年度においては、７月31日から８月２日までイングリッシュキャンプで、ＴＯＫＹＯ　ＧＬＯＢＡＬ　ＧＡＴＥＷＡＹという形で、研修施設を利用して英語漬けの研修を実施しているところでございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　これも中学生からすばらしい体験ですね、ありがとうございます。以上です。

○石川慶 委員長　続けて質疑のある方。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　成果説明書の58ページ、10款２項２目ですけれども、普天間小学校備品購入費ということで、それと関連するのですけれども、普天間小学校、新築、建て替えして完成しているのですけれども、この中で、これは備品の購入ということで、649万9,000円のその他財源で買われて、その財源が森林環境譲与税基金繰入金ともう一つ、公共施設等整備基金繰入金からなのですけれども、これは公共施設の整備基金を利用して、森林環境譲与税から繰り入れして、その事業をしたというものについて少し説明していただきたいなと思うのですけれども、森林環境譲与税というのは、もちろん一番の目的は、日本国内、森林、山が多いわけですから、林業を発展させるための一つの施策として、国が新しく導入した制度だと思うのですけれども、これを繰入金を、649万円のうちのどれとどれにどれぐらい充てたのか、説明できますか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　我如古盛英委員の御質疑にお答えいたします。成果説明資料の58ページ、普天間小学校備品購入事業、まずこちらの事業費のほうは、先ほど600万円余りという金額であったのですけれども、これは決算額で6,499万1,000円……

○我如古盛英 委員　全体で。

○指導部次長　はい。事業でございまして、校舎の建て替え等に伴って、机であったり、椅子であったり、そういった校舎の建て替えに伴って備品等を新しくしているものでございます。先ほど御質疑がありました、森林環境譲与税基金繰入金に関しては、すみません。ちょっと手元に資料がなくて申し訳ないのですけれども、この森林環境譲与税の基準に合致する本棚であったりとか、木材を使用した金額のものに充当してございまして、その中で該当するものを基金繰入金として充当してございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。その金額は分からないということですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　我如古委員の御質疑にお答えいたします。森林環境譲与税基金繰入金に関しましては、532万4,000円の基金を繰り入れしてございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。材木を利用して、それも自前の国内で生産された材木を利用していこうという動きがありますので、ぜひそれも活用していただきたいと思います。ありがとうございました。

それから、もう一つ、66ページですけれども、国民文化祭おきなわ2022開催事業の森林環境譲与税の基金が使われているわけですけれども、これについて御説明いただけないでしょうか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　10款５項３目の国民文化祭おきなわ2022開催事業ですけれども、こちらは昨年度開催されました美ら島おきなわ文化祭の件になりますけれども、その際、宜野湾市のほうで、継続事業といたしまして、全日本健康マージャン交流大会及び将棋フェスティバルinぎのわんという大会のほうを開催いたしました。その際、市のほうから森林環境譲与税の基金を繰り入れまして、この経費、参加費ということで、参加賞としまして、県外の方に、木材を使いました景品ということで、全日本健康マージャン交流大会については、宜野湾市で作成されました、木製の花瓶をプレゼントしております。将棋フェスティバルについては、賞状の盾を木材で作成しまして、贈与しております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。将棋盤とか、将棋をやる場合には、ここに充てられているなということで、そういった形で宜野湾市では先ほどから申し上げているのですけれども、ほとんど基地以外は緑が少なくなってきていますので、その代わりいろいろな木材、木製品を使う、そういった形で、ぜひとも使っていただきたい。

森林が空気中の二酸化炭素を吸って、本当に環境も浄化します。二酸化炭素を吸って酸素を出すということですので、こういった形の製品だけではなくして、学校内の校庭においても、ぜひ緑を多めにするようにしていただきたい。逆に市の全域が市街化区域ですから、本当に開発されて、建物ばかりしかできていないのですよね。

今現在、長田小学校ですか、運動場が天然の、大山とそれからはごろも小学校、３校ありますので、そういったのも、これから森林環境譲与税が使えるかどうかは、担当者と交渉していただいて、できるだけ本来の樹木が増えていただきたいなという希望があって、森林環境譲与税がどういうふうに使われているかということで、特に教育委員会、10款の教育の項目の中で取り上げましたので、そういったところも知恵を絞ってやっていただきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　次に質疑のある方。伊波一男委員。

○伊波一男 委員　よろしくお願いします。資料要求していませんが、スクールソーシャルワーカー活用事業、68の左側になります。成果説明書の68です。スクールソーシャルワーカー活用事業で決算書に載っております。一般財源、国、県、報酬、また職員手当は残業代になっているのかなと思うのですが、ちょっと財源の内訳の、特に歳出の項目の説明をお願いします。決算書からでもいいです。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　伊波一男議員の御質問にお答えします。財源の内訳ということでいいでしょうか。国庫支出金が８万4,000円、県支出金が2,389万9,000円、一般財源として668万6,040円でございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　支出のほうも御説明もらえますか。主な歳出項目ということで313ページ、決算書には載っています。特に気になっているのは、職員手当等がありますね。これはちょっとどういう形、どういった内容でしょうか。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　伊波一男委員の御質疑にお答えいたします。スクールソーシャルワーカー活用事業の会計年度任用職員の報酬でよろしいでしょうか。こちらのほうは、スクールソーシャルワーカーを配置しておりますので、そのスクールソーシャルワーカー18名分の報酬となっております。内訳としましては、期末手当、それから……

○伊波一男 委員　旅費も教えてください。

○はごろも学習センター所長　スクールソーシャルワーカー活用事業の旅費、費用弁償というのがあって、これはバス賃相当額を市内出張に行ったときの1万9,320円の支出がございます。あとは、住居はございません。通勤手当は92万4,200円となっております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　旅費ということですから、スクールソーシャルワーカーの職員の研修に行かれたものかなということで、どういった研修をして、何名いたのかなと思ったのですが、旅費という言葉は交通費のことなのですか。説明をもらえますか。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　すみません。決算書を見て、旅費になっておりまして、その旅費の内訳が94万3,520円となっております。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　私のほうからちょっと御説明させていただきます。会計年度任用職員制度が始まった際に通勤手当のほうは旅費のほうで計上するようになっていますので、ちょっと分かりにくいのですが、旅費の中で会計年度任用職員の通勤費用は計上させていただいております。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　大変理解しました。ありがとうございました。スクールソーシャルワーカーの事業内容を見せてもらいました。これは児童生徒に大変寄り添って取組をされていると思います。

　そこで、事業効果もでていると思いますが、支援活動延べ件数ってありますね。１万3,247件、大きい数字になっております。同じ方が10回、20回、30回かもしれませんが、大変大きな数字かなと思います。人数的には、これだけ大きかったら、スクールソーシャルワーカーさんの負担が大きいのではないかなと思います。その点、また人数を確認させてください。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　スクールソーシャルワーカーの人数は18名でございます。内訳としましては、学校配置のスクールソーシャルワーカーが13名、小中学校全体で13名、そしてはごろも学習センターに配置されているスクールソーシャルワーカーコーディネーターが４名、それを統括するスクールソーシャルワーカーアドバイザー１名、計18名の人数で行っております。428名というのは、支援した児童生徒の実数です。１万3,247件というのは、例えば面談を受けて１カウントとか、登校支援したものもカウントして、居場所づくりでの活動、見守り活動とか、家庭訪問とか、これが延べということです。428名プラスアルファの児童生徒に対して、これだけの支援をしているところでございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　スクールソーシャルワーカーを、まず各小中校に１人ずつ配置をしていただくことは大変いいことだなと思います。でも、小中学校によっては1,000名近くの学校、また小規模の400名の学校もあり

ますので、バランスよく体制を今後取っていくべきかなとは思います。

一人の方が、またいろいろなところに、担当以外のところも関わって大変御苦労されているのだろうなと。この方々の、今見たら報酬ってありますよね。これはどういった形の報酬をしているのか、お聞きしたいと思います。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　報酬というのは、月額の報酬でございます。時給でいいますと、学校内ＳＳＷが現在1,169円、ＳＳＷコーディネーターが1,372円、ＳＳＷアドバイザーが1,678円、この時給に基づいて報酬を出しているものが2,433万9,431円です。職員手当のほうが期末手当でございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　まず、スクールソーシャルワーカーさんの金額が、これは時給だと思うのですけれども、時給で高いのか、低いのかも分からないのです。大変な仕事、申し訳ないけれども、親でも抱え切れないところを一生懸命寄り添ってもらって、取り組んでいただいているのは大変ありがたいなと思いますが、まず人数的にもっと増やしたほうがいいのではないかなと。いろいろな人生経験も違うし、教育者であれば、いろいろな経験を積んだ角度も違うので、いろいろな入り方ができるのではないかと思うので、これはぜひまた御検討いただきたいと思います。

まず、賃金が、ほかの市町村と同列ぐらいということで理解していいのでしょうか。それともどうなのですか。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　宜野湾市のスクールソーシャルワーカーの時給当たりに換算しますと、県内他市に比べると最も低いレベルになっております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　最も低い金額でやっていますということは、本当に広い意味で、本当にこれで働いていただいているというか、仕事をしていただいていいのかなと思うのですが、これは今後見直しも必要ではないかなと思うのですけれども、令和５年度も同じ金額ですか。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　そうです。令和５年度も同じ金額で行っております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　決算なので、これは実質出た金額だと理解をしたいと思います。こういう方々、経験のある方々が頑張っていて、またこの方々が抜けたりしたときに、ほかから探せる可能性が低くなると思いますので、しっかりこの金額も教育委員会の中で話し合っていただいて、いつも思うのだけれども、人件費は、それなりの、やはりものをつけていただかないと、働く側、皆さんにお願いする側もフットワークがいいようにしっかり身分保障に近く出してあげるべきではないかなと思います。この点は、ちょっと残念だなとは思いますが、ぜひ御検討に値すると思いますので、それが上げたからどうのこうのではなくて、しっかり他の自治体と合わせていただきたいと。人が足りなければ手配してもらいたいというのがこの点ちょっといいたかったのでよろしくお願いします。

続けてよろしいですか。

○石川慶 委員長　はい、どうぞ。

○伊波一男 委員　学校敷地保全対策事業について、資料番号41番、施策の57ページの右側にあります。今回これまで平成30年度から学校の擁壁を大きな地震でも崩れないようにと国が取り組んでいます。それで、取り組みしてもらいたいと、国がまた改善するようにということでやっておりますが、これで少し説明をもらっていいですか。今特に通学路沿い、民有地沿いとありますね、この資料。これについて説明をもらえますか。

○石川慶 委員長　施設課長。

○施設課長　御質問にお答えいたします。今回資料番号として提供したのは、学校の周りには道路を挟んで通学路沿い、敷地とか、民有地があって２つのほうに分けさせていただきました。一番重要なのは通学路沿い、児童なんかが通るところは整備しないといけないということで、今度は整備の内容を通学路沿いと民有地沿い、民地の境界に立っている方が、民地の間に、学校との間に擁壁とか、ブロック塀が立っているのを分けて整備していって、施設課としては、なるべく通学路沿いをやっていくような形で整備させてもらっています。今回の整備率は令和５年度で58％です。令和７年度まで整備し、ここに整備計画、各学校のを書かせてもらっていますけれども、それをすると整備率としては通学路沿いが96.6％、民有地が78.6％、全体を足して84.9、ここに延長で、ブロック塀で小学校、中学校とやらせてもらっています。後ろのほうに各学校の通学路沿いと民有地沿いの資料つけてますので、その中で令和７年度まで整備していきながら、全体で約８割、通学路は96％、整備を目指す方向で今進めているところです。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　大変御苦労さまでございます。これ見ますと、長田小学校とかはごろも小学校は通学路沿いとか、民有地沿いのブロック塀がないという形でのっております。大変分かりやすい資料だと思います。

今、令和５年、今年までのほうは見せてもらって、今年は144メートル、間違いました。令和４年度は144メートルの工事をしていただいていますが、これは計画的な順序でやっていると思うのですが、これは計画的な順序でやっていると思うのですが、これは順調に進んでいるということで理解していいのですか。それとも繰越等も発生する可能性もあるのですか。

○石川慶 委員長　施設課長。

○施設課長　今のところ実績を見ていただいておりますので、そのとおりという形なのですけれども、ただ資材とか、人件費が上がってくるケースもありますので、だんだん少しやはり事業費としても、だんだん上がってきているかなという形はございます。

あとは、何分市内業者をなるべく優先して使おうとしているのですけれども、なかなか入札が不調になったりとかというときもありますので、そのとおりいくかどうかというのは、このとおりいけばいいと思っていますけれども、そういう要素もございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　宜野湾小学校とか、宜野湾中学校とか、まだ残っているというのはわかるのですが、この中で一番結構やっているのは、500メートル超えが大謝名小学校とか、また普天間小学校、そういうのがあって、これは令和７年度までの事業計画にはなっていますが、この計画書を見ますと、関連しているので、お聞きしますが、令和８年度以降も、これはやり遂げるということで、理解しておっていいですか。

○石川慶 委員長　施設課長。

○施設課長　令和７年度まで、ある程度の予算ベースは計上していますので、継続事業として令和７年度ま

ではやっていきたいと思っています。ある程度、八十何%、通学路も99%ありますので、あと経常費の中でやっていきたいと思いますし、民有地側については、ちょっと境界沿い、お互い協議する時間がかかるのかなと思ったりとか、工事が難航するところとかありますので、それを立てていくと、結構長くなってしまい、いったん政策として、ここまで目標を立ててあとは経常としてやっていきたいと思っております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　大変目標は大事なので、よろしくお願いします。

それと今、57ページの右側で、財源の内訳はあるのですが、歳出の項目がありますね。これは工事請負費は2,339万9,200円なのですが、委託料の2,000万円というのは何ですか。工事にまわしたほうが早いのではないですか。

○石川慶 委員長　施設課長。

○施設課長　学校ごとに擁壁上にブロック塀が建てられたりとかしているのですよ。結構設計を前年度にやって、その計画しながら工事をあてていると、先ほど見せた計画どおり、例えば宜野湾小学校を今年やるのだったら、前年度で設計を終えているという形で、上がってきたものから、なるべく設計も入れないと、なかなか検討する、どれが比較していいのかというのがやらないといけないので、まずは前年度の設計をしています。その後に工事しているという形なので、令和４年度の実績としては、それぞれの工事のどこができるというのを出さないといけないので、そのぐらいの費用を抱えております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　理解しました。分かりました。ありがとうございます。

とにかく通学路の安全対策は大変重要なので、ぜひ予定表のとおり頑張っていただきたいと思います。ありがとうございました。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後３時５１分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後３時５１分）

○石川慶 委員長　会議時間の延長についてお諮りいたします。本日の会議は、議事の都合により、この際、あらかじめこれを延長したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○石川慶 委員長　御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

それでは、引き続き質疑を許します。質疑のある方、挙手にてお願いいたします。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　成果説明書62ページになります。62ページの10款５項１目、左側の放課後子ども教室コーディネーターというすばらしい活動を展開していますが、コーディネーターは何名いて、どのぐらいの賃金になっているのでしょうか、人数と。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　10款５項１目の放課後子ども教室推進事業なのですけれども、実際放課後子ども教室を開催しているところは、令和４年度は２校しかございませんで、２名の放課後子ども教室コーディネーターがおります。その中で時給が１時間1,000円という形になってございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　これは継続事業なので、継続していくということですね。内容はいいので、増えていってほしいなと思います。

○**石川慶 委員長**　続けていいですよ。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　はい。右側です、同じ62ページ。10款５項１目地域学校協働活動推進事業における地域コーディネーターです。これは何名いて、そしてどのような報酬体制でやっているのか。

○**石川慶 委員長**　教育部次長。

○**教育部次長**　お答えいたします。10款５項１目の地域学校協働活動推進事業なのですけれども、こちらが各学校のほうに地域コーディネーターを配置する事業なのですけれども、令和４年度は13校ある中で11校の配置になってございます。人数につきましては、1人の方が３校掛け持ちしている場合もございますので、人数はちょっと把握してございませんけれども、９名ぐらいになっております。11校に配置しております。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　賃金も発生しておりますか。

○**石川慶 委員長**　教育部次長。

○**教育部次長**　こちらの報償費としまして１時間1,000円でございます。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　これも先ほどの事業と同じようにすばらしい事業だと思いますので、もっと力を入れて続けてほしいなと思います。ありがとうございます。

　続けていきますね。

○**石川慶 委員長**　はい。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　成果説明書の10款５項……

（「何ページ」という者あり）

○**プリティ宮城ちえ 委員**　64ページです。64ページの左、西普天間住宅地区埋蔵文化財緊急発掘調査事業。そして、65ページの左側、10款５項３目、３つに関わるのですけれども、この中で、事業費の中で、委託料のところで、64ページの左側、10款５項３目、委託料で沖縄防衛局と事業契約を締結した。契約締結後からの費用は沖縄防衛局の負担となるというところが、ちょっと説明していただけますか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　プリティ宮城委員の御質疑にお答えします。この事業に関しましては、西普天間の開発に伴う発掘調査の支援を防衛の予算を使ってやるということで、防衛のほうから全額補助で行う内容となっております。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　全額、向こうが全部事業を進めていくということですか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　防衛からの依頼事業になりますので。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　分かりました。以上です。

○**石川慶 委員長**　続けて、伊波一男委員。

○**伊波一男 委員**　すみません。もう一度させてください。56ページ、右側、10款１項３目中学校部活動指導員配置事業があります。決算額が183万7,956円、この間聞いたとき、予算をつけるときに聞いたのかな。そ

のときには４中学校に１名ずつ配置しますというのがあったような気がします。そのときの当初予算額が400万円を超えていたのかなと思うのですが、これに対して、なぜこのような予算額、決算額になったのかを、まずお聞きしたいと思います。

（「何ページでしたか」という者あり）

○議会事務局議事係長　56ページ。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　伊波一男委員の御質疑にお答えいたします。まず、当初予算については、令和４年度当初、確かに347万7,000円余りに対して決算のほうで不用額が出ております。こちら執行残の理由なのですけれども、宜野湾中学校のほうが、配置予定だった部活動の指導員の配置替え、令和４年５月から11月にかけて配置ができなかったということでの執行残のほうが、理由が大きいものになっております。12月からは、宜野湾中学校に関しては、女子バスケのほうの指導員のほうを配置してございます。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　この指導員の賃金というのでしょうか、時給というのでしょうか、それについてどのような体制になっているか、お聞きしたいと思います。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　伊波一男委員の御質疑にお答えします。まず、指導員については、１時間当たり1,600円を上限ということで計上しております。平日に関しては２時間ということで、掛ける４日ということで、８時間のほうで１週考えております。予算措置をされております。また、休日、今現在中学校のほうは土、日のうち１日は休みですので、土、日のうちの１日を３時間という形で予算計上してございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　では、まず配置状況、令和４年度決算書のときの配置状況をもう一回、どういった部活に、どこの中学校が、どういった部活かをもう一度お聞きしたいと思います。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　御質疑にお答えします。まず、普天間中学校に関しては、空手部のほうに配置をしてございます。続いて、真志喜中学校に関してはテニス部のほうの配置をしております。そして、嘉数中学校に関しては野球部のほうの配置がございます。そして、先ほど途中ではありましたが、宜野湾中学校に関しては女子バスケ部のほうに配置をしております。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　ありがとうございます。では、あともう一つ、確認させてください。こういう方々へ、この報酬の支払いの仕方はどうなっていますか。先ほど上限が1,600円で１時間されているとありましたが、一律ではないということで、理解していいですか。ちょっと分かりにくいのですよね。この人のほうは1,200円、この人は1,600円ということに誰が決めるのですか。ちょっと説明してください。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　御質疑にお答えします。上限1,600円となっておりますが、皆様統一して1,600円計上してございます。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　そのほうが分かりやすいと思います。上限というと、差が出るのではないかなと思いまし

たので、質疑をさせてもらいました。

　では、この方々への報酬の支給の仕方はどのようになっていますか。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　お答えします。報酬のほうなのですけれども、月の実績のほうを、私たちは打刻のほうで実績のほうを確認しておりますので、それに基づいて、その報告があった場合、それに基づく時間に応じた報酬の支払いをしております。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　今の報酬の支払いに関しては、直接御本人に、指導員さんの口座に振り込むという形を取っていますと理解していいですか。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　そのように理解してよろしいです。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　では最後に、これは実績で決算額でなっているので、中身がどうのこうのはないのですが、しっかりちょっと内容を聞いたときに何か報酬の支払いの仕方が、ちょっとばらばらみたいな言い方があったものですから、これは本人から聞いていませんが、又聞きだったものですから。あと本年度の配置状況も令和４年度と同じような配置状況になっていますか。それとも変更がありましたか。

○石川慶 委員長　指導担当主幹。

○指導担当主幹　お答えします。令和５年度については、普天間中学校のほうの指導員の配置ができておりません。残り真志喜中学校のテニス部、嘉数中学校の野球部、宜野湾中学校の女子バスケ部については、令和４年度から引き続き配置してございます。以上です。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　これは何年間続けるのですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　伊波一男委員の御質問にお答えいたします。毎年予算計上しておりまして、部活動の地域移行もございますので、それらも含めまして、予算措置においては、当初予算等で予算担当部署とも相談しながら、今、県教育委員会の支援体制整備事業補助金も活用してございますので、そういったところとも調整しながら計上してまいりたいと思います。やはり任用形態が、通常だと午前中から午後までというところではあるのですけれども、部活動となってくると、どうしても活動する時間帯が夕方時間になってしまうので、配置もなかなか厳しい部分もありますので、そういった人数等も踏まえまして、予算計上に当たっては調整してまいりたいというふうに考えてございます。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　やはりそういうような外部コーチみたいな形、指導員を入れるところは、それなりのまた力を発揮して、他の中学校とのバランスも、また出てくるものだと思いますので、その点も確認したかったものですから、当分はこのまま進めていくという形で捉えたいと思います。そのような考えでよろしいですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　基本的に令和５年度もこのような形でしておりますので、同様な形態で計上していきたいと

いうふうに考えております。

○石川慶 委員長　伊波一男委員。

○伊波一男 委員　最後にもう一度、時給1,600円というのは、それは近隣の、こういう部活動指導員配置事業をしている方々の金額とほぼ一緒と理解していいですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　すみません。今、手持ちで資料を持ってございませんが、基本、遜色ない金額で計上しているというふうに理解してございます。

○伊波一男 委員　以上でございます。

○石川慶 委員長　続けて質疑のある方。上地安之委員。

○上地安之 委員　２～３質疑をさせてもらいます。まず、歳入、決算書の27ページ、歳入の教育使用料について少し質疑させていただきます。

幼稚園使用料、不納欠損額が出ていますね。それと収入未済額が出ているのです。まず初めに、不納欠損額の内容について、まずどのような理由で不納欠損をされたのか。人数が何名おられるのか。そして何年前の未収入が不納欠損となっているのかについて説明いただけますか。

（何事かいう者あり）

○上地安之 委員　これは福祉なの。教育委員会ではないの。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　休憩をお願いします。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後４時１６分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後４時１６分）

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　大変失礼いたしました。それはまた後日質疑をさせていただきたいと思います。

それでは、決算書の258ページ、258ページの02なのですけれども、02の中の拠出金がありますね。258ページ、これは150万円でしたか。一般財源で教育委員会の育英会拠出金というのが支出をされています。その内容について、まずお伺いします。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　上地委員の御質疑についてお答えいたします。10款１項２目、説明欄02の市育英会拠出金なのですけれども、これは市育英会の任意団体でございます育英会に対しまして……

（「マイクを使ったほうがいい」という者あり）

○教育部次長　宜野湾市のほうから育英会条例に基づきまして150万円拠出している内容となってございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　育英会の運営仕組みというのは、運営費というのは総額幾らですか。宜野湾市が、市が150万円、教育委員会に支出していますけれども、それと使途について、どのような事業を実施されているの

かというのも説明いただけますか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　こちらのものにつきましては、育英会につきましては、篤志家の寄付と市の拠出金のほうで運営している状況でございまして、この基金として育英会のものがございますけれども、奨学金の貸付けと入学準備金として奨学生のほうに貸与している内容となってございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　今の説明からすると、奨学金の貸付けにかけられているというような説明ですよね。それは毎年150万円の拠出をされているのですか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　令和２年度までは192万円、市からの拠出がございましたけれども、令和３年度から150万円という形になってございます。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　拠出金で話が出たのだけれども、その奨学金の内容についても一部触れていいですか。

○石川慶 委員長　大丈夫ですか、答える担当がいれば。

（何事かいう者あり）

○石川慶 委員長　やってみましょうね。上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりやすく答弁をお願いしたいと思います。奨学資金の一部に当たりますよね。それは貸与になると思うのですが、その実績状況はどうなのですか。それと、それは決算書というのも出せませんか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　決算書につきましては、毎年前年度の報告を９月議会の、今回の議会で市長のほうから報告があったと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それは報告は出ていますけれども、それに対する奨学資金制度の活用状況の決算書は出ていますか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　決算書というか、損益計算書と財産目録、貸借対照表というのが出てございます。こちらが決算書という形になります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　その奨学資金というのは、これは公債権なのですか。私債権になるのですか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　こちらは私債権になります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　滞納状況はいかがですか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　滞納状況というか、こちらは税とか、役所の決算のような形で、滞納という形のものでは捉えてございません。この奨学金については、基本返してもらっているのですけれども、粘り強く長い時間を

かけて徴収する方もいらっしゃるのです。返還の金額も決まってはいるのですけれども、繰上げで一括で、仕事が決まったということで、返していただく場合もございますので、実際未納という形ではなく、決算上の形で、滞納という形のものでは捉えておりません。手持ちに資料がございませんので、実際どれぐらいの金額かまだ返還されていないかというのは、今こちらのほうでお答えするのは難しいです。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　私債権ですから、それは地方自治法で認められた決算の処理というのはできないのですよね。つまり、不納欠損はできないのですよ、私債権の場合。もちろん、公債権であれば、それは地方自治法に基づいて何らかの不納欠損処理等は対応できるのだけれども、実は以前、決算書を見せてもらったのです。意外と滞納はあるのですよ。そして、数年前のやつもあるわけ。だから、拠出はされているのだけれども、あるいはまた貸与実績はあるのだけれども、それがどのように管理されているかというのが非常にちょっと危惧をしているものなのです。

それは徴収については、それはどの徴収に対応されていますか。それは教育委員会のほうで、何課で対応されているのですか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　お答えいたします。こちら教育総務課の中で事業を担っているのですけれども、徴収担当という形ではなく、通常の事業の一環として、併用しながら業務を進めているところでございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　制度そのものは非常にいい制度で、子供たちが貸与を受けて、そして卒業されて償還をしていくという仕組みで、非常にいい。ところが、中には滞っているのが多々あるのですよ。多々ある中で、毎回このように拠出をされているというのも、その辺の事業効果を出してもらって、あるいはまた決算についても、しっかり整備をするというのが当然だと思いますので、そういうのが今言われたように、それに徴収員というのが特別いるというわけでもない。なかなか徴収するに当たっても、それはどのような方法でやられているか分からないけれども、やはりそこら辺は目配りというか、そして注視をしてもらって、その管理体制をお願いしたいと思います。これらの拠出をされる中で、事業として悪い事業ではない。それもひとつ教育委員会のほうで管理体制はしっかり対応していただきたいと思います。この件については以上です。

最後に、287ページ、職員給与費について、これは昨日も歳入の中で、９条の防衛の補助メニュー、９条の調整交付金の積立てをする、１億2,000万円というのが、今回の決算で上がっているのですよ。そして、確認をさせてもらったら、その１億2,000万円の基金に積んで、一部取り崩しをして特別職、幼稚園の教諭に充てられるような制度なのですよね。

そこで、確認をさせてもらいたいのですが、幼稚園の教諭というのは、何名そこにおられるのですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　上地安之委員の質疑にお答えいたします。決算書287ページの幼稚園費、01番、職員給与においては、防衛の９条交付金を充当している事業においては、幼稚園教諭29名を充当してございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　つまり、29人の教諭資格を持っている職員がおられると。そして、９条の調整交付金で人件費を充てているのが29人だと、全てが充てられるということでよろしいですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　上地安之委員の御質疑にお答えいたします。今回この29人に関しましては、本務職に充当してございます。残りの会計年度任用職員等には充当していない。あくまでも本務の職員に対して充当してございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　当然それは十分理解していますけれども、逆に会計年度任用職員にも充てているのかなと思って心配しましたけれども、非常にいい制度で、人件費を充てられるということは、昨日も質問させてもらいましたけれども、ぜひとも一人残らず、その対応方については、引き続きお願いしたいと思います。

そこで、これだけ確認させてください。幼稚園の在り方というのが、教育委員会を含めて、あるいはまた市も含めて、どういう点が議論されて、認定こども園以降の基本方針が、恐らく年内に構築をされていくと。そうなりますと、認定こども園になりますと、幼保連携認定こども園というふうに移行されていくのですよ。当然そこの職員についても、その幼保連携の認定こども園に勤務するような形になります。そうなりますと、９条の調整交付金の充当については、どのようになるのですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　上地安之委員の御質疑にお答えいたします。今、幼稚園給与として９条交付金を活用して充当してございます。今年度にかけて幼稚園の在り方等を含めた形で議論をしてございますので、９条交付金に関しましては、有資格者の人件費に充当できるというところであったかと思いますので、そこの縛りが幼稚園なのか、認定こども園も該当するかは、９条交付金の所管部署のほうとも調整しながら確認していきたいというふうに考えてございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　財政の運営からしても、これは認定こども園に仮に移行しても職員の身柄というのは全く変わらないのですから、ぜひともそれは中止してもらって、引き続きそのような充当が可能なように対応していただきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　続きまして、平安座武志委員。

○平安座武志 委員　１点だけというか、ちょっと確認してほしいと会派の仲間から頼まれたので、お尋ねします。

成果説明書の63ページ、文化財保存整備事業の令和３年度繰越しの事業2,900万円の事業がありますけれども、これは市指定史跡の本部御殿墓というのですか、この整備について、ちょっと説明いただきたい。どういった整備をしたのか、説明していただきたいのと、この整備は、これは令和４年度で完成したのか、それとも令和５年度も継続されているのか、ちょっとお答えいただきたいなと思います。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　対象になっているのは、本部御殿墓ですね、このお墓は我如古に所在する亀甲墓で、第２尚氏王統第10代尚質王の六男の尚弘信本部王子朝平を祖とする本部家の王族の墓であることが確認され令和３年の２月25日に市の史跡に指定されてございます。それを受けて本部御殿墓を整備したということです。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　ですから、これは令和４年度でもう整備は完了したと見ていいのですか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　着手が令和３年度事業で、６月頃からスタートしていたのですけれども、周辺地権者と里道の

整備の件で調整がございまして、どうしても本部御殿墓に行くためには地権者の土地の間を里道が走っていまして、その里道を整備する際に周辺の土地と均等に整備しなければ死に地になってしまう可能性があるというのがあって、それをどの高さまで合わせて調整するかということに時間を要していたということが一点です。それからその本部御殿墓の石積みの補修の件で、どうしても文化財保護審議会の審議委員に確認しないといけないというのがございまして、着手が10月になったいきさつがございます。それで繰り越したと。

それで、令和４年度の７月29日で完了してはいるのですけれども、途中で梅雨の時期がございまして、そこでのり面が滑っていると。このままの状態であれば石積みが崩落する可能性があるので、それも含めて地権者と調整したことで、のり面の部分がどうしても地権者の土地だったというのもあって、整備できるかできないか、いろいろちょっと調整があったのです。その辺で地権者から、この整備をする場所の譲渡の申入れもあったりして、その譲渡条件が高い本部御殿墓から敷地内に水が入らないように工夫していただけるのであれば土地は提供しますよという、そういう調整もございましたので、若干遅れて７月までかかったと。ただ、今、委員おっしゃるように令和４年度の事業で完了しております。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　ありがとうございます。実は私、見たことがないのですけれども、さっき言った壁の補修とか、とてもきれいにされていただいているというふうに伺っているのですが、その周辺のほうが、まだ整備されていないというお話があって、多分壁ではなくて周辺、周辺というのですか、という話があって、ですからこの計画は令和４年度で終わったのか、そこまでは整備してくれないのかなという話があったもので、今確認しているのですけれども、工事としては、もうこれからの計画というのはないという理解でいいのですか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　御質疑にお答えします。令和４年度で終わっております。今おっしゃっている周辺整備に関しては、お墓の周りが全て民地になっていまして、これ以上の整備ができないということです。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　分かりました。取りあえずこの事業としては、工事はもう終わったということですね。ありがとうございます。確認が取れました。

○石川慶 委員長　どうぞ続けてください。

○平安座武志 委員　さっきスクールソーシャルワーカーのお話があったと思うのですけれども､令和４年度の事業を実施する中で、18名、全校配置をしたという話をされましたけれども、全校配置されていなかったと思うのですが、令和４年度は。違いますか。私の認識が違っているのであれば指摘ください。18名配置をされていなかったと思うのですが、先ほど18名配置をしていたという御答弁されていたので。

○石川慶 委員長　はごろも学習センター所長。

○はごろも学習センター所長　ちょっと舌足らずな説明でした。枠として18名というお話をさせていただきまして、細かく言うと、小学校では４月から７月までの４か月間は１名欠員がございました。あと、中学校につきましても４月から12月までの９か月間と１月から３月までの３か月間、１名の、また別の学校でまた２名の欠員がございました。平均すると16名くらいですかね。

○石川慶 委員長　平安座武志委員。

○平安座武志 委員　ですから、欠員はあっただろうなと思ったので、13名配置は、ちょっと違うのかなとい

うことで確認させていただきました。

あと、この書き方なのですけれども、事業内容の書き方で、多分これは実績としてアピールとして、令和４年度の生徒数の延べ人数428名、もうちょっと詳しく書ければなと思うのです。実際には、スクールソーシャルワーカーは不登校児童、例えば不良行為等を行う子供たちに関わっていくお仕事だと思うのですけれども、この人数を見てしまうと、宜野湾市内の不登校数って千何百名でしたか、結構人数いましたよね、全体で見ると。そのほかのことには関わっていないのかという部分の思いが出てくるので、ちょっと書き方をもうちょっとやっていただければなと思います。

実際スクールソーシャルワーカーが不登校児童全員に関わりを持っているものではないとは思っています。これはコーディネーターの方のお話を聞いて、これは学校現場から、この子供を支援してくださいという依頼があって初めてスクールソーシャルワーカーが関わっていくという流れになっているはずなので、不登校児童全員に関わっていくものではないというのは分かっているのですが、ちょっと書き方をもうちょっとやっていただければなと思っています。

ただ、スクールソーシャルワーカーですね、学校側から依頼があって、厳しい環境にある子供たちに家庭の中まで入っていったり、例えば親のほうまで入っていったりするわけですよね、これは。親が働いていないおかげで貧困になって不登校になったりとかする場合は、親のほうまで入っていって、親を福祉の支援へつなげていく、親から直していって、この貧困をまずなくすという、根元の部分をなくそうというのがスクールソーシャルワーカーの仕事だと思いますので、先ほど時給の話もありましたよね。

ですから、やはり資格がある人が、やはりそれだけ知識があるべき人がしっかりと配置される事業だと私は思いますので、資格を持っている人、社会福祉士でも精神保健福祉士でも、本当はその資格がある方々が文科省からは推奨されているものなのですけれども、本市では、その方々が２人しかない、全体18名の中で。これでは本来やらなければいけない福祉の部分とかに入っていけないのではないかなと。学校の働き方改革のためにスクールソーシャルワーカーを配置しているわけではないですよね。多様な子供たちに関わっている、そのもとの部分を変えていくのがスクールソーシャルワーカーの仕事ですよね。私、そのように認識しているのですけれども、ですからしっかりとした資格を持っている方を雇うためには、この給与形態を変えていかないと、そういった有資格者の方は絶対集まってこないと思いますので、頑張ってくださいねという意味合いで提言させていただきます。以上です。

○石川慶 委員長　まだありますか。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　１点です。成果説明書の67ページです。67ページの左側になります。10款５項６目の企画展開催事業、本当に目的には、一般、児童生徒の教育・普及に資するとあるのですが、すばらしい企画がたくさんあるのですけれども、人数も出していただいてありがとうございます。

その中で、足を運んだ中で、大体でいいのですが、生徒たち、小中高校生の割合は把握していますか。

○石川慶 委員長　市立博物館長。

○市立博物館長　プリティ宮城ちえ委員の御質疑にお答えいたします。成果説明書67ページの10款５項６目企画展開催事業の人数の内訳というのか、企画展の内容によって変わるのですけれども、子供たちの割合としては、夏の企画展とかは、やはり夏休みという期間中もございますので、親子連れが多いかなという印象があります。なので、人数の中でも大体半分とか、３分の１ぐらいというふうに見ています。秋の企画展は、どちらかと言えば、一般の方が多いのですけれども、昨年行った宜野湾60年の企画展に関しては、秋なので

すが、その時期になると、今度は小学３年生の団体見学の一環で来るケースもありますので、その際には常設展示も企画展示室のほうにも紹介して、そこへ足を運んでもらっています。これはも大体同じぐらいだと思っていますけれども、内訳までは把握はしていませんが、こういうふうな状態であります。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　とてもすばらしいなと思います。一般の方向けの宣伝はどの費用でやっているのでしょうか。

○石川慶 委員長　市立博物館長。

○市立博物館長　一般向けの企画展の報告というか、宣伝があるのですけれども、まず１つ目には市報ぎのわん、当然ですけれども、市報ぎのわんと、また企画展が始まりましたら、マスコミ、新聞、ラジオ、テレビ等に呼びかけするとともに、それで特にテレビ局とかが来た場合には、その後のテレビを見て来館したというケースはよく見られます。ただ、その場合に来るか来ないか、各局の判断によるので、必ずしもでもないのですけれども、できるだけ広告のほうを打つことが１つ、また企画展開催中、これと関連したような講座も設けますので、それが座学の講座であったり、野外の巡見であったり、関連講座を設けて、併せて展示を見つつ、それをまた専門家の講座を受けたりとか、実際に野外で自分自身で肌で感じたりということの取組も相乗効果を狙ったような取組をしています。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　丁寧にありがとうございました。本当にすばらしい内容がいっぱいなので、私はもっとたくさんの人に来てほしいと思って、それでＳＮＳとか、いろいろ駆使して、もっといろいろな年代に行き届いたらなと。年間を通じて、もっともとたくさんの生徒たちが来るような形で、学校と連携していけたらと思いました。ありがとうございました。

○石川慶 委員長　市立博物館長。

○市立博物館長　ただいまおっしゃられたＳＮＳに関しては、秘書広報課のほうで、こちらのほうも協力していただいて、ＬＩＮＥ等とかで発信をしています。

あと、小学校、中学校、市内の小中高、大学、学童、その辺を含めて、企画展が始まる際にはチラシ、ポスターをお送りしています。とりわけ夏休みに限っては、市内だけではなくて、広く宜野湾のＰＲをしたいということで、浦添市、西原町、中城村、北谷町、周辺のほうまで、宜野湾寄りの学童のほうにもチラシを入れて、夏休みは学童クラブが動きますので、その辺をちょっと見越して対応しているところです。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　すばらしいと思います。ぜひ頑張ってください。ありがとうございました。

○石川慶 委員長　よろしいですか。

（「はい」という者あり）

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後４時４２分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後４時４７分）

○石川慶 委員長　続きまして、11款災害復旧費、12款公債費、13款諸支出金及び14款予備費について審査を行ってまいります。

質疑を許します。上地安之委員。

○上地安之 委員　お願いします。すみません、お疲れのところ。

公債費から、まずは質疑をさせていただきたいと思います。基本的な点から、償還に伴うものが公債費、そして本市は市債が23億円ぐらいかな、公債費が24億円というふうにしておりますよね。その公債費の中でも元金と利子が収入として、ここに入っていますよね。

まず、これまでの計上だけれども、最近ではないのですが、公債費が市債を上回っているのも数年あったわけ。全く借金返済にならない状況の予算計上していた、当時ありました。今になっては、しっかり償還がしっかりできる、償還計画も進捗できるような計上になって、少し安心しておりますけれども、引き続きそのような償還に伴う、市債を下回った公債費の計上のほうが、本来基本にはよくないから、このまま、ぜひとも償還計画も見立てた上で計上していただきたいと思います。

そこで、この公債費の中で、まずは予算の説明から、元金の説明をしてもらいましょうか。元金の償還、そしてまた利子、そしてそれに対する予算の数値を説明をお願いします。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上地安之委員の質疑にお答えいたします。公債費について、まず元金の計上についてですが、こちらは過去に借り入れた地方債についてですが、こちらそれぞれ国のほうからも借り入れしておりますし、市中銀行からも借り入れしております。それぞれ借りる際に返済の計画をそれぞれ立てております。その計画に基づいたそれぞれの年度の元金の返済額を、それぞれの借入れ分の令和４年度返済額分を積み上げていった、過去の返済額を積み上げていって、こちらに計上しております。それに伴って返済計画の中で、利子の分も全て計算がされて計画が立てられておりますので、令和４年度に返すべき地方債の利子分を全て積み上げた額が、こちらになっております。

また、それに加えて利子のほうなのですけれども、こちらについては、また新年度、こちらにありますのは、令和４年度になりますが、令和４年度に市債を計上しておりますので、市債の借入額に応じて、また利子の最近の動向を見ながら、何％という形で想定をさせていただきまして、新しい借入れ、令和４年度に借入れを予定している市債の利子を計算させていただいて、過去の利子の額に加えて計上している状況でございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それは端的な説明がありましたけれども、そこで一借の件で質疑させていただきます。一時借入金の当初予算設定額が70億円ですかね。最終的には、実は、この一時借入金というのは市中銀行から歳入として入ってくる、予定している、見込んでいるものが時期がずれた。よって資金が不足した。そこで、一時借入金というのが発生しているのですよね。

そこで、これまでは市中銀行からだったものが、今回というよりは、近年、本当に立派な、本当に立派だなと思っていますよ。立派ですよ、本当に。一時借入金を基金から運用されていますよね。基金から運用されて、市中銀行から一部切り替えた実績になっているわけ。何にどのような効果があるのか伺いたい。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　それでは、ただいまの御質疑にお答えいたします。一時借入金ということで、現金不足した際、歳入より歳出のほうが先に出てしまうといったときに、どうしても現金ベースで不足がございますので、その際に一時借入れを行っている状況でございますが、平成29年度、非常に多額で長期間の一時借入れが生じ

まして、利子の額も100万円を超えてしまうというような事態がございました。これも年度間でばらつきがありますが、平成30年度の利子が60万7,000円、平成31年度が119万円という形で、利子をお支払いしている形になっておりますので、また財政調整基金のほうになりますが、財政調整基金は、こちら数十億円程度という形でなっておりました。その当時、こちらをすぐに使っていくということではございませんので、これを基金から現金のほうに繰替えをさせていただきまして、基金のほうにあるものを現金のほうで使えるように一旦繰入れを、現金化させていただきましたので、不足した場合、一時借入金を抑えるために財政調整基金を現金化したものが支払いをさせていただいて、一時借入金を極力抑える、そういったことで利子のほうも極力抑えることができるという効果が出ております。

この現金化した財政調整基金のほうは、年度内にまたほかの歳入をもって現金化できたときの基金のほうに繰り戻しをしていくような仕組みになっております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　手法として、今までにないような手法として、これは大きな効果がありますよ。４万1,000円の利子ですよ。４万1,000円の利子で何がどうかではないですよ。大きな効果、これは。それが全体に対する、職員に対する意識も大きい。そしてまた実際に財政運営にも大きく効果が出ていますよ。それは了解します。

そこで、基金というのは、これは確認の意味も含めてですけれども、議会承認ではないですか、入れる、出す。そうですよね。運用そのものというのは、つまり入れるか、一部崩すか。これは議会本来の議会の承認からするとそれはどうなのですか。それは少し危惧しています。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上地安之委員の御質疑にお答えいたします。今私の理解としては、この基金については、財源の措置として繰入れを、勝手に財源の不足として繰入れをしているわけではございません。現金ベースで現金がなくなった際に、一旦現金化をさせていただいて、年度中に必ずほかの歳入をもって現金として基金へ戻すということで、この使い方については、繰替え運用については、この残高が増減することはございませんので、この辺について、ちょっと承認が必要かどうかというところまで、ちょっと私も今把握ができておりませんが、残高を増減させるものではないと思っております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それはやはり自分も違うといえるものはないけれども、しかし本来基本的な考え方からすると、その崩すのは議会承認ですよ。一時借入れであろうが、これは崩す。そしてやってほしいと。戻すというのが、ちょっと心配なのですよ。これはしっかり、せっかくいい活用していながら、その手続が、ちょっと問題が発生したら、せっかくの事業が、これだけ財政運営に効果を生んでいるようなものが、またちょっと結果がよければ、何でもいいのかというような話になりかねないからそれは整理してください。そして一時借入れに伴う崩す、使用する、戻す、それが繰替え運用の場合については、議会の手続は踏まなくてもいいというようなものがあれば、それをちゃんと構築して説明できるようにお願いしたいなと思いますけれども、どうでしょうか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　各基金のほうで条例の設置があり、基金のほうが繰替え運用できるものとするということで、歳入をもって年度内の基金のほうに返還するという条例のほうで活用しておりますので、こちらの規定をも

って運用は可能であるかなと理解しております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　ですから、財政課長、その運用規定というのは、議会の手続を踏まなくてもいいというふうになっているのかというのが、あの条文を見た限りではっきりしないものだから、それを整備してくださいねということです。そしてまた、引き続き、それは市中銀行とのお付き合いもあるでしょう。あるいはまた、財政効果の、運用することによって大きな効果も実際に決算上も効果が出ていますので、そういったものは、引き続き先ほどの検討事項と併せて、その事業がさらにまた改善していただきますようお願いしたいと思います。終わりですか。

○石川慶 委員長　大丈夫ですよ。続けてください。

○上地安之 委員　それでは、324ページ、13款諸支出金、その中の普通財産取得費ありますでしょう、費目存置。これは予算が、もちろん出ておりませんけれども、事業実績ではありませんけれども、これは何のために設置をされていますか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　御質疑にお答えします。こちらの土地取得費については、何のためということで、把握しておりませんので、調べさせていただきます。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　諸支出金につきましては、いわゆる直ちに特定の行政目的達成に結びつくものではない経費を計上する款になっていまして、その中には公有財産購入費というのがあります。その中の目で土地購入費とか、家屋購入費がございます。

先ほどもちょっと説明しましたけれども、行政目的に結びつくものではないということですから、例えば土地購入が、土木とかでありますけれども、あれは事業目的がはっきりしているので、その款に入っています。それでないところが想定されるので、費目存置で置いているのかなとは思っております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　費目存置で置いている予算に対して何らかの予定が見込まれているのか。答弁おねがいします。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　諸支出金のところで、例えば土地、先ほど説明した土地取得とか、実際には権利購入とかもあるのですけれども、今回費目存置で、土地取得費だけは置いているところは、なぜ置いているのかと言われると、ちょっと想定できていないのですけれども、土地に関しては、何らか事業目的が定まっていないもので購入する可能性が高い。何かしらあるというところで、念のために置いているのかなというふうにしか、ちょっと今答弁できないのですけれども。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　今の説明からすると、特別予定もないのだけれども、念のためにというのが、何のためにかわかりませんけれども、近々その費目存置が変わるかもしれませんよ。ありますよ。それは今後期待しておきたいと思います。

それと併せて、普通財産の貸付けについてお伺いしたいと思います。その資料をいただきましたよね。かなりの普通財産が存在していて、恐らく民間にしっかり契約等をされていると思いますが、それと賃貸借契

約を締結していない普通財産もいくつかあると思いますけれども、その普通財産の業務計画に対する条例というのは、宜野湾市は制定していないというような説明が前にありましたけれども、その運用規定、要綱等があって、普通財産の利用計画によると、それは運用されている。その内容も概要で構いませんから、説明してください。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　上地委員の質問にお答えいたします。普通財産の土地、利用計画等は定めてはおりませんけれども、委員おっしゃる貸付けとか、そういったときには基準は設けておりまして、それにのっとって当該土地、例えば普通財産の土地を借りたい、利用したいという方がいらしたら、審査をして聞き取りとか、どういう利用でということで、それのこちらが持っている貸付基準に照らし合わせて額を出して契約していくというふうに取っております。

その一覧が、資料番号の20というところに、令和４年度におきましては31件、土地については、それぞれありますけれども、区割りではありますけれども、実際貸している方々については31件ございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　貸付け基準というのは、準備されているという話だったのだけれども、貸し付けされているのは普通財産なのですよ。それ以外にも保有しているものが多々ある中で、それは今後の募集というのは、各部局で統一的なものをつくるべきだと思うのです。やはりどのように利用計画をする方針というのは、全ての部局が共有できるようなものをつくったほうがいいですよ。そうなると産業政策課ですか、そこに方針が、統一的なものをつくって、その統一的なものが今はないから、それはぜひともつくってもらえませんか。つくるべきだと思いませんか。

そうすると、思い切ってできるわけ。例えば愛誠園も、して清水苑もかな、青少年も含めて、それ以外にも喜友名も含めて、その方針をつくらないと、それは動けないよ。予算編成方針の中で、普通財産の在り方については、処分ありきになっているわけ。それが生きているのかということになるから、ぜひともそれは構築をしてください。構築することによって、今の費目存置のところで、大きくなったら動き始めるという準備はされていますから、その対応をひとつお願いいたします。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　御質問にお答えしたいと思います。財産に関する計画方針のことだと思っております。ここ最近になりまして、それなりの大規模な土地が普通財産となってきておりまして、先ほどの第二学校給食センターも、もともとは行政財産、第二学校給食センター、青少年ホームも行政財産から去年、おととしですか、去年ですか、普通財産に用途廃止をして所管は総務になってきているところです。

先ほどお話がありました、清水苑も建物を縮小して、その空いた土地は、また私たちに戻って管理という形でできますので、それぞれの大規模な土地が今生まれているとか、普通財産として総務課が管理しておりますので、その大きな土地をどう運用といいましょうか、そういったものは、企画の行政経営室が資産マネジメントという所管も持っていますので、そういった関係部署と協力しながら、今後の財産の方針等を定めていければいいなと思っております。

あと、愛誠園につきましては、今、市民経済部のほうで進めてはおります。以上です。

○上地安之 委員　統一的なものを作ったほうがいいですよ、財産収入しか示されていない、それが生きているものだとしか我々も思っていないから、ぜひともそれは。そうすると、思い切ってできますよ。お願いし

ます。この点については以上です。

最後に、せっかく来ていただきましたので、お伺いしたいと思います。55ページ、貸付金元利収入、そこの未済額が出ているわけ、収入未済額。やはりそれも気になったのですよ。これはあれですか、先ほど伊波一男委員がやり取りした小口資金保証協会の預託金に伴う貸付けをされているものに伴う未済額ですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　御答弁いたします。決算書55ページの歳入、21款３項１目、区分ですね、節のほうが資金貸付元金収入繰越のところで、収入未済が107万3,300円というふうに記載されておりますが、こちらについては、水洗便所改造等資金貸付金のほうでございまして、そちらが資料のほうは47番で提出させていただいてございます。

これが現在貸付されている７名中３名について分割納付しておりますが、若干ではございますが、7万8,600円繰越しているという状況です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりました。ちょっと備考欄に書かれていましたね。小口融資については、その小口融資の貸付けについても、返済の未納というのは生じていないということですか。特に決算書には現れていないけれどもね。

○石川慶 委員長　産業政策課長。

○産業政策課長　お答えいたします。現在小口資金融資の、決算書には現れてございませんが、現在回収できていない金額としましては、利息を含め310万3,638円でございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　これはどこに出てくるのですか。預託をして、そして小口の貸付けをした、返済が滞っている、決算書のどこに出ていますか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　まず、小口融資の原資として、こちらのほうから金融機関に預託をしております。その預託した原資を使って小口融資の貸付けを行っておりますが、その際に信用保証協会と契約を行いまして、回収に係る業務は信用保証協会のほうでとなっております。まず債務が不履行になった場合、中小企業の方がなった場合は金融機関、貸した、貸付けをした金融機関に対して信用保証協会のほうから、まず保証する。そして、これは代位弁済と申し上げますけれども、代位弁済をして、また信用保証協会のほうは政策金融公庫のほうに保険をいただく、そしてそれの20％でしたか、規定の金額を市のほうも20％、その金融機関に対して代位弁済をするという流れになっておりまして、その際、保証協会が引き続き貸付け債務者に対して取立てというのですか、回収を行います。その回収が、今滞っているのが380万円になっております。これは引き続き回収業務がまだ行われている途中ですので、今、不履行になったからといって時効になったとか、そういったところではなくて、今まだ返済の途中ですので、引き続き協力をしながら行っております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それは保証協会が保証する仕組みになっているのですけれども、だから弁済については、それは保証協会の責任、責務というのかになっていると思うのだけれども、その辺については分かりました。その滞っているものが、どこで現れているかなということもあったものですからね。

それから、今融資そのものは休止状態ですよね。そうなると、預託金の払い戻しが発生してくるわけ、廃

止をしたら。そこら辺はどう考えていますか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　この小口融資に関しましては、令和２年に休止をしまして、それまでの預託金が７年間定期として預かってもらっております。これが毎年、最終が令和７年度になりますけれども、といったときには、毎年元利が返済されるというような流れになっておりまして、先ほどの55ページが預託金ですね。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　すみません。どこですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　55ページの備考欄、上から４段目、小口資金融資元利収入900万円とあります。これが令和７年度まで、令和８年度です。失礼しました。令和８年度まで、この900万円が毎年入ってきて終わるという形になります。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　ということは、廃止の検討というお話があったのだけれども、これは預託金の払戻しについても、手続も既に進めていますよ、それからすると。ということは、その事業そのものについては、もう廃止をしていくような方向で進めているということですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　先ほど伊波委員からも御質疑がありましたとおり、小口融資の借入れの件数が年々やはり少なくなっているのも事実でございます。令和２年当時、市中銀行とか、また国や県、セーフティーネット、また商工会のマル経とか、そういった商品がかなり充実しておりまして、市の小口融資よりも有利な内容になっておりましたので、企業がどこを選択してもいいようにというところで、残すかどうか検討はしたのですが、そういった商品も含め充実している。ただし、やはり中小零細企業の方は保証とか、担保が少ない方が今後借入れしやすいような状況になったら、また復活するということで整理はしております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　そうなると、今現在、預託金の払戻し手続きがそこにされているわけ、決算上。また、新たにその事業をするに当たっては、また預託を開始していくということですよね。そのように預託をスタートして、その事業を再開していくということですか。

○石川慶 委員長　市民経済部次長。

○市民経済部次長　おっしゃるとおりでございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　分かりました。最後に貸付金、先ほどの未済額、これは水洗便所改修に伴う貸付金ですよね。今後どうするのですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　御質疑にお答えいたします。その面に関しては、連絡も全くつかない状況で徴収できない状況であると。こちらは私債権として契約上貸し付けしているので、私債権という、成立させていただいている状況で、不納欠損が、今のところ手続を取っていないところでございます。今のところ、こういった状況でございますので、今連絡がつかないということで時効援用にもかなり問題があると思いますので、この辺は引き続きちょっと検討を続けないといけないと思っているところでございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それを未済額としては計上できるが、不納欠損できないのですよ。できないわけよ。ずっと引っ張っていくということになるわけ。ぜひともこれは大きな意味で市営住宅の件、あるいはまた教育委員会が拠出をされている育英資金の奨学資金、これも私債権ですから、それも含めて建築だけが持っている市営住宅だけではなくて、この債権の、公債権、私債権のしっかり分類をされて、それの対応をどうするかというのをやはり検討しないと、いつまでもそれを引っ張るわけですよ。なくなっても、不納欠損しかできないわけ、地方自治法の域ではないから。そこら辺をしっかり整備した上でと思います。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　御意見ありがとうございます。先ほど建築課長のほうからも説明があったと思うのですが、現在関係部署ですね、私債権を保有している関係部署を集めて検討しておりまして、ちゃんとそういった債権管理が、この条例の基準を基に管理できるように、委員のおっしゃったように不納欠損できるように、できれば今年度中に債権管理条例を上程できればなと現在検討しているところです。

その中に、先ほどの水洗便所の貸付金や育英会もまた含めて検討していっている状況でございますので、このように進めていければなと思っております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　予算を我々が、予算しか見ることができないから、いつまでも、それが処理もできない、いつまでも、それがそこに計上されているというのが、これは何なのかと思われるから、そこら辺はちゃんと整理をした上で、いろいろな意味で検討されて、そういう対応方をお願いしたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　ほかに質疑ございますか。よろしいですか。

（「進行」という者あり）

○石川慶 委員長　それでは、審査中の認定第１号については質疑の段階で継続審査にしておきたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○石川慶 委員長　御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後５時２４分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後５時３２分）

○石川慶 委員長　本日の会議はこの程度にとどめ、次の委員会は明日の午前10時から会議を開きます。本日はこれにて散会いたします。皆様、御苦労さまでございました。

（散会時刻　午後５時３２分）

総務常任委員会会議録

○開催年月日　　令和５年１０月１３日（金）　４日目

午前１０時０１分　開議
午後　０時３５分　閉会

○場　　所　　第３常任委員会室

○出席委員（１０名）

委員長	石川　慶	副委員長	知念　秀明
委員	宮城　克	委員	平安座　武志
委員	桃原　功	委員	伊波　一男
委員	プリティ宮城ちえ	委員	我如古　盛英
委員	上里　広幸	委員	上地　安之

○欠席委員（０名）

○説明員（１９名）

総務部次長	多和田　眞満	企画部次長	伊佐　真
財政課長	比嘉　隼也	企画政策担当主幹	小橋川　陽介
市民経済部次長	新垣　育子	秘書広報課長	吉村　純
清掃指導係長	宮平　真碁	環境対策課長	當間　大和
建設部参事	嶺井　辰也	建設部次長	城間　勝也
基地政策部次長	津波古良幸	都市計画担当技幹	新﨑　雅也
教育部次長	真鳥　かおり	基地跡地推進課長	仲泊　嗣典
指導部次長	松本　勝利	文化課長	浜里　吉彦
GIGAスクール担当主幹	比嘉　広和	はごろも学習センター所長	當山　全盛
学校給食ｾﾝﾀｰ所長	伊佐　英人		

○議会事務局職員出席者　大城　拓也

○本日の委員会に付した事件及びその審査順序

　認定第　１号　令和５年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

令和５年１０月１３日（金）第４日目

○石川慶 委員長　ただいまから総務常任委員会の第４日目の会議を開きます。

これより議事に入ります。

（開議時刻　午前１０時０１分）

【議題】

認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定について

○石川慶 委員長　継続審査となっております認定第１号　令和４年度宜野湾市一般会計歳入歳出決算の認定についてを議題といたします。

本件に対する質疑を許します。順番どおりいきましょうね。まず初めに、成果説明書64ページ、10款５項３目西普天間住宅地区埋蔵文化財緊急発掘調査事業、西普天間住宅地区跡地利用推進事業（文化財調査）について質疑を許します。桃原功委員。

○桃原功 委員　おはようございます。64ページの左側と西普天間住宅地区埋蔵文化財緊急発掘調査事業と右側の西普天間住宅地区跡地利用推進事業（文化財調査）という記述があるのですが、最初に左側の緊急発掘調査事業からお尋ねしますけれども、これは平成27年度というと、2015年から令和８年まで、10年以上長期にわたる調査事業ですけれども、委託料をちょっと見ていただけますか。１億6,400万円、委託料ということで計上されて、支出したのですけれども、委託料の推移というのをちょっとぜひお答えをお願いしたいなと思うのですけれども、資料として提示しなくてもいいので、口頭で平成27年、要は2015年からこの調査が始まったときの委託料の推移というのをお答えください。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　すみません。今、当時の資料を持ち合わせていないので、あとで報告してもよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、持ち合わせている分の年度でいいので、お答えできますか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　すみません。委託料につきましては、先ほど文化課長が申し上げておりまして、資料はないのですけれども、昨年度に比べまして、昨年度の委託料の決算の額につきましては１億4,599万7,400円という形になってございまして、約2,000万円ほど上回ってございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　昨年度というのは、令和３年度決算額ということですか。

○石川慶 委員長　教育部次長。

○教育部次長　そのとおりでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　令和３年度決算が約１億4,000万円、令和４年度決算が１億6,000万円、このように高騰しているけれども、成果の部分でお答えお願いできますか。私たち議会のほうに、この発掘調査事業の、過去に

資料要求があったかどうか覚えていないのですけれども、今持ち合わせている部分で、どのような成果というか、実績、報告をお願いできますか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　調査が平成28年から始まりまして、今年度、令和５年度で終了予定となっている事業でございます。その中で、調査の中で確認された新しい遺跡が20遺跡確認されておりまして、その大体が残さないといけなかった遺跡ということでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ごめんなさい。最後の言葉が、残すべきもの、残せなかった、遺跡を残せなかったのですか。残すべきものと言ったのですか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　遺跡としましては、発掘調査の試掘を経て確認をしたところ、拡大調査をして残さないといけないような遺構、遺跡であったというのを確認しております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　前に軽便鉄道ではないけれども、鉄道路線が出てきたではないですか、普天間側から。あれも含まれているのですか、この調査に。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　そのとおりでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　令和８年度予定が令和５年度で終了ということは、順調に発掘調査事業が進んで、令和５年内で完結できるという見通しですか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　発掘調査の対象というのは、公道、それから宅地を想定しておりまして、今回西普天間住宅地区の面積が約47ヘクタール、うち開発面積が公園部分、緑地部分を除いた37ヘクタールになっております。その中でも試掘して遺構が見つからなかった部分に関しては調査が狭まってくるので、少なくなってくるのですけれども、それを含めても今回指定された部分に関しては調査を終えるということになっております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　ありがとうございます。調査を終えるという確認は取れました。

ちょっと気になるのは、委託料の高騰、高騰という言い方は当てはまらないかもしれないけれども、委託料が増えているということなのですけれども、この辺の調整というのは、これはプロポーザルなのですか。それとも年間、年間というか、どういう決め方で委託料というのは増えていっているのですか。令和３年度決算は１億4,000万円、令和４年度決算が１億6,000万円ですよね。この増額というのは、どういう経緯というか、決めているのでしょうか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　開発に伴う調査ですので、調査してほしいという場所が、毎年指定されておりまして、その指定された場所の面積によって調査費が決まってきますので、今、委員がおっしゃるような形で推移しているのは面積の推移ということで、理解していただきたいと思います。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると、委託業者が、今回はここをしたい、これだけの面積だから、前年度より広い面積だから、人工も時間もかかるということで、増額要求しているということなのですか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　業者だけではなくて、行政のほうで、今回の調査は、これだけの面積ですよということで、入札をかける際に御案内して見積りをしていただいているところでございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　ちょっと行革は見えていないみたいですけれども、この各委託料の案件で、やはり増えていっている状態に対して行革が過去に委託料のことを精査していくという答弁があったのを記憶しているのですよ。今、文化課の答弁では、大体理解はできたのですけれども、行革とのすり合わせ、委託料に関してのすり合わせというのも、何か調整とか、意見交換されたのですか。行革は、その委託料を精査すると言った過去があるのですよ。その辺いかがですか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　文化課が行っている調査業務に関しては、防衛局からの依頼事業になりますので、10割補助、ですから行革との調整云々は行っておりません。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　調整云々はなかったと。そうすると、財源内訳でその他とあるのは、これは国、防衛からの支出ということでよろしいのですか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　そのとおりです。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　よく分かりました。ありがとうございました。

　続いて、隣の西普天間住宅地区跡地利用推進事業、これは事業期間が平成28年、2016年からと後ろが記されていないのですけれども、この説明をいただけますか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　後ろがまだ見えないのは､整備に向けての調査が終えていないというのが１つです｡それから、今、歴史の道を全体的に考えてはいるのですけれども、その周辺施設、例えばまだ返還がされていない、新城御殿遺跡であったりとか、また調査が終えていない喜友名グスクであったり、それからまだ見えてこない一部が、まだ未調査の部分がございまして、それをどの時期で調査できるのか、それがまだ定まっていないこともありますので、けつが見えていないと。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　これの調査面積範囲というのは、返還部分の51ヘクタール、あの枠内のことですか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　そのとおりでございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　財源内訳で国の1,495万2,000円とありますけれども、これも防衛予算ですか。

○**石川慶 委員長**　文化課長。

○**文化課長**　これは一括交付金です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　一括交付金。左が防衛支出で出て、右が一括交付金にした理由というのをお尋ねいたします。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　支障除去に伴う、それから開発に伴う調査に関しては、防衛のほうから予算が執行委任というような形で出ているのですけれども、この整備に向けた調査に関しては、一括交付金事業を活用することしかできなかったので、その補助を使って調査して、これからの計画に備えているというようなことでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。この左右の事業の報告書みたいなものは、あるいは概要版でもいいのですけれども、何か見ることはできますか。

○石川慶 委員長　文化課長。

○文化課長　令和４年度で実施した歴史の道の基本設計業務委託につきましては、昨年度中で上がっておりますので、お見せすることは可能です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　閲覧はできると。

○文化課長　はい。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、また後日、閲覧に行きます。ありがとうございました。

次に行っていいですか。

（「委員長」という者あり）

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　補足させていただきますが、先ほど財源の中で沖縄振興特定事業推進費と、一括交付金というお話がありましたが、正しくは一括交付金とは別で、一括交付金を補足するための沖縄振興特定事業推進費ということになりますので、一括交付金そのものではありません。ちょっと別の交付金になります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　60を過ぎて耳が遠くなって、もうちょっとゆっくり。一括交付金ではなくて、それを……

○財政課長　ではなくて、一括交付金を補足するような国の別の補助金ということになっております。厳密には、交付金とは別の交付金でございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　何という補助金名なの。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　お答えいたします。交付金の名は、沖縄振興特定事業推進費となっております。成果説明書64ページです。事業内容実績の右側のほうに記載されている沖縄振興特定事業推進費となっております。以上です。

○桃原功 委員　分かりました。ありがとうございました。

○石川慶 委員長　この件はよろしいですか。

○桃原功 委員　はい。

○石川慶 委員長　次に行きましょうね。説明の終了した説明員は退席よろしいですので。

　続けていきます。続きまして、成果説明書71ページ、10款６項３目大山学校給食センター調理業務等民間委託事業、はごろも学校給食センター調理業務等民間委託事業、こちら桃原功委員です。桃原功委員。

○桃原功 委員　大山小学校から確認をいたします。大山小学校は、令和４年度で給食の提供は終了したのですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。成果説明資料の大山学校給食センター調理業務等民間委託事業に関しましては、令和４年度の末に終了してございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、今年度からはごろも学校給食センターから提供されているということでいいですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。そのとおりでございます。はごろも学校給食センターから大山小学校に提供してございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　一番気になるのは、子供たちが、あ、民間委託して給食がおいしくなったよという声が確認できるのかなと思っているのです。今、直近で令和４年度は大山で提供、令和５年度からはごろもで大量に作っているものが来ていると。例えば温かくなくなってきているとか、あるいはおかずがおいしくなったとか、あるいはデザートは、前はあったのに今なくなっているとか、これは子供の声を聞くのが一番かなと思うのですけれども、それは何か児童を対象にということで、確認もアンケートみたいなものを取ったことはあるのですか。あるいはそういう確認は取っていなくても、そういう声って何か入ってきていますか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。大山の児童生徒から特段アンケート等は取ってございません。ただ、令和５年度の学校給食運営委員会の中で、委員の中でＰＴＡ会長のほうも参加しておりまして、そこのほうからは、おいしくなったという御意見も、その委員会の中で発言等はございました。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　おいしくなったというのは、大山単独で作っていたときよりも、はごろもから来たのがおいしくなったということ。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。そのような発言であったかと思います。ただ、大山の単独調理場であったりとか、そういった調理業務に関しましては、指導部といたしましても質を落とさず、継続した給食提供に努めているところでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　一番そこが子供たちの感想が来ていたのかなと思ったのですけれども、ＰＴＡさんのほうで、そういうおいしくなったという言葉が確認できたのだったら、いいかなと思っています。

　隣のはごろも学校給食センターの調理業務委託ですけれども、これは令和４年度決算なので、この時点では、大山の分の増食分は、あるいは金額の増額分は入ってきていないということですか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○**指導部次長**　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。この成果説明書の71ページ、右側のはごろも学校給食センター調理業務等民間委託事業の部分に関しましては、桃原委員御指摘のとおり左側に大山学校給食センター調理業務等民間委託事業がございますので、この中では含まれてございません。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　ちょっと決算から少し外れますけれども、参考までにお聞きしたいのですけれども、令和５年度から大山分が増額、あるいは増食されて、はごろもの運営機能というのは、皆さんが担当なので、事故、遅滞なく、ちゃんと運営できているのかということを聞きたいのですけれども、いかがですか。

○**石川慶 委員長**　指導部次長。

○**指導部次長**　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。令和５年度においても令和４年度の予算で食器等の購入等をしてございまして、令和５年度に統合してはごろも学校給食センターから大山小学校へ提供してございまして、それがこの形で遅滞なく安全に提供できるような形を整えて、令和５年度分も継続して給食提供をしてございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　そうすると、はごろも学校給食センターの建築、建設というのは、当初から大山がいずれ増えるというのも見越して、ハード事業というのは、余裕を持って、大きく造っていったということですか。

○**石川慶 委員長**　指導部次長。

○**指導部次長**　桃原功委員の御質疑にお答えいたします。当初から大山学校給食センターの老朽化等もございましたので、統合を見据えて施設整備はしていたというふうに理解してございます。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　だけれども、大山の特徴であった、例えば１クラスシイラ丸１匹ごちそうみたいなものは、もうできないのではないの。

○**石川慶 委員長**　学校給食センター所長。

○**学校給食センター所長**　お答えいたします。そうですね。はごろも学校給食センターでは、民間の委託事業者さんが調理を行っていて、相談しているところなのですが、ちょっとシイラのほうは厳しい状況もあるようでございます。施設においてですね。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　単独だからできたわけですよね、大山は。ああいうシイラを丸ごと１匹出すということは。

○**石川慶 委員長**　学校給食センター所長。

○**学校給食センター所長**　お答えいたします。学校給食センターの施設の設備によって、今、宜野湾給食センターのほうでは行っておりますので、はごろも学校給食センターでは、ちょっと難しい状況です。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　宜野湾給食センターでは、ああいうものを提供することはできるということですか。

○**石川慶 委員長**　学校給食センター所長。

○**学校給食センター所長**　今年度も行っています。

○**石川慶 委員長**　桃原功委員。

○**桃原功 委員**　分かりました。ありがとうございます。これは全国的にも高い評価を受けていたので、シイラ１匹というのは、またぜひ。だって、地産地消を含めて特徴ある学校給食、地域色を出すということは大

事だと思いますので、子供たちがそれを食べて、子供たちはそれを覚えていくわけですよ。お願いいたします。

あと、人の、人員の件をお尋ねしますけれども、大山学校給食センターは何名、会計年度任用職員も含めて何名人員がいて、この方々の行き先というのはどこになっているのですか、令和５年度からは。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原功委員の御質問にお答えいたします。大山学校給食センター調理業務等民間委託に関しましては直営ではございませんので、臨時職員とかの任用ではなくて……

○桃原功 委員　最初から民間委託だったの、大山は。

○指導部次長　はい。民間委託を平成28年度から、この成果説明書71ページの左上の段にあるとおり、平成28年度から実施してございましたので、直営での運営ではございませんので、正規職員であったりとか、会計年度任用職員の配置はございません。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。右側のはごろも学校給食センターの事業内容、記述の中で、ごめんなさい。四角ではなくて、上の２番の事業効果のところですけれども、市職員を公、公でしかできない業務へ集約していくことで、組織の効率化を図るとともに、委託先において調理業務の教育を受けた要員が継続的に配置されることで、サービスレベルを確保しつつ、安定的な運用が図られるとあるのですけれども、これは大山学校給食センターのことではなくて、はごろも学校給食センター内の公でしかできない業務、ちょっと言葉尻をつかまえて質疑するのは、少しあれかなと思うのですけれども、御説明いただけますか。要は民間へ委託しているのに、ここでしかできない業務というのは何なのか。

○石川慶 委員長　指導部次長。

○指導部次長　桃原功委員の御質問にお答えいたします。成果説明資料71ページです。調理業務等の民間委託事業、両方、はごろも学校給食センター、大山学校給食センターにおいて民間事業の委託を行ってございますので、その事業委託に際して効果が、今委員がおっしゃるような形での効果があったということで、記載しているものと理解しております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　答弁があまりにもスムーズ過ぎて、ちょっと理解できなかったのだけれども。

○石川慶 委員長　もう一度説明をお願いしますか。学校給食センター所長。

○学校給食センター所長　給食センターには、役所の職員、私もそうですけれども、行っている業務については、食材の調達、これは県の栄養士さんが、調達、献立の作成、あとは食育に関すること、学校に行って給食指導したりという、そういった業務を公で行いまして、民間事業者さんには調理業務であったり、配送業務であったり、主にというか、作業の指示を受けて作業する形のものを民間事業者さんにお願いしているところでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　要は、役割分担をはっきり、それをちゃんと遂行するよと、公は公の部分としての、栄養士の件だったり、あるいは調達だったり、それはちゃんと維持していくよということで理解していいのですか。

○石川慶 委員長　学校給食センター所長。

○学校給食センター所長　それは直営のときと同じように民間事業者さんが調理業務を行ったときでも、そ

れは市で責任を持って行っております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、宜野湾市においては、県から配置された、あるいは市で配置した管理栄養士の下にやっているということですね。

逆にお尋ねしますけれども、完全民間委託している他市の学校給食センターもあるのですか。管理栄養士も契約の中で行政が入っていないというところもあるのですか。

○石川慶 委員長　学校給食センター所長。

○学校給食センター所長　学校給食法等がございまして、そういった部分については、市のほうで、地方自治体のほうで行うことになっております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、ちゃんと法律で、栄養士のほうは自治体でということであるわけですね。分かりました。おいしい給食提供を頑張ってください。

○石川慶 委員長　では、続きまして、成果説明書67ページ、10款５項７目ＩＣＴ機器活用推進事業、こちらも桃原功委員です。よろしいでしょうか。桃原功委員。

○桃原功 委員　すみません。ちょっと続いてなのですけれども、成果説明書の67ページ、ＩＣＴ機器活用推進事業、これは2016年から始まっているので、もう７年になると思いますけれども、気になる部分というのは、このＩＣＴ、ＡＩに関しては、どんどん、どんどん最先端の最新の機器が登場してくるのですけれども、その辺の、例えば最初が書画カメラでしたっけ、その現況を、もしわかるのでしたら、2016年から当初は、一番最初は何を導入して、こういった事業活用ができている。機械の入替えで、次は何を入れて、この機器ではどういった事業が展開できたとか、それってお答えできますか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　桃原委員の御質疑にお答えいたします。ＩＣＴ機器活用推進事業、学校現場でＩＣＴ機器を活用するに当たって必要な機材などを導入してきたものです。当初一番最初、先生たちが使う校務用パソコン、これは平成28年以前から宜野湾市は校務パソコンを先生たちに配布して、これで校務を行っていただいています。

その中で平成28年には中学校の電子黒板を導入いたしました。当時電子黒板と書画カメラを導入しております。令和元年に小学校に同じく電子黒板と書画カメラを導入しております。ただし、小学校では令和元年度の導入は、予算の制約がありまして、教室数の約半数しか整備できなかった事情がございます。

この令和４年度に中学校の電子黒板と小学校の追加整備を行って、全ての教室で、授業を行う教室で電子黒板などが整備できたものでございます。また、文部科学省のほうから、これは４年ほど前ですが、平成30年以降の学校におけるＩＣＴ環境の整備方針についてという文書が出ております。例えばその中では大型提示装置、提示するという意味合いで、文科省は電子黒板のことを数年前から大型提示装置という名称にしております。あと、実物投映装置、これは書画カメラのことです。また、指導者用コンピューター、または校務用コンピューター、またはこれにＧＩＧＡスクールが始まりましたので、学習用コンピューター、児童生徒用、充電保管庫、ネットワークなど、こういうものを学校現場として必要であるという指導が出ています。我々も、この内容を確認しながら、学校にいろいろなＩＣＴ機器を整備していったものでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　一番気になるのは、生徒たちの感想というのもお聞きできればなと思うのですけれども、本当にそういった電子機器を活用して、より知ることができた、理科にしたら、こういう書画カメラなどを使って、より知ることができた、とても面白い、こういう生徒の感想というのはあるのでしょうか。あれば教えてください。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　生徒に年に１～２回、この電子黒板の授業は分かりやすいですかとか、書画カメラを使っての授業は理解しやすいですかというアンケートを取っています。その中で、ほとんどの児童生徒がわかりやすい、以前より理解しやすいという回答が見られております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。児童からアンケートを取るというのは、とても大事なことだと思います。また、継続して、それがまた授業に反映して生かせるようになっていくと思うので、お願いしたいと思います。

あとは、先生方の負担という部分のことでお聞きしたいのですけれども、こういう電子機器を導入することには、多分覚えることはたくさんあると思うのですけれども、そういう負担軽減、あるいは負担というのは、市教委としては、どういうふうな協議をされているのか、あるいは対策はあるのか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　新しい機器が入ってくるたびに先生方は使い方を勉強しないといけないとかという負担が出てくるかと思います。教育委員会としましては、ＩＣＴ支援員を学校に派遣などして研修、また授業の支援に一緒に立ち会ったり、また導入する機器も保守の中の一環に、年に１回の研修、夏休み等を使って先生たちの集合研修などを盛り込んで、苦手な先生も四苦八苦することなく、うまく使いこなせるようなフォローをしております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　回想法授業ではないのだけれども、私たちが小さいときは教育放送のテレビ授業があったのです。理科とか、とても楽しくて、見ていたのですけれども、それに代わるものというのは、今はないと思うのですけれども、書画カメラとか、要は映像で見られるという授業の楽しさ、今これはないですよね。それに代わるものって、ネットなどを活用して何かあるのですか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　我々の小さいとき見ていたＮＨＫの教育テレビについて、確かに今も放送はあるのですけれども、またＮＨＫが、その動画をまとめたサイト、ＮＨＫ　ｆｏｒ　Ｓｃｈｏｏｌというサイトがございます。先生方は、どちらかというと、こちらを活用して、様々な動画、過去の動画から今の例えば防災とか、その時期に合わせた動画がアップされて、５分程度でありますので、それを電子黒板で見せて、しかも一気に最初から最後まで見せるのではなくて、途中で止めて、みんなに考えさせる時間を決めて、またやるとか、そういうのも活用しながら進めていただいております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　昔の番組、今でもあって活用しているのですか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　その当時のままの状態では残っているかは、私はあれですけれども、ホームページで、今は分かりやすい形で、イメージとしては、我々が小さい頃に見たような教育番組で理科の実験

とか、台風の様子とか、そういうマルチメディア動画があります。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　よく分かりました。ありがとうございました。あとは、こういう機器の入れ替えた後の対応というのは、これは廃棄になってくるのですか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　私たちも内容を確認して、一部まだ使えるもの、また学校に確認して、少し何か用途があるものは多少残して使っているものがございます。ただし、そのまま残しておいても、またいずれ廃棄に、また学校の保管場所のこともありますので、それは学校と確認しながら、業者のほうに適切に廃棄するように入札の際に条件を出してやっております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　今の現況を確認したいのですけれども、児童１人１台タブレットを使っての授業というのもやっているのですか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　こちらは文科省のＧＩＧＡスクール構想に基づいて令和２年度に１人１台端末を全て整備して、宜野湾市では令和３年６月から小学校１年生から中学校３年生まで、全て１人１台ずつ子供たちには貸与しています。これを使って先生たちは授業をして、既に今年で３年目になりますので、日常使いとして、様々な授業で活用しております。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　分かりました。ありがとうございました。

あとは、維持費、ランニングコストは、教育委員会でいいのかな。ちょっとイメージできないのですけれども、その端末を触るとき、一斉にやはり触っていきますよね。その接続状態というのは、特にトラブルなく、ちゃんとできているのでしょうか。

○石川慶 委員長　ＧＩＧＡスクール担当主幹。

○ＧＩＧＡスクール担当主幹　ネット環境のほうについても、当時我々は仕様書のほうで様々な条件と専門の知見のある方に相談しながら仕様書を固めて、それを業者さんのノウハウを含めて構築していただいていますので、今のところ宜野湾市では、特にネットに大きな支障は出ておりません。

○桃原功 委員　分かりました。ありがとうございました。

○石川慶 委員長　では、進めてまいりましょうね。

続きまして、資料番号67、決算書210ページ、４款１項３目宜野湾市地球温暖化対策実行計画推進事業、こちら我如古盛英委員となっております。準備よろしいでしょうか。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　これは令和２年度から令和４年度までの児童数、令和２年度はコロナの影響により中止されたということでありますけれども、その取組も書かれているのですけれども、この３校に行ったというのは、各小学校１回ずつ行っているということで理解していいのでしょうか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　我如古委員の御質問にお答えします。資料番号67番の宜野湾市地球温暖化対策実行計画推進事業の取組、令和２年度から令和４年度までの学校においてどういうふうに進めているかということでよろしいでしょうか。

○我如古盛英 委員　はい。

○環境対策課長　まず、年間すべての学校で実施することは困難ですので、学校のほうにアンケートを取らせていただいております。その中で授業に活用したいという学校からの申出を受けまして、年度内で可能な３校程度を抽出して実施しているという仕方になっています。ですので、年次計画で決めているということではなくて、希望を取ってそこから実施しているということになります。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　これまでに６校ですか、志真志小学校、はごろも小学校、５校ですね、これから取組が行われると思いますので、地球温暖化の対策費というのは、やはりそういった小さい子供たちから教育、あるいは取組に十分注意して、注力してやっていただきたいと思います。この間も言いましたけれども、本当に二酸化炭素を排出しないでおこうということで、2050年には、それをゼロにするということですから、今の子供たちが成人、あるいは大人になって、しっかり取り組めるような教育というのでしょうか、それを今の時点からやっていかないと、とても間に合わないと思いますので、ぜひそれはできたら、全小中学校にやっていただきたい。手挙げではなくして、これまで終わったところはいいとして、まだ実施していないところが、やはり対策の課から、ぜひ年間の計画を立ててやっていただければなと思いますので、よろしくお願いします。

それから、その次、３番のところに、令和６年度は公共施設等の太陽光発電の導入調査というのがあるのですけれども、これはあくまでも公共施設に関しての取組をしっかりやるということなのでしょうか。

それから、宜野湾市には太陽光発電の導入の補助制度があったと思うのですけれども、それもまだ今現在実施しているかどうか。２点お願いします。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　我如古委員の御質疑にお答えします。まず、１つ目の３番の公共施設等太陽光発電設備導入調査のものについてお答えします。こちら次年度の計画として挙げさせていただいていますので、今後予算編成のほうで検討されるのですが、内容としましては、まず市内の公共施設の中で、どういった場所が太陽光発電等の可能性があるかということの調査を進めていくものであります。

２点目の御質疑の今市として太陽光発電の補助があるかという御質問であるのですが、市民向けの補助というのは現在ございません。平成30年度までは、当時ありました国の補助金を活用した太陽光発電システム、再生可能エネルギーだったり、省エネづくりの導入だったり、その辺大きな額ではないのですが、実施していたのですが、現在は補助というのは行っておりません。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　きちっと調べてなくて申し訳ないのですけれども、なくなったということは、やはり宜野湾市がそういう状況ですから、建物とか、住宅は、どんどん、どんどん立ち並んでいく中で、やはり太陽光発電、風力発電等もあるのですけれども、太陽光のほうが一番皆さんにとっては可能性あるのではないかなと思うのですけれども、それがないということは、ちょっと厳しい状況ですけれども、令和６年度に公共施設への太陽光発電の設置を、これから調査していくということですから、それを機会に、また市民の皆さんも導入しやすいような施策を取っていただきたいなと思います。

それと同時に、やはり幾ら空き地とか、そういった街路がないとはいえ、緑化を進めるような方法をやっていかないと、両方相まってやっていかないと、この地球温暖化対策というのは、なかなか目的が達成でき

ないと思うのですけれども、それについても環境対策課が対応するのか、あるいは土木なのかは別として、緑化のほうにも力を入れていければと思います。どんどん、どんどん公共施設からも緑がなくなるし、330号の街路樹もほとんどないですし、やはり開発というのは、どんどんこれから進んできて、残された樹木というのが、みんな消えて、切り取られていっていますので、それも入れて、地球温暖化対策の実行計画ということで、全体的なものを見てやっていただきたいと思います。緑に関しては、何かありますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　ありがとうございます。地球温暖化対策の推進ということで、私たちまた計画のほうもやらせていただいているところです。この計画の中でも庁内の関係部署、例えばみどりの基本計画であったり、都市公園であったり、そういったところの連携も含めて、今指摘のありました二酸化炭素の吸収力の確保という観点で、緑化についても、ほかの個別計画と連携を図りながら進めていくことを想定しています。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　開発と緑の保全は、本当に相反することですけれども、しっかり頑張らないといけないと思いますから、頑張ってください。これについては以上です。

○石川慶 委員長　では、続けていきましょうね。

資料番号77、決算書212ページ、４款２項２目ごみ処理委託事業、こちらも我如古盛英委員となっておりますので、準備よろしいですか。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　211ページ212ページにかけてなのですけれども、資料として久しぶりに宜野湾市全域のごみの収集、今まではやはり生活するためには地域の収集日のことが頭に入って、金曜日には資源ごみ、月曜日と木曜日は燃えるごみということでやっていたのですけれども、それから見ると、収集は本当に均一にやられていると思います。頑張っていらっしゃると思います。

それから、門前収集ですので、宜野湾市は。それについて、これまでも努力して、軽トラック等が導入されて、パッカー車が入らないところも収集できるようにやっているのですけれども、その中で最初から聞くのですけれども、現在２者がごみ収集をおこなっていますけれども、パッカー車というのですか、収集車というのですか、それは何台稼働していますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　市の一般家庭ごみの収集で、数多くて宜野湾クリーンサービスさんと宜野湾市清掃事業協同組合さん、２者が委託事業者として家庭ごみのほうを収集していただいております。その中でパッカー車、いわゆる圧縮してごみを集めるパッカー車の台数、２者で16台稼働しております。そのほか、軽トラ等でも収集を行っておりますので、軽トラも合わせて、トラックタイプのものでは13台、パッカー車以外の車両は13台合わせて稼働しているところです。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　その13台、パッカー車以外の13台というのは、この212ページの01の塵芥処理事務運営費が140万円というところで、これは理解していいのでしょうか。すみません。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質問にお答えします。その前に１点、先ほどの数字の訂正をよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　はい。

○環境対策課長　先ほどパッカー車以外13台と申し上げたのですが、14台の誤りです。失礼しました。

続いて、御質問のありました、この２者、収集業務の予算のほうなのですが、01番の塵芥処理ではなくて、その下段のごみ処理委託事業、こちらが一般家庭ごみのごみ収集事業者の委託の費用になっております。この委託費の中で、先ほど申し上げた２者に対しての契約を行っておりますので、収集車両の台数もそこの委託費の中で手当てをされているという予算になっております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　では、このごみ処理委託料の２億1,600万円の中にパッカー車の稼働代分、それからトラックタイプの収集車14台の費用も含まれているということですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　その費用も含まれての予算になっております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。それで、これは前年度から、議会からも要望されて、ぜひとも門前収集、宜野湾市は全市が市街化区域で、本当に道路整備が行き届かせなければいけないのですけれども、なかなか区画整理事業が進まない地域もあって、大型パッカー車が入らないところがあるというのは、皆さん御存じで、それで14台も、そういったトラックタイプの、二重の費用が清掃業者にかかっている状況ですけれども、そういったものについては、別段プラスして委託費というのが増額されるということはなかったのでしょうか。これまで、そういった形で、トラックタイプを設備として持つ場合は、プラス委託料に加えるという考え方ではないのですか。これまでの委託料の中にあるのだけれども、その14台のトラックタイプのものは、自分でしっかり確保しなさいということになっているのですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質問にお答えします。その前に、改めての訂正で申し訳ありません。先ほどのトラック台数の14について、私の見方が誤っておりまして、14台ではなく、合わせて６台になっておりますので、残りの台数というのは、別の委託事業者の台数でしたので、訂正させていただきます。14台ではなくて６台です。

改めて台数の増車分等があった場合の予算の計上の仕方ということですけれども、通常委託費が増しなければいけない原因というのは、その内容を精査する必要があると考えております。これまで、例えば粗大ごみの回収の収集を令和３年度までは、一部遅れ等が多い時期がございまして、そこは市の会計年度任用職員等を入れて収集作業を補足していた時期がございます。

ただ、令和４年度より委託事業者のほうで、そういった収集能力を上げてもらうということで、車両の台数等も増強していただいて、それに伴って委託費を少し増額したという事案はあります。ですので、収集の内容の変動によって、やはり委託費というのも協議の上、検討していくことになります。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　そうですよね。先ほどパッカー車以外に、パッカー車が16台ですから、14台だったら、パッカー車１台に大型トラックタイプの収集車がついているのかなと思ったら、そうではない。６台に減りましたけれども、しかしそのトラックタイプの車両でも、運転手とそれから維持費がかかるわけですから、これは市民の生活の向上のためですから、必要だと思いますので、それはぜひやっていただきたいと思います。やっているということですから、それはそれでいいです。

それから、もう一つだけ、宜野湾クリーンサービス、あるいは宜野湾市清掃事業協同組合の車両があると

思うのですけれども、これは市内、できたら地元は地元の業者のほうが収集していただければなと思うのですけれども、そういった代わるようなことがあるのですけれども、それはローテーションというのは、これは市のほうで関知しているのですか。その事業者の皆さんで、社内で協議してできるようになっているのですか。そこら辺、ちょっと教えていただきたい。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質問にお答えします。宜野湾市清掃事業協同組合さんと宜野湾クリーンサービスさんの２者が収集の委託ということで、お願いをさせていただいているところですが、その２者の中で、このエリアの２者のエリアのときに決まっておりますので、そこのローテーションというのはございません。この組合さん、あるいはクリーンサービスさんの作業車というのですか、担当者の変更というのは、この２者の中での調整になると考えております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　環境対策課は、余り関与していないということですね。

　次に、資源ごみについてお伺いします。先ほど申し上げましたけれども、宜野湾市は門前収集が定着しているということですけれども、資源ごみは、これは清掃業者ではなくして、シルバー人材センターが行っているのですよね。それについての門前収集は減っているのでしょうか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　御質問にお答えします。資源ごみは、御指摘のとおりシルバー人材センターさんに収集をしていただいています。基本的には門前収集での対応となっております。以上です。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　ということは、いつも見かけるシルバー人材センターさんのほろをつけたトラックがありますけれども、それで小さい道路とか、先ほどの燃えるごみの収集、パッカー車みたいな形で収集をしっかりできているということですか。大丈夫ですか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　シルバー人材センターさんの収集については、今の設備で支障なくできているという認識でございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　それはシルバー人材センターに委託しているのですけれども、シルバー人材センターで使われている車両というのは何台だか、お答えできますか。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　シルバー人材センターさんが稼働させている車両数ということでよろしいでしょうか。

○我如古盛英 委員　はい。

○環境対策課長　こちらのほう、軽トラックタイプのもので、８台が稼働しているところです。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　中型トラックではないですか、軽ではないですよね、よく見かけますので。シルバー人材センターの方々が乗り込んで空き缶から収集していますけれども、８台。

○石川慶 委員長　環境対策課長。

○環境対策課長　失礼しました。軽トラックではなくて、キャブタイプのトラックになります。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　分かりました。これについても門前収集に関して、市民等から要望とかなければいいと思うのですが、私の質疑は、これで一応終わります。ありがとうございました。

○**石川慶 委員長**　それでは、皆さん、１時間たっていますので、10分間休憩して、その後また進めてまいりたいと思います。

○**石川慶 委員長**　休憩いたします。（午前１１時０５分）

○**石川慶 委員長**　再開いたします。（午前１１時１５分）

○**石川慶 委員長**　では、質疑を許します。

続きまして、成果説明書49ページ、８款３項５目比屋良川公園整備事業（補助）、プリティ宮城ちえ委員となっております。準備よろしいですか。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　はい。

○**石川慶 委員長**　では、プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　よろしくお願いします。比屋良川公園整備事業（補助）ということで、そこの中で３の事業内容、実績のところで、沖縄振興公共投資交付金、これについて説明してほしいのですけれども……

（「49ページ」という者あり）

○**プリティ宮城ちえ 委員**　49ページの右側です。10分の５ということは、半分がそこから出ているのかと思います。継続事業で平成３年度から、すごく息の長い事業になっているのですが、そこのお金の説明をお願いします。。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　成果説明書49ページ、比屋良川公園整備事業のところにつきましては、委員おっしゃるように沖縄振興公共投資交付金で10分の５の補助率でございます。事業期間は平成３年度から令和９年度までとなっております。主に墓の補償とか、物件の補償が残っておりまして、この補償交渉に時間を要しているところでございます。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　この事業の目的１のところで､比屋良川を軸に両側に残る自然度の高い樹林地を背景にとあるのですけれども、比屋良川公園の整備というところに公園の、周りの小禄墓とか、比屋良川が流れる森ですね、そこも入りますか、対象として。

○**石川慶 委員長**　建設部次長。

○**建設部次長**　比屋良川、河川が通っていまして、その河川については県の管理になっておりまして、それ以外のほうを比屋良川公園に入っております。

○**石川慶 委員長**　プリティ宮城ちえ委員。

○**プリティ宮城ちえ 委員**　私が聞いたのは、前に比屋良川のほうからつり橋を建てる、造る構想とか、それからクガニナーを中心に、この比屋良川公園を造るとか、今の大謝名団地もずっと利用道というか、要望を出してきたということで、今も上大謝名、嘉数ハイツのほうから出ているのですけれども、長い間に市民の

声というのは集約したり、聞いたりということは事業の中にありましたか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　計画当時の話で、分かりかねるのですけれども、以前クガニナーも含めて、つり橋の要望が地域の方々から陳情として市議会のほうにも上がっていたと思います。ただ、その陳情の説明のときにも申し上げたのですけれども、まず比屋良川、急傾斜地になっていまして、県の急傾斜地の区域に指定されておりますので、そこに橋の土台を造るというのは、なかなか厳しい状況と、あとまた橋をかけることで安全管理もちょっと懸念されるので、ちょっと厳しいかなと思っております。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　様々な難しい問題はあると思うのですけれども、県のほうも市民の憩いの場として使うことにはとても賛成だということなので、まだほかの件とかもあると思いますけれども、継続事業になっていますので、市民の声を聞いてすばらしい公園にしてほしいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　では、続けてもよろしいですよね。

　では、続きまして、成果説明書53ページ、８款３項５目喜友名歴史公園整備事業、こちらのほう、プリティ宮城ちえ委員です。よろしくお願いいたします。プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　ここの喜友名歴史公園整備事業のほうの３、事業の内容、実績の委託料のところです。委託料48万4,000円ですけれども、どのように使われているのか、その内容を聞かせてください。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　成果説明書53ページ、喜友名歴史公園整備事業（補助）の令和４年度の内容ですけれども、48万4,000円につきましては、公園区域の都市計画決定に向けた図書作成ということで、予算を執行してございます。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　これも令和３年度から始まっていますが、今の途中で喜友名の湧き水から、文化財から、いろいろな側面があると思いますけれども、その計画の途中の概要とかできているのですか。

○石川慶 委員長　建設部次長。

○建設部次長　令和４年度末に西普天間住宅地区公園緑地基本設計ということで、基本的に設計はできております、計画は。

○石川慶 委員長　プリティ宮城ちえ委員。

○プリティ宮城ちえ 委員　では、ここは湧水のＰＦＡＳの問題もありますし、いろいろな問題を抱えていますが、よろしくお願いします。今、比屋良川公園のほうと喜友名のほう、両方質問したのですけれども、やはり市民からの要望もすごく強いところですので、市民の声をしっかり聞くような体制をつくっていただけたらと思います。以上です。

○石川慶 委員長　それでは、続けさせていただきます。

　続きまして、資料番号13、決算書50ページ、17款２項１目土地売払収入、我如古委員となっております。準備よろしいでしょうか。

○我如古盛英 委員　はい。

○石川慶 委員長　では、我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　よろしくお願いします。資料番号13番からですね。

○石川慶 委員長　資料番号13番です。

○我如古盛英 委員　令和４年度の土地売払収入をめぐる土地の内容についてという資料をいただきましたけれども、その中で確認したいことがありますので、よろしくお願いします。

令和４年度中に市の土地というか、里道も入っていますけれども、売払いした結果がありますので、途中からの議会活動なものですから、分からないものがあって。まず、普通財産、整備番号の４番と５番ですけれども、これは伊佐の４丁目と２丁目ということになっていますけれども、これは何かの跡地だったのでしょうか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　資料番号13、整理番号の４と５は、跡地とかではなくて、実際に使われている土地でございまして、駐車場とかに使われております。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　特に整理番号４の場合は、金額が5,000万円を超えていますので、これは議会の議決事項に当たらないかなと思うのですけれども、ありましたか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　土地の面積が425.98平方メートルですので、議会の案件については、土地については、5,000だったかなと思っておりますが、該当いたしませんので、議会の議決案件にはなりません。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　これは普通財産ですから、いかにも公共のいろいろな用途として使えないかなと思うのですけれども、４番と５番は売却の日時はほぼ一緒ですよね。６月７日と、それから６月21日、どうして売却しなければいけないかなという、その基本的な理由というのはあるのですか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　こちらの２つにつきましては、財政健全化計画2019というのが打ち出されまして、その中で、すみません。行財政改革集中改革方針2019というところで、財源確保のために普通財産３筆の売却が示されまして、１筆は令和３年度でまとまりまして、この２筆が令和４年度に契約がまとまったということです。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　ということは、行財政改革財源確保ですから、市の財源を補充しようという、そういう形のものなのですね。せっかくの普通財産ですから、もったいないなという。これは現場というのは、すみません。４丁目289番というのは、これは土地家屋調査士とか、専門の皆さんは分かるのですけれども、どこら辺という、場所とかをぜひとも表示していただきたいのですけれども、これはぱっと説明して、伊佐のどの辺ということは説明できますか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　住所はですね……

○我如古盛英 委員　住所。

○総務部次長　場所は、58号バイパスで、伊佐公民館の近くにございまして、中古車屋さんとかがありますけれども、その隣の土地でございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。先ほど令和３年にも１筆売却してあるということで、３筆とも大体同じ

場所ということで理解してよろしいでしょうか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　令和３年度に売却した普天間、旧消防跡地のところであります。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。もったいないですね。これに関しましては、ですから致し方ない、それは皆さんの政策遂行のための財源確保ですから、私はあまり理解できないような感じがいたしますけれども、ほかにも利用、あるいは代替等もいろいろ考えられますから、私はあったほうがいいという、必要経費とかもかからないわけですから、税金もかからないし、それからもう一つは、18、19、20なのですけれども、これについて先ほど面積等々金額は議会議決事項にならないということですけれども、これも議会議決事項にはなっていないということですよね。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　先ほども説明しましたけれども、土地については5,000平方メートルがありますので、今回上がっている案件は、全てそれ以下でございますので、議会の議決事項は必要ないということになります。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　この売払いの理由についてもお願いします。どうして売却したか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　18、19、20のみですか。

○我如古盛英 委員　そうです。

○総務部次長　すみません。こちらは喜友名23号道路整備事業に係る売払いが発生しておりまして、事業部署である建設部のほうが、用地交渉等何かあってのやり取りがあって、実際発生したという案件てございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　喜友名23号の道路整備、用地買収に関する地権者とのいろいろな、例えば代替地的なものだというふうに理解していいのでしょうか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　詳しい内容は、私のほうでは、ちょっと存じ上げてはいないのですけれども、それに絡むものということだけで。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　この３筆あるのですけれども、その３筆を譲り渡した方は同一の方なのか、あるいは全然別々な方なのでしょうか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　同一人物でございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　分かりました。これに関しては以上。

○石川慶 委員長　では、続けましょうね。

　では、続きまして、資料番号23、決算書328ページ、17款２項１目土地売払収入、こちらも我如古委員となっております。我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　資料番号23なのですけれども、令和４年度に土地を求めたというあれですけれども、できたら平米を、私の資料の要望の仕方が間違っていたかもしれないのですけれども、細かいのが出ていないので、普通財産に対して質疑をしていきます。

１年間、跡地利用推進事業で求めた土地は29坪、29筆なのですけれども、その民用地を15筆購入したということなのですけれども、その普通財産として買い求めているわけですから、これは何に利用するのですか。どういったところを、民有地を、民用地というのですか、それを15筆も、平均一坪当たり271平米ですか、84坪になるのですけれども、その辺について、ちょっと説明をいただければと思います。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　15筆全て購入ではなくて、こちらのものは令和４年の土地の増減となってございまして、すみません。タイトルが増の内訳と書いてありましたので、大変申し訳ありません。減もございます。先ほどの里道の用途廃止に伴って年度内で里道とかが、売り買いがまとまればゼロということで、現れてこないのですけれども、年度またぎになってしまうと、数字上表すときに、こういった増減が発生してきますので、こちらは先ほどの普通財産、先ほど言った伊佐の２筆とか、普天間旧消防跡地とかが減になってきまして、増は先ほどもありましたけれども、里道で年度またぎになってきたときには現れてきます。数（かず）として、数（すう）ですね。

増のまた要因としては、伊佐にある青少年ホームとか、勤労者体育センターなどが増の要因としてありますので、こちらの筆数15全てが増というわけではなくて、増減、足した数というふうに御理解いただきたいと思います。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　行政財産から普通財産に移行したのですか。

○総務部次長　ものもあります。

○我如古盛英 委員　特に普通財産として市が買い取ったものというのはないということですか、この15筆の中に。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　少しありまして、普天間飛行場周辺まちづくり事業で２筆購入があるということでございます。

○石川慶 委員長　我如古盛英委員。

○我如古盛英 委員　買い取ったら普通財産になるのですけれども、この普天間返還跡地利用に関してになると、先ほど筆数の29に入るのではないですか。29件の筆数は、ほとんど個人の民有地、民用地というのでしょうか、説明をお願いします、この筆数に関して。

○石川慶 委員長　基地政策部次長。

○基地政策部次長　資料番号23の普通財産、下段の基地返還跡地転用推進事業につきましては、成果説明書のほうの77ページの右側、基地返還跡地転用推進事業のほうで普天間飛行場名を……

（「77」という者あり）

○基地政策部次長　よろしいでしょうか。77ページ、右側のほうの事業としまして普天間飛行場の跡地利用に資するために軍用地を先行して取得する事業でございまして、そちらのほうで令和４年度に取得をした筆数が29筆で、そっちが１万5,228.05平米となってございます。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　そうですね。それは、これまで県の一括交付金等を使って、これから普天間飛行場内に学校敷地とか、そのために買い求めているということは理解しているのですけれども、その上、同じような民用地を買い求めているということで、今、次長のお話の中で、そのうちの２筆は基地関係の跡地利用転用のために民有地を購入したということなのですか、それでいいのですか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　すみません。先ほど説明をしました、普天間飛行場周辺まちづくり事業で、今、基地の次長が説明したものとは別です。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　では、その普天間飛行場周辺まちづくり事業の財源というのは、どこから出ているのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　こちらの３つにつきましては、市民経済部の産業政策課が主管となって行っておりますので、その取得について。財源については申し訳ありません。こちらのほうでは把握しておりません。

○**石川慶 委員長**　財政課長。

○**財政課長**　我如古委員の御質疑にお答えいたします。普天間飛行場周辺まちづくり事業における財源については、この事業は防衛の補助となっております。以上です。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　普通財産で、２筆は普天間飛行場周辺まちづくり事業のために購入しているということですから、これはでは今の皆さんが、しっかりと地権者の皆さんと交渉している普天間の三差路の、国道の330号に沿った用地ということになるのでしょうか。

○**石川慶 委員長**　総務部次長。

○**総務部次長**　大変申し訳ありませんでした。私たちのところは、あくまでも統括、まとめているだけなので、詳しく説明できず申し訳ありません。普天間の三差路ではなくて、普天間高校沿いの公有施設を今計画しておりまして、そちらで発生したものだというふうに思います。

○**石川慶 委員長**　我如古盛英委員。

○**我如古盛英 委員**　一部分かりましたので、昨日の段階で、どこを聞くかというのをもう少し詳しくやっておけば、皆さんも説明ができたかもしれませんが、しかし宜野湾市の場合、里道に関しては、それは必要だという人がいて、いろいろな隣接地主、あるいはそれは本当に価値があるのか、あるいはそのまま存続しないといけないのかというのは、それを調べて、皆さんはやるわけですけれども、先ほどの土地の売払いですね、こういった普通財産の売却が、何か多いような気がして、これからも西海岸に用地があるわけですけれども、そういった、私は売り払うのではなくして、やはり土地を所有しておれば、一番悪いというかな、次の事業をするためには代替地としても必要だと思いますし、こういったものは市の財産として残しておいて、効果的に利用していくほうがいいのではないのかな。もっと効果的に利用、市民のためにやればいいのではないかなと思うのですけれども、皆さんは売却して、その原資で、市の財政の運営をしていくというのが一番ベストだというふうに考えているわけですけれども、そこら辺の考え方というのは、あるいは資産として残しておくのがいいのではないかなと思うのですけれども、これからの普天間飛行場跡地の利用に関して、

いろいろな施設を新しく造っていかないといけないわけですから、今手持ちの土地とか、普通財産がなくなってしまえば、もっと方針が狭められてしまうのではないかなと思いますので、多いような気がしますので、これからも注視していきたいと思います。以上でもって終わります。

○石川慶 委員長　では、続けていきたいと思います。

続きまして、政策参与の実績と成果についてということで、桃原功委員ですけれども、では桃原功委員。

○桃原功 委員　令和４年度予算書で2款1項1目秘書事務運営費で政策参与報酬が120万円計上されて、当初私たちは、会派では、令和３年度決算で、どういった実績があったのか、どういった成果があったのかということで、本会議で質問したのですけれども、たしか副市長が、大変大きな実績があったというようなニュアンスの答弁をした記憶があるのですけれども、それをちゃんと資料で出してということで、請求したら資料を出せなかったのですね。

今回の決算で、予算書には上がっていますけれども、決算書に計上がないのですよ、政策参与の計上が。これは理由をお尋ねします。

○石川慶 委員長　秘書広報課長。

○秘書広報課長　御質疑にお答えいたします。当初予算書における秘書事務運営費、政策参与報酬120万円につきましては、令和４年度政策参与の勤務実績がなかったため執行してございません。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　令和４年度予算書に計上して、執行がなかったということは、新しい議員さんもいるので、もう少し分かりやすく答弁できますか。

○石川慶 委員長　秘書広報課長。

○秘書広報課長　政策参与、令和２年４月から任用していた方がいらっしゃいました。その方につきましては、御本人との調整の結果、令和４年度においては継続した任用を行わないということで、補正した経緯がございます。

その一方で、令和４年度につきましては、新たな政策参与の形につきましては、適任者がいらっしゃらなかったということで、配置はしておりません。当初予算につきましては、令和４年度の補正予算（第７号）において補正減している状況でございます。以上です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、補正減したのは、令和４年度の何月議会で補正減したの。

○石川慶 委員長　秘書広報課長。

○秘書広報課長　令和４年度宜野湾市一般会計補正予算（第７号）、３月議会です。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　それが上がったのは令和３年４月、そうすると１年も適任者がいなくて、１年執行できなかったということでよろしいのですか。

○石川慶 委員長　秘書広報課長。

○秘書広報課長　適任者がいらっしゃらなかったということで、任用してございませんので、そのとおりでございます。

○石川慶 委員長　桃原功委員。

○桃原功 委員　では、聞けないね。その成果も実績も、執行できなかったということであれば。以上です。

○石川慶 委員長　ありがとうございます。では、続けていきましょうね。

　では、こちらで最後です。続きまして、不用額、未済額、財産、減税額等について、上地安之委員。

○上地安之 委員　決算書に基づいて歳出事業の事業執行状況、そしてまた個々の事業の市民効果、あるいはまた執行に対する予算の配分、不用額だとか、還付未済額だとか、いろいろとありますよね。個々の話は置いておいて、まずは不用額にしても14億600万円なりの不用額が発生しており、それとまた歳入において、歳入も580億円予算を組んで、執行はそれにいかない額で執行されていますけれども、まず不用額がここまで発生しているというのは、当局はどのような認識を持っているのかというのをまず確認させてください。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上地委員から御質疑いただきました件についてお答えいたします。不用額、今回14億653万1,000円の不用額が発生しております。その件については、先日から御指摘いただいておりますとおり、扶助費、こういったところの執行残であったり、また繰越し、入札執行残、こういったところがある状況でございます。

　また、令和４年度の不用額について、特徴的なものが新型コロナウイルスワクチン接種事業であるとか、こういったコロナ禍における事業者支援、子育て世帯支援、そういったところが挙げられております。これについては、やはり扶助費等の不用額の軽減等については、当初予算の査定の段階、それと年度途中の執行状況を見ながらの補正予算での調整をしっかりやっていかないといけないぞというところを考えております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それから、歳入についても、先ほども申し上げましたけれども、580億円余りの予算額を計上、これについては対前年度緩やかというか、４億円ぐらいだけれども、上昇されていると思うのです。それもやはり皆さん方の努力で、それはなされているものだと思うのだけれども、肝腎な未済額が、また大きく発生しているわけ。せっかく調定をされた、予算を計上された、収入に未済があるというのは、これもまたどうかなと思うのです。それについてはいかがですか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上地委員からの御質疑にお答えいたします。歳入についての収入未済額、25億円以上発生しておりますが、こちら収入未済額については、大部分は繰越し事業の財源であります。国、県、補助金のほうが大部分を占めておりますが、しかも先日より御指摘いただいておりますとおり、この滞納等による未済のほうについても御指摘いただいているとおりでございます。ここについては、やはり積極的な徴収を継続するというところは基本としながらも、不納欠損を含めた債権管理の在り方については対応する必要があると考えております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　繰越明許なのですが、本来予算の原則からして、それは確かに国庫補助が関連するものについては、繰越し手続をしてできるとあるのだけれども、事業の基本的な考え方というのは単年度ですよ。それは繰越し手続を、議会の承認が得られれば、それは予算は使えるかもしれないけれども、本来のあるべき姿ではない。そうすることによって１年間の事業計画が滞っているということになるから、それは補助金が適用されるものについては、それはしようがないものも当然理解をしますけれども、それ以外のものを安易に繰り越すようなことがあってはならないのですよ。

　それから、もう一つ、不用額についても、執行残だとか、いろいろな説明がありますけれども、確かにそ

れも職員の努力が実を結んだものもあるのですよ。予算を組んだけれども、節約して、そして不用額となっている。ところで、昨日まで審査する中で、かなりの当初予算と乖離がある。しかも、見込みを組んだものの、全く事業がここに追いついていないというのもあるわけ。そんな予算を組み方をすると、それがそれだけの問題ではなくて、皆さん方、政策事業の中でも、今回これだけの事業が出ているのだけれども、不採択事業もかなり控えているのですよ。市の事業というのは、こんなものではない。もっと控えているわけ。そうすると、予算の組み方についても、これはやはりそのおかげで、予算というのはロックされていくわけよ、ロックされていく。そして、新たに事業というのは組めないわけよ。

だから、この不用額だとか、未済額というのは、本当にこれは今後単なる未済が出たから計上するのではなくて、不用額が出たからではなくて、それはやはりその数字というのは、しっかり把握をした上で、何が足りないのかというのを十分ここで検証すべきですよ。それは答弁がなければいいのですが。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　御質疑に対してお答えいたします。おっしゃるとおり不用額と収入未済額、これらのものについては、やはり後年度の財源といいますか、後年度の事業に直結していくものかなと思います。政策事業については、実施計画のほうが決定した後に、翌年度について、実施計画を10月、年末に決定した後、予算編成について最終的に決定ということになりますので、その実施計画の中で採択、不採択が決まっていくところが基本になっていくとは思いますので、そこの影響が出てくるということに、御指摘はそのとおりだと思いますので、そこについては、しっかり事業の査定の見直し、原課との事業のスケジュール等も踏まえて、しっかり見直しをしていきたいと思います。以上です。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　ぜひとも今回の決算認定後に、もう既に次年度に向けての予算編成方針を立てていくわけでしょう。それがやはりその数字というのは、しっかりやはり自分のものにしてもらって、それぞれ一つのものにしてもらって、市民需要に応え得るようなものを、ぜひとも予算編成の中で反映してもらいたいなと思っておりますので、それはひとつよろしくお願いします。

それから、財政健全化判断比率、これは監査意見書に出されたものですが、いずれにしても健全化なのですよ。それでも皆さん方の努力というのが、これは非常に評価したいと思います。しかも、類似団体と比較して決して悪くない。そういう努力というのが十分伝わってきております。その努力が、それだけ580億円の予算、歳入歳出事業を組むことができているものだと思うのだけれども、その中の一つ、監査意見書の中に決算カード、経常収支比率、それは人件費も含めて、固定経費に占める割合ですが、その九十数%というもの、一体どうなのかというのを説明いただけますか。

○石川慶 委員長　財政課長。

○財政課長　上地委員の御質疑にお答えいたします。経常収支比率でございますが、こちらは経常的な経費ということで、先ほど御指摘あったとおり、人件費であるとか、扶助費、こういった義務的経費、あとは公債費も含めまして義務的経費に対して地方税であるとか、地方交付税、こういった経常的な一般財源がどの程度流動化されているかという数値でございます。これは一般的に90%を超えてくると財政構造の弾力性がなくなってきているだろうというような評価となる状況でございます。

今回、宜野湾市としましては、扶助費のちょっと増となっているのではないかなと思います。さっき令和３年度より若干数値が上がっておりますが、臨時財政対策債の大幅減がございましたので、こちらのほうが、

ちょっと数字の影響はしております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　経常収支比率そのものも11市の類似団体と比較しても割かし頑張っているわけよ。非常に頑張っている。当初予算では、予算が組めない、財源不足で基金の繰入れだとか、起債を起こして、財源をどうしようかなと。予算編成方針にうたわれているけれども、しかしそれも極めて類似団体と比較しても悪いというものではない。

そこで、経常収支比率をやはり軽減させないと、宜野湾市の西普天間、インダストリアル・コリドー地区、大山田いも地域、普通建設事業に大きく影響するわけ。それもひとつ将来を見据えたことも含めて、ぜひとも注視してもらって対応していただきたいなと思います。

それから、ラスパイレス指数、これは我如古委員からもラスパイレス指数のお話がありました。そのラスの指数についても、これもかなり宜野湾市は悪くない。そこで、580億円の予算を組む中で、ある意味急激に10万都市の宜野湾市にとっては財源が、予算額が、かなり向上しているわけ。そうすると、何がどうなるかというと職員ですよ、職員。職員の定員適正、今793ですよ。実質の乖離もある。そこら辺まで視野に入れて、今後対応すべきではないかなと思いますけれども、どうですか。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　上地委員御質疑の定員の適正化につきましては、令和２年度に行政需要等が増大していく中で、市の職員定数条例を728名だったものを793名に改正させていただいております。令和４年度から令和７年度までの４年間の定員管理計画を策定してございますが、令和７年度までに実数で766名の定員数の計画を立てて、増員はしてきているところでございます。行政需要に対応するため増員をしているところではございますが、やはりなかなか現在の職員体制状況、組織体制状況が厳しいところもございます。年間平均で約50名ほど休職者もおりまして、なかなか配置状況が厳しいところもございますので、上地委員のおっしゃるように定員管理計画のちょっと見直しも早急に必要であると考えておりますので、本年度、もしくは来年度一定時期までには見直しをしていかないといけないというふうには考えてございます。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　我々は、決算書しか見ること、できないわけ。それと、監査意見書を参考にしながら、その数字を追いかけながら、一体事業を具体的に押すというのは、我々は見えないわけよ。しかし、その数字からすると、それは再検討に値するわけよ。しかも、本年度、定年延長ですよ。そして、２年置きに、これが延長されていく。あと10年、日本においては、職員の様相が違ってくるわけ。採用計画も変わってくるわけ。そして、市民需要というものを抱えているものもたくさんあるわけ。だからこそ、決算カードの中で経常収支比率や、あるいはまたラスの指数等の範囲において、やはり再検討すべき。決算で指摘をされたものについては、また検討すべきですよ。検討してもらいたい、また。これは答弁は要りません。

それから、未済額の中に一部公債権と私債権に分類される中で、ずっとこれを放置している姿というものもどうかなと思う。昨日も確認しました。教育委員会の育英資金1,500万円の拠出がありますでしょう。奨学資金ですよ。それも私債権で指摘されている。それも380万円の滞納がある。それだけではない。また、貸付金においても、それは処理ができないような状況。処理ができない状況をいつまで予算を置くのかということも、これも不思議でならない。ですから、ここをどうすべきかというのを、やはり検討してください。お願いします。どうですか。

○石川慶 委員長　企画部次長。

○企画部次長　昨日も御指摘ありました債権管理につきましては、特に私債権ですね、昨日もありましたように、そこも含めて債権の適正な管理をしていくために債権管理条例の上程を今年度できるように検討しているところでございますので、なるべく早く条例ができるよう取り組んでいきたいと思います。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　それはどのような方向で検討するか分かりませんけれども､決算書を見た限りにおいては、亡くなった人まで、ここにずっとあるわけ。あるべき姿ではない。ですから、見直しするところは、しっかり見直しをしてもらってお願いしたいなと思います。

それから、先ほど我如古委員からも触れていましたけれども、普通財産の貸付け基準というのは、これも十分な基準にはなっていないけれども、それは触れません。触れない。それを貸付けだとか、あるいは処分だとかというのは、処分に対する基本的な方針がないことには、そういった行為というのができないはずなのですよ。しっかりその方針をつくっていく、処分方針をつくっていく、これがまず最初ですよ。そういったものをした上で普通財産の利用活用も、そしてまた予算に上げていくというのも、ぜひともそのような手続で対応していただきたいと思いますが、いかがですか。

○石川慶 委員長　総務部次長。

○総務部次長　普通財産の有効活用という話ですので、先ほど我如古盛英委員からもございましたので、普通財産を管理している総務においては、その活用については、処分も含めての活用については、関係部署ともしっかりと協議をして、今後その方向性、方針等定められるようにしてまいりたいとは思っております。

○石川慶 委員長　上地安之委員。

○上地安之 委員　今回の審査においては、紙ベースで審査を我々はやってきましたけれども、性質別でも、かなり追いかけてみたのですよ、性質別。性質別経費、かなり追いかけてみたわけよ。それもやはり検討してください。先ほどの人件費も含めて、そしてまた50人内外の方々が今休職されているわけ。それと、不採択事業もかなり控えているはずですよ。選ばれた、採択された事業が、ここまで繰り越したとか、あるいはまた不用額の検証をしてもらって、誰が見ても事業効果があるような実施をお願いしたいと思います。以上で終わります。

○石川慶 委員長　では、皆さん、本日事前に確認した質疑は全て終了となりましたので、一旦休憩させていただいて、またその後採決を行っていきますので、それでは一旦休憩いたします。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後０時０２分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後０時３０分）

○石川慶 委員長　本件については質疑を終結したいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○石川慶 委員長　御異議ありませんので、さよう決定いたします。

続いて、本件に対する討論を行います。まず、反対の討論を許します。桃原功委員。

○桃原功 委員　４日間慎重に令和４年度決算を審査してきたのですけれども、てぃーちが一公園の件で、ポンプが壊れて、今除去したり、処理水を放出できていないという状況があるのですけれども、それ以前に大

雨が原因で濁っていて、それをろ過できていないという状況も発覚しているのですけれども、私たちはＰＦＡＳを、処理水を外に出すなということで反対したのですけれども、この処理、濁りをろ過する修理というのは、はっきりこの決算委員会で確認が取れなかったのですけれども、もしかしたら、それもまた修理費用がかさむかもしれませんし、何せその以前に年間維持費は単費で300万円を出すというのがありましたので、この点については、同意できないということで、不同意とさせていただきます。以上です。

○石川慶 委員長　次に、賛成の討論を許します。宮城克委員。

○宮城克 委員　同じく今回４日間、すごい積極的に各委員が質疑し、資料も請求し、当局のほうも誠意を持って答弁、説明のほうがあった内容でございます。

細かい内容は、必要があれば本会議でやりますが、予算現額も580億円、一般会計最大の金額の中で、数々の事業が展開されたというふうに確認が取れました。特に特定防衛周辺整備統合事業において中原地区の学習等共用施設もすごいすばらしい地域コミュニティーの拠点が構築できました。新城地区学習等供用施設、そこもすごいすばらしい地域のコミュニティーの拠点が構築できた。その統合事業を用いて、てぃーちが一公園、しちゃばる公園、かにくばる公園と、また市民、そして地域の子供たちが集える憩いの場を構築することもできたというふうに確認が取れております。

たくさんあるのですけれども、割愛をしながら、今回我々、今回の決算に関しましては、先ほど反対の一部声もありましたが、その内容についても今後改善を重ねてよきものになっていくというふうに考えるところでありますから、今回の決算、同意すべきものと考えております。以上です。

○石川慶 委員長　次に、反対の討論を許します。

（「省略」という者あり）

○石川慶 委員長　次に、賛成の討論を許します。

（「なし」という者あり）

○石川慶 委員長　ありませんね。討論も尽きたようでありますので、討論を終わり、表決に移りたいと思います。これに御異議ありませんか。

（「異議なし」という者あり）

○石川慶 委員長　御異議ありませんので、さよう決定いたしました。

これより認定第１号を挙手により採決いたします。本件については認定すべきものと決することに賛成の委員の挙手を求めます。

（挙手多数）

○石川慶 委員長　賛成多数であります。よって、本件は認定されました。

○石川慶 委員長　休憩いたします。（午後０時３４分）

○石川慶 委員長　再開いたします。（午後０時３５分）

○石川慶 委員長　以上をもちまして案件の審査は全て終了いたしました。よって、本委員会を閉会いたします。御苦労さまでございました。

（閉会時刻　午後０時３５分）